

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	発達心理学			授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	臨床心理士、公認心理師として臨床活動（主に心療内科・教育領域）				
実務経験を 活かした 教育内容	発達障害の早期発見の重要性				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力				

《授業の概要》

発達心理学の基本的な理論である、フロイトの心理学的発達理論、ゲゼルの成熟優位説、行動主義の学習理論、ピアジェの発生的認識論、バンデューラの社会的認知理論、エリクソンの社会的発達理論を学ぶ。また、論理的思考の発達として、人が年齢とともにどのように思考様式を変化させて行くのかや言葉と概念の発達、発達における教育の役割、対人関係と養育者と子どものアタッチメント、思いやりなどの社会的行動の発達、アイデンティティーやパーソナリティーの発達などについて、誕生から老年期に至るまでを学び、その心理的な特徴が各ライフステージの行動に影響していることを理解する。

《授業の到達目標》

1. 人間の発達に関する主要な理論的枠組みについて理解し、説明することができる。
2. 思考、言語、社会性、人格などの各側面における人間の時間の経過に伴う変化について、共通点や差異を類別し、論理的に述べることができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

学習態度30%：毎回授業内で行うリアクションペーパーへの質問内容、その他授業内での態度をもとに評価する。（到達目標1.2）
定期試験70%：授業の内容について、主に間違い探し修正法をもちいた客観テストを期末に行う。（到達目標1.2）

《テキスト》

『保育士を育てる① 保育の心理学』（瀧口綾、福田真奈編著 一藝社 2020年）

《参考図書》

『ゼロからはじめる心理学・入門』（金沢創、市川寛子、作田由衣子著 有斐閣 2015年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑その他（授業中にクリッカーシステムにて集約・回答する）
授業形態：☑講義形式 ☑双方向（ICTの活用） ☑タブレット端末の利用

毎回のリアクションペーパーに当たるものはweb上のシステムで行う予定です。感想でもよいのですが、なるべく自分の質問を考えましょう。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	発達心理学	授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション・発達心理学とは何か	授業の進め方・目標・方向性について解説する。発達心理学はどのような問題を扱っているかを解説する。 予習(120)分:教科書の目次に目を通しておく 復習(120)分:授業の内容の理解に努める	宮崎 隆穂
2	人間を取り巻く環境と発達 キーワード (環境・遺伝・発達・相互作用)	発達にかかわる様々な要因(遺伝・環境)を取り上げ、どのような相互作用が考えられるかを概説する。 予習(120)分:教科書第一章p.9-16を読んでおく 復習(120)分:授業の内容をもとに質問を考える	宮崎 隆穂
3	生涯発達心理学の視点 キーワード (発達観・生涯発達・遺伝か環境か)	さまざまな発達観があることを概説し、その中で生涯発達心理学の視点、目標はどこにあるのかを遺伝か環境か論争に関連させながら紹介する。 予習(120)分:教科書第二章p.17-24を読んでおく 復習(120)分:授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
4	子どもの身体・運動発達 キーワード (生理的早産・粗大運動・微細運動)	人間の発達において乳児期から幼児期にいたる変化が大きいことを概説し、この時期における初期経験の重要性を紹介する。 予習(120)分:教科書第三章p.25-33を読んでおく 復習(120)分:授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
5	子どもの知覚・認知の発達 キーワード (選好注視法・馴化－脱馴化法)	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。 予習(120)分:教科書第四章p.34-40を読んでおく 復習(120)分:授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
6	子どもの知覚・認知の発達② キーワード (選好注視法・馴化－脱馴化法)	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。映像資料を提示する。実際の子どもを対象とした研究における実務的な方法(接し方・留意点)を解説する。 予習(120)分:教科書第四章p.34-40を読んでおく 復習(120)分:授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
7	自己意識の発達 キーワード (自己鏡像課題・サリーアン課題)	自己意識の分化、自他の区別と共感性の発達との関連を概説する。 予習(120)分:教科書第五章p.41-48を読んでおく 復習(120)分:授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
8	言葉・コミュニケーションの発達 キーワード (言語発達・臨界期・敏感期)	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して動物行動学の分野からもたらされた臨界期・敏感期の考え方を紹介する。 予習(120)分:教科書第六章p.49-56を読んでおく 復習(120)分:授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂

科目名	発達心理学	授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎 隆穂		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	言葉・コミュニケーションの発達② キーワード (言語発達・臨界期・敏感期)	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して臨界期・敏感期の考え方を紹介する。映像資料を提示する。 予習(120分)分：教科書第六章p.49-56を読んでおく 復習(120分)分：授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
10	情緒・欲求の発達 キーワード (情緒・欲求・感情)	情緒・欲求・感情にかかわる発達心理学上の研究成果を概説する。 予習(120分)分：教科書第七章p.57-64を読んでおく 復習(120分)分：授業の内容をもとに質問を考える	宮崎 隆穂
11	愛着関係の形成と発達 キーワード (アタッチメント・個人差・SSM)	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。 予習(120分)分：教科書第八章p.65-72を読んでおく 復習(120分)分：授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
12	愛着関係の形成と発達② キーワード (アタッチメント・個人差・SSM)	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。映像資料を提示する。 予習(120分)分：教科書第八章p.65-72を読んでおく 復習(120分)分：授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
13	児童期・青年期の発達 キーワード (ピアジェの認知発達理論・道具的操作期・形式的操作期・アイデンティティの獲得)	児童期・青年期の発達を概説しながら、形式的操作の概念を獲得し、アイデンティティの獲得をはかる時期の発達の特長について紹介する。 予習(120分)分：教科書第十二章p.97-104を読んでおく 復習(120分)分：授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
14	成人期・老年期の発達 キーワード (エリクソンの発達課題・統合性の意味)	生産性にいかに関与するか、という課題を通して最終的に老いをどのように統合していくのかについて概説する。 予習(120分)分：教科書第十三章p.105-112を読んでおく 復習(120分)分：授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎 隆穂
15	まとめ	授業全体について振り返り、到達目標について今一度確認する。 予習(120分)分：これまでの内容をふりかえりまとめておく 復習(120分)分：人間の生涯発達について考えをまとめる	宮崎 隆穂

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	ヒトと生物学			授業科目番号	1105070
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度, ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護師は、看護の対象である人間の生物学的な特徴を理解する必要がある。高校までに生物を十分に修得できなかった部分の補強とともに、基礎的な生物学的知識を修得する。特に細胞と細胞増殖、遺伝子、ホメオスタシスについて学ぶ。加えてより発展的な知識の獲得を目指し、バイオテクノロジーと医療に関する基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 生命の基本単位の理解 人体の最小単位である細胞の構造と機能を理解し、DNAからタンパク質が合成される遺伝情報発現（セントラルドグマ）の仕組みを説明できる。 2. 器官系の機能的連関の理解 循環・呼吸・消化・泌尿器などの主要な器官系が、生命維持のためにどのように働き、連携しているかを説明できる。 3. 恒常性（ホメオスタシス）の理解 神経系・内分泌系・免疫系による調節メカニズムを学び、体内環境が一定に保たれる仕組み（ホメオスタシス）を説明できる。専門科目への接続 看護学の基礎となる解剖生理学・生化学・病理学などを学ぶために必要な、生物学的な基礎知識と科学的思考力を修得する。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

《評価の方法》

小テスト30%、定期試験 70%（到達目標1-3）

《テキスト》

『生理学・生化学につながる ていねいな生物学』（白戸亮吉 他著 羊土社 2021年）

《参考図書》

適宜紹介する

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式 ■タブレット端末の利用

1. 本科目では専門基礎科目を学ぶための初歩について学習します。予習・復習を継続して内容の理解に努めるとともに、自学自習の習慣を身につけることを期待しています。 2. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	ヒトと生物学	授業科目番号	1105070
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	生命の最小単位「細胞」と設計図「DNA」 キーワード(真核細胞、ミトコンドリア、リボソーム、セントラルドグマ、転写・翻訳)	人体の構成単位である真核細胞の構造を学び、各細胞小器官(核、ミトコンドリア、小胞体など)の役割を理解する。また、生命活動の根幹である遺伝情報(DNA)がどのように読み取られ、タンパク質が合成されるか(セントラルドグマ)のプロセスを学習する。 予習(30分): (教科書P12-28を読み、教科書の細胞小器官とDNAの構造に関する範囲を読んでおく) 復習(30分): (DNAからタンパク質が合成される転写・翻訳の過程と各小器官の役割を整理する)	堀江 正男
2	情報の伝達と神経系の基礎 キーワード(ニューロン、シナプス、活動電位、神経伝達物質、中枢神経・末梢神経)	神経系の基本単位であるニューロンの構造と、電気的信号(活動電位)が発生・伝導する仕組みを学ぶ。また、ニューロン同士のつなぎ目であるシナプスにおける化学的な情報伝達の機序と、神経系の全体像(中枢・末梢)について理解する。 予習(30分): (ニューロンの構造と活動電位が発生する仕組みについて該当箇所を読んでおく。) 復習(30分): (シナプスにおける情報伝達の機序と、神経系による情報処理の流れをノートにまとめる。)	堀江 正男
3	感覚の受容と運動のメカニズム キーワード(受容体、視覚・聴覚、骨格筋、アクチン・ミオシン、興奮収縮連関)	外界からの刺激を受け取る感覚器(目、耳など)の基本的な仕組みを概観する。また、運動機能の基礎として、神経からの指令がどのように筋肉(骨格筋)に伝わり、筋収縮(アクチンとミオシンの滑り説)が起こるのか、その微細構造と分子メカニズムを学習する。 予習(30分): (感覚器(目・耳等)の構造を確認し、骨格筋・心筋・平滑筋の違いを教科書で見ておく。) 復習(30分): (筋原線維におけるアクチンとミオシンの滑り説(筋収縮)のメカニズムを図説できるようにする。)	堀江 正男
4	エネルギーの獲得と物質代謝 キーワード(消化酵素、吸収、同化・異化、ATP、肝臓の機能)	三大栄養素(炭水化物、タンパク質、脂質)が消化管内で分解・吸収される過程と、それに関わる消化酵素の働きを学ぶ。吸収された栄養素が肝臓などを経て体内でどのように利用(代謝)され、エネルギー通貨であるATPが産生されるか理解する。 予習(30分): (三大栄養素に対応する消化酵素と吸収される場所について教科書を読み、表を確認する。) 復習(30分): (消化吸収された栄養素が代謝され、体内でエネルギー(ATP)として利用される流れを復習する。)	堀江 正男
5	酸素と栄養の運搬システム キーワード(心臓(心房・心室)、体循環・肺循環、ガス交換、ヘモグロビン、動脈・静脈)	全身に血液を送るポンプとしての心臓の構造と拍動の仕組み、および血管系の走行(体循環と肺循環)を学ぶ。また、呼吸器系における肺泡でのガス交換(酸素の取り込みと二酸化炭素の排出)と、血液による運搬の機序を学習する。 予習(30分): (心臓の構造(弁・心房・心室)と全身の血液循環の経路、肺でのガス交換について予習する。) 復習(30分): (刺激伝導系による心拍の調節と、酸素と二酸化炭素の運搬メカニズムについて理解を深める。)	堀江 正男
6	体内環境の恒常性と老廃物の排泄 キーワード(腎臓、ネフロン、糸球体濾過、再吸収、細胞内液・細胞外液)	体液の区分と恒常性(ホメオスタシス)の重要性を理解する。血液中の老廃物を濾過し、必要な水分や電解質を再吸収して尿を生成する腎臓(ネフロン)の複雑な機能を学び、体液バランスがどのように維持されているか学習する。 予習(30分): (体液の区分(細胞内液・外液)と腎臓の構成単位(ネフロン)の構造について図を確認しておく。) 復習(30分): (糸球体での濾過から尿が生成されるまでの、再吸収・分泌の過程をフローチャートに整理する。)	堀江 正男
7	内分泌系による身体機能のコントロール キーワード(内分泌腺、ホルモン、標的器官、受容体、フィードバック調節)	主要な内分泌腺(下垂体、甲状腺、膵臓、副腎など)の位置と、そこから分泌されるホルモンの作用を学ぶ。神経系とは異なる、ホルモンによる情報の伝達様式と、フィードバック機構による調節(血糖値調節など)について理解する。 予習(30分): (主な内分泌腺の位置とそこから分泌されるホルモンの名称・働きを教科書で確認しておく。) 復習(30分): (ホルモン分泌のフィードバック調節の仕組みと、血糖値や体温調節等の具体例をまとめる。)	堀江 正男
8	生体防御の仕組み キーワード(赤血球・白血球・血小板、自然免疫、獲得免疫、抗原抗体反応、ワクチン)	血液の有形成分の役割を整理し、特に白血球が担う免疫機能について学ぶ。病原体の侵入に対する初期防御(自然免疫)と、特定の病原体を記憶・攻撃する獲得免疫(液性免疫・細胞性免疫)の仕組み、およびワクチンの原理を理解する。 予習(30分): (赤血球・白血球・血小板の働きと、自然免疫・獲得免疫の基本的な違いについて読んでおく。) 復習(30分): (体内に侵入した異物に対する生体防御反応(炎症、抗体産生等)の一連の流れを関連付けて復習する。)	堀江 正男

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と文化》

科目名	ベーシック英語Ⅰ			授業科目番号	1116010
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	企業通訳・翻訳、在宅翻訳				
実務経験を 活かした 教育内容	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

国際化する社会の一員として、学際的かつ国際的な研究・職業等の各フィールドで情報の授受を行えるよう4技能の基礎を固めることを目的とし、CEFR-JバンドA2の4技能以上を身につけることを目標とする。幅広いレベル・特性を有する学習者のために、多読多聴と、健康・福祉・医療系のコンテンツをベースとした学習により、親しみのある話題であれば英語でやり取りができる運用能力を養成する。

《授業の到達目標》

- ①基本的な英語のしくみ（特に日本語と異なる点）を理解している。
- ②親しみのある内容あれば、大量の音声・文字を受信し、概要を発信できる。
- ③辞書・翻訳ツール・生成AIを適切に活用して、コミュニケーションを図るスキルを有している。
- ④看護に必要な最低限の表現を身につけて、患者対応ができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

「ベーシック英語II」「看護に活かすコミュニケーション英語」の基礎となる

《評価の方法》

授業中の協働・英語使用状況20%（①②③）、ウィークリークイズ20%（①②③） 多読30%（①②③）、課題30%（①②③）
 クラスルームで校閲や評価を行う。各評価項目の実施方法ならびに評価指標は別途通知する。

《テキスト》

『Talking with Your Patients in English（アニメで学ぶ看護英語）』（平野美津子 他著 成美堂 2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 ☑その他（その都度通知する）

授業形態：□グループワーク □プレゼンテーション □タブレット端末の利用

授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求め、評価します。授業外学修時間を確保するための、多読や予備学習・既習事項の練習は必須です。授業中にテキストの音声・動画の視聴・テストの回答、辞書・翻訳ツール・生成AIの使用などのために、電子機器を必携とします。言語使用の実践の場ですから、原則英語で意思疎通を図ります。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《オフィスアワー》

連絡は英語でメールしてください。詳細は初回授業時に説明します。

科目名	ベーシック英語 I	授業科目番号	1116010
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	シラバス確認 運用能力・自己調整能力(現状と目標) (Proficiency, self-regulation, memory and learning)	シラバスに沿って目的・目標・評価方法・クラスルール等を確認する。 運用能力の確認(CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、シャドーイング・音読評価)と学習分析と達成目標の設定 学習と記憶、多読活動の説明 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週) 課題①	川崎真理子
2	施設 (Patient, hospital)	多読 Chapter 1 Welcoming a Patient 位置を示す表現/施設 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
3	施設 (Patient, hospital)	多読 Chapter 1 Welcoming a Patient 位置を示す表現/施設 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
4	機器 (Vital sign, measurement)	多読 Chapter 2 Taking Vital Signs バイタルを測る機器類/看護物品 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
5	機器 (Vital sign, measurement)	多読 Chapter 2 Taking Vital Signs バイタルを測る機器類/看護物品 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週) 課題②	川崎真理子
6	痛みの問診 (Pain, assessment)	多読 Chapter 3 Pain Assessment 痛みを表す表現/痛みの問診術 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
7	痛みの問診 (Pain, assessment)	多読 Chapter 3 Pain Assessment 痛みを表す表現/痛みの問診術 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
8	症状 (Symptom)	多読 Chapter 4 Feeling So Sick! 症状チェック表/様々な症状 授業外学習:多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子

科目名	ベーシック英語Ⅰ	授業科目番号	1116010
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	症状 (Symptom)	多読 Chapter 4 Feeling So Sick! 症状チェック表/様々な症状 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
10	体位や動き (Position, movement transfer)	多読 Chapter 5 Transferring a Patient 体位/動きの表現 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
11	診療科と検査 (Department, examination)	多読 Chapter 6 Medical Departments 診療科と専門医/検査のための表現 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
12	まとめ 医療英語と医学英文 (Medical reading, scanning, retelling)	Chapter 7 Review & Medical Terminology ここまでのまとめと医学英語について Chapter 14 Review & Medical Reading まとめと医学英文読解 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週) 課題③	川崎真理子
13	日常生活援助 (Personal care, assistance, support)	多読 Chapter 8 Personal Care 身だしなみ用具/日常生活援助表現 医学・看護関係英文記事等の確認 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
14	Nurse Talk Roleplay	多読 Practice: Roleplay 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/週)	川崎真理子
15	まとめ 学術記事 発表 (Proficiency, metacognition, reflection)	運用能力の確認(CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、多読成果測定、シャドーイング・音読評価) 目標達成度自己評価 授業外学習: 多読(5分/日、30分/週)	川崎真理子

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と文化》

科目名	中国語			授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	十数年間、新潟県内の中国語講師や大学で中国語講座の講師経験がある。				
実務経験を 活かした 教育内容	幅広い年齢層の中国語学習者に接したことで、大学生にとって一番良い教授法の模索ができた。学生を主体にし、自主的な勉強ができるようにする。自己紹介を含む完璧な発音練習を一人ひとりに定着させる。また、学生が基礎を理解した上、短い文を作ってもらったため繰り返し練習をさせる。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である中国の文化の理解と教養を養う。具体的には、中国語がどのような言語であるのかをまず学ぶ。そのうえで、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。中国文化を理解するために、テーマを設定して調べ学習をする。言語の基本を学ぶこととともに、中国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

中国語の基礎をしっかりと身につけ、各自が自習できる程度に達するように。中国の文化及び現状に触れ、日中文化に対して考えるようになり、日本の社会に役立つ人間づくりに努める。自信がつくられ、より魅力的な人間を目指す。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

定期試験60％ 提出物20％ 授業態度20％

《テキスト》

『LOVE！上海 初級中国語』（楊凱栄・張麗群著 朝日出版社 2015年）

《参考図書》

特になし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑次回講義時に返却

授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク

テキスト購入を必須の要件とする。

授業後、教材についているCDを繰り返し聞くこと。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	中国と中国語について 発音 1 と自己紹介 キーワード (中国語の基礎)	中国について。中国語はどういう言語か 声調、単母音、子音を繰り返し発音し、一人ひとりに気を配り、自分の名前の読み方を覚え、自己紹介をできるように。練習問題も出す、提出が必要。 予習(15)分：(ネットで中国語について調べておく) 復習(20)分：(自分の名前の中国語読みを練習し、教材についているCDの「発音1」を繰り返し聞く)	白 雪晴
2	中国の現状など 発音 2 とあいさつ キーワード (中国語で自己紹介)	中国の最新ニュース 1回目の勉強内容を復習してから、母音の半分を進む。簡単な挨拶の勉強。練習問題を出して、ピンインや簡体字を書いてもらう。提出が必要。 予習(20)分：(提出物への見直し) 復習(20)分：(自分の名前の中国語読みを練習し、教材についているCDを繰り返し聞く)	白 雪晴
3	中国の旧暦の祝日 発音 3 キーワード (発音に慣れる)	中国の旧暦は何か 1回目と2回目の内容を復習し、母音を全部マスターする。これで中国語のピンインが完了 練習問題を出して、授業中完成してもらう。 予習(20)分：(提出物を整理する) 復習(20)分：(教材についているCDの「発音2・3」を繰り返し聞く)	白 雪晴
4	中国の新暦の祝日 発音 4 中国語発音のルール キーワード (ピンイン入力)	婦人の日、教師の日など ピンインの復習 第三声の変調、「一」「不」の変調、轻声、r化、これで中国語のピンインが完了 練習問題 予習(20)分：(教材についているCDの「発音4」を繰り返し聞く) 復習(20)分：(ピンイン入力の練習)	白 雪晴
5	中国の句の話す 第1課 動詞述語文 キーワード (少し長い文の発音練習)	判断する動詞「～是～」 人称代名詞 動詞の「姓」「叫」、名前の言い方 「吗」疑問文 練習問題 予習(20)分：(提出物をまとめる) 復習(20)分：(教材についているCDの「第1課」を繰り返し聞く)	白 雪晴
6	中国の新語 第2課 助動詞の「想」 キーワード (基本文法)	「の」に相当する「的」 指示代名詞 動詞の「在」 疑問詞疑問文 練習問題 予習(20)分：(ピンイン入力の練習としてネットで中国語について検索) 復習(20)分：(CDの「第2課」を聞く)	白 雪晴
7	中国の若者文化 第3課 形容詞述語文 キーワード (基本的な順番)	動詞の「在」 数の数え方 量詞「二」「両」 練習問題 予習(20)分：(今まで出てきた単語をまとめて復習する) 復習(20)分：(教材についているCDの第3課を繰り返し聞く)	白 雪晴
8	中国の職業事情 第4課 連動文 キーワード (動詞)	動詞の「有」、その否定「没有」 時間量の言い方 練習問題 予習(20)分：(練習問題を見直す) 復習(20)分：(CDの「第4課」を聞く)	白 雪晴

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	中国の世界遺産 第5課 疑問詞 キーワード (副詞)	中国のお金の単位 「也」と「都」 「～が好きです」の「喜欢」 練習問題 予習(20)分：(提出物を整理する) 復習(20)分：(CDの「第5課」を聞く)	白 雪晴
10	中国映画鑑賞 第6課 「怎么」の2つの使 い方 キーワード (動詞を重ねる)	助動詞「想」 動詞の重ね型 年齢の言い方 練習問題 予習(20)分：(各本文を訳す) 復習(20)分：(CDの「第6課」を聞く)	白 雪晴
11	中国のなぞなぞを使用 第7課 副詞と前置詞 キーワード (前置詞)	「也」と「都」 年月日、曜日の言い方 2つの否定「不」と「没」 「在」の動詞、前置詞の違い 練習問題 予習(20)分：(今まで出た副詞をまとめる) 復習(20)分：(CDの「第7課」を聞く)	白 雪晴
12	中国の早口言葉練習 第8課 反復疑問文 キーワード (動詞に関するルール)	動詞文と助動詞入る文の反復疑問文 実現した「了」「動詞+过」 動詞の重ね型 時刻の言い方 予習(20)分：(今まで出た動詞をまとめる) 復習(20)分：(CDの「第8課」を聞く)	白 雪晴
13	中国の飲食文化 第9課 進行形の3つの形 キーワード (連動文)	選択疑問文の「～还是～」 連動文 副詞の「还」 練習問題 予習(20)分：(今まで出た名詞をまとめ) 復習(20)分：(CDの「第9課」を聞く)	白 雪晴
14	中国の酒文化 第10課 動詞の持続形 キーワード (助動詞)	主題文 方位詞 3つのできる。「会」「能」「可以」 練習問題 予習(20)分：(今まで出た形容詞をまとめ) 復習(20)分：(CDの「第10課」を聞く)	白 雪晴
15	まとめと復習 キーワード (試験対策)	練習問題をする 予習(20)分：(今まで出た前置詞をまとめ) 復習(60)分：(試験前の復習)	白 雪晴

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と文化》

科目名	日本語表現			授業科目番号	1116030
担当者氏名	渡部 洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

論理的な文章を演繹的に読解する力、社会生活で必要となる日本語を的確に運用・表現できる力を習得する。
評論や論説などを読解し、文章の構成や展開を把握し、各意味段落の役割を基に文の意味を演繹的に理解し、語や表現の意味を考える。また、主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法と社会生活に必要不可欠な現代敬語を口語表現中心に修得し、文章表現に応用する力を養う。

《授業の到達目標》

日本語の表現構造を踏まえ、ポイントを押さえた文章要約法について学ぶとともに、理解と表現の相互関係についても探求を深める。また、平易な文章題を読み、論理的に思考しながら、その解に至る道筋を理解し、どのような解き方をすれば妥当性のある答えを導けるのかについて主体的に考えられることを目標とする。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

定期試験40%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度20%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にするべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（ある場合には、当該の授業時間内に返却）
授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	日本語表現	授業科目番号	1116030
担当者氏名	渡部 洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	日本語の統語的構造とその特質 キーワード (文の構成)	私たちが用いる日本語にはどのような特徴があるのか、その成り立ちについて、特に文の構成という観点から理解を深めます。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
2	評論文の特徴と筆者の主張 キーワード (主張の組み立て)	評論文における筆者の主張とは何か、また、それはどのような手法に基づいて文章内に展開されているのかを実際の文章を読み解くことで理解します。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
3	説明文における実験の手順と説明の論理 キーワード (実験観察型説明文の論理)	説明文には、実験や観察したことに基づいて書かれている科学的な文章群が存在します。そこに書かれている実験の順番や観察の条件を変えるとどのようなことが起こるのか、実際に確かめてみましょう。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
4	疑問詞及び逆接の接続詞に着目した文章要約法 キーワード (長文の要点を短時間で把握する方法)	ある特徴を持った説明文は、3つの観点に着目することで容易に文章の骨子を把握することができます。ここではそれを検討します。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
5	文学的文章を読み解く視点 キーワード (物語文法)	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
6	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	星新一のショートショートを使います。どのようなテクニックが文章内に隠されているのかを探ります。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
7	これまでに学んだことを踏まえて、実際の文章題などを解いてみましょう。	様々な表現の文章題を例にとり、これまで学んだことがどのような点で役に立つのかを実際に試してみます。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語表現」で学んだ文章構造や日本語の論理性、書き手の工夫などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。 予習()分:() 復習()分:()	渡部洋一郎

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と科学》

科目名	情報リテラシー			授業科目番号	1117010
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○3-1 地域のネットワークを共有する力, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

本科目は、情報を適切に活用できる基礎的知識やスキルを習得することを目的とし、情報の収集・整理・保管・表現に関する活用力を身に付ける。具体的には、テキストとデジタル教材を併用し、以下にあげる内容の授業を行う。

・インターネット等を使った情報検索、・情報通信機器上で適切にファイルを整理し保管する方法、・文章を分かり易くまとめる方法、情報を視覚的に表す方法、・プレゼンテーションを効果的に行う方法、分かり易い資料の作成方法等

《授業の到達目標》

知識・技能の観点：(1)適切なツールを使って効率良く情報を集めることができる。(2)情報を使いやすく整理・管理することができる。(3)適切なツールを使ってプレゼンテーション資料やビジネス文書の作成を行うことができる。思考・判断・表現の観点：(4)集めた情報を検証することができる。(5)情報を必要に応じて適切に活用することができる。主体性・協働性の観点：(6)分かりやすい表現で、情報を他者に伝え、相手の理解や納得を得ることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

統計分析法

《評価の方法》

プレゼンテーションソフトウェア、文書作成ソフトウェアの演習課題、60-80%、タイピング能力のテスト 10-20%程度 これらの評価は、授業の際の演習への取り組み状況も考慮する。A以上の評定値は、課題への取組状況が良好な者に対して与える。

《テキスト》

『考える 伝える 分かち合う 情報活用力』（noa出版著 ワークアカデミー 2017年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（提出締め切り後に解説 ）

授業形態：■講義形式

予習と復習をしっかり行うこと。課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は単位を与えない。）

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《オフィスアワー》

科目名	情報リテラシー	授業科目番号	1117010
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス キーワード (windows11 タッチタイピング)	(1)授業の進め方の説明, (2)情報処理室利用の注意事項, (3)スマートフォンセキュリティその1 (DVD視聴), (4)タッチタイピング(美香のタイプレーナ, タイプウェル国語R) 学習方法: 講義、演習 Windowsの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習, 毎日練習(15分), 第11回授業で検定を実施	船津 誠也
2	パソコンの基本操作 キーワード (キーボード操作)	(1)入力装置の基本操作について, (2)ファイルの保存と管理について, (3)プリンタへの出力について, (4)スマートフォンセキュリティその2 (DVD視聴), (5)タイピング練習 学習方法: 講義、演習 Windowsの基本操作について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
3	電子メール キーワード (偽メール、フィッシング)	(1)メールの使い方, (2)情報倫理・セキュリティに関する注意事項, (3)メール利用上の注意事項, (4)スマートフォンセキュリティその3 (DVD視聴), (5)タイピング練習 学習方法: 講義、演習 Windowsの基本操作について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
4	プレゼンテーション1 キーワード (パワーポイント、基本操作)	(1)情報活用力テキスト Section11 プレゼンテーションⅠ, (2)プレゼン資料作成演習第1回 学習方法: 講義、演習 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
5	情報検索 キーワード (web検索、ネット探索)	(1)情報活用力テキスト Section1 情報検索, (2)出発地から目的地までの経路検索 学習方法: 講義、演習 Webブラウザ, Wordの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
6	プレゼンテーション2 キーワード (フォントサイズ、スライド背景)	(1)デザインの基本原則, (2)スライドマスタの利用, (3)プレゼン資料作成演習第2回 学習方法: 講義、演習 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
7	プレゼンテーション3 キーワード (アニメーション、画面切り替え)	(1)情報活用力テキスト Section12 プレゼンテーションⅡ, (2)プレゼン資料作成演習第3回 学習方法: 講義、演習 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
8	プレゼンテーション4 キーワード (資料作成)	(1)情報活用力テキスト Section13 プレゼンテーションⅢ, (2)課題1: PowerPointによる架空の発表資料作成 学習方法: 講義、演習 PowerPointの基本操作について予習しておくこと(60分) PowerPointの基本操作(今回)について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也

科目名	情報リテラシー	授業科目番号	1117010
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	ファイル・データ管理 キーワード (ファイルサイズ、管理方法)	(1)情報活用力テキスト Section6 ファイル・データ管理, (2)タイピング練習 Windowsの基本操作について復習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
10	ワープロ1 キーワード (文章作成)	(1)情報活用力テキスト Section9 文書表現 (文章作成のポイント, 文書の体裁を整える), (2)タイピング練習 学習方法: 講義、演習 Wordの基本操作について予習しておくこと(60分) タイピング練習(15分)	船津 誠也
11	タイピング検定 キーワード (タイピング検定)	(1)タイピング練習, (2)課題2: タイピング検定 学習方法: 演習 タッチタイピングの練習をしておくこと タイピング練習をしておくこと(スムーズにタッチタイピングができるまで)	船津 誠也
12	ワープロ2 キーワード (ビジネス文書、社内文書)	(1)情報活用力テキスト Section9 文書表現 (さまざまな文書), (2)ビジネス文書作成演習 学習方法: 講義、演習 Wordの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
13	ワープロ3 キーワード (ビジネス文書、社外文書)	(1)情報活用力テキスト Section9 文書表現 (さまざまな文書), (2)ビジネス文書作成演習 学習方法: 講義、演習 Wordの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
14	レポート1 キーワード (ネット検索、レポート作成1)	(1)レポートの基本・構成・作成手順, (2)文書作成ドリル第1回 学習方法: 講義、演習 Webブラウザ, Word, Excelの基本操作について予習しておくこと(60分)	船津 誠也
15	レポート2 キーワード (レポート作成2)	(1)文書作成ドリル第2回, (2)課題3: Wordによるレポート作成 学習方法: 講義、演習 Webブラウザ, Word, Excelの基本操作について復習しておくこと(60分)	船津 誠也

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と科学》

科目名	健康スポーツⅠ			授業科目番号	1105030
担当者氏名	奥島 大			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

必要な健康関連知識の理解と身体活動を実践する力の養成を目指す。身体活動の必要性や日本における健康増進施策については、知識を中心に学修を進める。身体活動と身体機能および健康との関連性、実践・評価の内容や、環境面で注意すべき点については、知識と実践を往還しつつ学修を進める。

《授業の到達目標》

1. 日本における健康づくり施策を理解し、身体活動が健康に及ぼす影響について学術的に説明できる。
2. 自身のおかれている環境の中で身体活動を実践する上で注意すべき点について学術的な面から説明でき、実践につなげることができる。
3. 身体活動の実践を通して得られるライフスキルの獲得に繋がる経験を言語化できる。

《先修科目》

特になし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

身体の行動と機能に関する知識に立脚して学修を進める必要があるため、人体の機能と構造Ⅰ～Ⅲとあわせて履修することが望ましい。

《評価の方法》

定期試験：50%（到達目標1～3）

授業内外で与えられた課題の状況（課題については授業内で別途指示する）50%（到達目標1～3）

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

『スポーツ・健康科学概論テキスト 第2版』（森田恭光・島崎あかね 編著，杏林書院，2025）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■次回講義時に返却

授業形態：■講義形式

原則的に毎週配布される授業資料に基づいて授業を展開していくため、理由のない欠席は避けること。
授業内外で与えられた課題については、次の授業時に個別評価する形でフィードバックを行う。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	健康スポーツ I	授業科目番号	1105030
担当者氏名	奥島 大		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	身体活動の必要性・日本における健康づくり施策の変遷 キーワード (健康日本21・身体活動・健康寿命)	学習者が当該科目を理解する必要性を認識するための基盤を作る。同時に、日本における健康づくり施策の変遷とそれらが必要である学術的背景について理解する。 【予習】(30分): 健康に関わる日本の施策について情報を収集する 【復習】(90分): 身体活動の必要性について、自身の将来と国民の健康に関連する問題を考慮しながら自身の言葉でまとめる。	奥島 大
2	実際の身体活動と関連する身体機能について キーワード (筋力・持久力・神経機能)	第1回の授業を踏まえて、様々な身体活動を実施し、身体活動に必要なとなるヒトの身体機能について実体験を通して理解する。 【予習】(30分): 身体活動に関わる身体機能について情報を収集する 【復習】(90分): 実際の身体活動経験を踏まえて、身体活動のパフォーマンスと関連する身体機能について自身の言葉でまとめる	奥島 大
3	適切な運動を行う上の準備・身体活動の定量化と背景知識 キーワード (ウォーミングアップ・クールダウン・METS)	健康づくりを考えた適度な運動を実践するために必要な知識について、主たる運動の前後に行うべき内容、および身体活動を定量化する方法を中心に理解する。 【予習】(30分): 運動前後に普段実践している内容をまとめる 【復習】(90分): 学んだ内容に基づいて、これまで自身の運動前後に実践してきた内容を評価する	奥島 大
4	ウォーミングアップ・クールダウンの実践と身体活動 キーワード (スポーツ活動・柔軟運動・循環機能)	第3回の授業を踏まえて、ウォーミングアップやクールダウンを実践することが運動に及ぼす影響について実体験を通して理解する。 【予習】(30分): 運動実施前後に行うべきウォーミングアップ・クールダウンについて具体的内容を考える 【復習】(90分): 実践したウォーミングアップ・クールダウンの効果について気がついた点を自身の言葉でまとめる	奥島 大
5	種々の身体活動が健康に及ぼす影響、健康に影響を及ぼす他の要因 キーワード (生活習慣病・フレイル・健康関連体力)	様々な身体活動が人の健康に及ぼす影響について理解する。また、身体活動の習慣化による波及効果が期待できる様々な内容についても合わせて理解する。 【予習】(30分): 身体活動が健康に及ぼす影響について情報を収集する 【復習】(90分): 身体活動を自身の生活の中に取り入れるとしたらどのような時間帯や方法が現実であるか自身の言葉でまとめる	奥島 大
6	健康への効果が期待できる身体活動の実践 キーワード (運動処方・FITT・プラス10)	第5回の授業内容を踏まえて、健康への効果が期待できるとされている様々な身体活動を自ら経験し、その特徴について理解する。 【予習】(30分): 健康への効果が期待できる身体活動の内容について情報を収集する 【復習】(90分): 自らの体験を通して、健康への効果が期待できる運動が持つ特性や、実施上の注意点について、自らの言葉でまとめる	奥島 大
7	環境と運動 キーワード (暑熱環境・水中環境・高所環境)	日本には四季や標高差があり、安全に身体活動を遂行する上で留意するべき環境条件が存在する。健康の維持・増進を考えた身体活動を実践する上で留意するべき環境と運動の関連性について理解する。 【予習】(30分): 日本で発生した環境が原因となる運動中の事故について情報を収集する 【復習】(90分): 現状の環境下で自身が身体活動を実践する際に、留意するべき環境条件とその対処法についてまとめる	奥島 大
8	実施環境を考慮した身体活動の実践 キーワード (室内環境・体温調節・熱中症)	第7回の授業を踏まえて、実施環境による体調の変化が実際の運動に及ぼす影響について実体験を通して考える。 【予習】(30分): 本学の運動実施環境とその特徴について情報を収集する 【復習】(90分): 実際に本学の運動実施環境を活用した運動を行う際に気を付けるべき点や、自身とは異なる身体的特性を持つ者が同一の環境で運動を実施する際に注意するべき点について自身の言葉でまとめる	奥島 大

科目名	基礎ゼミナール			授業科目番号	1117020
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	各教員はそれぞれの専門分野において、教育・研究の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	本科目は実務経験のある教員と実務経験のない教員によるオムニバス授業である。実務経験のある教員からは実務経験に則した知識等を得ることができる。視座を高め学際的研究心を育む授業である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎4-1 看護学を探究する意欲, ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

大学生生活の入門として、基本的な知的探究技術であるアカデミックスキルズを修得し、生涯にわたって学習活動が継続できる基礎的能力を養う。

ノートテイキングの技法や、情報収集の基礎として図書館とデータベースの使用方法、クリティカルシンキングの手法を学ぶ。

ゼミナール形式で、選択される課題（テーマ）について、全員参加で討議・調査・相談・報告（発表）を積み重ねていく。学生同士や教員との人間的交流を通して、個性を尊重した関係を確立し、学的探究心を育む。

《授業の到達目標》

1. 大学の授業を受ける際の基本であるノートテイキング、情報収集の方法を身につけ、課題レポートを作成することができる。
2. 幅広いテーマに関心をもち、自ら探究するための文献の調べ方、活用の仕方を身につけることができる。
3. グループメンバーと協同して調べ学習を行い、他者との意見交換ができる。
4. 学習成果を他者に分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる。
5. 学習成果をレポートにまとめることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目で学習するソーシャルスキル、アカデミックスキル、ゼミナールでの討論は、全て科目の基礎的能力となる。

《評価の方法》

講義：レポート40%（達成目標1）
ゼミナール：評価表に基づく。レポート30%（達成目標2、5）、ゼミナール貢献度15%（達成目標3）
プレゼンテーション15%（達成目標4）

《テキスト》

『大学生学びのハンドブック 6訂版』（世界思想社編集部編 世界思想社 2024年）
『フレッシュマンセミナーテキスト第3版』（初年次教育テキスト編集委員会編 東京電機大学出版局 2024年）
『看護学生のためのよくわかる大学での学び方 第3版』（梶谷佳子、河原宣子 監修 金芳堂 2026年）

《参考図書》

各教員より適宜、紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（ 担当教員による ）
授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション

《備考》

《オフィスアワー》

船津誠也：
科目担当者：オフィスアワー実施一覧を参照

科目名	基礎ゼミナール	授業科目番号	1117020
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス ソーシャルスキル キーワード (メールの書き方、アポイントの取り方)	授業ガイダンス：授業の進め方、課題 学生生活を送るうえで必要なソーシャルスキルについて学ぶ。 学習方法：講義、授業リフレクションペーパー 予習(30)分：(ソーシャルスキルとは何か、ソーシャルスキルについて調べてくる) 復習(30)分：(ソーシャルスキルについてまとめる)	菅原
2	大学について キーワード (講義、ノート)	大学で何を学ぶか。大学と高校の違い。講義の受け方、文章の読み方等について学ぶ。 学習方法：講義、GW 予習(30)分：(「大学生学びのハンドブック 5訂版」のはじめから25ページまでを読む。) 復習(30)分：(ノートをまとめる、見直す。)	船津
3	情報リテラシーの概要 キーワード (ソーシャルメディア、フェイクニュース)	インターネット社会に必要である、正しく情報を読み解き決定する能力について学ぶ。 学習方法：講義 予習(30)分：(フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】の8-2、8-3を読んでおく) 復習(30)分：(本日のノートをまとめる、見直す。)	船津
4	資料、文献の検索、論理的な考え方 キーワード (CiNii、医中誌など、論理的思考)	資料、文献の検索について学ぶ。合わせてインターネット検索における問題点についても学ぶ。論理的思考の基礎知識を学ぶ。 学習方法：講義、文献検索体験学習 予習(30)分：(大学生学びのハンドブックの第6章、第7章を読む。フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】の9章を読むでおく) 復習(30)分：(本日のノートをまとめる、見直す。)	船津 司書
5	レポートの書き方1 キーワード (レポートとは、レポート作成)	レポート作成の基本について学ぶ。 学習方法：講義 予習(60)分：(大学生学びのハンドブックの第6章、フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】の10章、11章を読んでおく) 復習(30)分：(レポートの書き方についてまとめる。レポートの書き方を理解する。)	船津
6	レポートの書き方2 キーワード (構造的書き方、レポートのルール)	レポートを構造的に書く、レポートのルールについて学ぶ。 学習方法：講義 予習(60)分：(フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】の12章、14章を読んでおく) 復習(30)分：(レポートを書く練習を行なう)	船津
7	アサーティブな表現方法 キーワード (アサーション、コミュニケーションスキル、自己表現)	アサーションに関する基礎知識を学び、アサーティブなコミュニケーションスキルを体験する。 学習方法：講義 予習(45)分：(授業資料に目を通しておく) 復習(45)分：(学んだ内容をまとめる)	板山
8	グループ・ディスカッションに必要なスキルと知識 キーワード (グループ・ディスカッション、協同学習)	グループ・ディスカッションにおける、「基本」、「関係の構築」、「役割」等について学ぶ。 学習方法：講義 予習(45)分：(看護学生のためのよくわかる大学での学び方 第2版 1-7「仲間と学ぶスキル」1-8「ディスカッション・スキル」を読んでおく) 復習(45)分：(学んだ内容をまとめる)	板山

科目名	基礎ゼミナール	授業科目番号	1117020
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	クリティカルシンキングに関する基礎知識1 キーワード (批判的思考、疑問)	間違った推論について学ぶ。 学習方法：講義 予習(60分)：(フレッシュマンセミナーテキスト【第3版】の13章を読んでおく) 課題：(60分)：テーマ「間違った推論についてまとめる」 提出提出規定、提出日時は授業ガイダンス時に伝える。	各教員
10	クリティカルシンキングに関する基礎知識2 キーワード (批判的思考、疑問)	批判的思考力、情報を批判的に吟味し、情報を取捨選択することについて学ぶ。 学習方法：講義、ゼミナール 予習(30分)：(大学生学びのハンドブックの第2章、第3章を読んでおく) 復習(30分)：(学術的な文章の読み方についてまとめる)	各教員
11	グループ調べ学習(1) 「資料の調べ方、読み方、使い方」 キーワード (文献検索、批判的思考)	第3回で学んだことを生かし、実際に資料を読んで内容や疑問・関心をまとめる。提示された資料について関心や疑問を明確にし、それについて情報を収集してみる。 学習方法：ゼミナール(少人数制、具体的な方法は別途説明する) 予習(45分)：(文献検索、図書館の利用に関する資料等を読んでおく) 復習(45分)：(提示された資料について関心や疑問をもったことを明確にし、それについて情報を収集してみる)	各教員
12	グループ調べ学習(2)「テーマを決める」 キーワード (拡散的思考、ブレインストーミング)	調べた文献の内容をもとに、自己の関心について紹介し合う。グループ内でテーマに関して討議(拡散的思考)し、グループとしての調べ学習のテーマを検討する。決定したテーマに沿って、文献等を用いてさらに調べる。 学習方法：ゼミナール 予習(45分)：(調べた文献を読み、各自が要点等を整理しておく) 復習(45分)：(文献を検索し、テーマに関連した内容についてグループで調べる)	各教員
13	グループ調べ学習(3) 「議論を深める」 キーワード (ディスカッション)	各自で調べた内容を報告し合い、グループディスカッションを通して議論を深める。 学習方法：ゼミナール 予習(45分)：(テーマについて調べた内容をグループメンバーに報告できるように各自でまとめておく) 復習(45分)：(グループで分担し調べ学習を継続する)	各教員
14	グループ調べ学習(4) 「議論をまとめる」 キーワード (要約、レジュメ)	テーマの目的にそってグループの議論をまとめ、発表資料として要約(レジュメ)を作成する。 学習方法：ゼミナール 予習(45分)：(講読した文献の内容を整理し、自身の考えまとめておく) 課題(60分)：協力して発表資料(レジュメ)を完成させ、期限までに提出する 提出規程、提出期日は授業ガイダンス時に伝える。	各教員
15	グループ調べ学習(5) 「成果を伝え合う」 キーワード (成果発表、プレゼンテーション)	グループでの調べ学習の成果を発表し合う。他のグループのテーマに関心をもち、相互評価を行うとともに質疑応答による意見交換を行うことで学習を深める。 学習方法：プレゼンテーション、自他評価 授業リフレクション 予習(45分)：(発表に向けてグループ内で役割を決め、練習しておく) 復習(45分)：(他グループのテーマに関して気になったことを自分で調べる)	各教員

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と社会》

科目名	地域活動論	授業科目番号	1103010
担当者氏名	平澤 則子	実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として保健所勤務の経験を有する。		
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして地域の健康課題の明確化、課題解決のための地域組織活動・ボランティア活動など実践的に教育する科目である。		
授業方法	講義	単位	1単位
必・選	選択	開講年次	1年
		時間	15時間
		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎3-1 地域のネットワークを共有する力、 ○5-2 地域社会に貢献する態度		

《授業の概要》

市民としての社会的責任に関する態度や素養を養成するとともに、大学生活でも社会生活においても、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を育む。つまり、自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を涵養する。具体的には、地域貢献活動の意義や役割を知り、その後、自らができることを考察する。地域活動に関する理解を深めるとともに、参画意識を高め、積極的に地域貢献できる力を育む。

《授業の到達目標》

1. 地域活動やボランティアの基礎知識・現状・課題及び社会的役割が理解できる。
2. 地域活動に興味を持ち参加する心構えを理解する。
3. 「地域の課題」を見つけ、自らが「地域活動」を立ち上げ、「社会貢献」したいことを企画できる。
4. 授業内容を通して、地域活動への参加意識を高め積極的に参加する態度を養う。
5. 授業内容を通して、看護職の倫理綱領の中にもある「ウェルビーイング」について考えることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域包括ケア論と関連づけて地域特性や住民の暮らしを考究する科目である。長岡市民生活交流実習に向けて地域の理解・コミュニケーション力を向上させるための基礎知識を習得することを目指す。

《評価の方法》

レポート作成 40%（到達目標1.3.4）
確認テスト 60%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『テキスト市民活動論』（社会福祉法人大阪ボランティア協会編 社会福祉法人大阪ボランティア協会 2017年）
その他随時授業で紹介

《参考図書》

なし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □タブレット端末の利用 □教育リソースの利用（社会福祉法人大阪ボランティア協会、全国社会福祉協議会、厚生労働省）

各回の授業で次回までの課題を提示するが、準備して臨むこと。課題レポート（地域活動計画の立案）はグループでプレゼンテーションを行い、討議により内容を深める。課題レポートの提出は授業終了後、指定日を提示する。後期授業時に返却する。

《備考》

《オフィスアワー》

平澤則子：毎週火曜日10：00～15：00（実習期間中で不在の場合はhirasawa-n@sutoku-u.ac.jpへ）

科目名	地域活動論	授業科目番号	1103010
担当者氏名	平澤 則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション キーワード 「社会が変われば社会保障も変わる」	授業の概要と目的の説明。地域活動とは、地域社会が求めているものを考える。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(20分) (日本の将来の社会(人口8000万人)を想像してみる) 復習(40分) (新潟県の地理的概況を理解する(ワークシート1頁)) 自分のボランティア体験をレポートにまとめる(ワークシート2頁))	平澤 則子
2	ボランティアⅠ キーワード 「ボランティアの歴史と理念」	ボランティアの歴史・背景・理念を理解する。 学習方法：講義 視聴 グループワーク 予習(30分)：テキストp8～30を読み「ボランティア」という単語に対する自分なりにイメージをしておく 復習(30分) (学習内容を振り返り、「ボランティア」を自分なりに説明できる(ワークシート3頁))	平澤 則子
3	ボランティアⅡ キーワード 「ボランティア活動の対象分野」	ボランティア活動の種類と活動の範囲を理解する。 学習方法：講義 視聴 グループワーク 予習(30分)：テキストp36～39を参考に、自分のボランティア体験時の気持ちを思い出しワークシート(3頁)に記載する 復習(30分)：学習内容を振り返り、人はなぜボランティアをするのか説明できる	平澤 則子
4	地域活動Ⅰ キーワード 「社会福祉協議会」 「ボランティアセンター」 「NPO」	ボランティア活動の窓口 社会福祉協議会・ボランティアセンター・NPOの機能と役割を理解する。 ボランティア休暇 ボランティア保険について理解する。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (出身地の社会福祉協議会の場所と事業内容を調べる(ワークシート4頁)。テキストp40～53を読む) 復習(30分) (NPOの活動分野と活動の実態を調べ理解を深める)	平澤 則子 特別講師
5	地域活動への参加に向けてⅠ キーワード (地域の課題)	自分の出身地の課題と地域活動を調べ、必要な活動を考え計画する。 学習方法：講義 視聴 タブレット端末の利用 討議 予習(30分) (地域の課題には何があるのかイメージしておく(ワークシート5頁)) 復習(30分) (自分が興味のある活動を理解する。)	平澤 則子
6	地域活動への参加に向けてⅡ キーワード 「社会貢献したいこと」	これまでの授業を振り返り、これからの地域活動への参加に向けて自らが「地域活動」を立ち上げて「社会貢献」したいことを地域活動計画としてまとめる。 学習方法：講義 視聴 タブレット端末の利用 グループワーク 予習(30分) (自分が取り組んでみたい活動をイメージし考えてくる。) 復習(20分) (取り組んでみたい地域活動の計画を考える(ワークシート6頁))	平澤 則子
7	地域活動への参加に向けてⅢ キーワード 「地域活動」 「ウェルビーイング」	地域活動計画のプレゼンテーションと討議を行う。 学習方法：プレゼンテーション グループワーク 講義 予習(30分)：プレゼンテーションの練習を行う(ワークシート6頁)。 復習(20分)：地域活動計画を加筆修正する(ワークシート6頁)。	平澤 則子
8	まとめ キーワード 「住民主体」 「地域活動」 確認テスト	地域活動やボランティアの基礎知識を確認し、現状・課題及び社会的役割を整理する。 学習方法：講義 グループワーク 予習(30分) (これまでに配布された資料とワークシートを読み、学習目標の到達度を自己評価する。) 復習(20分) (夏休みに参加可能な地域活動を調べる。)	平澤 則子

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ			授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血管機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造および機能についての的確に表現できる
2. 臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につけ、平面的な理解にとどまらず、立体的な理解ができる

《先修科目》

ヒトと生物学

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

病理病態学

《評価の方法》

試験 100%：定期試験として、達成度を最終的に評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄 他著 医学書院 2026年）
2. 『2026年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック』（坂井建雄 他編 医学書院 2026年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式

1. 人体の構造と機能（解剖生理学）はみなさん自身が教科書になり得る学問です。人体の構造と機能Ⅰでは、日頃から骨格や筋などを意識的に触れ、触れている骨格筋の作用や支配神経などを意識することが学問の理解深化につながります。
2. 解剖生理学は予習復習が不可欠です。
3. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	人体の構造と機能Ⅰ	授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	解剖生理学のための基礎知識 キーワード (解剖学的正位、器官系)	構造からみた人体、人体の様々な器官 予習(30)分:テキスト p.8 ~ p.27 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
2	解剖生理学のための基礎知識 キーワード (細胞、組織、人体を構成する分子)	素材からみた人体 予習(30)分:テキスト p.27 ~ p.42 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
3	解剖生理学のための基礎知識 キーワード (細胞、組織、人体を構成する分子)	素材からみた人体 予習(30)分:テキスト p.43 ~ p.54 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
4	情報の受容と処理 キーワード (中枢神経と末梢神経)	神経系の構造と機能、脊髄と脳 予習(30)分:テキスト p.358 ~ p.371 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
5	情報の受容と処理 キーワード (中枢神経と末梢神経)	脊髄と脳、脊髄神経と脳神経 予習(30)分:テキスト p.371 ~ p.383 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
6	情報の受容と処理 キーワード (運動と体性感覚の伝導路)	脊髄神経と脳神経、運動機能と下行伝導路、体性感覚と上行伝導路 予習(30)分:テキスト p.383 ~ p.396 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
7	情報の受容と処理 キーワード (特殊感覚)	眼の構造と視覚 予習(30)分:テキスト p.396 ~ p.407 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
8	情報の受容と処理 キーワード (特殊感覚)	耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚、痛み(疼痛) 予習(30)分:テキスト p.408 ~ p.420 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

科目名	人体の構造と機能Ⅰ	授業科目番号	2208010
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	情報の受容と処理 キーワード (脳の高次機能)	脳の統合機能 予習(30)分:テキスト p.420 ~ p.432 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
10	情報の受容と処理 キーワード (自律神経)	自律神経による調節 予習(30)分:テキスト p.240 ~ p.249 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
11	身体の支持と運動 キーワード (骨と関節の構造)	骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋 予習(30)分:テキスト p.282 ~ p.296 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
12	身体の支持と運動 キーワード (骨格と筋の種類と機能)	体幹の骨格と筋、上肢の骨格と筋 予習(30)分:テキスト p.296 ~ p.309 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
13	身体の支持と運動 キーワード (骨格と筋の種類と機能)	上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋 予習(30)分:テキスト p.310 ~ p.323 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
14	身体の支持と運動 キーワード (骨格と筋の種類と機能)	下肢の骨格と筋、頭頸部の骨格と筋 予習(30)分:テキスト p.324 ~ p.339 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
15	身体の支持と運動 キーワード (筋収縮)	筋の収縮、運動と代謝 予習(30)分:テキスト p.339 ~ p.355 復習(30)分:1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅱ			授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 人体の正常構造と機能を理解し、人体の構造および機能についての的確に表現できる
2. 臨床医学の修得に必要な解剖生理学に関する基礎学力を身につけ、平面的な理解にとどまらず、立体的な理解ができる

《先修科目》

人体の構造と機能Ⅰ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

病理病態学

《評価の方法》

試験 100%：定期試験として、達成度を最終的に評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄 他著 医学書院 2026年）
2. 『2026年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック』（坂井建雄 他編 医学書院 2026年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式

1. 人体の構造と機能（解剖生理学）はみなさん自身が教科書になり得る学問です。人体の構造と機能Ⅱでは、日頃から自分の体の状態を意識し、生命活動を維持する構造と機能にを学問の理解深化につながります。
2. 解剖生理学は予習復習が不可欠です。
3. 講義中の私語は慎んでください。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	人体の構造と機能 II	授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	栄養の消化と吸収 キーワード (消化器系の構造と機能)	口・咽頭・食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能 予習(30)分: テキスト p.56 ~ p.74 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
2	栄養の消化と吸収 キーワード (消化器系の構造と機能)	腹部消化管の構造と機能、膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、腹膜 予習(30)分: テキスト p.75 ~ p.93 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
3	呼吸と血液の働き キーワード (呼吸器系の構造と機能)	呼吸器の構造、呼吸 予習(30)分: テキスト p.96 ~ p.112 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
4	呼吸と血液の働き キーワード (呼吸器系の構造と機能)	呼吸、血液 予習(30)分: テキスト p.113 ~ p.130 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
5	呼吸と血液の働き キーワード (呼吸器系の構造と機能)	血液 予習(30)分: テキスト p.131 ~ p.148 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
6	血液の循環とその調節 キーワード (循環器系の構造と機能)	循環器系の構成、心臓の構造、心臓の拍出機能 予習(30)分: テキスト p.150 ~ p.164 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
7	血液の循環とその調節 キーワード (循環器系の構造と機能)	心臓の拍出機能、末梢循環系の構造 予習(30)分: テキスト p.165 ~ p.179 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
8	血液の循環とその調節 キーワード (循環器系の構造と機能)	末梢循環系の構造、血液の循環の調節 予習(30)分: テキスト p.180 ~ p.194 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

科目名	人体の構造と機能 II	授業科目番号	2208020
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	血液の循環とその調節 キーワード (循環器系の構造と機能)	血液の循環の調節、リンパとリンパ管 予習(30)分: テキスト p.195 ~ p.208 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
10	体液の調節と尿の生成 キーワード (泌尿器系の構造と機能)	腎臓 予習(30)分: テキスト p.210 ~ p.219 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
11	体液の調節と尿の生成 キーワード (泌尿器系の構造と機能)	腎臓、排泄路、体液の調節 予習(30)分: テキスト p.220 ~ p.237, p.514 ~ p.515 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
12	生殖・発生と老化のしくみ キーワード (生殖系系の構造と機能)	男性生殖器、女性生殖器、受精と胎児の発生 予習(30)分: テキスト p.460 ~ p.479 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
13	生殖・発生と老化のしくみ キーワード (生殖系系の構造と機能)	受精と胎児の発生、成長と老化 予習(30)分: テキスト p.480 ~ p.499 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
14	内臓機能の調節 キーワード (内分泌系の構造と機能)	内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞、ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際 予習(30)分: テキスト p.249 ~ p.280 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男
15	身体機能の防御と適応 キーワード (免疫系の構造と機能)	皮膚の構造と機能、成体の防御機構、体温とその調節 予習(30)分: テキスト p.434 ~ p.457 復習(30)分: 1. 講義を振り返り、理解に至らなかった箇所について調べ、理解する 2. ワークブックおよび配布プリントの問題を解き、知識の定着を図る	堀江 正男

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	チーム医療論			授業科目番号	2311090
担当者氏名	青柳 直樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師、看護管理者として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	看護師と看護管理者としての実務経験を活かし、病院や地域におけるチーム医療、チームでのアプローチについて学習する。多職種連携によるチーム医療の目的や方法をはじめ、事例を通して看護職の役割について学習する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎3-2 多職種と連携・協働する力、◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。チーム医療の概念、及び医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と他職種との関係を学ぶ。次に、対象や家族中心の多職種連携の考え方、臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び他職種との協働の中で看護職としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。地域におけるチーム医療においての現状と課題について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 保健医療分野での多職種連携の重要性を学び、チーム医療における看護職の役割を説明できる。
2. 保健医療現場における多職種間コミュニケーションについて説明できる。
3. 多職種連携場面における看護職の役割について主体的に考えることができる。

《先修科目》

1年次前期科目の為なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

1年次の看護初学者が看護学について学習する専門教養科目の科目の一つである。2年次以降の専門科目を学習する基礎となる科目であり、看護職が患者中心のケアを提供する上で必要となる多職種連携、多職種協働について学ぶ科目である。

《評価の方法》

①授業に関する学習態度、課題提出状況10%：授業中の発言、態度、課題提出状況（到達目標1,2,3） ②事後課題50%：A4用紙、800字程度（到達目標1,2,3） ③課題レポート40%：A4用紙、1200字程度（到達目標3）

《テキスト》

『「チーム医療」とは何か 第2版』（細田満和子著 日本看護協会出版会 2023年）

《参考図書》

『新しいチーム医療 改訂版』（田村由美編著 看護の科学社 2018年）
『チーム医療と看護 増補版』（川島みどり著 看護の科学社 2016年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■グループワーク ■教育リソースの利用（ 利用リソース名 ： google classroom ）

・本講義ではチーム医療の理念を実現するため、授業においては学生の皆さんの意見を確認し、自ら考える主体的授業への参加を望みます。

《備考》

本授業では、Google classroomを活用します。大学メールアドレス（@m.sutoku）からログインできるよう準備してください。
事後課題1～5、課題レポートについては、形式・提出期限等、別途説明する。

《オフィスアワー》

青柳直樹：毎週木曜日11：00～14：00（学外業務、実習期間中で不在の場合は、aoyagi-n@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	チーム医療論	授業科目番号	2311090
担当者氏名	青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	チーム医療とは (医療法、病院、医療関係職種、チーム医療)	・医療法に基づく医療の形の変化 ・医療関係職種の誕生(身分法、国家資格化) ・チーム医療はどう変化してきたのか ・チーム医療を支える制度(もの) (予習)(30分) PP.2~30を熟読し、まとめる。 (復習)(60分) 【事後課題1】①提出期限:次回講義日17時までにClassroomへ提出、②内容:4つのキーワードについて簡潔にまとめレポートする。	青柳 直樹
2	チーム医療の4つの要素 (専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)	・チーム医療の4つの要素 (専門性志向とは何か、患者思考とは何か、職種構成志向とは何か、協働志向とは何か) (予習)(30分) PP.71~100を熟読し、まとめる。 (復習)(30分) チーム医療における4つの要素について振り返り、受講カードに記載する。	青柳 直樹
3	チーム医療の6つの困難 (専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向)	・チーム医療における4つの要素の相互関係 ・チーム医療の6つの困難 (予習)(30分) PP.101~133を熟読し、まとめる。 (復習)(60分) 【事後課題2】①提出期限:次回講義日17時までにClassroomへ提出、②内容:4つの要素、および相互関係について簡潔にまとめレポートする。	青柳 直樹
4	チーム医療と専門性を高める看護師① (看護職の役割、スペシャリスト、専門看護師、認定看護師、特定行為研修制度、診療看護師(NP)、多職種コミュニケーション)	・ヘルスケアの目的と看護職の役割 ・チーム医療における看護職の役割 ・専門看護師、認定看護師の役割 ・特定行為研修修了者について ・チーム医療と特定看護師制度、NP教育課程 ・チーム医療における多職種コミュニケーション(アサーティブコミュニケーション等) (予習)(30分) PP.31~70を熟読し看護職の役割について考える (復習)(60分) 【事後課題3】①提出期限:次回講義日17時までにClassroomへ提出 ②内容:キーワードについて簡潔にまとめレポートする	青柳 直樹
5	チーム医療を考える (医療問題、チームワーク、院内チーム)	・問題解決策としてのチーム医療 ・医療社会学におけるチーム医療の捉え方 ・病院内におけるチーム医療の実践例(摂食・嚥下サポートチーム、NST、感染対策チーム) (予習)(30分) PP.135~164を熟読する。 (復習)(30分) チーム医療の必要性、期待されることについて受講カードに記載する。	青柳 直樹
6	チーム医療の広がりについて考える (チーム・アプローチ、家族、連携・協働)	・病院と地域、医療従事者間の連携 ・チーム医療の中の患者・家族(患者のチーム医療への参加) ・チーム医療のための方法 (予習)(30分) PP.165~198を熟読し、まとめる。 (復習)(60分) 【事後課題4】①提出期限:次回講義日17時までにClassroomへ提出、②内容:患者・家族のチーム医療への参加について考えレポートする。	青柳 直樹
7	チーム医療からチームアプローチへ (チーム・アプローチ、患者会、当事者団体、チーム医療推進協議会)	・病院でのチーム医療と地域でのチームアプローチ ・患者会・当事者団体の役割と目指すところ ・チーム医療推進協議会が目指すところ (予習)(30分) PP.199~234を熟読し、まとめる。 (復習)(30分) チーム医療とチームアプローチについて考え受講カードに記載する。	青柳 直樹
8	専門職が実践する多職種連携 (認定看護師、専門看護師、多職種連携)	・専門職におけるチームアプローチの実践 (予習)(30分) PP.31~70、135~164、165~198を熟読し、まとめる。 (復習)(60分) 【事後課題5】①提出期限:翌週金曜日17時までにClassroomへ提出、②内容:専門職者のチームアプローチの実践から看護の役割についてレポートする。	青柳 直樹

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論			授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師・看護管理者・看護教育の経験がある。				
実務経験を 活かした 教育内容	看護師としての臨床経験と災害看護、国際看護などの視点で視察や海外支援活動の経験もあるためそのことも含め講義を行う。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度, ○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

学問としての看護学を学修する導入として、看護の概念、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来展望について学ぶ。また、看護の本質を理解し看護学の目的論・対象論・方法論について学び、看護実践の基盤となる自然観・人間観・生活感・健康観・看護観を養う。さらに看護の独自性・専門性について理解し、専門職としての看護の役割を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護の本質をふまえ看護学の形成と発展、看護の目的論・対象論・方法論を理解できる。2. 看護の構成概念（人間・環境・健康・看護）について述べるができる。3. 人間及び健康について社会・自然界との関連で理解できる。4. チーム医療における専門職者の協働について理解できる。5. 看護における倫理の問題と取り組みについて理解できる。6. 看護の提供の仕組みと看護を支える制度について理解できる。

《先修科目》

基礎看護学科目

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

基礎看護学概論はすべての看護教育の基盤となる。なかでも基礎看護学講義演習、基礎看護学実習Ⅰ、看護援助論、基礎看護学実習Ⅱまでを視野にいて、現代における看護の役割と機能も包含する。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1.2.3.4.5.6） 小テスト20%（到達目標2.6）

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学[1] 看護学概論』（茂野香おる 他著 医学書院 2026年）

《参考図書》

患者・家族、看護師による手記

『ナイティンゲール看護覚書 決定版』（ヴィクター・スクレトコヴィッチ 編 医学書院 1998年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法 ☐ その他（授業内に回答を行う）

授業形態：☐ 講義形式 ☐ ディスカッション ☐ グループワーク

授業計画に対応する教科書のページを読んでおくこと。事前に示される課題を学習する。「看護覚え書」、患者・家族、看護師による手記等を購読する。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週火曜日 10：00～15：00（実習期間や演習などで不在な場合には、toyomoto-m@sutoku-u.ac.jp）

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論	授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	基礎看護学の科目体系 看護の責務と広がり 看護の原点 (看護の構造)	科目ガイダンス(学習目的、到達目標、学習方法、受講上の注意、等) 看護の責務と広がり 看護学の学び方 看護とは何か、学生のイメージ (復習) (60分) 看護学概論テキストの目次に目を通し看護学全体の基本内容をつかむ。	樋本まゆみ
2	看護の変遷 (近代看護、現代看護)	近代以前の看護 近代の看護(近代看護の確立、近代日本における看護) 現代の看護(米国における看護の発展と日本の看護) (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
3	看護の本質 (看護の定義)	看護の定義 保健師助産師看護師法上の定義 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
4	看護の理論と実践 (看護理論の分類・変遷)	看護理論とは、看護理論の分類(大理論・中範囲理論・小理論) 看護理論の変遷 看護実践を理論で読み解く (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 「看護覚書」を読み込みナイチンゲールの考え方をつかむ。	樋本まゆみ
5	実践科学としての看護 (コミュニケーション、専門職、エビデンス)	基本的役割(支援者・代弁者、学習支援者、ケア提供者) 患者と看護師のコミュニケーション 看護過程と専門職としての看護 看護技術の科学的検証、エビデンスに基づく看護 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
6	看護の展開と継続性 看護ケアのマネジメント (多職種協働、継続看護)	継続看護、退院支援・退院調整と看護の継続性を担う取り組み 多職種連携・協働における看護 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
7	人々の生活と健康 健康・病気の捉え方 (健康の諸相、ライフスタイル)	健康とは、健康の諸相 国民の健康の全体像、人口統計と出生・死亡、ライフスタイル 健康に影響する要因 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
8	看護の概念枠組み ライフサイクルと健康 (人間、環境、健康、看護)	看護を構成する主要な概念 ①人間 ②環境 ③健康 ④看護 人間の成長・発達の捉え方 ①小児期から成人期 ②老年期 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護学概論	授業科目番号	2311010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	看護の対象とその理解 (統一体、個性、健康障害)	統一体、生活者としての人間、人間の共通性と個性 健康障害をもつ対象の理解 ストレスとコーピング(ホメオスタシスとは、ストレスとは) (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
10	看護における法的側面 看護実践のための教育 (保健師助産師看護師法、看護教育)	看護と法の関わり、看護をめぐる法と制度の枠組み 看護実践の職業的および法的規制(保健師助産師看護師法) 看護教育制度、看護教育の形態 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
11	看護における倫理と価値 看護倫理 看護実践のための基準 (倫理要領、倫理原則、インフォームドコンセント)	医療における倫理の歴史的経緯と看護倫理(倫理原則、職業倫理、ケアリング) 倫理と法律、道徳的ジレンマと倫理的課題(インフォームドコンセント) 倫理的課題への対応、看護実践の基準(看護業務基準 看護職の倫理綱領 指針・ガイドライン) (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
12	保健・医療・福祉システム (保健・医療・福祉)	保健・医療・福祉の概念、保健・医療・福祉サービス提供の場 保健・医療・福祉のチーム、多職種で取り組む地域包括ケアシステム いままでの講義の小テスト20点 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
13	看護サービスに対する評価 医療事故における法的責任 (看護行政)	看護主な関連法規、看護政策 人員配置基準と看護サービスに対する評価、看護サービスの管理 看護のマネジメント・プロセス、医療安全への取り組みと働く人の労働安全 医療事故における法的責任 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
14	国際看護 災害看護の基礎 (国際協力保健活動、災害サイクル)	国際保健・看護とは、国際協力、在留・訪日外国人への看護 災害看護の必要性、災害サイクルに応じた看護 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ
15	これからの看護の課題と展望 (看護組織)	社会のニーズに応える看護学教育、看護の専門性を高める教育 看護の専門職としての看護組織(日本看護協会・日本看護学校協議会・日本看護系大学協議会)国際看護師協会 (予習) (60分) 事前に提示された課題に取り組む。 (復習) (60分) 何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2311110
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、看護実践の構造と看護技術の基礎的な概念及び療養上の世話における基本的な看護技術について指導する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

看護の対象者である人間を生活者としてとらえ、人間にとって日常生活行動の意味を理解する。対象者の生活を支えるための科学的根拠に基づいた看護技術について学ぶ。看護場面に共通する基本技術と基本的な日常生活援助技術の基本的知識について学習する。

《授業の到達目標》

1. 対象者を生活者としてとらえ、看護技術における安全、安楽、科学的根拠の重要性を説明できる。
2. 健康を支える基本技術と日常生活の援助技術について説明できる。
3. 日常生活援助における対象者のプライバシー保護・倫理的配慮の必要性について説明できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は基盤となる看護学概論、人体の構造と機能に並行して開講される。本科目の学習内容は基礎看護援助論Ⅱに必要なである。

《評価の方法》

1. 定期試験80%（到達目標1・2・3）
2. 小テスト10%（到達目標1・2）
3. レポート課題10%（到達目標1・2・3）

《テキスト》

1. 系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ（有田清子 他著 医学書院 2025年 19版）
2. 系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅱ（有田清子 他著 医学書院 2025年 19版）

《参考図書》

『基礎・臨床看護技術 第4版』（任和子 他著 医学書院 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却 ☑次回講義時に返却
授業形態：☑講義形式 ☑グループワーク

《備考》

《オフィスアワー》

ポータルサイトに掲示するオフィスアワー実施一覧を参照してください

科目名	基礎看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2311110
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護技術の概要 感染防止の技術 環境調整技術 キーワード (病床の環境、手指衛生)	ガイダンス、看護技術とは 環境と看護、病床の環境整備 手指衛生：衛生的手洗い 予習(30)分：(テキストを熟読する) 復習(60)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
2	活動・休息援助技術1 キーワード (体位保持・体位変換)	活動と休息、睡眠、ボディメカニクス、各種体位、体位保持、体位変換 予習(30)分：(テキストを熟読する) 復習(60)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
3	活動・休息援助技術2 キーワード (移乗・移送)	車椅子移乗・移送 ストレッチャー移乗・移送 予習(30)分：(テキストを熟読する) 復習(60)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
4	衣生活援助技術 キーワード (寝衣交換)	衣生活 衣生活の援助：病衣の選択、寝衣交換、リネン交換 予習(30)分：(テキストを熟読する) 復習(60)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
5	食事援助技術 キーワード (食事摂取の介助)	食事援助の基礎知識、摂食・嚥下 食事摂取の介助 予習(30)分：(テキストを熟読する) 復習(60)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
6	排泄援助技術 キーワード (床上排泄)	排泄の基礎知識 自然排泄の援助：床上排泄(便器、尿器)、標準予防策 予習(30)分：(テキストを熟読する) 復習(60)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
7	清潔援助技術1 キーワード (入浴・口腔ケア)	看護における清潔とは 清潔の援助：入浴・部分浴・口腔ケア 予習(30)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する) 復習(60)分：(清潔援助技術についてレポートにまとめる)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
8	清潔援助技術2 キーワード (清拭・洗髪)	清潔の援助：清拭・洗髪 予習(30)分：(テキストを熟読し、動画を視聴する) 復習(60)分：(テキストを熟読する)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2311120
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、療養上の世話における基本的な看護技術について実践的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

「基礎看護援助論Ⅰ」を基盤とし、看護の対象者の生活を支えるために必要な看護の基本技術と日常生活援助技術を演習をとおして身につける。演習では患者・看護師のロールプレイを通して、人間の尊厳と援助的人間関係のあり方を関連して捉えられるようにするとともに、患者・看護師双方の安全・安楽を考慮した援助方法を修得する。

《授業の到達目標》

1. 科学的根拠に基づき安全・安楽に看護技術を提供する方法を修得できる。
2. 対象者の尊厳について考え、看護者としての倫理的態度を身につける。
3. 実施した看護技術を振り返り、安全・安楽・自立の視点でよりよい基本技術と日常生活援助技術の方法を探究することができる。

《先修科目》

基礎看護援助論Ⅰ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は、看護学概論、基礎看護援助論Ⅰ、人体の構造と機能の知識に基に学習する演習科目である。

《評価の方法》

1. 技術確認50%（到達目標1・2）
2. 課題レポート50%（到達目標3）

《テキスト》

1. 系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ（有田清子 他著 医学書院 2025年 19版）
2. 系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅱ（有田清子 他著 医学書院 2025年 19版）

《参考図書》

『基礎・臨床看護技術 第4版』（任和子 他著 医学書院 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却

授業形態：☑ディスカッション ☑グループワーク

《備考》

《オフィスアワー》

ポータルサイトに掲示するオフィスアワー一覧を参照してください

科目名	基礎看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2311120
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	感染防止の技術1 キーワード (手指衛生)	科目ガイダンス 衛生的手洗い 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
2	環境調整技術 キーワード (環境整備)	病床の環境整備・ベッドメイキング 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
3	活動・休息援助技術1 キーワード (体位変換)	臥床患者の体位保持・体位変換 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
4	衣生活援助後術 キーワード (寝衣交換)	臥床患者の寝衣交換 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
5	活動・休息援助技術2 キーワード (移乗・移送)	車椅子・ストレッチャーの移乗・移送 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
6	看護技術 キーワード (日常生活援助)	臥床患者のシーツ交換 技術修得確認 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
7	食事援助技術 キーワード (摂食・嚥下)	食事摂取の介助 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
8	清潔援助技術1 キーワード (口腔ケア)	口腔ケア 予習(30)分:(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ

科目名	基礎看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2311120
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	排泄援助技術 キーワード (床上排泄、標準予防策)	床上排泄：便器・尿器 個人防護具の着脱 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
10	看護技術 キーワード (日常生活援助)	技術修得確認 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
11	看護技術 キーワード (日常生活援助)	技術修得確認 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
12	清潔援助技術2 キーワード (清拭)	臥床患者の清拭 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
13	清潔援助技術2 キーワード (清拭)	臥床患者の清拭 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
14	清潔援助技術3 キーワード (洗髪)	臥床患者の洗髪・整容 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ
15	清潔援助技術4 キーワード (足浴)	臥床患者の足浴 予習(30)分：(事前に指示された課題に取り組む) 復習(60)分：(演習の振り返りとセルフトレーニング)	大平富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2311070
担当者氏名	大崎 美奈子、大平 富美、田口 めぐみ、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、病院の組織・機能や看護師の役割について実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度, ○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

病院における看護活動や医療従事者の活動を見学し、看護の対象者の療養環境・生活の理解及び看護の役割について学び、これからの看護学学習への動機づけとなる入門実習である。

《授業の到達目標》

1. 病院の組織・機能について述べることができる。
2. 看護活動および多職種の活動の実際を知り、看護師の役割について述べるができる。
3. 患者と援助的人間関係を築く重要性を理解することができる。
4. 将来の看護師像を描き看護学を学ぶことへの意欲につなげることができる。

《先修科目》

本科目は看護学概論、基礎看護援助論Ⅰ、基礎看護援助論Ⅱを終了後開講される。

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

看護学概論で看護とは何かを学び、基礎看護援助論Ⅰ・基礎看護援助論Ⅱにおいて日常生活援助技術を学び実習に向かう。

《評価の方法》

実習態度、実習内容および実習記録を実習評価表（100％）で評価する。（到達目標1～4）

《テキスト》

特になし

《参考図書》

基礎看護学の授業で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（ 必要時面接 ）

授業形態：□臨地実習

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。 実習要項を熟読して実習に臨むこと。
常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、個人情報保護、安全への配慮等、倫理面の配慮を十分行い実習すること。
実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とする。

《備考》

本科目の単位修得が、基礎看護学実習Ⅱの履修要件である。

《オフィスアワー》

大崎美奈子：A616研究室 osaki-m@sutoku-u.ac.jp
オフィスアワー実施一覧を参照

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2311070
担当者氏名	大崎 美奈子、大平 富美、田口 めぐみ、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	学内実習 (実習前準備・学習確認)	学内実習 実習前準備・学習確認 <予習> (120分) 事前に提示された課題に取り組む <復習> (120分) 実習で学んだ内容を整理する	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
2	臨地実習 (病院オリエンテーション、 院内見学)	1日目 病院オリエンテーション 院内見学 <予習> (120分) 事前に提示された課題に取り組む <復習> (120分) 実習で学んだ内容を整理する	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
3	臨地実習 (看護活動の見学)	2日目 看護活動の見学/学内学習 <予習> (120分) 事前に提示された課題に取り組む <復習> (120分) 実習で学んだ内容を整理する	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
4	臨地実習 (看護活動の見学)	3日目 学内学習/看護活動の見学 <予習> (120分) 事前に提示された課題に取り組む <復習> (120分) 実習で学んだ内容を整理する	大崎美奈子 樋本まゆみ 大平 富美 田口めぐみ 他
5	学内実習 (まとめ)	学内実習 まとめ <予習> (120分) 事前に提示された課題に取り組む <復習> (120分) 実習で学んだ内容を整理し、事故の課題を明確にする	大崎美奈子 大平 富美 田口めぐみ 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域包括ケア論			授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤 則子、永谷 智恵、角山 裕美子、板山 稔			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健所保健師、病院の看護師の経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を活かして、臨床から地域まで生活に視点を置いて対象者を理解することの意義や地域包括ケアの概念について実践的に教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

臨床から地域まで、生活に視点を置いて対象を支援することの意義や地域包括ケアの概念について学ぶ。また日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、臨床から地域までつなぐ移行期ケアや看看連携の意義を考える。そして地域共生社会の実現に向け、母子から高齢者を対象とした包括的支援についてその役割を理解し、今後の課題について考察する。（平澤/5回）
地域包括ケアの概念を学び、日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、移行期ケアや看看連携の意義を考える。（永谷/1回）母子を対象とし、地域共生社会の実現に向けた包括的支援について学び、今後の課題について考察する。（角山/1回）高齢者を対象とし、地域共生社会の実現に向けた包括的支援について学び、今後の課題について考察する。（板山/1回）障害者を対象とし、地域共生社会の実現に向けた包括的支援について学び、今後の課題について考察する。

《授業の到達目標》

1. 地域包括ケアの概念について理解できる。
2. 日本の在宅ケア・医療政策の動向から移行期ケアについて理解できる。
3. 様々なライフサイクル、健康レベルにある人々への地域包括ケアについて理解できる。
4. 地域包括ケアにおける多様な専門職及び地域の人々と連携協働し活動する看護の役割を考えることができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域で生活する人々の暮らしと病気や障害がある人が住み慣れた地域で暮らすことを支える包括ケアの必要性を学ぶことによって、看護の専門性を考える基盤となる科目である。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1・2・3・4）
リアクションペーパー（課題有）30%（教員3人×6点、1人×12点）（到達目標3・4）
定期試験とリアクションペーパーにより目標達成度を最終的に評価する。課題については講義の中で詳細を説明する。

《テキスト》

《参考図書》

1. 『社会保障再考〈地域〉で支える』（菊池馨実、岩波書店、2019）
2. 『よくわかる地域包括ケア』（隅田好美他、ミネルヴァ書房、2019）
3. 『きみのまちに未来はあるか？「根っこ」から地域をつくる』（除本理史・佐無田光、岩波書店、2020）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク

□教育リソースの利用（利用リソース名：埼玉県庁 厚生労働省）

この科目では複数回、リアクションペーパー（課題有）の提出が求められます。事前および事後の学習を行い、計画的に課題に取り組みましょう。人々の健康と生活を守り生活の質を追求する上で、地域包括ケアは重要です。楽しく学びましょう。リアクションペーパーはコメントを付して授業時に返却します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

平澤則子：毎週火曜日10：00～15：00（実習期間中で不在の場合はhirasawa-n@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域包括ケア論	授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤 則子、永谷 智恵、角山 裕美子、板山 稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域包括ケアⅠ キーワード 「健康」「地域看護」「包括的支援」「多職種連携」	地域包括ケアの概念、地域包括ケアを展開していくうえで基盤となる健康の概念、地域で暮らす人々の生活と看護の必要性について学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (「健康とは?」「地域で暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。) 復習(30分) (配布資料を読み、地域包括ケアの概念を確認する。)	平澤 則子
2	地域包括ケアⅡ キーワード 「在宅ケア」「医療政策」	日本の在宅ケア・医療政策の動向を学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (日本人の平均寿命、健康寿命、高齢化率について調べる。) 復習(30分) (配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する。)	平澤 則子
3	地域包括ケアⅢ キーワード 「移行期ケア」「看看連携」	病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて学ぶ。 継続看護と看看連携について学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (検討した事例について振り返り、移行期ケア・継続看護の課題を考える。) 復習(30分) (配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する。)	平澤 則子
4	母子(子育て世代)地域包括支援 キーワード 「生きるを支える子育て支援」「健やか親子21」	母子(子育て世代)地域包括支援(センター)の概要を学ぶ。子育て世代地域包括支援がうまれた背景、すこやか親子21の施策を通して切れ目ない支援の必要性を学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) 日本における出生率の推移、すこやか親子21を調べてくる。 復習(30分) 子育て支援施策について考える。	永谷 智恵
5	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム キーワード 「精神保健医療福祉施策の改革ビジョン」「にも包括」「共生社会」	日本の精神科医療の現状について学ぶ。 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現状と課題について学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) 精神疾患を有する患者数の推移、精神科医療の現状。 復習(30分) 精神に障がいのある人が地域で暮らすための方策を考える。	板山 稔
6	地域包括ケア(長岡モデル) キーワード 「長岡モデル」「小地域完結型」「サポートセンター」	地域包括ケアシステム構築へ向けた取組事例として～小地域での医療・介護・予防・生活支援・住まいの一体的な提供に関する取組～について学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (厚生労働省ホームページで長岡モデルの掲載記事を読む。) 復習(30分) (住んでいる市町村の地域包括ケアシステムと長岡モデルを比較し、地域包括ケアシステムの課題を考える。)	角山裕美子
7	地域包括ケアにおける事例学習	今後も地域で暮らし続けることを希望する事例について、実際の生活を理解し、包括的な支援について考える。 学習方法：講義 視聴 グループワーク(事例検討) 予習(30分) (これまでの配布資料等を読み、学習目標を理解して参加する。) 復習(30分) 配布資料等を見直してわかったことを調べて、学びを定着させる。	平澤 則子
8	これからの地域包括ケア キーワード 「地域完結型」	課題レポートをもとにグループワークを行い、臨床から地域までつながるケアの現状および地域包括ケアの課題について考える。 学習方法：グループワーク プレゼンテーション 予習(60分) (前課題レポートを作成し、持参する。授業後に提出する) テーマ「臨床から地域までつながるケアの現状と課題」1200字程度 復習(30分) (地域包括ケアにおける看護の役割を確認する。)	平澤 則子

科目名	長岡地域生活者交流実習			授業科目番号	2313250
担当者氏名	田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として、病院勤務の実務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	病院の実務経験を活かし、地域で継続して暮らし続けていくための看護職の役割について教授する				
授業方法	実習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎3-1 地域のネットワークを共有する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

全世代型地域包括ケアを実践していく上で入門となる実習である。看護職をめざす学生として、地域で生活する人々との関わりを通して、地域特性（地理、気候、交通、風土等）や人々の暮らしや価値観、地域の社会資源を知り、地域に生活する人々がよりよく暮らすために必要な支援や看護職の役割について考える。

《授業の到達目標》

1. 地域での人々の暮らしの様子、価値観、地域の特性（地理、気候、交通、風土等）、社会資源を知る。2. 異世代の人々と関わる上でのマナーを踏まえて、地域の人々と関わる（コミュニケーションをとる、話を聞く）ことができる。3. 地域に生活する人々がより良く暮らすとはどんな状況なのかを考察することができる。4. 1)～3を踏まえ、地域の人々が地域でより良く暮らし続けていくために必要な保健・医療・福祉分野の看護職が果たす役割を考察することができる。5. 看護学生として責任ある行動がとれる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域包括ケア論、地域活動論で学んだことを基盤とし、地域で生活する人々の暮らしや地域の特性等を知り、住み慣れた地域でより良く暮らすために必要な看護職の役割を学ぶことを目指す科目である。

《評価の方法》

実習態度、実習内容および実習記録を実習評価表（100％）で評価します（到達目標1～5）

《テキスト》

なし

《参考図書》

地域活動論、地域包括ケア論の授業で使用した教科書、資料などを積極的に活用してください。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（後日、返却する）

授業形態：□ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション

本実習に関連したスケジュールにはすべて出席することを原則とします。実習では主体的な姿勢で取り組むことを期待します。実習要項を熟読して実習に臨んでください。常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、個人情報保護、倫理面の配慮を十分に行い、実習を行ってください。実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とします。

《備考》

《オフィスアワー》

田辺生子：毎週水曜日10:40～12:40

その他の教員については、ポータルサイトに提示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	長岡地域生活者交流実習	授業科目番号	2313250
担当者氏名	田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1		1. 実習時間：1週間（1単位30時間） 2. 実習場所：長岡市内のコミュニティセンター 3. 実習内容（実習要項参照）	各担当教員

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	生命倫理学			授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

社会人として、看護職として生命の尊厳を守ることは重要なことである。生命倫理学では、そもそも倫理とは何かを学ぶ。そのうえで、生命倫理学の基礎的概念を学ぶ。具体的には、現代医療の現場で重要な課題となっている生命倫理の諸問題について考察し、倫理的な判断力と倫理的感性を養う。テーマについて調べ学習を行い、グループで討議し、発表する。現代の医療の倫理的課題について、広い視野で問題を考察できるようになるための基礎的科目である。

《授業の到達目標》

当科目では、生命、公平や自由などの基本概念を押さえ、生命倫理学の扱う自己決定権やQOLとSOL等について議論を展開していく。同時に、看護現場で実際に起きた事例を通して倫理的課題について検討し、その文化的・社会的背景について論じる。学習者が看護現場の抱える倫理の諸問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とする。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

定期試験を60%、数回の授業内発言及びプレゼンテーション、そしてリアクションペーパー（10行程度の小レポート）を40%とする。

《テキスト》

購入テキスト（教科書）は指定しないが、参考図書を随時紹介し必要な資料をこちらで準備し配布する。

《参考図書》

『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編 丸善出版 2012年）
『生命倫理学とは何か 一入門から最先端へ』（アラスデア・V・キャンベル 勁草書房 2016年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☒次回講義時に返却
授業形態：☒講義形式 ☒ディスカッション ☒グループワーク ☒プレゼンテーション

《備考》

《オフィスアワー》

毎週、講義終了後（講師室にて）

科目名	生命倫理学	授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション	生命倫理とは何か。英語文化圏でいうバイオエシックスという概念について紹介し、医の倫理との関係に触れながら、生命・自由・公平等の基本概念に関する整理を行う。 予習30分：倫理、道徳、モラルの概念について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
2	健康問題とは何か	健康と病気とは何か。疾病と病との違いとは何か。健康問題に取り組む医療と看護の特徴を踏まえて、現代医療の倫理的問題を整理する。 予習30分：文化や時代によって健康問題に関する考え方が変わり得るかにについて事前に調べる。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
3	生命倫理学の歴史	ナチスドイツによる人体実験やタスキギー事件等を取り上げながら、戦後の医療技術臨床発展を受けて浮上した諸問題とリンクしながら臨床倫理と生命倫理の(学問として)確立のプロセスを追う。ニュールンベルク綱領(1947)、ヘルシンキ宣言(1964)等の基本的な枠組みについて紹介する。 予習30分：第二次世界大戦の歴史について調べておく。 復習30分：講義で学んだ歴史展開について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
4	道徳理論	倫理的規範の形成について論じ、義務とは何か、善人になることとは何かについて考え、兄弟愛と姉妹愛(コミュニタリアニズム)やリベタリアニズムについて紹介する。最後に、これらを踏まえて医療倫理の四原則や看護倫理について整理する。 予習30分：倫理、道徳、モラルの概念について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
5	多様な視点	ジェンダーやフェミニズムといったキーワードを念頭に置きながら、多様な視点から考える倫理・道徳のあり方に注目する。後半は宗教と文化による影響や違いについて論じて確認をする。 予習30分：ジェンダーに関する近年の各国での議論について確認しておく。 復習30分：ジェンダーを通して宗教と文化が倫理・道徳に与える影響について振り返る。	郷堀ヨゼフ
6	権利 キーワード ()	治療選択権と治療拒否権について考える。患者の権利に焦点を当て、パターナリズムやインフォームドコンセントやアドバンスケアプランニング(ACP)等の概念について論じる。また、終末期医療・緩和ケアの事例を中心に延命措置の問題(治療しない、治療を中止する)について考える。 予習30分：厚生労働省の推奨する「人生の会議」について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念と厚労省の枠組みについて整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅：誕生(問題提起)	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に生殖医療(技術)と遺伝子技術について論じ、優生思想について議論する。 予習30分：優生思想について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
8	人生の旅：誕生(検討)	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に人工妊娠中絶について考える。その社会的・文化的背景も考慮しながら、歴史的な展開と現状の両方について論じる。 ※リアクションペーパー提出。 予習30分：妊娠中絶の現状について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ

科目名	生命倫理学	授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	人生の旅：誕生（討論）	生の始まりに関する倫理的な問題を取り上げ、リアクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。 予習30分：ディスカッションに備えて準備しておく。 復習30分：ディスカッションの内容について振り返る。	郷堀ヨゼフ
10	人生の旅：死（問題提起）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、脳死や移植医療の事例を挙げながら死の概念等を押さえる。さらに、脳死判定、死の三徴候、臓器移植について検討しながら、遷延性意識障害と脳死と臓器提供について議論する。 予習30分：脳死の判断基準について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
11	人生の旅：死（検討）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、がん治療、ターミナルケア、ビハラー、スピリチュアルケア、ホスピスケアについて議論する。国内外の事例を挙げながら、延命治療等の倫理的諸問題について考える。 予習30分：ターミナルケアと緩和ケアの概念について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
12	人生の旅：死（討論）	安楽死にフォーカスしながら、諸概念を整理した上で国内外の現状について紹介する。その中で、死ぬ権利、自殺幇助等を取り上げる。 予習30分：安楽死について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
13	人生の旅：死（討論）	安楽死にフォーカスしながら、安楽死と尊厳死の違いを取り上げ、特にその法的枠組みに重点を置いて検討する。優生思想にも注目しながら議論をする。 ※リアクションペーパー提出。 予習30分：尊厳死と自殺幇助について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
14	人生の旅：死（討論）	個人と生命の尊厳を保ちながら、十分な倫理的配慮をするターミナルケア、遺族へのケア（グリーフケア）とそれに伴う課題について取りあげて整理する。仏教的ケア（ビハラー病棟等の実践）について紹介する。 予習30分：ビハラーの概念について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基本概念について整理し振り返る。	郷堀ヨゼフ
15	今日の課題・まとめ	全体の内容を振り返って専門職倫理規範（看護倫理）の土台を成す生命倫理の重要課題を整理する。さらに、今日の社会・医療における倫理的課題を取りあげ、看護師としての対応・課題について整理する。 予習30分：これまで学んできたことを整理し、質問や疑問を準備する。 復習30分：全体について振り返る。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と文化》

科目名	ベーシック英語Ⅱ			授業科目番号	1116020
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	企業通訳・翻訳、在宅翻訳				
実務経験を活かした教育内容	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

国際化する社会の一員として、学際的かつ国際的な研究・職業等の各フィールドで情報の授受を行えるよう4技能の基礎を固めることを目的とし、CEFR-JバンドA2の4技能以上を身につけることを目標とする。幅広いレベル・特性を有する学習者のために、多読多聴と、健康・福祉・医療系のコンテンツをベースとした学習により、あまり親しみのない話題や場面でも、コミュニケーションが図れる運用能力を養成する。

《授業の到達目標》

- ①基本的な英語のしくみを適用し、新規に文を組み立ててコミュニケーションを図ることができる。
- ②やや専門的な内容でも、音声・文字で受信・発信できる。
- ③辞書・翻訳ツール・生成AIを適切に活用して、受発信の精度を確保することができる。
- ④医療・看護関係のまとまりのある話を理解し、課題解決のために、必要な情報を収集して報告することができる。

《先修科目》

ベーシック英語Ⅰ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

「看護に活かすコミュニケーション英語」の基礎となる

《評価の方法》

授業中の協働・英語使用状況10%（①②③）、ベーシック英語Ⅰ既習事項確認テスト10%、ウィークリークイズ20%（①②③）多読30%（①②③）、課題30%（①②③）
 クラスルームで校閲や評価を行う。各評価項目の実施方法および評価指標は別途通知する。

《テキスト》

『Talking with Your Patients in English（アニメで学ぶ看護英語）』（平野美津子 他著 成美堂 2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 ☒ その他（その都度通知する）
 授業形態：□グループワーク □プレゼンテーション □タブレット端末の利用
 授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求め、評価します。授業外学修時間を確保するための、多読や予備学習・既習事項の練習は必須です。授業中にテキストの音声・動画の視聴・テストの回答、辞書・翻訳ツール・生成AIの使用などのために、電子機器を必携とします。言語使用の実践の場ですから、原則英語で意思疎通を図ります。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

看護教諭二種教育課程必修科目

《オフィスアワー》

連絡は英語でメールしてください。詳細は初回授業時に説明します。

科目名	ベーシック英語Ⅱ	授業科目番号	1116020
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	投薬 (Medication, prescription, dose)	多読 Chapter 9 Giving Medication to a Patient 薬剤の種類／投薬指示関連の表現 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎真理子
2	投薬 (Medication, prescription, dose)	多読 Chapter 9 Giving Medication to a Patient 薬剤の種類／投薬指示関連の表現 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週) 課題①	川崎真理子
3	排泄1 (Elimination, bowel movement, urination)	多読 Chapter 10 Elimination (Bowel movement / Urination) 排泄の表現／排尿の仕組み 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎真理子
4	排泄2 (Elimination, bowel movement, urination)	多読 Chapter 10 Elimination (Bowel movement / Urination) 排泄の表現／排尿の仕組み 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎真理子
5	慢性病1 (Chronic)	多読 Chapter 11 Chronic Diseases 患者情報収集／慢性病とは？ 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎真理子
6	慢性病2 (Chronic)	多読 Chapter 11 Chronic Diseases 患者情報収集／慢性病とは？ 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週) 課題②	川崎真理子
7	周手術期1 (Acute, critical, operating)	多読 Chapter 12 Critical Care / Operating Room 救急室で／周手術期看護 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎真理子
8	周手術期2 (Acute, critical, operating)	多読 Chapter 12 Critical Care / Operating Room 救急室で／周手術期看護 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎真理子

科目名	ベーシック英語Ⅱ	授業科目番号	1116020
担当者氏名	川崎 眞理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	出産1 (Pregnancy, delivery)	多読 Chapter 13 Pregnancy Check-up 妊娠初期・中期／陣痛と出産 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎眞理子
10	出産2 (Pregnancy, delivery)	多読 Chapter 13 Pregnancy Check-up 妊娠初期・中期／陣痛と出産 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎眞理子
11	Nurse Talk Roleplay	多読 Practice: Roleplay 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎眞理子
12	Academic(Medical) Reading ・ Writing・Presentation 1	Chapter 14 Review & Medical Reading 医療関係報告を読む Academic Skills 101 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週) 課題③ 医療・健康関係記事について	川崎眞理子
13	Academic Reading・Writing ・ Presentation 2 Guest Speaker Session Planned	Academic Skills 101 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週) 招待スピーカーとのディスカッション予定	川崎眞理子
14	Academic Reading・Writing ・ Presentation 3	Academic Skills 101 授業外学習：多読(5分／日、30分／週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎眞理子
15	Academic Presentation (Proficiency, metacognition, reflection)	運用能力の確認(CEFR-Jレベル評価、語彙サイズ、音読速度、シャドーイング再生率) 目標達成度確認 医療・健康関係記事サマリー発表 授業外学習：多読(5分／日、30分／週) 復習・シャドーイングと音読(30分／週)	川崎眞理子

科目名	韓国語			授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である韓国の文化の理解と教養を養う。具体的には、韓国語の学び方の特徴、韓国語がどのような言語であるかをまず学ぶ。そのうえで、ハングル文字と発音にフォーカスして文字と発音が一致することを修得する。また、簡単なあいさつなどの日常会話を学ぶ。韓国文化を理解するために、韓国の歴史、文化などを講義の中で多数紹介していく。韓国語の基本を学ぶとともに、韓国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

1. 韓国語の文字の読み、書きができる。
2. 入門レベルによる、基礎文法を理解し、簡単なコミュニケーションをとることができる。
3. 韓国の社会と文化を理解することができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目に直接関連する科目は設定されていない。

《評価の方法》

定期試験 60%。（到達目標1. 2. 3）、小テスト 20%。（到達目標1. 3）
学習態度 20% 授業中の発言、態度をもとに評価する。（到達目標の1. 2. 3）

《テキスト》

『最新チャレンジ！韓国語 <第2版>』（阪堂千津子、金 順玉 著 白水社 2024年）

《参考図書》

『楽しく学べる韓国語1』（李 美賢、李 貞旻 著 白水社 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却

授業形態：□講義形式

ペア活動が多いため、学生には積極的に授業へ参加することを求める。また、初めて学ぶ言語であるため、テキストに収録されている音声機能を活用し、学習した単語や文章を朗読することも必要である。授業の理解度を確認するため、小テストを2回程度実施する。小テストの結果は、次の講義時に返却し、解説を行う。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	韓国語とハングル (韓国語の特徴とハングルの仕組み)	ガイダンス 韓国語の特徴とハングルの仕組みを学び、理解する。また、韓国語で自己紹介をする。 予習(20分) : p p. 6~7 CDを聞いて読んでくる。 復習(40分) : ハングルの仕組みをノートに整理する。	黄 仁祚
2	1課 基本母音と合成母音① (基本母音、合成母音)	基本母音10個と合成母音11個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(20分) : p p. 8~10 CDを聞いて読んでくる。 復習(40分) : p p. 9~11 表と問題を完成する。 p9 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
3	2課 基本子音① (基本子音)	基本子音14個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(20分) : p p. 12~13 CDを聞いて読んでくる。 復習(40分) : p 13 基本母音と習った子音を組み合わせさせて書いて読む。 学習した基本母音の単語をローマ字で書く。	黄 仁祚
4	2課 基本子音② (基本子音)	基本子音14個の中、5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 12~13 CDを聞いて激音を読んでくる。 復習(60分) : p 13 基本母音と習った子音を組み合わせさせて書いて読む。 学習した基本母音の単語をローマ字で書く。	黄 仁祚
5	2課 基本子音③ (激音)	基本子音14個の中、激音4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 12~14 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p p. 14~15 CDを聞いて問題を完成する。 p 14 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
6	2課 ほかの子音 (濃音)	他の子音である濃音5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 16~17 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p p. 16~17 CDを聞いて問題を解く。 p 18 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
7	3課 合成母音② (合成母音)	合成母音11個の中、7個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p 18 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p 19 表と問題を完成する。 p 19 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
8	4課 パッチム① (パッチム)	パッチム「ng」、「n」、「m」、「l」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 22~23 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : パッチム「ng」「n」「m」「l」の配った資料をノートにまとめること。 p 22 単語をすべて覚える。	黄 仁祚

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	4課 パッチム② (パッチム)	パッチム「k」、「t」、「p」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 23～25 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : パッチム 「k」「t」「p」の配った資料をノートにまとめること。 p24 問題を完成する。	黄 仁祚
10	4課 発音上手になるためのコツ (連音化)	発音が上手になるため連音化を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 26～27 読んでくる。 復習(60分) : 授業中で解いた問題をまとめる。	黄 仁祚
11	日本語のハングル表記 (日本語のハングル表記のルール)	日本語のハングル表記のルールを学び、理解した上で、日本の都市名や自分の名前をハングルで書くトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 20～21 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : 授業中で解いた問題をまとめ、読む。	黄 仁祚
12	2つの子音のパッチム (2つの子音のパッチムの読み方)	2つの子音のパッチム11個とその読み方を学び、理解した上で、短文読みトレーニングをする。 予習(30分) : p 28 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : 授業中で配ったプリントを読んでまとめておく。	黄 仁祚
13	5課 私は～です (～は～です(か)、～ではありません)	名詞の肯定文「～は～です」とその否定文「～ではありません」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 30～33 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p p. 32～33 CDを聞いて問題を解く。p p. 32～33 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
14	5課 私は～です (かしこまった「です、ます」体)	動詞のかしこまった「です、ます」体を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 34～36 CDを聞いて読んでくること。 復習(60分) : 授業中に配ったプリントを読んで問題を解く。p 36 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
15	復習 韓国語の表現について (構文)	授業全体について振り返り、内容をまとめる。 予習(60分) : 既習内容の疑問点をまとめておく。 復習(60分) : 既習内容のCDを聞きながら、発音練習をする。	黄 仁祚

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と文化》

科目名	異文化論			授業科目番号	1116040
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

自己と他者、自文化と多文化との差異を探究する。具体的には、異文化の現状や価値観について学び、人間と文化、人と人のつながり、儀礼や信仰と世界観について学び、異文化理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 文化の概念を多角的に説明できる
2. スティグマ、ステレオタイプ、差別の構造を理解し批判的に考察できる
3. 多文化共生社会の課題と可能性を論じることができる
4. 医療文化人類学・福祉人類学の基本概念を説明できる
5. 医療現場における文化的葛藤の事例を分析できる
6. 看護専門職として文化的配慮を踏まえた実践の方向性を提案できる
7. 自らの文化的前提（バイアス）を振り返り、内省できる

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

授業参加・ディスカッション：20%
小レポート（数回）：30%
グループ発表：20%
最終レポート：30%

《テキスト》

『福祉人類学試論』（郷堀ヨゼフ 著 淑徳大学 長谷川仏教文化研究所 2025）

《参考図書》

『世界がもし100人の村だったら』（池田 香代子 著 マガジンハウス 2001）
『異文化論への招待：「違い」とどう向き合うか 改訂版』（黒木雅子 著 朱鷺書房 2014）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑次回講義時に返却
授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション

講義に加え、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを通して、対話的・協働的な学びを重視する。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週、講義終了後（講師室にて）

科目名	異文化論	授業科目番号	1116040
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション／文化とは何か キーワード (文化・アイデンティティ・自分)	内容：授業目的説明、文化の定義(広義・狭義)、可視文化／不可視文化 活動：自己紹介ワーク「私の文化マップ」 事前学習30分：シラバス熟読 事後学習30分：自分の文化的背景の振り返りレポート	郷堀ヨゼフ
2	文化の構造と多様性 キーワード (多様性/ダイバーシティ)	内容：価値観・規範・象徴・宗教・家族観 活動：文化の氷山モデルを用いたグループ討議 事前学習30分：文化の氷山モデル資料読解 事後学習30分：異文化体験の記述	郷堀ヨゼフ
3	世界が100人の村だったら	内容：世界の人口構成・宗教・貧困・教育 活動：数値ワーク+ディスカッション(相対化の視点を養う) 事前学習30分：前回の多様性の概念について復習して準備をする 事後学習30分：グローバルヘルスとの関連考察	郷堀ヨゼフ
4	スティグマとステレオタイプ	内容：偏見の形成メカニズム 医療におけるスティグマ(精神疾患、HIV、障害など) 活動：事例分析 事前学習30分：人はなぜ偏見を抱くについて考える。 事後学習30分：医療現場のスティグマ事例を整理	郷堀ヨゼフ
5	差別と構造的暴力	内容：制度的差別、ジェンダー、人種、障害 看護職が果たす役割 活動：グループ討議 事前学習30分：ジェンダーや人種はなぜ差別の対象となるかについて考える。 事後学習30分：構造的暴力のレポート	郷堀ヨゼフ
6	多文化共生社会とは	内容：共生概念、インクルージョン、日本社会の多文化状況 活動：共生社会デザインワーク 事前学習30分：共生とは何かについて概念整理を行う。 事後学習30分：地域の多文化施策について調べて講義内容と照らし合わせる。	郷堀ヨゼフ
7	医療文化人類学①－医療と文化	内容：病いの語り(illnessとdisease) 医療の文化性 活動：語りの分析ワーク 事前学習30分：医療人類学とはどんな学問か事前に調べておく。 事後学習30分：家族の病気観インタビューを行う。	郷堀ヨゼフ
8	医療文化人類学②－患者の世界	内容：宗教と医療、死生観、食文化と治療 活動：事例検討 事前学習30分：文化が医療に及ぼす影響について考える 事後学習30分：文化的配慮リスト作成	郷堀ヨゼフ

科目名	異文化論	授業科目番号	1116040
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	祉人類学とケア	内容：ケアの文化的意味、家族介護観 活動：ケーススタディ 事前学習30分：福祉と文化との関連について考える 事後学習30分：日本のケア観の特徴整理	郷堀ヨゼフ
10	医療現場の異文化葛藤	内容：外国人患者、通訳、インフォームドコンセント 活動：ロールプレイ 事前学習30分：日本における外国人受入状況について調べておく 事後学習30分：振り返りレポート	郷堀ヨゼフ
11	貧困・移民・難民と医療	内容：社会的弱者と健康格差 活動：グループ発表準備 事前学習30分：なぜ移民は医療へのアクセスに課題があるかについて考える 事後学習30分：講義で取り上げた課題について整理する	郷堀ヨゼフ
12	ジェンダーと医療	内容：性別役割、LGBTQ+と医療 活動：事例討議 事前学習30分：LGBTQ+の概念の諸課題について整理する 事後：ジェンダー配慮の提案	郷堀ヨゼフ
13	グループプレゼンテーション ①	テーマ： 1) 宗教と終末期医療 2) 多文化社会と看護 グループワークを活用しながらプレゼンテーションの作成・準備を行う。 事前学習30分：プレゼンテーションのテーマに関連する事柄について事前に調べておく 事後学習30分：プレゼンテーション実施に向けて資料など準備する。	郷堀ヨゼフ
14	グループプレゼンテーション ②	プレゼンテーションを実施し、相互評価・ディスカッションを行う 事前学習30分：プレゼンテーションの準備と資料作成 事後学習30分：他グループと自分グループのプレゼンテーションの内容を振り返って整理する	郷堀ヨゼフ
15	まとめ ― 文化を超えて共生する看護とは	総括講義 個人リフレクションを提示し最終レポート課題提示 事前学習30分：この科目で学んだことを整理する 事後学習30分：学んだことだけではなく自らの意識と感覚の変化について整理し、レポートに取り組む	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と文化》

科目名	コミュニケーション論			授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

自身を知ることと他者を知ることが表裏一体であり、人間尊重の精神が必要である。この科目では、人間を尊重し、他者を受容し、共感する、他者とともに生きることの意義を考える。そのためには、自己理解の方法を知り自己を客観的に見つめる機会を持つ。また、他者との適切な人間関係を形成し、信頼関係を確立するためには自己理解と他者理解が両輪となることを理解する。また、自己の良心と社会の規範やルールに従って自らを律して行動することができる態度を養成する。

《授業の到達目標》

1. コミュニケーションの理論を理解する。
2. 身近なことなどに学んだ理論を当てはめ考察できる。
3. ステレオタイプとは何かを理解し、説明できる。
4. 看護実践において、コミュニケーション上重要となる視点を意識できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

看護学の専門教育科目を履修する上での基礎となる科目である。

《評価の方法》

- ① 授業内容の確認小テストとの振り返りコメントからなる課題60%（到達目標の1,2,4）
- ② レポート40%（到達目標の1,2,3,4）

《テキスト》

『よくわかるヘルスコミュニケーション』（五十嵐紀子・池田理知子編 ミネルヴァ書房 2016年）

《参考図書》

授業内で適宜紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却 □その他（Google Classroomやメールで）
授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション

《備考》

《オフィスアワー》

メール（igarashi-n@m.sutoku-u.ac.jp）または、Google Classroomを通じて連絡をしてください。

科目名	コミュニケーション論	授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	コミュニケーション学とは (コミュニケーションの定義、ヘルスコミュニケーション)	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・一般的なコミュニケーションの捉え方との差異 ・ヘルスコミュニケーションを学ぶ意義 予習：特になし 復習(60分)：授業内で指定するテキスト該当箇所	五十嵐紀子
2	コミュニケーション能力とは何か (コミュニケーション能力)	・「コミュニケーション能力」重視の問題 ・「当たり前を疑う」視点 予習(30分)：「コミュニケーション能力」を意識する時の具体例 復習(60分)：「円滑なコミュニケーション」の問題の具体例を考える	五十嵐紀子
3	言語メッセージ	・言語と社会的規範の関係 予習(30分)：授業内で指定するテキスト該当箇所 復習(90分)：授業内で指定するテキスト該当箇所を読み、自分自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する	五十嵐紀子
4	医療におけることば (臨床で交わされる言葉)	・「病」と自分との距離感 ・「闘病」の意味を問い直す ・対話の実践 予習(60分)：「病」のマインドマップを描いてくる 復習(60分)：授業内で指定するテキスト該当箇所を読む	五十嵐紀子
5	医療におけることば (「病」の定義)	・「病」という言葉の捉え方 ・認知症、薬物依存症、水俣病を例に考える 予習(60分)：認知症、薬物依存症について調べる 復習(60分)：授業内で指定するテキスト該当箇所	五十嵐紀子
6	非言語 (身体・しぐさ)	・身体に付随する非言語 予習(30分)：授業内で指定するテキスト該当箇所 復習(90分)：自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する	五十嵐紀子
7	非言語 (時間・空間)	・時間・空間の認識と他者理解 ・恣意的な境界線の身近な例について考察する 予習(60分)：身近にある「境界線」の例について写真などを用意する 復習(60分)：授業内で指定するテキスト該当箇所を読む	五十嵐紀子
8	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・ステレオタイプとは何か ・身近なステレオタイプについて 予習(60分)：授業内で指定するテキスト該当箇所を読む 復習(60分)：啓発や健康増進などのパンフレットやポスターに注目する	五十嵐紀子

科目名	コミュニケーション論	授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐 紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	表象とステレオタイプ (表象、ステレオタイプ)	・メディアで作られるステレオタイプ ・保健医療関連の啓発アプローチの分析 予習(30分): 授業内で指定するテキスト該当箇所 復習(90分): 自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する	五十嵐紀子
10	自己理解と他者理解 (自己理解、他者理解、自己ステレオタイプ)	・自己理解とは何を理解することなのか ・自己理解と他者理解の関係性 予習(30分): 授業内で指定するテキスト該当箇所 復習(90分): 自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する	五十嵐紀子
11	自己理解と他者理解 (傾聴、共感)	・傾聴と共感のあり方 ・自己ステレオタイプ化という視点 ・オープンダイアログの理解と実践 予習(60分): 授業内で指定するテキスト該当箇所 復習(60分): 授業内で指定するテキスト該当箇所	五十嵐紀子
12	異文化コミュニケーションと 対人援助 (異文化、ジェンダー、多様性)	・ジェンダーマイノリティの問題 ・内なる異文化について 予習(30分): 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む 復習(90分): 自身に重ね合わせて考えたことを書いて提出する	五十嵐紀子
13	講義のまとめとしてのグループワーク	【グループディスカッション】 ・選んだテーマごとにグループを作り、考察する 予習(60分): 選択したテキスト項目を読む 復習(60分): 授業内で指定するテキスト該当箇所を読む	五十嵐紀子
14	講義のまとめとしてのグループワーク	【グループディスカッション】 ・選んだテーマごとにグループを作り、考察する ・発表資料(ポスター)を作成する 予習(60分): 選択したテキスト項目に関連する事項について調べる 復習(60分): 他者の意見を聞くなどして考察を深める	五十嵐紀子
15	講義のまとめとしてのグループワーク	【発表: ポスタープレゼンテーション】 ・全体共有をする ・まとめ 予習(30分): 発表準備をする 復習(90分): レポートの構想を確認し、レポートを執筆する	五十嵐紀子

科目名	情報活用法			授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○3-1 地域のネットワークを共有する力, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

情報社会への適応力を涵養することを目的とし、情報の分析・整理・保管・表現に関する活用力を身に付ける。具体的には、テキストとデジタル教材を併用し、以下にあげる内容の授業を行う。

・コンピュータを利用した数値分析の基礎、・データベースを利用したデータの整理・蓄積、抽出方法、・社会におけるデータ・AI活用の現状、・インターネット上でのコミュニケーション方法、起こりうるトラブルについての理解、適切な情報管理や安全性を確保する方法等

《授業の到達目標》

知識・技能の観点：(1)情報をさまざまなトラブルから守るなど、正しく安全に運用する方法を理解しできる。(2)データ・AI（人工知能）利活用技術の概要および、社会における活用例について理解できる。(3)ソフトウェアの機能を適切に利用して分析を行うことができる。思考・判断・表現の観点：(4)Webを用いた適切な情報表現について理解しできる。(5)数値データを活用し、知りたいことについて分析し、判断することができる。

《先修科目》

情報リテラシー

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

なし

《評価の方法》

情報を正しく安全に運用する方法の理解10%程度。Webを用いた情報表現に関する演習課題20%。表計算、グラフ機能、データベース機能を適切に利用したデータ分析の演習課題70%。授業の際の演習への取り組み状況も考慮する。

《テキスト》

『考える 伝える 分かち合う 情報活用力』（noa出版著 ワークアカデミー 2017年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（課題提出締め切り後の授業で解説を行なう。）

授業形態：■講義形式

課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は単位を与えない。）・評価：データ利活用技術や情報を正しく安全に運用する方法の理解(1)、(2)、Webを用いた情報表現に関する演習課題(4)、表計算、グラフ機能、データベース機能を適切に利用したデータ分析の演習課題(3)、(5)、これらの評価は、授業の際の演習への取り組み状況も考慮する。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《オフィスアワー》

科目名	情報活用法	授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス (webブラウザ)	(1)授業の進め方の説明, (2)情報活用力テキスト Section2 情報運用, (3)組織における情報漏えい(DVD視聴) 学習方法:講義、演習 Webブラウザの基本操作について予習しておくこと(60分) 本日のノートを読んで復習すること(30分)	船津 誠也
2	AIについて(データ・AI(人工知能)利活用技術)	(1)データ・AI利活用技術の概要, (2)データ・AI利活用技術の社会における活用例, (3)データ・AI利活用における注意点 学習方法:講義 社会におけるデータ・AI利活用の事例について調べておくこと(60分) 本日のノートを読み返して復習すること(30分)	船津 誠也
3	インターネットコミュニケーション1(インターネットを利用したコミュニケーション, ルールやマナーの原則)	(1)情報活用力テキスト Section7 インターネットコミュニケーション I (インターネットを利用したコミュニケーション, ルールやマナーの原則), (2)ホームページ作成演習第1回 学習方法:講義、演習 教科書のSection7を予習しておくこと(60分) 自分が作成したホームページを点検し修正しておくこと(30分)	船津 誠也
4	インターネットコミュニケーション2(メールコミュニケーション)	(1)情報活用力テキスト Section7 インターネットコミュニケーション I (メールコミュニケーション), (2)ホームページ作成演習第2回 学習方法:講義、演習 教科書のSection7(メールコミュニケーション)を予習しておくこと(60分) 自分が作成したホームページを点検し修正しておくこと(30分)	船津 誠也
5	インターネットコミュニケーション3(情報の発信のルール, インターネットを通じた情報発信ツール)	(1)情報活用力テキスト Section8 インターネットコミュニケーション II (情報の発信のルール, インターネットを通じた情報発信ツール), (2)ホームページ作成演習第3回 学習方法:講義、演習 教科書のSection8を予習しておくこと(60分) 自分が作成したホームページを点検し修正しておくこと(30分)	船津 誠也
6	インターネットコミュニケーション4(ソーシャルメディア)	(1)情報活用力テキスト Section8 インターネットコミュニケーション II (ソーシャルメディア), (2)課題1:オリジナルホームページの作成 学習方法:講義、演習 教科書のSection8(ソーシャルメディア)を予習しておくこと(60分) 自分が作成したホームページを点検し修正しておくこと(30分)	船津 誠也
7	数値分析1(数値分析とは)	(1)情報活用力テキスト Section3 数値分析 I (数値分析とは), (2)表計算演習第1回 学習方法:講義、演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分) Excelの操作について予習しておくこと(30分)	船津 誠也
8	数値分析2(データの加工)	(1)情報活用力テキスト Section3 数値分析 I (データを加工する), (2)表計算演習第2回 学習方法:講義、演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分) Excelの操作について復習しておくこと(30分)	船津 誠也

科目名	情報活用法	授業科目番号	1101020
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	グラフ(グラフの基本, グラフ作成)	(1)グラフの基本, (2)グラフ作成演習 学習方法: 講義、演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分) Excelの操作について復習しておくこと(30分)	船津 誠也
10	関数(様々な関数, 関数の活用)	(1)様々な関数の利用, (2)関数活用演習 学習方法: 講義、演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分) Excelの操作について復習しておくこと(30分)	船津 誠也
11	数値分析3(データ分析)	(1)情報活用力テキスト Section4 数値分析II(データを分析する), (2)データ分析演習第1回 学習方法: 講義、演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分) Excelの操作について復習しておくこと(30分)	船津 誠也
12	数値分析4(データ分析実習)	(1)情報活用力テキスト Section4 数値分析II(データ分析実習), (2)データ分析演習第2回 学習方法: 講義、演習 Excelの基本操作について予習しておくこと(60分) Excelの操作について復習しておくこと(30分)	船津 誠也
13	データベース1(データベースを使ってみる)	(1)情報活用力テキスト Section5 データベース(データベースを使ってみる), (2)データベース作成演習第1回 学習方法: 講義、演習 Excelの簡易データベース機能について予習しておくこと(60分) Excelのデータベース機能について復習しておくこと(30分)	船津 誠也
14	データベース2(データベースからデータを取り出す)	(1)情報活用力テキスト Section5 データベース(データベースからデータを取り出す), (2)データベース作成演習第2回 学習方法: 講義、演習 Excelの簡易データベース機能について予習しておくこと(60分) Excelのデータベース機能について復習しておくこと(30分)	船津 誠也
15	データベース3(データベース作成実習)	(1)情報活用力テキスト Section5 データベース(データベース作成実習), (2)課題2: Excelによる表計算データベース作成 学習方法: 講義、演習 Excelの簡易データベース機能について予習しておくこと(60分) Excelのデータベース機能について復習しておくこと(30分)	船津 誠也

科目名	自然環境論			授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

自然と共生するための、自然環境の保全、人間社会の在り方について地球環境問題に興味を持ち学ぶ。具体的には、食生活と増え続けるごみや廃棄物、食料自給率と環境、途上国と日本の水環境、地球温暖化、公害、エネルギー資源、大気汚染などの問題を理解し、人間は自然とどのように共生していくのか、世界レベルで考えることから始まり、地域のレベルまで具体的に掘り下げて考える。この講義を通して、卒業してからも環境問題に興味を持ち続けて、環境保全に積極的に関与できる人材を育成する。

《授業の到達目標》

地球環境と生命の多様性や進化、身近な自然で起こっている生態系の変化、環境問題と人間の生活について、調べたり話し合ったりする学習を通して、自然環境の保全や持続可能な社会の在り方について、自分なりの主張の形成を図る。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

①定期試験60% ②レポート30% ③討議や学び合いへの参加態度10%

《テキスト》

講義資料を作成し（40P程度）受講者に事前に配布する。必要に応じて、講義時に補充資料を配布する。

《参考図書》

指定図書はないが、高校の生物教科書や参考書又は環境問題に関する書籍を1冊用意するとよい。大学や自宅近隣の県立歴史博物館、馬高縄文館、藤橋遺跡、十日町市立博物館、柏崎原発サービスホール、新潟水俣病資料館などに出かけ事前学習を進めておくとい。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：●その他（レポート等は学生課経由で随時返却する。講義時に連絡）

授業形態：●講義形式

●大学校庭の草原や林などで、実際の自然を調査する機会を設定する。

《備考》

●野外学習時には、虫や怪我対策のため服装に留意する（講義時に連絡する）。

《オフィスアワー》

●学習の進め方や質問事項等については、講義終了後適宜行う。

科目名	自然環境論	授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	生命の星地球 ・学習の進め方ガイダンス ・生命の惑星地球 キーワード(地球温暖化物資の起源)	地球の形成と生命の誕生について理解する。 ・二酸化炭素の減少や酸素の増加など、多様な生物種の生存を可能とした地球環境の形成…石炭・石油の形成(鉄や化石燃料の形成) ・生物の進化と絶滅 予習(30)分 <高校で使用していた地学や生物の教科書、参考書、事前配布資料等を読んでおくとい>	春日 良樹
2	人類の誕生と自然環境 ・人類の進化 ・農耕以前の生活と文明 キーワード(人類の繁栄・拡散)	アフリカから世界へ分布を広げた人類の進化について理解する。 ・人類の進化(他の哺乳類との違いや骨格に着目して) ・旧石器人の生活と自然環境(世界の人口の推移と関連付けて) ・ギョベックリ・テベ遺跡(トルコ)の発見(農耕以前の文明) 予習(30)分 <定説を覆す農耕以前の文明の発見について調べておくとい>	春日 良樹
3	・縄文人の生活 ・1万年以上続いた縄文時代 キーワード(自然との共生社会)	日本の自然環境と縄文人の生活について理解する。 ・土器の発明と生活の変化 ・縄文人の生活と森林の変化…人間の活動と生物多様性 予習(適宜) <新潟県立歴史博物館、馬高縄文館、長岡市立科学博物館、十日町市立博物館等に出かけ、土器の変遷や人々の生活と自然環境について事前学習を進めておくとい>	春日 良樹
4	弥生から近世までの自然環境の変化 ・国家の形成と自然環境 キーワード(草原の国日本)	人口増加や人々の生活と森林環境の変遷について理解する。 ・稲作をはじめとした大陸文化の流入と森林の変化 ・製鉄と森林(もののけ姫の世界)…草原が広がる国土 ・江戸時代の人々の生活と自然環境…森林が支える江戸の生活 予習(30)分 <日本の農村の生活の歴史についてインターネット等で調べておくとい>	春日 良樹
5	戦後の日本の自然環境の変化 ・日本の森林 ・河川環境の変化 キーワード(燃料革命・農業革命)	戦後の復興と自然環境の変化について理解する。 ・戦後のエネルギー革命と里山の荒廃 ・日本の林業がかかえる問題と再生への希望(林業基本法) ・最も変わったのは河川環境(小鮒釣りしかの川は…) 予習(30)分 <戦後の林業の変遷について調べておくとい>	春日 良樹
6	森林の役割や機能 ・水源涵養林 ・健康福祉林など キーワード(森林の役割)	日本の森林の特徴や森林の役割や機能について理解する ・二酸化炭素の吸収や生態系の維持 ・水源涵養の仕組み 予習(適宜) <国営越後長岡丘陵公園や佐渡弥彦山国定公園等に出かけ、森林や木々の様子について観察しておくとい>	春日 良樹
7	変わりゆく日本の自然 ・崇徳大校庭で植生調査 <ミニ野外学習> キーワード(在来植物・外来植物)	崇徳大学の校庭に蔓延る外来植物の生育状況を明らかにする。 ・学生駐車場に生育する植物 ・蔓延る外来種(外来生物法、SDGS) ・駆除の難しさと日本の生態系や人間生活への影響 予習(30)分 <外来種について県(環境企画課)や環境省のホームページなどで調べておくとい> <天候により、8回目と入れ替える場合がある>	春日 良樹
8	変わりゆく日本の自然 ・外来種の問題 キーワード(生物種の多様性)	外来種が日本の自然環境及ぼす影響について理解する ・沖縄・奄美諸島のマングースとハブの駆除 ・佐渡のサドノウサギの駆除とトキの保護 ・外来種駆除活動の実際(妙高のオオハンゴンソウの例など) 予習(30)分 <サドノウサギ、テン、トキの生態について、図鑑等で調べておくとい>	春日 良樹

科目名	自然環境論	授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日 良樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	日本の近代化と河川環境 ・川の汚染 キーワード(川遊び)	人々の暮らしと川の関係や近代化と川の変化について理解する。 ・子供が川で遊ばなくなった…農業の近代化と農業汚染 ・生活や工業の廃棄物処理の場としての河川 ・近年における新たな問題…人々の生活と水辺環境の乖離 ・深刻化するゴミ問題 予習(30)分 <河川防災や河川環境の変化について、国交省などのホームページで調べておくとい>	春日 良樹
10	日本の経済発展と公害 キーワード(公害)	日本の公害の原点(足尾銅山鉱毒事件)について学び、環境問題の現実について理解する。 ・水俣病 ・イタイイタイ病(カドミウム汚染) ・大気汚染問題 予習(随時) <県立環境と人間のふれあい館(新潟水俣病資料館)などに出かけたり、新潟水俣病についての書籍を読んだりするとよい>	春日 良樹
11	新潟水俣病 キーワード(生物濃縮)	水俣病と第2水俣病(新潟水俣病)の原因や現在も続く訴訟について理解する。 ・新潟水俣病の原因と結果 ・水環境と食物連鎖 予習(随時)	春日 良樹
12	人類の未来と環境問題 ・温暖化・気候変動 キーワード(エネルギーの確保)	豊かな生活の享受と地球温暖化などの環境問題について理解する。 ・牧畜とメタン、二酸化炭素の排出 ・オゾン層の破壊 ・原子力発電の限界、再生エネルギーの功罪 予習(30)分 <発電の種類や利点・欠点などについて経産省や環境省のホームページ等で調べておくとい>	春日 良樹
13	自然の生態系 ・生物同士の関係性 キーワード(日本の食料自給率)	生態系について環境と生物の関係性について理解を深める。 ・森林、河川、湖沼、海洋 ・世界の食料と環境問題(農業・土壌崩壊等) 予習(30)分 <日本の食料自給率や農業使用の実態についてインターネット等で調べておくとい>	春日 良樹
14	熱帯林の破壊 ・熱帯林の保全 キーワード(地球の肺)	地球の肺と称される熱帯林の役割について理解する ・二酸化炭素の固定と生物多様性 ・国際的な商品作物と熱帯林の消失 ・南北問題と環境問題(COP31、換金作物栽培と貧困等) 予習(30)分 <COP31が開催されている時期なので、インターネット等で調べておくとい>	春日 良樹
15	持続可能な社会の確立のために キーワード(足るを知る社会)	持続可能な社会の実現について、自分なりの考えをまとめる。 ・循環型社会 ・まとめレポートの作成	春日 良樹

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と社会》

科目名	日本国憲法			授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	弁護士業務(訴訟等の対応)				
実務経験を 活かした 教育内容	実例を通じて憲法を学ぶ。その際,弁護士業務にて得た経験を盛り込み,より現実感のあるものとする。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下での平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。

《授業の到達目標》

国の仕組みについて説明できるようにする。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

なし

《評価の方法》

定期試験（100％）により評価する。

《テキスト》

『目で見える憲法（第6版）』（初宿正典、大沢秀介他編著 有斐閣 2024年）

《参考図書》

なし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（課題を課すことは特に予定していない）
授業形態：□講義形式 □ディスカッション
本講義は日本国憲法の初学者を対象にしている。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《オフィスアワー》

授業の開始前や終了後

科目名	日本国憲法	授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	法律とは何か。 キーワード (憲法と法律の違い)	法律について概要・具体例などを説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
2	法律は誰が作るのか。その根拠は何か キーワード (憲法と法律の違い)	法律の制定について、憲法上の規定はどうなっているか、国会はどのようなものか、民主主義や選挙などについて説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
3	行政(内閣)とは何か 1 キーワード (誰が法律を実行するのか)	行政は何をするのか、国会との関係はどうなっているのかなどを説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
4	行政(内閣)とは何か 2 キーワード (誰が法律を実行するのか)	行政は何をするのか、国会との関係はどうなっているのかなどを説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
5	裁判所 1 キーワード (誰が判断するのか)	裁判所はどのようなものかを説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
6	裁判所 2 キーワード (誰が判断するのか)	裁判所はどのようなものかを説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
7	人権とは何か 1 キーワード (権利と人権)	人権とは何か、その概要や具体例について説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
8	人権とは何か 2 キーワード (人権の実現方法)	人権とは何か、その概要や具体例について説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳

科目名	日本国憲法	授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦 三厳		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	事例1 キーワード (この事例において、裁判所 が何を判断したのか)	事例に基づき憲法と法律の関係を説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
10	事例2 キーワード (この事例において、裁判所 が何を判断したのか)	事例に基づき憲法と法律の関係を説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
11	事例3 キーワード (この事例において、裁判所 が何を判断したのか)	事例に基づき憲法と法律の関係を説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
12	事例4 キーワード (この事例において、裁判所 が何を判断したのか)	事例に基づき憲法と法律の関係を説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
13	事例5 キーワード (この事例において、裁判所 が何を判断したのか)	事例に基づき憲法と法律の関係を説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
14	事例6 キーワード (この事例において、裁判所 が何を判断したのか)	事例に基づき憲法と法律の関係を説明する。 予習(0)分： 復習(10)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳
15	復習 キーワード (国の仕組み)	これまで学んだことを復習する。国の仕組みの全体像を確認する。 予習(0)分： 復習(20)分：(授業で理解したことの確認)	三浦 三厳

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間と社会》

科目名	福祉と保障			授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	社会福祉士として相談者の支援援助の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かし、健康で文化的な生活を支える社会保障の三つのセーフティネットの基礎を学ぶとともに、医療と福祉をつなぐ看護職の役割を実践的に理解する科目である。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○1-3 他者の自己決定を擁護する力, ◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。

《授業の到達目標》

1. 私たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを理解できる。
2. 卒業直後から授業の成果を活かせるよう、制度の理解だけでなく現代社会の動向と関連付けて理解できる。
3. 医療と介護の連携の基礎的な知識を学び、連携の必要性を理解できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域包括ケアシステム論・地域活動論と合わせて、医療と福祉をつなぐ専門職としての看護の役割について教育する科目である。

《評価の方法》

- ・ 定期試験 80% (達成目標1.2)
- ・ 小テスト 20% (達成目標1.2.3)

《テキスト》

『系統看護学講座 社会保障・社会福祉』（福田素生 他著 医学書院 2026年）

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式 ■タブレット端末の利用

筆記試験は、国家資格試験の問題様式にほぼ準じる。
授業の中で確認の小テストを実施

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	福祉と保障	授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 社会保障と社会保険 (社会保障制度 社会保険制度 私たちの生活と社会保障制度)	授業の概要と目的説明 社会保障を学ぶ意義 予習(20分) : 自分が90歳になった時の暮らしを想像する 復習(15分) : 社会保障と社会保険の違いを確認する	佐藤 和也
2	社会保障制度の目的と機能 社会福祉の法制度 (社会保障の機能 社会保障の体系 社会保障制度の3分野 社会福祉の法制度)	(第1章) 社会保障制度と社会福祉 予習(20分) : 日本の人口の変化を確認する 復習(20分) : 社会保障の全体像を確認する	佐藤 和也
3	現代社会の変化 (人口構成の変化 地域社会の変化 経済状況の変化 社会福祉の動向)	(第1章) 社会保障制度と社会福祉 予習(15分) : 住んでいる地区の民生委員を確認する 復習(20分) : 社会福祉六法を確認する	佐藤 和也
4	医療保障制度Ⅰ (医療保険制度の沿革 構造と体系 健康保険と国民健康保険)	(第2章) 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 予習(30分) : 親戚の家族構成を確認する 復習(40分) : 日本の2030年問題、2040年問題を確認する	佐藤 和也
5	医療保障制度Ⅱ (高齢者医療制度 保険診療 公費負担医療 国民医療費)	(第3章) 医療保障 予習(10分) : 自分の医療保険被扶養者証を確認する 復習(30分) : 医療保障制度の種類と概要を確認する	佐藤 和也
6	介護保障制度Ⅰ (介護保障の歴史 介護保険制度 要支援・要介護認定)	(第3章) 医療保障 予習(30分) : 自分の住む地域の医療機関を確認する 復習(30分) : 保険診療の仕組みを確認する	佐藤 和也
7	介護保障制度Ⅱ (介護給付と予防給付 施設サービス 地域密着型サービス 居宅サービス)	(第4章) 介護保障 予習(10分) : (可能なら) 65歳以上の身内の人の介護保険証を見せてもらう 復習(40分) : 介護保険制度の概要を確認する	佐藤 和也
8	介護保障制度Ⅱ (利用者負担 財政 介護保険事業計画 課題と展望)	(第4章) 介護保障 予習(60分) : 住んでいる地域の介護保険施設・事業所を確認する 復習(40分) : 介護保険のサービスを確認する	佐藤 和也

科目名	福祉と保障	授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤 和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	年金保険 社会手当 労働保険	(第5章) 所得保障 予習(10分) : (可能なら) 身内の人の「年金」の種類を教えてください 復習(60分) : 所得補償制度の概要を確認する	佐藤 和也
10	生活保護 低所得者対策 (日本の所得保障問題 生活保護 生活保護の種類 生活困窮者 自立支援制度)	(第6章) 公的扶助 予習(40分) : 「朝日訴訟」を調べる 復習(30分) : 生活保護を取り巻く最近の動向を確認する	佐藤 和也
11	高齢者福祉 障害者福祉 (高齢者福祉の施策 障害者の実態 障害者福祉の理念 障害者福祉制度)	(第7章) 社会福祉の分野とサービス 予習(30分) : 「ノーマライゼーション」を確認する 復習(40分) : 高齢者施策を確認する	佐藤 和也
12	障害者福祉 児童家庭福祉 (障害者総合支援法 こども基本法 少子化対策)	(第7章) 社会福祉の分野とサービス 予習(30分) : 虐待(高齢・障害・児童)事件を調べる 復習(60分) : 障害者へのサービス内容を確認する	佐藤 和也
13	社会福祉実践 (個別援助技術 集団援助技術 間接援助技術)	(第8章) 社会福祉実践と医療・看護 予習(40分) : 社会福祉援助技術を知る 復習(30分) : 自己覚知を深める	佐藤 和也
14	医療・看護・福祉の連携 (医療ソーシャルワーカー 地域共生社会 重層的支援体制)	(第8章) 社会福祉実践と医療・看護 予習(40分) : 地域包括ケアシステムを理解する 復習(30分) : 連携を支える仕組みがイメージできる	佐藤 和也
15	社会福祉の歴史 (イギリスの社会福祉の歴史 日本の社会福祉の歴史 権利擁護)	(第9章) 社会福祉の歴史 予習(30分) : テキストを読む 復習(60分) : 「生存権」を考察する	佐藤 和也

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能III			授業科目番号	2208030
担当者氏名	堀江 正男			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅱ」に引き続き、内分泌系、免疫系、生殖系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。ここでは、解剖見学実習を行い、実習後、「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟市内にある大学の医学部または歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。

《授業の到達目標》

1. 観察対象の身体における位置を正確に示すことができ、そしてそれらの構造および機能の説明ができる
2. 献体の意味を理解し、常に礼節を持って行動することができる

《先修科目》

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

病理病態学

《評価の方法》

試験 70%：定期試験として、達成度を最終的に評価する。（到達目標1）
解剖見学実習態度 30%：実習への積極的な関わり等を評価する。（到達目標1.2）

《テキスト》

『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄 他著 医学書院 2026年）

《参考図書》

1. 『解剖学カラーアトラス 第9版』（J.W.Rohen 他著 医学書院 2023年）
2. 『イラスト解剖学 第10版』（松村譲児著 中外医学社 2021年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式

解剖見学実習は本物の人体を観察し、器官等に触れることのできる貴重な機会です。実習に対するみなさんの積極的なアプローチを期待しています

《備考》

関連科目：人体の構造と機能Ⅰ、人体の構造と機能Ⅱ

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	人体の構造と機能III	授業科目番号	2208030
担当者氏名	堀江 正男		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	骨格系・筋系(骨格系・筋系の構造と機能)	骨、軟骨、関節、靱帯の構造と機能、骨、関節、骨格筋の部位 (予習) (30) 分: テキストの該当ページ (復習) (30) 分: 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
2	神経系 (神経系の構造と機能)	神経系の構造と機能、特に脳神経、脊髄神経、脳幹、大脳皮質、脳室 (予習) (30) 分: テキストの該当ページ (復習) (30) 分: 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
3	循環器系・呼吸器系 (循環器系・呼吸器系の構造と機能)	循環器系と呼吸器系の構造と機能、肺循環および体循環の血管の部位、心臓、気道、肺、胸膜 (予習) (30) 分: テキストの該当ページ (復習) (30) 分: 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
4	消化器系・泌尿器系 (消化器系・泌尿器系の構造と機能)	消化器系と泌尿器の構造と機能、消化管と付属器、門脈、腹膜、腎臓、膀胱 (予習) (30) 分: テキストの該当ページ (復習) (30) 分: 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
5	生殖器系・内分泌系 (生殖器系・内分泌系の構造と機能)	生殖器系と内分泌系の構造と機能、男性器、女性器、内分泌器官 (予習) (30) 分: テキストの該当ページ (復習) (30) 分: 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
6	免疫系・解剖体見学実習オリエンテーション (免疫系の構造と機能)	生体防御機構として働く諸器官(皮膚・骨髄・胸腺・脾臓・リンパ節等) (予習) (30) 分: テキストの該当ページ (復習) (30) 分: 学習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
7	解剖体見学実習	本講義で学んだ諸器官の構造と機能、部位について実習を通して学ぶ (予習) (30) 分: これまでの講義内容の確認 (復習) (30) 分: 実習内容を説明できるように復習する	堀江 正男
8	解剖体見学実習	本講義で学んだ諸器官の構造と機能、部位について実習を通して学ぶ (予習) (30) 分: これまでの講義内容の確認 (復習) (30) 分: 実習内容を説明できるように復習する	堀江 正男

科目名	病原微生物学			授業科目番号	2208060
担当者氏名	福田 雅夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

ウイルス・細菌・真菌・原虫などの病原微生物と、宿主の抵抗力としての免疫機能に関する知識を習得の上、両者のバランスによって発症する感染症を理解する。この理解のうえで、診断法や治療法、感染制御方法に関して理解を深める。具体的には、感染症の疾患名と病原微生物との関係、免疫機能、感染経路・感染様式、予防・治療法、消毒方法、検査法等に関して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 微生物の種類と性質について説明できる。 2. 感染機構と感染に対する生体の免疫機能について説明できる。 3. 感染を防ぐ滅菌と消毒について説明できる。 4. 感染症の検査、診断、治療について説明できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

学習態度10%（到達目標 1, 2, 3, 4） 授業態度をもとに評価する。
定期試験90%（到達目標 1, 2, 3, 4）

《テキスト》

『《系統看護学講座》微生物学』（南嶋洋一 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学 第2版』（増澤俊幸著 羊土社 2025年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式

国家試験の出題傾向※を考慮して講義の要点を設定しており、定期試験の出題にも反映している。特に最終回の講義では講義全体の要点をふりかえり、要点をまとめた資料を配付するので活用していただきたい。

※看護roo!>看護師国家試験特集>過去問題集 (<https://www.kango-roo.com/kokushi/kako/>)

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	病原微生物学	授業科目番号	2208060
担当者氏名	福田 雅夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	微生物と微生物学、細菌の性質 (微生物、真核生物、原核生物、バクテリア、コッホ、抗生物質、グラム染色、ペプチドグリカン、常在細菌叢)	テキスト第1章と第2章において、微生物の種類と生物における位置、微生物学の歴史、細菌の構造と増殖、遺伝、分類、常在細菌叢について学ぶ。 予習(45分): テキスト第1章と第2章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
2	ウイルスの性質と真菌の性質 (ヌクレオカプシド、エンベロープ、暗黒期、プリオン、菌糸、孢子)	テキスト第3章と第4章において、ウイルスと真菌の構造と増殖の様式、分類について学ぶ。 予習(45分): テキスト第3章と第4章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
3	感染と感染症 (発症、経口感染、食中毒、経気道感染、毒素、)	テキスト第5章において、感染の過程と感染経路、細菌とウイルスおよび真菌の感染機構について学ぶ。 予習(45分): テキスト第5章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
4	感染に対する生体防御機構 (1) (白血球、リンパ球、サイトカイン、補体、食細胞)	テキスト第6章前半において、免疫にかかわる細胞と細胞間情報伝達、自然免疫のしくみについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第6章前半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
5	感染に対する生体防御機構 (2) (抗原提示、抗体、細胞性免疫、ワクチン、発熱)	テキスト第6章後半において、獲得免疫と粘膜免疫のしくみ、感染の徴候と症状について学ぶ。 予習(45分): テキスト第6章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
6	滅菌と消毒 (バイハザード、オートクレーブ、グルタルアルデヒド、エチルアルコール)	テキスト第7章において、滅菌・消毒の方法と消毒薬の種類と特徴について学ぶ。 予習(45分): テキスト第7章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
7	感染症の検査と診断 (分離培養、蛍光抗体法、イムノクロマト法、PCR法、ELISA法)	テキスト第8章において、病原体の形態学的検査法、抗原検査法、核酸検査法、抗体検査法について学ぶ。 予習(45分): テキスト第8章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
8	感染症の治療 (選択毒性、薬剤耐性、副作用、 β -ラクタム)	テキスト第9章において、化学療法薬の基礎と抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬について学ぶ。 予習(45分): テキスト第9章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫

《専門教育科目 専門基礎科目 人体の構造と機能》

科目名	感染・生体防御学			授業科目番号	2208070
担当者氏名	福田 雅夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

微生物が人体に及ぼす影響と感染の機序を理解し、病因となる微生物の特徴について学ぶ。感染源と成り得る患者と感受性宿主が同一空間に存在する医療施設で従事する看護師として、医療従事者媒介感染を防止するための知識を修得する。また、生体が有する免疫機能を理解し、感染症に対する生体防御機構について理解する。さらに、感染防止とその対処方法について理解する。

《授業の到達目標》

1. 感染に対する生体の防御機構について説明できる。 2. 医療関連感染の原因と防止法について説明できる。 3. 主な病原微生物とその感染症ならびに感染防止法について説明できる。 4. 感染症の現状と対策について説明できる。

《先修科目》

病原微生物学

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

学習態度10%（到達目標 1, 2, 3, 4） 授業態度をもとに評価する。
定期試験90%（到達目標 1, 2, 3, 4）

《テキスト》

『＜＜系統看護学講座＞＞微生物学』（南嶋洋一 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学 第2版』（増澤俊幸著 羊土社 2025年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式

国家試験の出題傾向※を考慮して講義の要点を設定しており、定期試験の出題にも反映している。特に最終回の講義では講義全体の要点をふりかえり、要点をまとめた資料を配付するので活用していただきたい。

※看護roo!>看護師国家試験特集>過去問題集 (<https://www.kango-roo.com/kokushi/kako/>)

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	感染・生体防御学	授業科目番号	2208070
担当者氏名	福田 雅夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	感染症の現状と対策 (新興感染症、院内感染、感染症法、標準予防策、ワクチン)	テキスト第10章において、感染症の変遷、感染症の現状と問題点、感染症への対策について学ぶ。 予習(45分): テキスト第10章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
2	病原細菌と細菌感染症(1) (MRSA、レンサ球菌、レジオネラ、大腸菌)	テキスト第11章序盤部において、球菌、グラム陰性好気性・通性桿菌などについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第11章前半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
3	病原細菌と細菌感染症(2) (ピロリ菌、結核菌、ボツリヌス菌)	テキスト第11章中盤部において、カンピロバクター、ヘリコバクター、抗酸菌と放線菌、嫌気性菌などについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第11章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
4	病原細菌と細菌感染症(3) (梅毒、リケッチア、つつが虫病、トラコーマ)	テキスト第11章終盤部において、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアなどについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第11章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
5	病原ウイルスとウイルス感染症(1) (ヘルペス、インフルエンザ、麻疹)	テキスト第12章前半において、DNAウイルス、RNAウイルスの4科について学ぶ。 予習(45分): テキスト第12章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
6	病原ウイルスとウイルス感染症(2) (風疹、コロナウイルス、ノロウイルス)	テキスト第12章後半において、RNAウイルスの10科、肝炎ウイルス、プリオンについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第12章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
7	病原真菌と真菌感染症 (カンジダ、アフラトキシン、ニューモシスチス)	テキスト第13章において、深在性真菌症、深部皮膚真菌症、表在性真菌症と原因真菌について学ぶ。 予習(45分): テキスト第13章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
8	寄生虫と衛生動物、 講義全体の要点 (アメーバ赤痢、トリコモナス、マラリア、アニサキス)	テキスト付章において、寄生虫学、原虫、蠕虫、衛生動物について学んだ後、講義全体の要点をふりかえる。 予習(45分): テキスト付章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	病理病態学			授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	法医鑑定（解剖）の業務に24年9ヶ月間従事し、現在継続中。 病理診断及び病理解剖に5年6ヶ月間従事。				
実務経験を 活かした 教育内容	病理・病態の理解には、実際の病変や病理組織像を知ることが重要であることから、これまでに経験した症例の生の写真等を供覧し、理解の向上に努めている。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰など及び疾病の起こるメカニズムについて学ぶ。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍、過形成、先天異常、代謝などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。解剖学、組織学、生化学、生理学、免疫学など他の学問領域と関連させながら学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 病態生理学の基礎を理解し、免疫、体液調節、血液、循環、呼吸、消化・吸収、腎・泌尿器、内分泌・代謝、脳・神経・筋肉、感覚器の機能と病態生理の基本を説明できる。
2. 身体所見と各病変・疾患とを関連づけることができる。

《先修科目》

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ」は、病理病態学を学修するにあたっての基礎科目であり、欠かすことのできない科目です。

《評価の方法》

1. 定期試験70%（到達目標1,2）
2. 授業時間内に実施する小テスト30%（到達目標1）

《テキスト》

『系統看護学講座 病態生理学』（土居健太郎著 医学書院 最新版）

《参考図書》

なし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（小テストの結果は、次の講義時に返却し解説する）
授業形態：■講義形式

指定テキストを必ず持参すること。授業中の私語は厳禁とし、退出を求めることがあります。
病態を理解することは看護を学ぶに際し欠かせません。しっかりと学習して下さい。

《備考》

《オフィスアワー》

非常勤講師のため、質問等がある際には、houi@med.niigata-u.ac.jp に連絡してください。

科目名	病理病態学	授業科目番号	2209070
担当者氏名	高塚 尚和		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	正常と病気の状態、細胞・組織の障害、循環障害、感染症(病理病態学 総論)	病態生理学を学習する際に基礎となる知識をテーマ(キーワード)に基づき学習する。 講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp2~20を熟読する。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
2	腫瘍、先天異常と遺伝子異常、老化と死(病理病態学 総論)	病態生理学を学習する際に基礎となる知識をテーマ(キーワード)に基づき学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp20~32を熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
3	免疫反応の過剰、体液・電解質の調節と異常、酸・塩基平衡のしくみと異常、赤血球・白血球の機能と障害、血小板と出血傾向(免疫、体液、血液)	免疫のしくみと病態生理、体液調節のしくみと病態生理、血液のはたらきと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp53-59、65-68、73-75、82-84、88-90、92-94は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
4	心臓のポンプ機能と病態生理、血圧調節と末梢環境のしくみと病態生理(循環器)	循環のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp99-113、117-123は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
5	呼吸器系の防御機構の障害、換気障害、呼吸調節障害(呼吸器)	呼吸のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp135-137、140-145、147、149-150は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
6	咀嚼・嚥下障害、胃・腸管の障害、消化・吸収障害、肝臓・胆嚢の機能と障害、膵臓の機能と障害、腹膜腔・腹膜・腸間膜の機能と障害(消化器)	消化・吸収のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp157-158、161、163-164、167-171、174-177、179、180-181、183-184は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
7	腎機能の障害、泌尿器のしくみと病態生理、内分泌のしくみと異常、糖代謝と異常(腎臓、内分泌、代謝)	腎・泌尿器のしくみと病態生理、内分泌・代謝のしくみと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp192-193、196-197、203-206、213-215、221-225は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和
8	脳循環のしくみと障害、髄膜・髄液のはたらきと障害、意識と認知の障害、運動制御・筋収縮・視覚器・聴覚器の機能と異常(神経、感覚器)	脳・神経・筋肉のはたらきと病態生理、感覚器のはたらきと病態生理を学習する。講義の最後には確認テスト(小テスト)を実施する。 予習(30分): テキストp255-258、266-268、273、277-278、283-284、287-289は最低熟読し、不明な点を事前に明らかにする。 復習(60分): 授業を振り返りテーマ(キーワード)についてノート等にまとめる。	高塚 尚和

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護過程			授業科目番号	2311100
担当者氏名	樋本 まゆみ、田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	樋本まゆみ、田口めぐみ、大平富美、大崎美奈子4名とも看護師実践経験がある。				
実務経験を 活かした 教育内容	臨床現場においても看護過程の展開を用いて看護問題の解決を実施している。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

看護独自の援助を行うために看護理論を活用し、科学的・系統的な思考過程をもとに、看護過程の重要性と構成要素及び展開方法を学ぶ。事例をとおして、看護過程を展開する基礎的能力を修得する。さらに看護の対象者へ援助するために必要な考える力と基本姿勢を養う。

《授業の到達目標》

1. 看護過程の意義・目的、看護理論との関係を説明できる。 2. 看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程・クリティカルシンキング)を説明できる。 3. 看護過程の構成要素を挙げることができる。 4. 情報収集の枠組みを用いた全体像の描き方を記述できる。 5. 情報の整理と分析によってアセスメントすることが判断できる。 6. 看護上の問題の意義・目的を理解できる。 7. 事例に対する看護計画を立案できる。 8. グループで立案した看護計画を発表し共有できる。

《先修科目》

①看護学概論、②基礎看護学講義・演習Ⅰ、③基礎看護学実習Ⅰ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

看護学概論、基礎看護学に関する科目を受講、基礎看護学実習Ⅰを受講したのち、基礎看護学実習Ⅱにむけて看護過程の展開が必要である

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標1,2,3,6） 看護過程演習50%（グループワークの取り組み、看護過程記録物提出は最終授業が終了してから、改めて提出日を授業ガイダンスや授業内で伝える）（到達目標4,5,7,8）

《テキスト》

1.『ヘンダーソンの看護観に基づく看護過程 第4版 看護計画立案モデル』（焼山和憲 著 日創研）

《参考図書》

1.『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2023年）
2.『実習記録の書き方がわかる！看護過程展開ガイド 第2版』（任和子編 照林社 2022年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐ その他（その都度コメントをかえすとともに提出書類を提出後に返却する）
授業形態：☐ 講義形式 ☐ ディスカッション ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション

各回は看護過程の構成要素順に進めていきます。事例への看護過程展開は記録により確認します。演習の時間内で記録が整理できない場合は自己学習しグループワークが効果的に進むよう準備してください。

《備考》

グループワークに主体的に参加しながら進める。またお互いを尊重してチームで協働する意義を学ぶ機会となることを望む。

《オフィスアワー》

樋本まゆみ：毎週火曜日10：00～15：00（実習期間中や演習などで不在の場合にはtoyomoto-m@sutoku-u.ac.jpへ）

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護過程	授業科目番号	2311100
担当者氏名	樋本 まゆみ、田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護を実践するための思考プロセス 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 (看護実践、看護過程、看護理論)	ガイダンス 看護過程とは何か 看護の定義を復習し看護を実践するための思考を導くプロセスであることを理解する。 看護過程の意義・目的、看護理論との関係について理解する。 ＜予習＞(60分): テキストを読む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
2	問題解決過程思考 クリティカルシンキング (問題解決思考、批判的思考)	看護過程の基盤となる考え方を理解する。 1) 問題解決過程とは何か。身近な例を用い日常的に行われていることを理解する。 2) クリティカルシンキングとは何か。 論理的な探求や推論に関する知識が必要であり、因果関係を考える熟慮思考であることを理解する。 ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
3	看護過程の構成要素 (アセスメント、看護上の問題、看護計画、看護の実施、看護の評価)	看護過程の構成要素 1. アセスメント 2. 看護上の問題 3. 看護計画 4. 実施 5. 評価 ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
4	全体像の描き方 アセスメント (全体像、情報収集と分析、主観的データ・客観的データ)	アセスメントと全体像の描き方 枠組みを用いた情報収集、データ収集の手段 データの種類(主観的データ・客観的データ) データ分析の方法 ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
5	看護問題の明確化 共同問題 (看護上の問題、関連因子、看護の方向性)	看護上の問題とは 看護師が責任をもって対処できる健康上の問題 看護上の問題は対象の健康上の問題、問題を解決するための援助の方向 共同問題とは ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
6	看護計画 (期待される成果、看護計画の立案、実施、評価)	計画とは、目標を挙げて解決策(具体的な援助方法)を立案すること 看護問題の優先順位を決定 看護目標(期待される結果)を示す。達成可能であること。 援助内容の決定(OP: 観察計画 CP: 看護ケア EP: 指導計画) ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
7	実施 (看護援助)	計画を実際の行動に移すこと ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
8	評価 看護過程の各段階へのフィードバック (援助の評価)	評価とは実施の結果をアセスメントすることで看護目標の達成度をみること。 必要時各構成要素の段階にフィードバックを行う。 看護過程を使う意義・目的は、質の高い看護の提供ができ個別性のあるケアの提供が可能となる。 ＜予習＞(60分): 事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分): 何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護過程	授業科目番号	2311100
担当者氏名	樋本 まゆみ、田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	看護過程演習①(看護過程)	看護過程演習のガイダンス 事例展開に必要な基礎知識、グループワーク ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
10	看護過程演習②(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(情報の整理) グループワーク ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
11	看護過程演習③(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(アセスメント) グループワーク ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
12	看護過程演習④(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(アセスメント・全体像) グループワーク ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
13	看護過程演習⑤(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(看護問題の明確化) グループワーク ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
14	看護過程演習⑥(看護過程)	事例を用いた看護過程の実際について学習(看護計画)(実施)(評価) グループワーク ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：何が分かったか自分の頭の中を整理する	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子
15	グループ発表(看護過程)	各グループの学習した内容の発表、まとめ ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞(60分)：事例を用いた看護過程について記録にまとめる	樋本まゆみ 田口めぐみ 大平 富美 大崎美奈子

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護援助論III			授業科目番号	2311130
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、フィジカルアセスメントの知識や技術について実践的に教育する科目である				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

ヘルスアセスメントの概念と意義を理解し、看護の対象把握のために必要なアセスメントの基本的知識を学ぶ。フィジカルイグザミネーションについて人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

《授業の到達目標》

1. 人体の構造と機能の知識をふまえ、フィジカルアセスメントの目的・意義、フィジカルイグザミネーションの方法について理解できる。2. 系統的に対象の身体状況をアセスメントするための知識と技術を理解できる。3. 既習の看護学概論、基礎看護援助論Ⅰ・Ⅱから、対象にフィジカルイグザミネーションを実施する際の説明、プライバシー保護や配慮について理解できる。4. フィジカルイグザミネーションおよびフィジカルアセスメントを理解するために必要な学習を自ら行うことができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

人体の構造と機能の知識に基づき、対象のプライバシーへの配慮、および正確なフィジカルアセスメントを実施するための知識と方法の習得を目指す。

《評価の方法》

定期試験80%（到達目標1,2,3）、提出記録物20%（到達目標1,2,4）、課題については講義の中で提示する。

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2025年）
『系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ』（任和子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス』（守田美奈子監修 インターメディカ 2020年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却

授業形態：☑講義形式 ☑グループワーク

☑教育リソースの利用（利用リソース名： DVD ）

《備考》

予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解する。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。

《オフィスアワー》

田口めぐみ A623研究室 taguchi-m@m.sutoku-u.ac.jp オフィスアワー実施一覧表を参照 他の教員はオフィスアワー実施一覧表を参照

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護援助論III	授業科目番号	2311130
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ヘルスアセスメントとは (ヘルスアセスメント) キーワード (ヘルスアセスメント フィジカル)	科目ガイダンス ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント総論(講義) フィジカルアセスメントに共通する技術(観察 手技) 予習(60)分:(テキストを読む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
2	フィジカルイグザミネーション キーワード (問診 視診 打診 聴診 触診 看護技術)	フィジカルイグザミネーションの目的と意義 フィジカルイグザミネーションの方法(問診 視診 打診 聴診 触診)と留意点 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
3	バイタルサイン測定 キーワード (循環 呼吸 体温 測定の看護技術)	バイタルサイン測定の目的と意義 バイタルサイン測定の方法(体温 呼吸 脈拍 血圧) 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
4	循環器系のフィジカルアセスメント キーワード (循環動態の観察 アセスメント)	循環器系のフィジカルアセスメントの目的と意義 循環器系のフィジカルイグザミネーションの方法(問診 動脈触知 心音聴取 視診 触診) 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
5	呼吸系のフィジカルアセスメント キーワード (呼吸の観察 アセスメント)	呼吸器系のフィジカルアセスメントの目的と意義 呼吸器系のフィジカルイグザミネーションの方法(問診 視診 動脈触知 心音聴取 打診) 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
6	消化器系のフィジカルアセスメント キーワード (腹部の観察 アセスメント)	消化器系のフィジカルアセスメントの目的と意義 消化器系のフィジカルイグザミネーションの方法(問診 視診 腹部触診 腸蠕動運動聴診 聴診 打診) 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
7	筋・骨格筋系のフィジカルアセスメント キーワード (関節可動域 運動機能 筋力)	筋・骨格筋系のフィジカルアセスメント目的と意義 筋・骨格筋系のフィジカルイグザミネーションの方法(問診 視診 打診 関節可動域測定 運動機能評価) 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
8	脳神経系のフィジカルアセスメント キーワード (運動機能 感覚機能 反射)	脳神経系のフィジカルアセスメント目的と意義 脳神経系のフィジカルイグザミネーションの方法(問診 視診 打診 運動機能評価 感覚機能 反射) 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(授業内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護援助論Ⅳ			授業科目番号	2311140
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、フィジカルアセスメントの知識や技術について実践的に教育する科目である				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

「基礎看護援助論Ⅲ」を基盤とし、看護の対象者の状況に応じた看護を実践するために必要なフィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。シミュレーターを活用し臨床判断能力と自ら学ぶ力が育つようにアクティブラーニング型の演習で技術を修得する。

《授業の到達目標》

1. フィジカルイグザミネーションおよびフィジカルアセスメントの技術を正確かつ安全・安楽に実施できる。2. フィジカルイグザミネーションおよびフィジカルアセスメントからデータから対象の健康状態、身体の状態を評価できる。3. シミュレーターを使用し、対象の病態・症状および看護について関連づけることができる。4. シミュレーター学習を通じて、看護に必要な判断や看護の役割を説明できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

看護学概論で学習した、対象に安全・安楽な看護技術を提供することの重要性の理解、および基礎看護援助論Ⅲで習得した知識を活用し、正確かつ根拠に基づくフィジカルアセスメントの技術習得を目指す。

《評価の方法》

演習課題は事前に提示する。A4用紙を2枚程度にまとめる。
技術確認については自己練習をする。
技術確認50%(到達目標1.2.3) 課題レポート50%(到達目標1.2.3.4)

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2025年）
『系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ』（任和子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス』（守田美奈子監修 インターメディカ 2020年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却
授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション
☑教育リソースの利用（利用リソース名：VR）

《備考》

予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解する。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。 ・技術を修得するために自主練習を行う。

《オフィスアワー》

田口めぐみ A623研究室 taguchi-m@m.sutoku-u.ac.jp オフィスアワー実施一覧表参照 他の教員についてはオフィスアワー実施一覧表参照

科目名	基礎看護援助論Ⅳ	授業科目番号	2311140
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	バイタルサイン測定 キーワード (血圧測定 脈拍測定 体温測定 呼吸測定)	・バイタルサイン測定に必要な解剖生理学の知識、部位の確認 ・正確に測定するための測定方法 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
2	バイタルサイン測定 キーワード (血圧測定 脈拍測定 体温測定 呼吸測定)	・バイタルサイン測定に必要な解剖生理学の知識、部位の確認 ・正確に測定するための測定方法 ・対象の客観的データの正確な把握 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
3	バイタルサイン測定 キーワード (血圧測定 脈拍測定 体温測定 呼吸測定 アセスメント)	・バイタルサイン測定に必要な解剖生理学の知識、測定部位の確認 ・正確に測定するための測定方法および数値、客観的情報の把握 ・対象の客観的データの正確な把握と評価 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
4	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント キーワード (循環機能 心音聴取 アセスメント)	・循環器系のフィジカルアセスメントに必要な解剖生理学の知識、心音聴取の部位の確認と聴診 ・シミュレーターを使用した心音聴診 ・対象の客観的データの正確な把握と評価 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
5	循環器系・呼吸器系のフィジカルアセスメント キーワード (呼吸機能 呼吸音聴取 聴取 アセスメント)	・呼吸器系のフィジカルアセスメントに必要な解剖生理学の知識、呼吸音聴取の部位の確認と聴診 ・シミュレーターを使用した心音聴診 ・対象の客観的データの正確な把握と評価 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
6	消化器系のフィジカルアセスメント キーワード (消化器 腸蠕動運動聴診 腹部の打診・触診 アセスメント)	・消化器系のフィジカルアセスメントに必要な解剖生理学の知識、腸蠕動運動聴取の部位の確認と聴診 ・シミュレーターを使用した腸蠕動運動聴診 ・対象への腹部打診、触診 ・対象の客観的データの正確な把握と評価 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
7	筋・骨格系のフィジカルアセスメント キーワード (筋・骨格 関節可動域測定 筋力 運動機能 アセスメント)	・筋・骨格系のフィジカルアセスメントに必要な解剖生理学の知識、測定する部位の確認と実施 ・対象の客観的データの正確な把握と評価 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
8	脳神経系のフィジカルアセスメント キーワード (脳神経系 運動機能 感覚機能 反射 アセスメント)	・脳神経系のフィジカルアセスメントに必要な解剖生理学の知識、運動機能・感覚機能を観察、評価する部位の確認と実施 ・対象の客観的データの正確な把握と評価 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他

科目名	基礎看護援助論Ⅳ	授業科目番号	2311140
担当者氏名	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	技術確認 キーワード (バイタルサイン測定)	・バイタルサイン測定 予習(60)分:(自己課題に取り組む) 復習(60)分:(自己課題の整理と評価)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
10	技術確認 キーワード (血圧測定 脈拍測定)	・バイタルサイン測定 予習(60)分:(自己課題に取り組む) 復習(60)分:(自己課題の整理と評価)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
11	技術確認 キーワード (血圧測定 脈拍測定)	・バイタルサイン測定 予習(60)分:(自己課題に取り組む) 復習(60)分:(自己課題の整理と評価)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
12	シミュレーション演習オリエンテーション キーワード (アクティブラーニング)	・シミュレーション演習の説明 ・事前課題の確認 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
13	シミュレーション演習 キーワード (アクティブラーニング)	・VRを活用した演習 ・対象の病態、症状の観察と評価をグループで実施する 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
14	シミュレーション演習 キーワード (アクティブラーニング)	・VRを活用した演習 ・対象の病態、症状の観察とアセスメントをグループで実施する ・対象に必要な看護の検討 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習内容を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他
15	シミュレーション演習まとめ キーワード (アクティブラーニング)	・対象の病態、症状の観察とアセスメントについての検討内容をグループで整理し、発表する。 予習(60)分:(事前に提示された課題に取り組む) 復習(60)分:(演習での学びと自己の課題を整理する)	田口めぐみ 大平富美 大崎美奈子 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として人工透析室、整形外科病棟で看護実践経験、看護系大学教員として成人看護学の講義および慢性期看護実習の指導経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	人工透析室、整形外科病棟での臨床経験を有する。また看護系大学教員として成人看護学の講義および慢性期看護実習の指導経験を有する。臨床実習で出会った事例を紹介しながら授業を行う。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-3 他者の自己決定を擁護する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

成人の心身の機能、発達課題、家庭や社会での役割、社会環境をふまえた生活と健康問題を学修する。成人の健康に影響を及ぼす要因と成人保健の動向を把握し、保健活動と成人看護の役割を学修する。

《授業の到達目標》

1. 成人期にある人々の心理的・身体的・社会的特徴、健康問題を説明できる。
2. 成人期にある人々への看護の基本となる理論・概念を説明できる。
3. 健康レベルに応じた成人看護の視点を説明できる。
4. 新潟県下における成人の健康問題を明らかにしヘルスプロモーションについて考察する。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

既習関連科目は基礎看護学概論、長岡地域生活者交流実習。成人期の特性と健康問題、理論・概念の学修は、2年次からの成人急性期・慢性看護、成人急性期・慢性看護援助論、成人看護技術論、急性期・慢性看護実習の基礎とする。

《評価の方法》

レポート70%（到達目標1, 2, 3, 4）、授業内小テスト20%（到達目標1, 2）、グループワーク貢献度10%（到達目標1, 4）

《テキスト》

『成人看護学 成人看護学概論 改訂第5版』（林直子 他編 南江堂 2025年）

《参考図書》

『病の語り』（誠信書房） 『おとなの学びを拓く』（鳳書房） 『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却 ■次回講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■グループワーク

1. 予習と復習を行い、授業に参加しましょう。
2. チーム基盤型学習（TBL）では学習課題に対して資料作成を行いグループワークに参加しましょう。
3. 課題レポートは提出規程に基づき、提出期限を守ってください。

《備考》

原則として再試験は実施しませんが、必要性が生じた場合は再レポートとします。

《オフィスアワー》

近藤ふさえ：毎週木曜 10：00～17：00（それ以外ではkondo-f@sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

科目名	成人看護学概論	授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	健康な成人の成長発達と発達課題 (ライフサイクル、青年期、壮年期、向老期)	授業ガイダンス 時代とともに変化してきたライフサイクル 青年・壮年・向老期の身体的特徴 学習方法：講義、GW(チーム基盤型学習TBL) 予習(30分)：Text第1章1.「成人とは」を読み意味を理解する。 復習/課題レポート(100分)：時代とともに変化してきたライフサイクル、成人期の区分を整理するとともに課題レポートに取り組む。 提出規程・提出日時は授業内で提示。	近藤ふさえ
2	成人各期の発達課題と健康問題 (発達課題、エリクソン、レビンソン、ハビガースト)	成人各期の発達課題と健康問題 学習方法：GW(チーム基盤型学習TBL) 予習(15分)：自己の課題レポートを読みプレゼンテーションに備える。 復習(30分)：エリクソン、ハビガースト、レビンソンの理論の概要と相違点を整理する。	近藤ふさえ
3	成人を取り巻く環境と生活からみた健康 (就労環境、ストレスマネジメント、家族関係)	社会の中で生活を営むということ 働くことと生活、就労環境、家族関係 学習方法：講義、GW 授業内レポート～授業終了時に提出。 予習(30分)：Text第II章1. 2を読む。 復習(15分)：授業資料、成人を取り巻く環境の問題と健康格差を整理する。	近藤ふさえ
4	対象理解と看護のための基本的な理論と概念 (Identity、自己効力感、成人学習理論)	成人期の対象者への看護の拠り所となる理論と概念 Identity、自己効力感、成人学習理論など。 学習方法：講義、GW 授業内レポート～授業終了時に提出。 予習(30分)：Text第IV章を読む。 復習(15分)：Textで主な概念と理論を再確認する。	近藤ふさえ
5	保健統計からみた成人の健康の動向 (人口構成、死亡と死因、疾病構造、生活習慣病)	保健統計からみた成人の健康の動向 保健・医療・福祉政策と今日の健康問題 学習方法：講義、WG 予習(30分)：Text第III章1. 2を読む。WHO健康のとらえ方の復習をする。 復習(15分)：国民衛生の動向「生活習慣病対策」を読みむ。	近藤ふさえ
6	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション① (ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 学習方法：GW(チーム基盤型学習TBL) 予習(30分)：Text第III章3をよみヘルスプロモーションの意味を理解する。 復習/課題レポート(100分)：レポート作成に取り組む。 提出規程・提出日時は授業内で提示。	近藤ふさえ
7	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション② (健康問題の動向)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策(講義) 学習方法：グループワークの発表、講義 予習(15分)：自己の課題レポートを読みプレゼンテーションに備える。 復習(15分)：グループの発表をふまえ健康問題とヘルスプロモーションを整理する。	近藤ふさえ
8	健康の回復過程と健康レベルに応じた看護 (急性期、回復期、慢性期、終末期、病みの軌跡)	健康の回復過程と健康レベルに応じた成人看護の役割と機能 学習方法：事例学習 授業内レポート：授業終了時に提出。 予習(30分)：急性期、回復期、リハビリテーション期、慢性期、終末期の意味を調べる。 課題学習(120分)：事例に対する健康レベルに応じた看護を考察する。	近藤ふさえ

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論			授業科目番号	2312210
担当者氏名	板山 稔			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院等に16年間勤務				
実務経験を 活かした 教育内容	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、メンタルヘルスおよび精神看護における基礎的知識を教示する				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、家族や地域社会におけるこころの健康について学ぶ。また、また、精神保健福祉に関する法律や制度の歴史、精神保健福祉の動向、精神医療における倫理や人権について学び、看護の役割を理解する。

《授業の到達目標》

1. 心のしくみと人格の発達、ストレスと適応について説明できる。
2. 現代社会と精神看護の役割について説明できる。
3. 精神医療の歴史理解し、患者の人権や看護の倫理について説明できる。
4. 地域における精神保健と看護、リエゾン精神看護について説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は「精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ」を学ぶ上で必要な基礎的知識を学習する科目であり、精神看護実習の履修要件科目です。

《評価の方法》

定期試験85%（到達目標1. 2. 3. 4）、毎回の授業後のコメントシート（授業の理解度や質問内容を評価）15%（到達目標1. 2. 3. 4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎 第6版』（武井麻子 他著 医学書院 2025年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開 第6版』（武井麻子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『精神保健福祉 第4版』（末安民生 他著 医学書院 2022年）
『看護のための精神医学 第2版』（中井久夫、山口直彦著 医学書院 2004年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（各回の授業後のコメントシートに書かれた質問等には、次の講義時に解説します。）
授業形態：□講義形式 □ディスカッション
予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と資料に記載されているテキストの該当ページの内容を読んでおくこと。ふだんから精神医療や心の健康に関心を持ち、関連する新聞やニュース記事等を読むようにしてください。

《備考》

《オフィスアワー》

板山稔：毎週火曜 11：00～12：40 木曜 16：10～17：40 （実習期間等で不在の場合は、itayama-m@sutoku-u.ac.jp に連絡してください）

科目名	精神看護学概論	授業科目番号	2312210
担当者氏名	板山 稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	精神看護学とは何か (メンタルヘルス、障害、ICF)	精神看護学に関する基本的な考え方を理解し、精神障害の捉え方について考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
2	心のはたらきと人格の形成 (意識、感情、パーソナリティ、自我、防衛機制、愛着)	意識や感情といった心のはたらき、自我と防衛機制などの心のしくみ、ライフサイクルにおける人格(パーソナリティ)の発達について理解する。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
3	精神の健康とストレスの影響 (精神の健康、ストレス、コーピング)	精神の健康の基準について考え、心身の健康に及ぼすストレスの影響について理解する。また、ストレスに対応する個人の力について学ぶ。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
4	心的外傷と回復 (トラウマ、トラウマインフォームドケア、レジリエンス)	心的外傷(トラウマ)が精神の健康に及ぼす影響を理解し、回復を支える力について考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
5	関係のなかのメンタルヘルス (家族システム、感情表出)	家族システムの考え方を理解し、家族の中の精神的健康と関連する諸問題について事例を通して考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
6	精神保健の広がり (学校のメンタルヘルス、職場のメンタルヘルス、リエゾン精神看護、災害時のメンタルヘルス)	学校や職場における精神保健(メンタルヘルス)について理解する。また、医療の場におけるリエゾン精神看護や災害時のメンタルヘルスについて学ぶ。 予習(60分)：事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
7	精神医療の歴史 (人権、スティグマ、精神保健福祉法)	日本と欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学び、日本の精神医療の現状と課題について考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
8	精神保健医療における患者の人権と援助者の倫理 (人権擁護、精神保健ケアに関する法、看護の倫理綱領)	精神保健医療における患者の人権と倫理的問題について理解し、グループワークを通して倫理的問題に気づく視点を養う。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学概論			授業科目番号	2313170
担当者氏名	菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として、地域での勤務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	在宅における難病療養者等への在宅療養者支援を行政等で行った経験を踏まえ、在宅療養における看護の実 際等について、具体例を交えて教授する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

<菅原京子/5回>在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題について考察する。 <田辺生子/3回>在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、時期別の看護について考察する。

《授業の到達目標》

1. 地域・在宅看護、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
2. 地域・在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
3. 在宅ケアシステムと地域・在宅看護の役割を考え述べることができる

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域包括ケア論で学んだことを基盤とし、在宅療養者や家族の特性を理解するとともに、在宅看護の活動の場、活動方法の特徴、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割や課題を考察する科目である。

《評価の方法》

定期試験70%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、学習態度30%(予習・復習の内容、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する)

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子 他著 医学書院 2026年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア』（石田 千絵 他編 メディカ出版 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。グループワークはグループで話し合った内容を発表し、ディスカッションを行います。

《備考》

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

《オフィスアワー》

菅原京子：毎週火曜日10:40～12:40

その他の教員はポータルサイトに提示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	地域・在宅看護学概論	授業科目番号	2313170
担当者氏名	菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	暮らしの基盤としての地域・暮らしの理解 キーワード：(地域) (暮らし)	ガイダンス ・人々の暮らしを理解する。 ・地域の定義、地域の多様性について学ぶ。 ・地域・在宅看護の役割・機能を学ぶ。 ・システム理論について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：序章を読み地域の中での暮らしと健康について考えをまとめる。 復習(30)分：地域・在宅看護における看護者の視点について考えをまとめる。課題：テキストp28-29のワークシート。第2回に提出。	菅原 京子
2	地域・在宅看護の対象(個人) 地域包括ケア キーワード：(ライフステージ)	・地域包括ケアと共生社会を学ぶ。 ・地域における対象者のライフステージ・健康レベルの多様性を学ぶ。 ・国際生活機能分類(ICF)を基に対象者の健康について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：自分の暮らす地域の特性を記載する。(p52-53のワークシート) 復習(30)分：健康障害があっても地域で暮らし続けるために必要な地域資源マップを作成する。 課題：テキストp54のワークシート。第3回に提出。	菅原 京子
3	地域・在宅看護の対象(家族) キーワード：(家族)	・家族の定義について学ぶ。 ・家族看護理論、家族システムについて学ぶ。 ・家族のライフステージの理解と看護について学ぶ。 ・対象者と家族の意思決定を支援するプロセス(ACP)を学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：自分にとっての家族とはなにかを学ぶ。(p96のワークシート) 復習(30)分：事例を通して、看護の対象として家族を理解する。	菅原 京子
4	地域・在宅看護実践の場と連携 キーワード：(多職種連携) (関係機関)	・地域・在宅看護実践の場について学ぶ(住まい、医療機関、地域)。 ・地域・在宅看護における多職種連携について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：「キラリ！看護のシゴト：住み慣れた自宅でのその人らしく過ごせるように」を視聴し訪問看護師の役割にまとめる。 https://www.nurse.or.jp/aim/kango/index.html 復習(30)分：看護師とともに連携して働く職種をあげ、それぞれの役割についてまとめる。	菅原 京子
5	在宅看護におけるACP キーワード：(ACP) (人生会議)	・在宅療養者と家族を対象としたACPの考え方と実際について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：ACPについて調べてくる。 復習(30)分：在宅におけるACPIについて、学んだことをまとめる。	田辺 生子
6	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 キーワード：(介護保険制度) (訪問看護制度)	・介護保険・医療保険制度について学ぶ。 ・訪問看護制度について学ぶ。 ・権利保障に関する制度について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：介護保険制度について調べる。 復習(30)分：介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる	田辺 生子
7	退院調整の実践 キーワード：(退院調整)	・病院の退院支援について学ぶ。 ・病院と訪問看護ステーション、地域包括支援センター、行政等との連携について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：病棟における退院支援について調べる。 復習(30)分：介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる	田辺 生子
8	グループワーク 全体討議 キーワード：(在宅ケアシステム)	・“住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らしたいと願う人々への支援”をテーマに、地域・在宅看護の役割や期待されることについて考察する。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：地域包括ケアの実現に向けて看護職が果たせる役割について考える。 復習(30)分：在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を学ぶ。	菅原 京子 田辺 生子

科目名	歴史と文化			授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

日本人の伝統文化や生活様式に関する知識を知ることから日本の伝統的な地域文化に関する知識を深める。さらに、長岡の歴史から地域文化を考える。長岡地域を対象として、その歴史的な成り立ちを学び地域文化の理解を深め、さらに他の地域と比較することによって視野を広げる。また、地域社会を歴史的に理解するうえで、文化財の果たす役割にも着目する。近隣に位置する新潟県立歴史博物館において、新潟県の歴史と成果を実際に学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 新潟（長岡）の歴史について説明できる
2. 新潟（長岡）の歴史をもとに新潟（長岡）の文化を考察できる
3. 様々な地域の文化を理解できる

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

期末レポート100%(課題については講義の中で提示するので、必ず提出すること。与えられた課題について、各自の視点から適切にまとめられていることが必要である。提出のない者には単位を与えない。A4用紙800字程度。) (到達目標1.2.3)

《テキスト》

授業ごとに適宜資料を配布する。

《参考図書》

授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：課題なし

授業形態：□講義形式 □施設見学

日常的に目にする歴史的、文化的事象に注意を配り、不明なことがあれば積極的に調べる姿勢を身に付けること。

見学には必ず参加すること。

期末のレポートは必ず提出すること。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	歴史と文化	授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	郷土史概説① (史料の解説と分析)	先史時代の新潟の様子を知る 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
2	郷土史概説② (史料の解説と分析)	県内の古墳について調べる 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
3	郷土史概説③ (史料の解説と分析)	奈良平安時代の新潟について知る 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
4	郷土史概説④ (史料の解説と分析)	古地図から過去の様子を探る 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
5	郷土史概説⑤ (史料の解説と分析)	郷土の温泉文化について知る 予習(30)分: インターネット等を利用し県内の温泉地について調べる。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
6	郷土史概説⑥ (史料の解説と分析)	昔の人びとの災厄意識や現代に伝わる呪い(まじない)等による除災について知る 予習(30)分: 身近にある呪いの行事や道具について調べる。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利
7	郷土史概説⑦ (史料の解説と分析)	幕藩制社会のしくみについて考える 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
8	郷土史概説⑧ (史料の解説と分析)	戊辰戦争の歴史的位置について世界史的な視点から考える 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹

科目名	歴史と文化	授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井 勝利、田邊 幹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	郷土史概説⑨ (史料の解説と分析)	幕末から明治期における感染症とその対策について考える 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
10	郷土史概説⑩ (史料の解説と分析)	大正時代の社会と文化について知る 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
11	郷土史概説⑪ (史料の解説と分析)	太平洋戦争と庶民との関わりについて考える 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
12	郷土史概説⑫ (史料の解説と分析)	昭和36年・38年豪雪から自然災害について歴史的視点から考える 予習(30)分: 中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読し、未履修の者は概説書(新潟県編『新潟県のあゆみ』1990年、『新潟県の歴史』山川出版、1998年、等)に目を通しておくこと。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	田邊 幹
13	新潟県立歴史博物館見学 (文化財から学ぶ)	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る(14回と連続) 予習(30)分: 博物館のホームページで概要を確認する。 復習(30)分: 見学レポートを作成する。	浅井 勝利
14	新潟県立歴史博物館見学 (文化財から学ぶ)	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る(13回と連続) 予習(30)分: 博物館のホームページで概要を確認する。 復習(30)分: 見学レポートを作成する。	浅井 勝利
15	まとめ (史料の解説と分析)	あらためて新潟の歴史的な位置づけを考える 予習(30)分: これまでの授業内容を振り返る。 復習(30)分: 配布資料を再読し、ノート整理を行う。	浅井 勝利

科目名	感染免疫学			授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

微生物が引き起こす感染症発症のメカニズム、症状、伝播、生体防御機構について理解する。また、人間の防御機能の障害が起こす現象や、感染症と人間社会の関係、感染予防対策などを理解する。各論においては、細菌、真菌、原虫・寄生虫学、ウイルス等の形態、病原性、疫学、臨床症状、治療及び予防対策について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 微生物の種類と性質について説明できる。 2. 感染機構と感染に対する生体の防御機構について説明できる。 3. 感染を防ぐ滅菌と消毒について説明できる。 4. 感染症の検査、診断、治療について説明できる。 5. 感染症の現状と対策について説明できる。 6. 主な病原微生物とその感染症について説明できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

学習態度10%（到達目標 1, 2, 3, 4, 5, 6） 授業態度をもとに評価する。
定期試験90%（到達目標 1, 2, 3, 4, 5, 6）

《テキスト》

『《系統看護学講座》微生物学』（南嶋洋一 他著 医学書院 2022年）

《参考図書》

『感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学』（増澤俊幸著 羊土社 2025年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式

国家試験の出題傾向※を考慮して講義の要点を設定しており、定期試験の出題にも反映している。特に最終回の講義では講義全体の要点をふりかえり、要点をまとめた資料を配付するので活用していただきたい。

※看護roo!>看護師国家試験特集>過去問題集 (<https://www.kango-roo.com/kokushi/kako/>)

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	感染免疫学	授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	微生物と微生物学 (微生物、真核生物、原核生物、バクテリウム、コッホ、抗生物質)	テキスト第1章において、微生物の種類と生物における位置、微生物学の歴史を学ぶ。 予習(45分): テキスト第1章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
2	細菌の性質 (グラム染色、ペプチドグリカン、常在細菌叢)	テキスト第2章において、細菌の構造と増殖、遺伝、分類、常在細菌叢について学ぶ。 予習(45分): テキスト第2章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
3	ウイルスの性質と真菌の性質 (ヌクレオカプシド、エンベロープ、暗黒期、プリオン、菌糸、胞子)	テキスト第3章と第4章において、ウイルスと真菌の構造と増殖の様式、分類について学ぶ。 予習(45分): テキスト第3章と第4章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
4	感染と感染症 (発症、経口感染、食中毒、経気道感染、毒素、)	テキスト第5章において、感染の過程と感染経路、細菌とウイルスおよび真菌の感染機構について学ぶ。 予習(45分): テキスト第5章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
5	感染に対する生体防御機構 (1) (白血球、リンパ球、サイトカイン、補体、食細胞)	テキスト第6章前半において、免疫にかかわる細胞と細胞間情報伝達、自然免疫のしくみについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第6章前半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
6	感染に対する生体防御機構 (2) (抗原提示、抗体、細胞性免疫、ワクチン、発熱)	テキスト第6章後半において、獲得免疫と粘膜免疫のしくみ、感染の徴候と症状について学ぶ。 予習(45分): テキスト第6章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
7	滅菌と消毒 (バイハザード、オートクレーブ、グルタルアルデヒド、エチルアルコール)	テキスト第7章において、滅菌・消毒の方法と消毒薬の種類と特徴について学ぶ。 予習(45分): テキスト第7章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
8	感染症の検査と診断 (分離培養、蛍光抗体法、イムノクロマト法、PCR法、ELISA法)	テキスト第8章において、病原体の形態学的検査法、抗原検査法、核酸検査法、抗体検査法について学ぶ。 予習(45分): テキスト第8章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫

科目名	感染免疫学	授業科目番号	2209010
担当者氏名	福田 雅夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	感染症の治療 (選択毒性、薬剤耐性、副作用、 β -ラクタム)	テキスト第9章において、化学療法薬の基礎と抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬について学ぶ。 予習(45分): テキスト第9章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
10	感染症の現状と対策 (新興感染症、院内感染、感染症法、標準予防策、ワクチン)	テキスト第10章において、感染症の変遷、感染症の現状と問題点、感染症への対策について学ぶ。 予習(45分): テキスト第10章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
11	病原細菌と細菌感染症(1) (MRSA、レンサ球菌、レジオネラ、大腸菌、ピロリ菌)	テキスト第11章前半において、球菌、グラム陰性好気性・通性桿菌、カンピロバクター、ヘリコバクターについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第11章前半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
12	病原細菌と細菌感染症(2) (結核菌、ボツリヌス菌、つが虫病、トラコーマ)	テキスト第11章後半において、抗酸菌と放線菌、嫌気性菌、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第11章後半を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
13	病原ウイルスとウイルス感染症 (ヘルペス、インフルエンザ、風疹、コロナウイルス、ノロウイルス)	テキスト第12章において、DNAウイルス、RNAウイルス、肝炎ウイルス、プリオンについて学ぶ。 予習(45分): テキスト第12章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
14	病原真菌と真菌感染症 (カンジダ、アフラトキシン、ニューモシスチス)	テキスト第13章において、深在性真菌症、深部皮膚真菌症、表在性真菌症と原因真菌について学ぶ。 予習(45分): テキスト第13章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫
15	寄生虫と衛生動物、講義全体の要点 (アメーバ赤痢、トリコモナス、マラリア、アニサキス)	テキスト付章において、寄生虫学、原虫、蠕虫、衛生動物について学んだ後、講義全体の要点をふりかえる。 予習(45分): テキスト付章を読み、内容の概観と学習項目を把握する。 復習(60分): テキストおよび授業の資料を読み返して要点を整理して確認する。	福田 雅夫

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	薬理学			授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合 絵里			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	病院薬剤師として30年以上実務に就く。				
実務経験を 活かした 教育内容	病院で実際に処方されている薬剤の薬理、副作用症例を伝えることができる。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 主な疾患に用いられる代表的な薬剤について説明することができる。
2. 薬剤の体内動態を理解し、有害事象と適正使用について述べることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

解剖生理学・生化学が基礎となる。

《評価の方法》

定期試験100%（到達目標1.2）

《テキスト》

『薬の基本とはたらきがわかる 薬理学』（柳田俊彦編 羊土社 2023年）
『今日の治療薬 2026 解説と便覧』（伊豆津宏二 他編 南江堂 2026年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（ 次回講義時に復習ポイントを解説 ）
授業形態：■講義形式

《備考》

《オフィスアワー》

質問等についてはメールで問い合わせること。

科目名	薬理学	授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合 絵里		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	薬理学総論 薬害被害 (薬力学・薬物動態 薬物相互作用 有害反応 法律 薬害 チーム医療)	薬が効くしくみ テキスト第1～3章 薬の基礎知識・薬物治療の注意点・くすりと法律 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 重要ポイントを表示	佐合 絵里
2	循環器系疾患治療薬 (血圧 心臓)	循環器の疾患・治療薬の種類 テキスト第10章 高血圧治療薬・狭心症治療薬・心不全治療薬・利尿薬 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 前回重要ポイントを解説 今回重要ポイントを表示	佐合 絵里
3	循環器系疾患治療薬 内分泌疾患・代謝系疾患治療薬 消化器系疾患治療薬 (脳血管障害 糖尿病 消化性潰瘍)	機能と疾患・治療薬の種類 テキスト第10章 脳血管障害治療薬 テキスト第11章 内分泌疾患・代謝系疾患治療薬 テキスト第12章 消化器系・呼吸器系・泌尿生殖器系疾患治療薬 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 前回重要ポイントを解説 今回重要ポイントを表示	佐合 絵里
4	輸液 免疫治療薬 末梢神経系に作用する薬 (水分組成 免疫システム 末梢神経)	機能と疾患・治療薬の種類 テキスト第15章 輸液 テキスト第6章 免疫治療薬 テキスト第8章 末梢神経系に作用する薬 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 前回重要ポイントを解説 今回重要ポイントを表示	佐合 絵里
5	抗炎症薬・鎮痛薬 (アレルギー反応 ステロイド)	疾患・治療薬の種類 テキスト第7章 抗炎症薬・鎮痛薬 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 前回重要ポイントを解説 今回重要ポイントを表示	佐合 絵里
6	感染症治療薬 抗がん剤 (感染 適正使用 がん治療)	疾患・治療薬の種類 テキスト第4章 感染症治療薬 テキスト第5章 抗がん薬 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 前回重要ポイントを解説 今回重要ポイントを表示	佐合 絵里
7	中枢神経系に作用する薬 (中枢神経系 抗精神病薬 気分安定薬)	疾患・治療薬の種類 テキスト第9章 中枢神経系に作用する薬 予習(20分): 上記テキスト範囲を読む 復習(10分): 前回重要ポイントを解説 今回重要ポイントを表示	佐合 絵里
8	まとめ (患者と薬の関わり・高齢者と薬)	資料プリントを使用 多職種チームによる服薬指導の重要性・高齢者とポリファーマシーの関係 復習(10分): 授業で提示する確認テストに解答する	佐合 絵里

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)			授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤 正洋			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	臨床医として30年の臨床診療経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	診療経験を活かして、基本的な循環器領域の知識を教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。

ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。

《授業の到達目標》

循環器疾患に関する病態、検査、診断、治療法を正しく理解し、述べることができる。

循環器疾患に関する正しい情報を、医療関係者ではない人が理解できるように説明することができる。

将来医療関係者となる時のために、疾患に関する疑問点を自ら調べる方法、考える習慣を身につけ、実践することができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

定期試験90%、学習態度10%で評価する。

《テキスト》

スライド等を使用する。

《参考図書》

『病気がみえる vol.2 循環器』第6版（医療情報科学研究所 2026年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却

授業形態：□講義形式

予習、復習を行い、疑問点、問題点を早期に解決しながら受講していくことが望ましい。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)	授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤 正洋		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	循環器総論、検査総論(心臓、大血管、心電図、胸部X線、心エコー、心不全)	ガイダンス。循環器の解剖、生理、主要症候を理解する。心不全について理解する。循環器の基本的検査を理解する。 予習(30)分:循環器系(心臓、大血管)の構造と機能に関して、1年時学習内容の確認を行う。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
2	虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症、急性冠症候群)	心筋梗塞、狭心症など虚血性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 予習(30)分:虚血性心疾患について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
3	不整脈(徐脈性不整脈、頻脈性不整脈)	基本的な不整脈の病態、診断法、治療法を理解する。 基本的な不整脈のモニター心電図が理解できる。 予習(30)分:心電図の基本と不整脈について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
4	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、感染性心内膜炎、心臓粘液腫)	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍の病態、診断法、治療法を理解する。 予習(30)分:心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
5	心筋疾患、心膜疾患(拡張型心筋症、肥大型心筋症、心外膜炎、心タンポナーデ)	心筋症、心膜疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 予習(30)分:心筋症、心膜疾患について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
6	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患(大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症)	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 予習(30)分:大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
7	血圧異常、身体診察法(本態性高血圧、二次性血圧、血圧測定、聴診法)	高血圧の病態、診断法、治療法を理解する。 循環器疾患を意識した身体診察を理解する。 予習(30)分:高血圧、身体診察法について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋
8	先天性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜症欠損症、動脈管開存症)	先天性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 予習(30)分:先天性心疾患について参考図書等を読んでおく。 復習(30)分:講義内容の理解を深める。	伊藤 正洋

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)			授業科目番号	2209030
担当者氏名	沼田 由夏、高村 昌昭			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	[呼吸器] 呼吸器内科医として、呼吸器疾患および喫煙関連疾患の診療と禁煙支援に従事してきた。 [消化器] 医師として病院勤務で消化器診療の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	[呼吸器] 呼吸器内科医としての実務経験を基に、呼吸器疾患の基礎知識とともに、喫煙関連疾患の理解、予防および禁煙支援について、看護実践につながる形で教授する。 [消化器] 実務経験を活かして、消化器疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（沼田由夏/4回）呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。
（高村昌昭/4回）消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。

《授業の到達目標》

[呼吸器] 呼吸器疾患の基本的な解剖・生理および病態を理解し、肺炎、誤嚥性肺炎、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、気管支喘息、間質性肺疾患、肺血栓塞栓症、肺癌など主要な呼吸器疾患について、症状・検査・治療の概要を説明できる。また、喫煙を含む生活習慣や環境要因が呼吸器の健康に及ぼす影響を理解し、看護師として必要な観察、患者支援および予防的視点を身につけることができる。
[消化器] 消化器系臓器の解剖・生理・病理などの基礎知識を理解し、代表的な消化器疾患（癌、慢性肝疾患、炎症性腸疾患等）の疫学的特徴・原因・症状・検査・治療についての知識を深めることができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

[呼吸器] 本科目は解剖生理学、病態生理学で学んだ知識を基盤とし、呼吸器疾患の理解を深める専門基礎科目である。成人看護学、老年看護学、在宅看護学等の基礎となり、臨床実習における呼吸状態の観察や患者支援を理解する土台を形成する

《評価の方法》

[呼吸器] 授業時間内の小テスト（20%）、定期試験（80%）
[消化器] 授業時間内に実施する小テスト20%（10% x 2回）、定期試験80%

《テキスト》

[呼吸器] 『系統看護学講座 専門分野 呼吸器 成人看護学2』（朝倉啓介 他著 医学書院 2026年）
[消化器] 『系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器』（南川雅子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

[消化器] 消化器ナーシング等の入門用雑誌

《履修上の留意点》

[呼吸器] 授業形態：■講義形式
[消化器] 課題のフィードバック方法：■その他（ 解答提出直後 ）
授業形態：■講義形式 ■双方向（ICTの活用）
テキスト(第6章「患者の看護」の章も学ぶ疾患に合わせて)の予習をして下さい。資料は授業時に配布します。
授業の理解を深めるために小テストを2回行います。

《備考》

[呼吸器] テキスト以外にも配布資料を追加します。

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	授業科目番号	2209030
担当者氏名	沼田 由夏、高村 昌昭		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	呼吸器の解剖と機能 キーワード (呼吸器の解剖生理、病態生理の基礎)	呼吸器の構造と機能(呼吸調節、換気運動、ガス交換、酸塩基平衡など)について振り返ります。 スライドを用いて講義します。必要なところはノートを取ってください。 講義後、関連する正文集をお渡ししますので、復習をお願いします。 予習(30分): (テキストを読む: 第2章 呼吸器の構造と機能) 復習(60分): (授業内容を振り返り、再度テキストを読んで知識の定着を図る。正文集を読み復習する。)	沼田 由夏
2	呼吸器疾患の自他覚症状、検査と治療 キーワード (呼吸器疾患の自・他覚症状、診断と検査の流れ、治療とリハビリ)	呼吸器疾患を持つ患者さんの診察・検査・治療手などを学習します。 スライドを用いて講義します。必要なところはノートを取ってください。 講義後、関連する正文集をお渡ししますので、復習をお願いします。 予習(30分): (テキストを読む: 第3章 症状とその病態生理、第4章 検査と治療・処置の一部) 復習(60分): (授業内容を振り返り、再度テキストを読んで知識の定着を図る。正文集を用いて復習する。)	沼田 由夏
3	呼吸器疾患-各論 1 キーワード (呼吸器感染症、間質性肺疾患、気管支喘息、気管支拡張症)	呼吸器感染症、呼吸器領域特有の疾患について学習します。 スライドを用いて講義します。必要なところはノートを取ってください。 講義後、関連する正文集をお渡ししますので、復習をお願いします。 予習(30分): (テキストを読む: 第5章 疾患の理解 A-D) 復習(60分): (授業内容を振り返り、再度テキストを読んで知識の定着を図る。正文集を読み復習する。)	沼田 由夏
4	呼吸器疾患-各論 2 キーワード (COPD、肺癌、睡眠時無呼吸症候群、胸膜疾患)	喫煙関連疾患(COPD: 慢性閉塞性肺疾患、肺癌)と呼吸調節に関する疾患、縦隔や胸膜疾患について学習します。 スライドを用いて講義します。必要なところはノートを取ってください。 講義後、関連する正文集をお渡ししますので、復習をお願いします。 予習(30分): (テキストを読む: 第5章 疾患の理解 D-3 COPD～ J) 復習(60分): (授業内容を振り返り、再度テキストを読んで知識の定着を図る。正文集を読み復習する。)	沼田 由夏
5	消化器の基礎知識(消化器系臓器の解剖・生理、五大栄養素)	①消化管の解剖について、②消化・吸収・栄養についての基礎知識、③内視鏡検査他消化器疾患で頻用する検査 予習(60分): テキストP16～38、P82～99、P106～109を読む。 復習(60分): 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める	高村 昌昭
6	消化管疾患-1(食道がん、胃がん、ピロリ、消化性潰瘍)	①消化性潰瘍、②食道疾患(食道がん・逆流性食道炎)、③胃がん、④胃がん術前術後ケア 予習(30分): テキストP40～53、P130～163を読む。 復習(60分): 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める	高村 昌昭
7	消化管疾患-2(大腸がん、感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病)	①大腸・直腸がん、②大腸がん・直腸がん術前術後ケア、③炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)、④その他の大腸疾患 予習(30分): テキストP163～204を読む。 復習(60分): 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める	高村 昌昭
8	肝・胆・膵疾患(肝炎ウイルス、肝硬変、胆石、胆嚢がん、膵がん、膵炎)	①肝炎・肝硬変・肝炎ウイルス、②肝がん、③胆石、④胆管がん・膵がん 予習(30分): テキストP51～60、P205～261を読む。 復習(60分): 資料を見て授業内容を振り返り、テキストを読み理解を深める	高村 昌昭

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝・腎）			授業科目番号	2209090
担当者氏名	八幡 和明、中野 正明			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	〔内分泌〕 医師として病院勤務の実務経験を有する。 〔腎〕 新潟大学医学部保健学科にて、15年以上看護学生に対して腎臓病に関する講義を担当した。				
実務経験を活かした教育内容	〔内分泌〕 実務経験を活かして、内分泌・代謝・腎疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。〔腎〕 上記の実務経験を踏まえて、より理解しやすい講義資料を作成して、学生に提供する。さらに、学生が講義に集中するように、毎回講義の後にミニテストを実施する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

代謝、内分泌疾患、腎疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（八幡和明/ 4回）間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などを学び、看護実践の基礎知識とする。
（中野正明/ 4回）主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学び、看護実践の基礎とする。

《授業の到達目標》

〔内分泌〕 主な内分泌疾患として甲状腺疾患・副腎疾患、および糖代謝（糖尿病）・脂質代謝・尿酸代謝異常を来す疾患についての概要を理解することができる。各疾患の治療方針がわかる。糖尿病の治療目標を理解し、簡単な療養指導を行うことができる。〔腎〕 (1)腎・泌尿器系の解剖を理解することができる。尿の生成過程と尿に異常物質がもたらされる機序を理解することができる。(2)主要な腎疾患の症状・検査異常・治療法の概略を理解することができる。(3)急性腎障害・慢性腎臓病の概念を理解することができる。(4)腎代替療法としての透析療法、腎移植療法を理解することができる。各国の腎代替療法と比較した我が国の特徴を理解することができる。

《先修科目》

人体の構造と機能

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

〔腎〕 病理病態学にて腎臓病の理解に努める

《評価の方法》

〔内分泌〕 定期試験（選択問題・記述問題）100%
〔腎〕 定期試験（70%）、授業後の小テスト（20%）、授業への受講態度他（10%）により、総合的に評価する。

《テキスト》

〔内分泌〕 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2019年） その他PPT資料あり
〔腎〕 特になし。PPTの配布資料がある。

《参考図書》

〔内分泌〕 『糖尿病治療ガイド2022-2023』（日本糖尿病学会編 文光堂 2022年）
〔腎〕 『系統看護学講座 専門分野 腎・泌尿器』医学書院 『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』 Medic Media

《履修上の留意点》

〔内分泌〕 授業形態：■講義形式
〔腎〕 課題のフィードバック方法：■その他（次回講義時に解説）
授業形態：■講義形式
配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

《備考》

《オフィスアワー》

〔内分泌〕 教務・学生課を通じて連絡してください。
〔腎〕 オフィスアワーは授業の前後である。メールアドレスは、manakano@nagachu.jp である。

科目名	疾病治療論III（内分泌・代謝・腎）	授業科目番号	2209090
担当者氏名	八幡 和明、中野 正明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	代謝性疾患の理解 糖尿病とは 糖尿病の診断 糖尿病の合併症	糖代謝の仕組みと血糖値が上昇する糖尿病という疾病の特徴を理解する。 。糖尿病の診断、合併症の理解。食事療法の基礎、摂取カロリーの計算、治療薬の特徴、インスリン注射、血糖測定の手技などの実際がわかる。	八幡 和明
2	糖尿病の治療と心理行動学的アプローチ	糖代謝の治療方針がわかる。食事療法、運動療法、薬物療法について学ぶ。 。さらに患者心理と行動学的アプローチについて学ぶ。	八幡 和明
3	内分泌疾患の理解 内分泌とは 内分泌臓器について	内分泌と外分泌の違い、体内で相互に機能を調節するための「ホルモン」の働きについて学習する。下垂体、甲状腺の役割と、ホルモンの異常を来す疾患について理解する。特に甲状腺機能亢進症（バセドウ病）と甲状腺機能低下症（橋本病）について、その特徴的な症状と治療方法を理解する。	八幡 和明
4	内分泌疾患各論 甲状腺疾患の診断治療 副腎疾患の診断治療	副甲状腺疾患、副腎疾患について、ホルモンの働きとその異常をきたす疾患について理解する。	八幡 和明
5	腎疾患(1) 腎・尿路の構造と機能。検査。症状とその病態生理。 キーワード (糸球体)	腎・尿路系の解剖。尿の出来るしくみと尿中異常物質の病的意義。関連する症状と尿および血液の検査異常について。 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明
6	腎疾患(2) 腎臓の機能と各種疾患の理解。 キーワード (IgA腎症)	体液バランス、電解質代謝、酸塩基平衡。主な腎疾患の概要。急性、急速進行性、慢性の各疾患。原発性（一次性）腎疾患を中心に。 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明
7	腎疾患(3) 間質病変、血管系の異常、二次性腎疾患の概要。 キーワード (糖尿病関連腎臓病)	尿細管・間質性疾患、各種腎血管系疾患、全身性疾患に伴う腎障害。 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明
8	腎疾患(4) 腎不全とその治療。 キーワード (急性腎障害、慢性腎臓病、血液透析)	急性腎障害、慢性腎臓病、末期腎不全と各種腎代替療法。 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	公衆衛生学			授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を生かして、公衆衛生の基本的知識が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力, ○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とのかかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生の概念、疾病リスクと疾病予防の考え方、健康管理の活動、健康増進に関連するライフスタイルを説明できる。
2. 主な疾病の予防対策（感染症・生活習慣病・がん等）について説明できる。
3. 環境保健、学校保健、産業保健、国際保健医療、災害保健の現状について概要を説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

疾病治療論や感染免疫学、各看護領域の専門科目と関連する内容であるため、各科目の知識と統合すること。

《評価の方法》

- ①定期試験80%（到達目標1,2,3）
 - ②グループ課題に対するレポート20%（到達目標1,2）
- レポートはグループ（課題に対する公衆衛生学的考察）と個人（グループへの貢献）それぞれで提出する。

《テキスト》

『シンプル衛生公衆衛生学2026』（辻一郎監修 南江堂 2026年）
『国民衛生の動向 2025/2026』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2025年）

《参考図書》

『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』（ハンス・ロスリング 他著 日経BP社 2019年）
『命の格差は止められるか』（イチロー・カワチ著 小学館 2013年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：グループ課題に対するプレゼンテーションに対して、課題発表会時に講評を行う
授業形態：講義形式、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション

テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、またニュースやネット等でも公衆衛生に関連する記事に積極的に触れ関心を持つことが望まれる。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

質問等についてはメールで問い合わせること。

科目名	公衆衛生学	授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	衛生学・公衆衛生学序論 (健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、地域保健とコミュニティ)	衛生学、公衆衛生学とはどのような学問かについて理解する。公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、生命倫理について講義形式で学ぶ。私たちの生活と健康を取り巻く環境のうち、人々の関係やコミュニティに着目して、健康的な地域のあり方について理解する。 予習(30分): テキスト第1章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
2	疾病予防と健康管理① (疾病の自然史、一次・二次・三次予防、リスク因子、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、検診と健診、ナッジ)	疾病の自然史や疾病のリスク要因、疾病予防の段階(一次・二次・三次予防)と段階に応じた予防手段、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、健康管理活動、ナッジをはじめとする健康管理の技法について理解する。 予習(30分): テキスト第4章(4-1～4-2)を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
3	疾病予防と健康管理② (健康の社会的決定要因、健康格差、ライフスタイルと健康、健康日本21)	健康の社会的決定要因や健康格差、疾病予防・健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 予習(30分): テキスト第4章(4-3)を読む。前回の講義スライドを再読する。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
4	生活習慣病・がん・その他疾病の予防対策 (高血圧、心血管疾患、糖尿病の原因と合併症対策、がん、腎疾患、アレルギーの原因と対策、自殺対策)	生活習慣病(高血圧性疾患、心疾患、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム)、がん、腎疾患、アレルギーの疫学、予防対策を理解する。また自殺の現状と予防対策について理解する。 予習(30分): テキスト第5章(5-2～5-7)を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
5	感染症の予防対策① (感染症の成立条件、感染症予防の原則、ワクチン)	感染症の成り立ちを概観し、生活習慣病と異なる感染症特有の予防対策について理解する。また予防接種を取り巻く現状について理解する。 予習(30分): テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
6	感染症の予防対策② (感染症予防の原則、主要な感染症、感染症を取り巻く公衆衛生的な諸問題)	主要な感染症の特徴や予防対策について理解する。また感染症が原因で起こりうる公衆衛生的な諸問題(格差やスティグマ等)について理解する。 予習(30分): テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。前回の講義スライドを再読する。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
7	環境保健① (生態系・環境の評価、生体と環境の関係、環境汚染・地球環境問題、物理的環境要因)	私たちの生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、地球の環境・生態系、環境汚染・地球環境問題、生体と環境の関係、環境の把握方法と評価方法、物理的環境要因(気温、騒音、放射線、気圧)について理解する。 予習(30分): テキスト第6章(6-1～6-3)を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
8	環境保健② (化学的環境要因、水の衛生、新潟水俣病、廃棄物、衣食住の衛生)	私たちの生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、化学的環境要因(化学物質、空気)、水の衛生について理解する。また水の衛生が問題となった事例として、新潟水俣病について公衆衛生学の観点から理解を深め、自身なりに意見できるようにする。 予習(30分): テキスト第6章(6-4、6-6～6-7)を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼

科目名	公衆衛生学	授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	環境保健③ (公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、プラネタリーヘルス、環境管理・リスク管理)	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に廃棄物、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理について理解する。 予習(30分): テキスト第6章(6-8～6-11)を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
10	学校保健 (子どもの健康状況・学校保健管理・歯科保健・環境管理・保健教育、包括的性教育)	学校の保健対策、子どもの健康状況を知り、学校保健の意義から内容までを理解する。 予習(30分): テキスト第9章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
11	産業保健① (働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進)	産業現場の保健対策について、特に働く人々の健康、労働災害、職業病について理解する。また、産業保健を理解する上で重要となる労働法制(働き方のルール)について概観する。 予習(30分): テキスト第10章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
12	産業保健② (働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進)	産業現場の保健対策について、健康診断と健康増進、また近年注目されている働き方改革、長時間労働者対策、メンタルヘルス対策、健康経営などについて理解する。 予習(30分): テキスト第10章を読む。前回の講義スライドを再読する。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
13	国際保健医療・災害保健 (人種・民族・国・開発途上国・国際協力、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、災害対策と疾病予防)	国際保健の現状、日本の国際協力について概観する。特に、発展途上国の人々、女性・子ども、セクシャルマイノリティに関わる健康支援について理解する。また世界で相次ぐ自然災害・NBC災害・テロの現状と、これらが原因で起こりうる疾病・健康障害の予防について理解する。 予習(30分): テキスト第13章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
14	グループ課題発表会①	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 予習(60分): 1～13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。 復習(60分): 他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。	鈴木 翼
15	グループ課題発表会②	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 予習(60分): 1～13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。 復習(60分): 他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。 課題(提出期限: 7月31日17時まで/講師メールアドレスへメールで提出) グループ課題に対する公衆衛生学的考察と、個人のグループへの貢献をそれぞれレポートにまとめる。	鈴木 翼

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅲ			授業科目番号	2311050
担当者氏名	大崎 美奈子、田口 めぐみ、大平 富美、樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を生かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について実践的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲			

《授業の概要》

診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、電法、創傷管理について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

《授業の到達目標》

1. 診療補助技術における看護師の役割を述べるができる。
2. 各診療補助技術に関わる根拠を解剖生理学やフィジカルアセスメント、薬理学等の既習知識を活用して述べるができる。
3. 診察、検査、治療が対象者に与える身体的・心理的影響を理解し、診療の補助を安全・安楽に提供する方法を述べるができる。
4. 診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、診療を補助する上で必要な基本的技術を実施できる。

《先修科目》

本科目は看護学概論、基礎看護技術演習Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰを終了後開講される。

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は看護学概論、基礎看護技術演習Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰを学び、看護の役割を理解したうえで診療補助技術における看護を学習する。人体の機能と構造の知識を想起して学習する。

《評価の方法》

定期試験：60％（到達目標1，2，3）

技術確認：20％（到達目標2，3，4）

提出記録物：20％（到達目標1，2，3，4）課題は講義の中で事前に提示し、各単元でA4用紙2枚程度。

《テキスト》

『系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ』（茂野香おる 他著 医学書院 2024年）

『系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ』（任和子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『ナースングラフィカ 基礎看護学技術Ⅱ』（松尾ミヨ子他編 メディカ出版 2023年）

『写真でわかる臨床看護技術アドバンス①②』（本庄恵子他 インターメディカ 2020年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク

・ 予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確にしておくこと。復習としてテキスト、講義資料、参考書等を用い学習内容を整理し確実な知識にする。

・ 講義中の活発なディスカッションを望みます。・ 提出課題は講義の最終回までに返却する。

《備考》

《オフィスアワー》

大崎美奈子：A616研究室 osaki-m@sutoku-u.ac.jp

オフィスアワー実施一覧を参照

科目名	基礎看護技術演習III	授業科目番号	2311050
担当者氏名	大崎 美奈子、田口 めぐみ、大平 富美、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	診療・検査・処置における技術(検査、治療・処置)	- 科目ガイダンス、診療を補助する看護者の役割 - 検査の種類・検査時の援助 学習方法：講義 <予習> (30分)：「看護技術の基盤」を熟読する。 <復習> (30分)：「診療・検査・処置における技術」を整理し講義を振り返る。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
2	症状・生体機能管理技術(検体検査、生体検査)	- 検体検査、静脈血採血、生体情報のモニタリング - 採血用ホルダー・真空管採血針のセット・ME機器の取り扱い 学習方法：講義/演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：「症状・生体機能管理」を整理し講義を振り返る。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
3	検体の採取(血液検査)	静脈血採血 学習方法：講義/演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：静脈血採血レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
4	与薬の技術(与薬法)	- 与薬のための基礎知識、技術 - 薬物療法・薬物動態・薬剤の種類、薬物療法と看護 学習方法：講義/演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
5	与薬の技術(与薬法) 与薬の技術(注射法)	- 安全確認・説明と同意 グループワーク - 注射の技術：注射に必要な基礎知識、注射の準備 学習方法：講義/演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
6	与薬の実際(注射の準備) 与薬の技術(皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射)	注射の技術：皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射 学習方法：講義/演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
7	与薬の技術(皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射)	- 注射の技術：皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射 - 注射の準備 学習方法：講義/演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
8	注射の実際(筋肉内注射)	筋肉内注射 (技術確認) 学習方法：演習 <予習> (60分)：事前に提示された課題に取り組む。 <復習> (60分)：演習を振り返り、自己の課題を明確にする。 筋肉内注射レポートを作成し演習を振り返り、自己の課題を明確にする。(60分)	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他

科目名	基礎看護技術演習Ⅲ	授業科目番号	2311050
担当者氏名	大崎 美奈子、田口 めぐみ、大平 富美、樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	与薬の技術(点滴静脈内注射)	・点滴静脈内注射の安全確認 グループワーク 学習方法：講義/演習 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
10	与薬の技術 排泄障害のある人への援助 (浣腸)	・排尿障害のある人への援助(導尿含む) ・排便障害のある人への看護(浣腸含む) 学習方法：講義/演習 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
11	与薬の技術 排泄障害のある人への援助 (浣腸)	・排尿障害のある人への援助(導尿含む) ・排便障害のある人への看護(浣腸含む) 学習方法：講義/演習 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
12	技術確認 (筋肉内注射)	・技術確認：筋肉内注射 学習方法：演習 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：技術確認の結果を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
13	呼吸・循環を整える技術 (呼吸のニーズ、呼吸を楽にする援助)	・呼吸を整える援助の基礎知識、動脈血酸素飽和度(SpO ₂)モニターの測定 ・呼吸のニーズに関するアセスメント、効果的な呼吸方法 ・酸素療法、吸引、吸入療法、体位ドレナージ 学習方法：講義 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
14	呼吸を整える援助技術 (酸素療法)	・酸素療法 学習方法：講義/演習 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他
15	創傷管理技術 (創傷の分類、包帯法) 体温管理の技術・苦痛の緩和 ・安楽確保の技術	・皮膚・創傷を管理するための基礎知識 ・体温管理の技術・苦痛の緩和・安楽確保の技術 GW 学習方法：講義/演習 【演習】包帯法 ＜予習＞(60分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(60分)：講義、演習を振り返り、自己の課題を明確にする。	大崎美奈子 田口めぐみ 大平富美 樋本まゆみ 他

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として人工透析室、整形外科病棟で看護実践経験、看護系大学教員として成人看護学の講義および慢性期看護実習の指導経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	人工透析室、整形外科病棟での臨床経験を有する。また看護系大学教員として成人看護学の講義および慢性期看護実習の指導経験を有する。臨地実習で出会った事例を紹介しながら授業を行う。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-3 他者の自己決定を擁護する力、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、 ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

成人期にある人々の特性と健康問題を理解し、看護に必要な理論や概念について学修する。具体的には、成人期の発達課題と特性、成人の健康に影響を及ぼす要因と健康問題の動向を学修し、新潟県下の成人の健康問題を考察する。また、主要理論・概念（セルフケア理論・成人学習理論・自己効力感・ストレスコーピング）および成人期ある人々に関連する主な保健医療福祉の法令・施策の概要について学修する。

《授業の到達目標》

1. 成人期にある人々の心理的・身体的・社会的特徴、健康問題を説明できる。
2. 成人期にある人々への看護の基本となる理論・概念を説明できる。
3. 健康レベルに応じた成人看護の視点を説明できる。
4. 新潟県下における成人の健康問題を明らかにしヘルスプロモーションについて考察する。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

既習関連科目は基礎看護学概論。成人期の特性と健康問題、理論・概念の学修は、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護実習Ⅰ・Ⅱの基礎とする。

《評価の方法》

レポート70%（到達目標1, 2, 3, 4）、授業内小テスト20%（到達目標1, 2）、グループワーク貢献度10%（到達目標1, 4）

《テキスト》

『成人看護学 成人看護学概論 改訂第5版』（林直子 他編 南江堂 2025年）

《参考図書》

『病の語り』（誠信書房） 『おとなの学びを拓く』（鳳書房） 『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却 ■次回講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■グループワーク ■プレゼンテーション

1. 予習と復習を行い、授業に参加しましょう。
2. チーム基盤型学習（TBL）では学習課題に対して資料作成を行いグループワークに参加しましょう。
3. 課題レポートは提出規程に基づき、提出期限を守ってください。

《備考》

原則として再試験は実施しませんが、必要性が生じた場合はレポートとします。

《オフィスアワー》

近藤ふさえ：毎週木曜 10：00～17：00（それ以外ではkondo-f@sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

科目名	成人看護学概論	授業科目番号	2312010
担当者氏名	近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	健康な成人の成長発達と発達課題 (ライフサイクル、青年期、壮年期、向老期)	授業ガイダンス 時代とともに変化してきたライフサイクル 青年・壮年・向老期の身体的特徴 学習方法：講義、GW(チーム基盤型学習TBL) 予習(30分)：Text第1章1.「成人とは」を読み意味を理解する。 復習/課題レポート(100分)：時代とともに変化してきたライフサイクル、成人期の区分を整理するとともに課題レポートに取り組む。 提出規程・提出日時は授業内で提示。	近藤ふさえ
2	成人各期の発達課題と健康問題 (発達課題、エリクソン、レビンソン、ハビガースト)	成人各期の発達課題と健康問題 学習方法：GW(チーム基盤型学習TBL) 予習(15分)：自己の課題レポートを読みプレゼンテーションに備える。 復習(30分)：エリクソン、ハビガースト、レビンソンの理論の概要と相違点を整理する。	近藤ふさえ
3	成人を取り巻く環境と生活からみた健康 (就労環境、ストレスマネジメント、家族関係)	社会の中で生活を営むということ 働くことと生活、就労環境、家族関係 学習方法：講義、GW 授業内レポート～授業終了時に提出。 予習(30分)：Text第II章1. 2を読む。 復習(15分)：授業資料、成人を取り巻く環境の問題と健康格差を整理する。	近藤ふさえ
4	対象理解と看護のための基本的な理論と概念 (セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、成人学習理論)	成人期の対象者への看護の拠り所となる理論と概念 危機理論、セルフケア、セルフマネジメント、自己効力感、成人学習理論など。 学習方法：講義、GW 授業内レポート～授業終了時に提出。 予習(30分)：Text第IV章を読む。 復習(15分)：Textで主な概念と理論を再確認する。	近藤ふさえ
5	保健統計からみた成人の健康の動向 (人口構成、死亡と死因、疾病構造、生活習慣病)	保健統計からみた成人の健康の動向 保健・医療・福祉政策と今日の健康問題 学習方法：講義、WG 予習(30分)：Text第III章1. 2を読む。WHO健康のとらえ方の復習をする。 復習(15分)：国民衛生の動向「生活習慣病対策」を読みむ。	近藤ふさえ
6	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション① (ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 学習方法：GW(チーム基盤型学習TBL) 予習(30分)：Text第III章3をよみヘルスプロモーションの意味を理解する。 復習/課題レポート(100分)：レポート作成に取り組む。 提出規程・提出日時は授業内で提示。	近藤ふさえ
7	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション② (健康問題の動向)	新潟県下の成人の健康問題とヘルスプロモーション 成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策(講義) 学習方法：グループワークの発表、講義 予習(15分)：自己の課題レポートを読みプレゼンテーションに備える。 復習(15分)：グループの発表をふまえ健康問題とヘルスプロモーションを整理する。	近藤ふさえ
8	健康の回復過程と健康レベルに応じた看護 (急性期、回復期、慢性期、終末期、病みの軌跡)	健康の回復過程と健康レベルに応じた成人看護の役割と機能 学習方法：事例学習 授業内レポート：授業終了時に提出。 予習(30分)：急性期、回復期、リハビリテーション期、慢性期、終末期の意味を調べる。 課題学習(120分)：事例に対する健康レベルに応じた看護を考察する。	近藤ふさえ

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、周手術期における看護の基本的な看護術について実務的に教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 急性期看護の概念を理解し、病態と治療などの基礎的知識を応用して、成人期の対象特性を統合させて療養生活を支える援助方法を理解できる。
2. 周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を理解できる。
3. 救急救命処置の基本的技術を実践できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

人体の構造と機能の理解を基盤とし、疾病の成り立ちと回復の促進の科目や成人看護概論、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲに関連します。看護の対象である人の疾病看護の理解を目指します。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標1～3）、小テスト20%（到達目標1）、レポート10%（到達目標1、2）、演習参加態度10%（到達目標3）

《テキスト》

1. 『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第4版）』（林直子、佐藤まゆみ編 南江堂 2023年）
2. 『成人看護学 急性期看護Ⅱ（改訂第4版）』（佐藤まゆみ、林直子編 南江堂 2023年）

《参考図書》

『ナーシンググラフィカ成人看護学②』（吉田澄江 他編 メディカ出版 2022年） 『講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護1ー3』（竹内登美子編 医歯薬出版 2019年） ※他参考書については、講義の過程で随時紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション
■教育リソースの利用（利用リソース名：VRゴーグル）

授業中に小テストを行いますので、解剖・生理学、各疾病論の予習復習をしてください。内容は事前に伝えます。レポートの詳細については、ガイダンスで説明します。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週水曜日・金曜日12:30～13:30,実習期間中で不在の場合は、hiro-i-t@sutoku-u.ac.jp

科目名	成人看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	急性期・急性期看護の概念と特徴 キーワード (急性期看護の概念と特徴)	ガイダンス 急性期・急性期看護の概念と特徴について 急性期にある対象と家族の特徴について 急性期にある対象を理解するための理論・概念 学習方法：講義 予習(45分)：(テキスト1 p2～35を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
2	救急医療における看護 キーワード(プレホスピタルケア)	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急医療体制 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ 学習方法：講義 予習(45分)：(テキスト2第1章、第3章、p152～164を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
3	【演習】一次救命処置 キーワード (BLSの技術)	一次救命処置(気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED) 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：(テキスト2p152～164を読む) 復習(30分)：(演習を振り返り、自己の課題を明確にする)	広井 貴子
4	【演習】一次救命処置 キーワード (BLSの技術)	一次救命処置(気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED) 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：(テキスト2p152～164を読む) 復習(30分)：(演習を振り返り、自己の課題を明確にする)	広井 貴子
5	周手術期看護について キーワード (外科的治療を受ける患者の看護について)	集学的治療について セカンドオピニオンについて 周手術期看護にある患者の特徴について 患者の家族の特徴について 学習方法：講義 予習(45分)：(テキスト1p39～48を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
6	手術前期の看護について キーワード (周手術期看護・手術前期)	手術前期の看護について 手術前の準備について 手術を受ける人の意思決定を支える看護について 学習方法：講義 予習(45分)：(テキスト1p53～70を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
7	手術期の看護について キーワード (周手術期看護・手術期)	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 手術中の看護について 手術後合併症の予防と援助 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：(テキスト1p73～98を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
8	【演習】手術期の看護について キーワード (手術・麻酔による合併症の発症と予防)	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 手術中の看護について 手術後合併症の予防と援助 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：(テキスト1p73～98を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子

科目名	成人看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	手術後期の看護について キーワード (周手術期看護・手術後期)	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 退院に向けた援助 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：(テキスト1第4章、5章を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
10	手術直後の看護について キーワード (手術直後の患者の観察)	事例：直腸がん、低位前方切除術の患者 手術後の看護について 学習方法：講義 予習(45分)：(テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
11	【演習】手術直後の集中治療下での看護について キーワード (VRゴーグルを活用した手術直後の患者の観察)	手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：テキスト1 p379～384、テキスト2 p55～64 第2章を読む 復習(30分)：テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子
12	【演習】手術直後の集中治療下での看護について キーワード (VRゴーグルを活用した手術直後の患者の観察)	クリティカルケアを受ける人の治療環境と治療の特徴について クリティカルケアを受ける人の看護について 学習方法：講義、チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：テキスト2 第2章、第3章を読む 復習(30分)：テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井 貴子
13	集中治療および救急医療における倫理について キーワード (クリティカルケア看護における倫理的課題)	倫理的課題について 急性期におけるチーム医療と看護師の役割 学習方法：チーム基盤型学習(TBL) 予習(45分)：(テキスト2第4章を読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
14	【演習】TBLによる学習：チーム検討各手術の看護 キーワード (手術を受ける患者の看護)	手術を受ける患者の看護について (上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など) 学習方法：講義 予習(60分)：(テキストを読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子
15	【演習】TBLによる学習：チーム検討各手術の看護 キーワード (手術を受ける患者の看護)まとめ	手術を受ける患者の看護について (上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など) 学習方法：チーム基盤型学習(TBL) 予習(60分)：(テキストを読む) 復習(30分)：(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第2次・3次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴について説明できる。
2. 慢性疾患を有する人の身体的、心理・社会的特徴について説明できる。
3. 慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助について説明できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

成人看護学概論，疾病治療論Ⅱ（呼吸器・消化器），Ⅲ（内分泌・代謝，腎），薬理学，栄養学

《評価の方法》

定期試験：70%（到達目標1.2.3）、演習：10%（到達目標1.3）、事前・事後レポート：20%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える』（鈴木久美 他編 南江堂 2023年）

《参考図書》

『系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器』医学書院 『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』医学書院 『系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝』医学書院

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 □その他（ ）
 授業形態：■講義形式 ■ディスカッション
 事前学習：各臓器（肺・腎臓・大腸・膵臓）の働きについて指定の書式でまとめ、授業開始時に提出する。
 事後学習：各単元で学んだことを自分の言葉で説明できるように思考を整理する。
 演習の際には、主体的に実施する。

《備考》

《オフィスアワー》

水曜日・金曜日 12：10～13：00，16：30～18：00

科目名	成人看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	慢性疾患の特徴(慢性疾患)	慢性疾患の特徴、慢性疾患における治療の特徴および療養環境の特徴について学ぶ。 予習(30分): テキスト1～26 復習(30分): 慢性疾患の特徴についてまとめる。慢性疾患における施策についてまとめる。地域包括ケアシステムについて、自分の言葉で説明する。	目黒 優子
2	慢性期看護とチーム医療、慢性疾患を有する人の理解(慢性期看護)	慢性疾患を有する人に対する看護の役割およびチーム医療について学ぶ。慢性疾患を有する人の身体的特徴、心理的特徴、生活および社会的特徴について学ぶ。 予習(30分): テキスト30～37、42～65 復習(30分): 慢性疾患を有する人に、なぜセルフマネジメントの支援が必要なのか、その理由についてまとめる。	目黒 優子
3	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念(セルフマネジメント、トランスセオレティカルモデル、アドヒアランス、病みの軌跡モデル)	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念について学ぶ。 予習(30分): テキスト76～81、83～93 復習(45分): 各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒 優子
4	治療・療養を促進する支援(セルフモニタリング、症状マネジメント、アンドラゴジー)	治療・療養を促進する支援について学ぶ。 予習(30分): テキスト96～110 復習(45分): 各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒 優子
5	TBL (Team-based-learning: チーム基盤型学習)による演習の進め方、SBARを活用した報告(SBAR)	TBL、SBARについて学ぶ。 【講義/演習】チームアクティビティ、SBARを活用した報告 予習(30分): わかりやすい報告とはどのようなことが自分の言葉でまとめておく。 復習(30分): SBARの構成要素について整理する。	目黒 優子
6	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助(慢性閉塞性肺疾患)	慢性閉塞性肺疾患 予習(30分): テキスト218～227、「肺の機能」についてまとめておく。 復習(45分): 慢性閉塞性肺疾患の呼吸法について整理する。	目黒 優子
7	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術について学ぶ。 【講義/演習】呼吸法、吸入療法、ピークフローモニタリング 予習(30分): 口すぼめ呼吸 復習(45分): 実施後の学びを整理する。	目黒 優子
8	腎機能系の障害を有する人とその家族への援助(慢性腎臓病、人工透析)	慢性腎臓病、人工透析が必要な患者 予習(30分): テキスト357～360、「腎臓の機能」についてまとめておく。 復習(45分): 人工透析の適応となる状態を整理する。	目黒 優子

科目名	成人看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	腎機能系の障害を有する人へのフィジカルイグザミネーション(内シャント造設、浮腫)	【講義/演習】シャントの管理、両下肢に浮腫のある人へのフィジカルイグザミネーション 予習(30分):「浮腫」の評価の仕方についてまとめておく。 復習(45分):フィジカルイグザミネーション実施後の学びを整理する。	目黒 優子
10	消化器系の障害を有する人とその家族への援助(潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法)	潰瘍性大腸炎、クローン病 予習(30分):テキスト315～321「大腸の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の作用についてまとめておく。 復習(45分):生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
11	消化器系の障害を有する人とその家族への援助(潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法)	潰瘍性大腸炎、クローン病 予習(30分):テキスト315～322「大腸の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の作用についてまとめておく。 復習(45分):生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
12	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(甲状腺機能障害)	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 予習(30分):テキスト350～355、「甲状腺の機能」についてまとめておく。 復習(45分):生活上の留意点について整理する。	目黒 優子
13	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定)	2型糖尿病患者の食事療法・運動療法 予習(30分):テキスト328～332、「膵臓の機能」についてまとめておく。 復習(45分):2型糖尿病患者の食事・運動療法のポイントを整理する。	目黒 優子
14	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助(糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定)	2型糖尿病患者の薬物療法 予習(30分):テキスト328～332 復習(45分):2型糖尿病患者の薬物療法のポイントを整理する。	目黒 優子
15	代謝・内分泌系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術:自己血糖測定、自己注射(インスリン療法)	【講義/演習】自己血糖測定、インスリン療法、フットケア 予習(30分):テキスト130～134 復習(45分):自己血糖測定、インスリン療法、フットケアのポイントを整理する。	目黒 優子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学概論			授業科目番号	2312080
担当者氏名	角山 裕美子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	病院勤務での高齢患者への看護経験を基に、老年期の特徴や主な健康課題などを事例を交え説明し、老年看護の基礎的視点を育成する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の可能性を最大限に活かした高齢者の生き方に寄り添う老年看護を理解する。また、高齢者を取り巻く環境では、高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、保健医療福祉制度の変遷を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性、老年看護の倫理的課題について理解する。

《授業の到達目標》

1. 老年期にある人々の身体的・心理的・社会的側面の特徴を、根拠を示して説明できる。2. 保健医療福祉制度の変遷を理解し、高齢者支援における課題を論述できる。3. 高齢者支援における多職種連携の意義を説明できる。4. 老年看護の倫理的課題を理解し、適切な対応について自らの考えを述べるができる。5. 老年看護学の成立背景と専門領域としての役割を説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は、2年次後期「老年看護援助論Ⅰ」、3年次「老年看護援助論Ⅱ」「老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ」につながる重要な科目です。また3年次の「老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ」を履修する上で必須の科目となります。

《評価の方法》

授業内で実施する小テスト・課題レポート20%（到達目標1.2.5）、定期試験80%（到達目標1.2.3.4.5）

《テキスト》

1.『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 最新）
授業で配布するプリント及び授業で紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却 ☑次回講義時に返却
授業形態：☑講義形式

《備考》

・本授業では、google classroomを活用します。大学メールアドレスからログインできるように準備してください。
・配布された資料及びテキストを参照しながら、事後学習をしっかりとしましょう。

《オフィスアワー》

オフィスアワー実施一覧の記載のとおりです。実習指導等で不在の場合があります。事前に、メール等でアポイントメントの取得をお願いします。

科目名	老年看護学概論	授業科目番号	2312080
担当者氏名	角山 裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス (老年看護学の概要) (老年期の定義、加齢と老化) (老年期の健康の考え方)	・老年看護学講義ガイダンス、老年看護学の成立背景 ・高齢者、高齢社会の定義 ・加齢と老化の概念 ・老年期の健康 予習(60分): テキスト1.の第1章を読み、ノートに要点をまとめる。 復習(60分): 授業内容を振り返り、ノートにまとめる。	角山裕美子
2	加齢に伴う身体的変化 (身体の老化) (高齢者の疾患)	・身体的能の老化と日常生活への影響 ・加齢に伴う心理的・社会的側面の変化 ・高齢者疾患の特徴 予習(60分): テキスト1.pp5～9,94～101を読み込む。 復習(60分): 授業内容を振り返り、ノートにまとめる。Classroom掲載の課題を解き、わからないところは復習する。	角山裕美子
3	老年期の発達 (発達課題) (スピリチュアリティ)	・高齢者の発達と発達課題 ・スピリチュアリティと高齢者 予習(60分): テキスト1.pp9～21を読み込む。 復習(60分): 高齢者の発達課題に関して復習をする。レポート課題に取り組む。 【レポート①】提出期限; 次回講義前日までにgoogleclassroomに提出	角山裕美子
4	高齢社会の統計的輪郭 (人口動態) (家族形態) (健康指標) (暮らし) (産業構造)	【小テスト①】 ・老年人口の動態 ・家族形態の変化と高齢者の暮らし ・健康指標からみた高齢者 予習(60分): テキスト1.pp26～37を読み、統計的データを基に理解が得られるように事前学習する。 復習(60分): 授業内容を振り返り、ノートにまとめる。	角山裕美子
5	高齢者を取り巻く社会制度 (老人福祉法) (老人保健法) (介護保険制度) (地域包括ケアシステム) (医療制度)	高齢者に関わる保健医療福祉制度の変遷 ・高齢者福祉の創設(老人福祉法、老人保健法) ・高齢者の医療制度 ・介護保険制度(理念、仕組み、サービス) 予習(60分): テキスト1.pp38～53を読み、高齢者を支える制度背景を知る。 復習(60分): 介護保険制度についてまとめる。	角山裕美子
6	高齢者を取り巻く社会環境と今日的課題① (権利擁護) (成年後見制度)	【小テスト②】 ・認知症施策の変遷 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 ・地域包括支援センター 予習(60分): テキスト1.pp54～59を読み、高齢者の医療と高齢者の健康を支える多職種を知る。 復習(60分): 介護保険サービスや認知症施策についてまとめる。	角山裕美子
7	高齢者を取り巻く社会環境と今日的課題② (高齢者の権利と看護倫理) (老年看護における倫理的課題)	・身体拘束の廃止とその取り組み ・意思決定における倫理的課題 予習(60分): テキスト1.pp59～66を読む。 復習(60分): 高齢者の倫理的課題についてノートに考えをまとめる。	角山裕美子
8	老年看護の基本的考え方 (老年看護の理念・目的) (理論・概念の活用) (老年看護活動の多様化) (高齢者を支える多職種連携)	・老年看護の理念、目的 ・老年看護の場と期待される役割 ・高齢者を支える多職種連携 ・老年看護における理論・概念 予習(30分): テキスト1.pp50～54, 70～83を読む。 復習(90分): レポート課題「わたしの老年観・老年看護観」を作成する。 【レポート②】提出期限; 最終講義翌週までにgoogleclassroomに提出	角山裕美子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護学概論			授業科目番号	2312130
担当者氏名	永谷 智恵			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かし、小児看護の役割・責務を学ぶうえで最も基本となる子どもを取り巻く社会の理解、子どもの成長・発達と養護、子どもの人権について教授する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

現代の子どもや家族を取り巻く社会には、生活習慣病の増加、心の問題、育児不安、児童虐待など、様々な健康問題が顕在化している。本講義では、子どもや家族を取り巻く社会の現状を理解しながら、新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の発達段階における成長・発達、養護と看護について学ぶ。さらに、子どもの基本的人権と小児看護倫理から、子どもの利益にかなう看護とは何か、小児看護の理念と責務について共に考えていく。また、母子に関する様々な保健統計から小児保健の動向を知り、現代社会の健康問題を考察して、子どもの健康の保持増進、疾病の予防について学修していく。

《授業の到達目標》

- 1.小児看護の対象である小児と家族について環境との相互作用から理解する
- 2.小児看護を支える法的根拠から小児医療における子どもの権利について理解する
- 3.成長・発達の概念および新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の発達の特徴とその評価方法を理解する
- 4.現代の小児と家族の健康問題について社会の変化から捉え小児看護の役割を理解する
- 5.母子保健の動向と小児の健康を支える社会資源、制度について理解する

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目において、子どもと家族を理解し健康障害のある子どもと家族の看護について「小児看護援助論Ⅰ」で学修、それらの看護展開技術を「小児看護援助論Ⅱ」で学修、それらの知識と技術を基に「小児看護学実習」で看護実践する。

《評価の方法》

- ・課題：20% (到達目標3.4)
- ・授業時間内に実施する小テスト：40% (10点×4) (到達目標3.4.5)
- ・レポート課題（子ども観察レポート）：40%(到達目標1.2.3,4)

《テキスト》

『系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論』（奈良間美穂 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（丸 光恵 他著 医学書院 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■次回講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション

講義とグループワークを中心に、自己学習や演習を組み合わせた授業展開を行う。積極的な参加態度を期待する。日ごろ、新聞・TV・動画・書籍などで子どもの生活や健康問題、社会で起きている子どもと家族に関する様々な問題に目を向けることで、本講義の学修がより深まる。

《備考》

本講義は、小児看護援助論Ⅰ・小児看護援助論Ⅱ・小児看護学実習の基盤となる。

《オフィスアワー》

木曜：12時～14時

科目名	小児看護学概論	授業科目番号	2312130
担当者氏名	永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	小児看護の特徴と理念 キーワード (小児看護の役割、出生と死亡、小児看護の変遷と課題)	小児看護の目ざすところ(小児看護の対象と目標・役割)、子どもと家族の保健統計の動向(出生と子どもの死亡)、小児看護の変遷と課題 (学習方法) 講義、グループワーク 予習(30分): テキスト p 19～p 26を熟読し、関心のある社会的問題についてまとめる。それを題材として授業中にグループワークを行う 復習(30分): 授業を振り返り「小児看護の役割とは何か」自己の考えをまとめ提出する。提出場所・時間については、当日説明する。次回、授業でフィードバックする。	永谷 智恵
2	家族の特徴とアセスメント キーワード (家族機能、家族の発達課題、家族観、家族のアセスメント)	子どもにとって家族とは、家族に看護のニーズが生じるとき、現代家族の特徴、家族のかかわり方、家族構造的・機能的側面と発達段階、アセスメントの方向性 (学習方法) 講義、グループワーク 予習(30分): 子供時代に体験した家族とのできごとを思い返し子どもにとって家族とはどのような存在であるのかを考察する。 復習(30分): 事例から、家族アセスメントを行い提出する。提出場所・時間については、当日説明する。次回、授業でフィードバックする。	永谷 智恵
3	小児看護における倫理 キーワード (子どもの権利条約、意見表明権、アドボカシー)	子どもの最善の利益を目指した看護とは、子どもの権利条約、日本における子どもの権利の課題、アドボカシー、日常的な臨床場面における倫理的課題 (学習方法) 講義、グループワーク 予習(30分): 自己の「子ども観」について、まとめてくる。 復習(60分): 「子どもにかかわるとき(子どもの人権を守るために)自身が大事にしたいことは何か」を考察し提出する。提出場所・時間については、当日説明する。次回、授業でフィードバックする。	永谷 智恵
4	子どもの成長・発達と評価 キーワード (遺伝的要因・環境的要因、デンバー発達評価、カウプ指数、肥満度評価)	成長・発達とは何か、成長・発達の一般的原则、成長・発達に影響する因子(遺伝的、環境的)、成長の評価(身長・体重、栄養評価、肥満度評価)、発達の評価(デンバー、遠城寺式、WISC-V) (学習方法) 講義、グループワーク 予習(30分): テキストを読み(p38) 成長・発達を学ぶ意義についてまとめる。 復習(30分): 事例から、成長・発達評価を行い提出する。提出場所・時間については、当日説明する。次回、授業でフィードバックする。	永谷 智恵
5	新生児・乳児の成長発達と養護および看護 キーワード (アタッチメント、第1次成長期、離乳食)	新生児から乳児期にかけての形態的、機能的、心的・社会的な成長・発達と日常生活の世話、ボウルビイの愛着理論 (学習方法) 講義 予習(30分): テキスト(p 77～82)を熟読し、微細運動、粗大運動の発達についてノートにまとめる。 復習(30分): 授業を振り返り、離乳食の進め方についてまとめる。 提出場所・時間については、当日説明する。 *小テスト①子どもの成長・発達と評価 次回の授業でフィードバックする	永谷 智恵
6	幼児期の成長発達と養護および看護 キーワード (エリクソン発達課題、自己中心性、アニミズム、遊びの社会的発達)	幼児期の形態的・身体生理の特徴、知的機能の発達、情緒・社会性の発達、事故防止、エリクソンの発達課題 (学習方法) 講義、グループワーク 予習(30分): テキスト(p 113)を熟読し、子どもにとっての遊びの必要性と遊びの社会的発達過程について、ノートにまとめておく。 復習(30分): 授業を振り返り、子どもの「日常生活動作の確立」についてまとめる。提出場所・時間については、当日説明する。 *小テスト② 新生児・乳児の成長発達 次回、授業でフィードバックする	永谷 智恵
7	学童期の成長発達と看護 キーワード (ピアジェの認知発達、ギャングエイジ、いじめ、不登校、)	学童期の形態的・機能的・身体生理の特徴、知的(ピアジェの認知発達)・情緒機能の発達。いじめ・不登校の現状と対策 (学習方法) 講義、グループワーク 予習(30分): テキスト(p 144～)を熟読し、児童・生徒の不登校・いじめなどの現状についてノートにまとめておく。 復習(30分): グループワークから、いじめの対策について自分の意見をまとめる。提出場所・時間については、当日説明する。 *小テスト③ 幼児期の成長発達 次回、授業でフィードバック	永谷 智恵
8	思春期の成長発達と看護 小児看護学概論まとめ キーワード (第二性徴、親のストレス、ヤングケアラー、自殺)	思春期の形態的・機能的・身体生理の特徴、情緒・社会性の発達、生活の特徴、親へのアドバイス、ヤングケアラー・自殺・喫煙などの課題と対策(学習方法) 講義・グループワーク 予習(30分): ヤングケアラーの現状について、文献などを利用しまとめておく。 復習(30分): 思春期の社会的課題について、グループワークから自身の考えをまとめる。授業中に提出。書面でフィードバックする。 *小テスト④ 学童期の成長発達 後日返却する。 *レポート課題(子どもウオッチング)の課題内容と提出方法、フィードバックについて説明する。	永谷 智恵

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護学概論			授業科目番号	2312170
担当者氏名	小川 久貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	学生の理解が進むよう看護師および助産師としての臨床経験を基にした具体的なケア場면을提示しながら、母性看護やリプロダクティブヘルスに関して基盤となる概念および基礎的知識を教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○1-3 他者の自己決定を擁護する力, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力				

《授業の概要》

リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の子育て世代地域包括支援の意義などを学修し、母性へのサポートができるための知識を修得する。

《授業の到達目標》

1. 母性看護の基盤となる概念を理解し説明できる
2. リプロダクティブヘルスに関する概念を理解し説明できる
3. 女性のライフステージ各期の心身の健康の特徴と健康課題を説明できる
4. リプロダクティブヘルスに関する母子保健統計・制度・法律を理解し説明できる
5. 周産期医療システムや子育て世代地域包括支援の意義や役割を説明できる

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習で活用されている基盤的理論等の理解を目指します。

《評価の方法》

定期試験100%（到達目標1,2,3,4,5）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論』（森恵美 著 医学書院 2026年）
2. 『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修 Medic Media 2018年）

《参考図書》

『妊産褥婦メンタルケアガイドブック』（日本臨床救急医学会監修 へるす出版 2021年）
『ナースング・グラフィカ 母性看護学(1)』（中込さと子他編 メディカ出版 2024年）

《履修上の留意点》

授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク

- ・教科書をしっかり読むことに加え、日常的に母性看護に関する事項と思われるニュースなどに関心を寄せること。

《備考》

事前学習を済ませていなければ、授業の参加は難しい。

《オフィスアワー》

小川久貴子：毎週水曜日10：30～13：00（実習期間中で不在の場合はogawa-k@m.sutoku-u.ac.jpへ）

科目名	母性看護学概論	授業科目番号	2312170
担当者氏名	小川 久貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	母性看護の基盤となる概念 (母性・父性、親性、人間の性、 リプロダクティブヘルス ヘルスプロモーション)	学習内容：授業ガイダンス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、母性看護とウィメンズヘルス看護、ヘルスプロモーションの概念、関連する用語の定義、グローバルな女性の健康課題 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第1章 母性看護の基盤となる概念) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
2	リプロダクティブヘルスに関する生理や倫理の実際 (生殖器の形態・機能 生殖、妊娠のメカニズム 性分化、倫理)	学習内容：男女の生殖器の形態・機能、生殖に関する生理、妊娠のメカニズム、性反応、性の分化、倫理的課題の実際 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第3章 母性看護の対象理解) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
3	ウィメンズヘルス1：思春期の心身および社会的特徴 (思春期、初経、二次性徴)	学習内容：思春期男女の身体の変化、初経の発来、社会的特徴、月経の異常 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第3章 母性看護の対象理解) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
4	ウィメンズヘルス2：思春期の健康課題 (STD/STU、子宮がんワクチン、 若年妊娠、人工妊娠中絶、摂食障害)	学習内容：性感染症、子宮頸がんワクチン、若年妊娠と人工妊娠中絶、摂食障害、医療従事者の役割 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第5章 女性のライフステージ各期における看護) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
5	ウィメンズヘルス3：成熟期の心身および社会的特徴と健康課題 (成熟期、有職女性、性反応、 家族計画・避妊、親性、愛着)	学習内容：結婚・離婚・有職女性の動向、性反応、家族計画(避妊)、子育て親性の形成、愛着形成 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第6章 リプロダクティブヘルスケア) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
6	ウィメンズヘルス4：更年期・老年期 女性の心身の特徴と健康課題 (更年期、老年期、 空の巣症候群、骨訴訟症)	学習内容：更年期・老年期に現れる症状のメカニズムや健康課題、医療従事者の役割 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第6章 リプロダクティブヘルスケア) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
7	リプロダクティブヘルスに関する母子保健統計・制度・法律 (母子保健統計、母性保護制度・法律、 倫理的事例)	学習内容：母子保健統計、母性保護と制度・法規、事例から倫理の実際例の検討 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第6章 リプロダクティブヘルスケア) 復習(30分)：本日の学習内容を振り返り自分なりにまとめる	小川久貴子
8	周産期医療システムや子育て世代地域包括支援や役割 (周産期医療システム、すこやか親子21、 子育て包括支援、災害支援、国際社会、 在日外国人)	学習内容：母子の周産期医療システム、すこやか親子21・子育て包括支援、災害時の母子支援、国際化社会と看護 予習(30分)：本日の学習内容を予習(テキスト1.の第2章 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、第4章母性看護に必要な技術) 復習(60分)：本日の学習内容を自分なりにまとめると共に、全8回の講義内容を振り返る	小川久貴子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論			授業科目番号	2312210
担当者氏名	板山 稔			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院等に16年間勤務				
実務経験を 活かした 教育内容	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かして、メンタルヘルスおよび精神看護における基礎的知識を教示する				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、家族や地域社会におけるこころの健康について学ぶ。また、精神医療、精神保健福祉に関する法律や制度の変遷、精神保健福祉の動向、精神医療における倫理や人権について学び、看護の役割を理解する。

《授業の到達目標》

1. 心のしくみと人格の発達、ストレスと適応について説明できる。
2. 現代社会と精神看護の役割について説明できる。
3. 精神医療の歴史理解し、患者の人権や看護の倫理について説明できる。
4. 地域における精神保健と看護、リエゾン精神看護について説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は「精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ」を学ぶ上で必要な基礎的知識を学習する科目であり、精神看護実習の履修要件科目です。

《評価の方法》

定期試験85%（到達目標1. 2. 3. 4）、毎回の授業後のコメントシート（授業の理解度や質問内容を評価）15%（到達目標1. 2. 3. 4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎 第6版』（武井麻子 他著 医学書院 2025年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開 第6版』（武井麻子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『精神保健福祉 第4版』（末安民生 著 医学書院 2022年）
『看護のための精神医学 第2版』（中井久夫、山口直彦著 医学書院 2004年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（各回の授業後のコメントシートに書かれた質問等には、次の講義時に解説します。）
授業形態：□講義形式 □ディスカッション
予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と資料に記載されているテキストの該当ページの内容を読んでおくこと。ふだんから精神医療や心の健康に関心を持ち、関連する新聞やニュース記事等を読むようにしてください。

《備考》

本科目は「精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ」を学ぶ上で必要な基礎的知識を学習する科目であり、精神看護実習の履修要件科目です。

《オフィスアワー》

板山稔：毎週火曜 11：00～12：40 木曜 16：10～17：40 （実習期間等で不在の場合は、itayama-m@sutoku-u.ac.jp に連絡してください）

科目名	精神看護学概論	授業科目番号	2312210
担当者氏名	板山 稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	精神看護学とは何か (メンタルヘルス、障害、ICF)	精神看護学に関する基本的な考え方を理解し、精神障害の捉え方について考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
2	心のはたらきと人格の形成 (意識、感情、パーソナリティ、自我、防衛機制、愛着)	意識や感情といった心のはたらき、自我と防衛機制などの心のしくみ、ライフサイクルにおける人格(パーソナリティ)の発達について理解する。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
3	精神の健康とストレスの影響 (精神の健康、ストレス、コーピング)	精神の健康の基準について考え、心身の健康に及ぼすストレスの影響について理解する。また、ストレスに対応する個人の力について学ぶ。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
4	心的外傷と回復 (トラウマ、トラウマインフォームドケア、レジリエンス)	心的外傷(トラウマ)が精神の健康に及ぼす影響を理解し、回復を支える力について考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
5	関係のなかのメンタルヘルス (家族システム、感情表出)	家族システムの考え方を理解し、家族の中の精神的健康と関連する諸問題について事例を通して考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
6	精神保健の広がり (学校のメンタルヘルス、職場のメンタルヘルス、リエゾン精神看護、災害時のメンタルヘルス)	学校や職場における精神保健(メンタルヘルス)について理解する。また、医療の場におけるリエゾン精神看護や災害時のメンタルヘルスについて学ぶ。 予習(60分)：事前配付資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
7	精神医療の歴史 (人権、スティグマ、精神保健福祉法)	日本と欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学び、日本の精神医療の現状と課題について考える。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔
8	精神保健医療における患者の人権と援助者の倫理 (人権擁護、精神保健ケアに関する法、看護の倫理綱領)	精神保健医療における患者の人権と倫理的問題について理解し、グループワークを通して倫理的問題に気づく視点を養う。 予習(60分)：事前配付資料を読み、テキストを確認して空欄部分を記入しておく。 復習(60分)：授業で学習した内容読み返し整理する。配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる。	板山 稔

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学概論			授業科目番号	2313170
担当者氏名	菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として、地域での勤務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	在宅における難病療養者等への在宅療養者支援を行政等で行った経験を踏まえ、在宅療養における看護の実 際等について、具体例を交えて教授する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

《授業の到達目標》

1. 地域・在宅看護、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
2. 地域・在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
3. 在宅ケアシステムと地域・在宅看護の役割を考え述べることができる

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域包括ケア論や各専門科目で学んだことを基盤とし、在宅療養者や家族の特性を理解するとともに、在宅看護の活動の場、活動方法の特徴、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割や課題を考察する科目である。

《評価の方法》

定期試験70%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、学習態度30%(予習・復習の内容、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する)

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子 他著 医学書院 2026年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア』（石田 千絵 他編 メディカ出版 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。グループワークはグループで話し合った内容を発表し、ディスカッションを行う。

《備考》

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

《オフィスアワー》

菅原京子：毎週火曜日10:40～12:40

その他の教員はポータルサイトに提示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	地域・在宅看護学概論	授業科目番号	2313170
担当者氏名	菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	暮らしの基盤としての地域・暮らしの理解 キーワード：(地域) (暮らし)	ガイダンス ・人々の暮らしを理解する。 ・地域の定義、地域の多様性について学ぶ。 ・地域・在宅看護の役割・機能を学ぶ。 ・システム理論について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：序章を読み地域の中での暮らしと健康について考えをまとめる。 復習(30)分：地域・在宅看護における看護者の視点について考えをまとめる。課題：テキストp28-29のワークシート。第2回に提出。	菅原 京子
2	地域・在宅看護の対象(個人) 地域包括ケア キーワード：(ライフステージ)	・地域包括ケアと共生社会を学ぶ。 ・地域における対象者のライフステージ・健康レベルの多様性を学ぶ。 ・国際生活機能分類(ICF)を基に対象者の健康について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：自分の暮らす地域の特性を記載する。(p52-53のワークシート) 復習(30)分：健康障害があっても地域で暮らし続けるために必要な地域資源マップを作成する。 課題：テキストp54のワークシート。第3回に提出。	菅原 京子
3	地域・在宅看護の対象(家族) キーワード：(家族)	・家族の定義について学ぶ。 ・家族看護理論、家族システムについて学ぶ。 ・家族のライフステージの理解と看護について学ぶ。 ・対象者と家族の意思決定を支援するプロセス(ACP)を学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：自分にとっての家族とはなにかを学ぶ。(p96のワークシート) 復習(30)分：事例を通して、看護の対象として家族を理解する。	菅原 京子
4	地域・在宅看護実践の場と連携 キーワード：(多職種連携) (関係機関)	・地域・在宅看護実践の場について学ぶ(住まい、医療機関、地域)。 ・地域・在宅看護における多職種連携について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：「キラリ！看護のシゴト：住み慣れた自宅でのその人らしく過ごせるように」を視聴し訪問看護師の役割にまとめる。 https://www.nurse.or.jp/aim/kango/index.html 復習(30)分：看護師とともに連携して働く職種をあげ、それぞれの役割についてまとめる。	菅原 京子
5	在宅看護におけるACP キーワード：(ACP) (人生会議)	・在宅療養者と家族を対象としたACPの考え方と実際について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：ACPについて調べてくる。 復習(30)分：在宅におけるACPIについて、学んだことをまとめる。	田辺 生子
6	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 キーワード：(介護保険制度) (訪問看護制度)	・介護保険・医療保険制度について学ぶ。 ・訪問看護制度について学ぶ。 ・権利保障に関する制度について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：介護保険制度について調べる。 復習(30)分：介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる	田辺 生子
7	退院調整の実践 キーワード：(退院調整)	・病院の退院支援について学ぶ。 ・病院と訪問看護ステーション、地域包括支援センター、行政等との連携について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：病棟における退院支援について調べる。 復習(30)分：介護保険制度と医療保険制度の訪問看護の違いについてまとめる	田辺 生子
8	グループワーク 全体討議 キーワード：(在宅ケアシステム)	・“住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らしたいと願う人々への支援”をテーマに、地域・在宅看護の役割や期待されることについて考察する。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30)分：地域包括ケアの実現に向けて看護職が果たせる役割について考える。 復習(30)分：在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を学ぶ。	菅原 京子 田辺 生子

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313070
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、菅原 京子、田辺 生子、山崎 節子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として行政および産業での実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。

《授業の到達目標》

1. 母子、成人・高齢者および障害児・者、難病患者に対する公衆衛生看護活動の基盤となる施策・制度が説明できる。
2. 母子、成人・高齢者の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開方法が理解でき、保健師の役割を考察できる。
3. 障がい（身体・知的・精神）児・者および家族を取り巻く社会情勢が理解でき、支援方法と保健師の役割が理解できる。
4. 難病対策の歴史的変遷を理解し、健康・生活上の課題に応じた支援方法と地域支援体制づくりの必要性を説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

公衆衛生看護学概論を基礎とし、公衆衛生看護活動の展開方法を学ぶ科目です。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）
 定期試験 90% （期末試験として、目標到達度を最終的に評価する。） （到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

- (1) 『公衆衛生看護学 第4版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2025年）
- (2) 『国民衛生の動向 2025-2026』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2025年）

《参考図書》

『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（中谷芳美 他著 医学書院 2024年）
 その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐次回講義時に返却
 授業形態：☐講義形式 ☐ディスカッション ☐グループワーク ☐プレゼンテーション ☐双方向（ICTの活用）
☐タブレット端末の利用 ☐教育リソースの利用（利用リソース名：公衆衛生看護関連のDVD等）

虐待や生活習慣病予防、健康寿命の延伸、障がい者を含めた共生社会等、現代の重要な健康課題について学習していきます。自身や家族の生活習慣や関連する最近のニュース等、様々なことに興味を持って、主体的に学習することを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目
 地域における保健対策がどのように行われているのか、看護師にとっても有益な内容である。

《オフィスアワー》

渡邊路子 月曜日12：30～14：30、その他の教員については、ポータルサイトの「オフィスアワー一覧を参照」

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313070
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、菅原 京子、田辺 生子、山崎 節子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	母子保健活動① キーワード (母子保健法、児童福祉法、 健やか親子21)	ガイダンス / 社会情勢や健康課題、母子保健活動を行う上で重要な健康指標をふまえ、基盤となる施策、制度について学ぶとともに、母子保健における保健師の役割と活動について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション 予習(30分)：(国民衛生の動向で出生数、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡の動向について調べる) 復習(30分)：(テキスト(1)p248～263を読む)	菅原京子
2	母子保健活動② キーワード (乳幼児の成長・発達、乳幼児健康診査、保健指導)	乳幼児の成長・発達と保健指導のポイント、乳幼児健診における保健師の役割と活動の展開について、講義と映像資料をとおして学ぶ。 予習(30分)：乳幼児の成長・発達(4か月児、1歳6か月児、3歳児)について調べてくる。 復習(45分)：テキスト(1)p263～266を読む。配布資料の乳幼児の成長・発達と合わせて、乳幼児健診のポイントを整理する。	菅原京子
3	母子保健活動③ キーワード (未熟児、発達障害、子どもの虐待への対応)	支援ニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ。 予習(30分)：子ども虐待のニュース等について、どのような背景があり、何が課題かを調べてくる。 復習(20分)：テキスト(1)p267～274を読む。	菅原京子
4	成人保健活動① キーワード (目的と理念、発達課題、健康増進法、健康日本21、高齢者医療確保法、予防モデル)	成人保健活動の目的と健康づくりの基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。予習(30分)：①テキスト(1)p276～300を読む。自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。②予防の三段階を確認する。 復習(30分)：自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。	渡邊 路子
5	成人保健活動②生活習慣病予防活動 キーワード (特定健康診査・特定保健指導、特定保健指導、行動変容ステージ、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、ナッジ)	近年の死因の傾向と疾病構造の変化から生活習慣病予防の必要性を理解し、生活習慣病を予防するための施策・制度・事業と保健師の活動を学ぶ。 予習(30分)：テキスト(1)p301～324を読む。 復習(30分)：講義内容を整理するとともに、市町村で行われている健診受診率向上のための取り組みを調べる。	渡邊 路子
6	成人保健活動③がん対策の展開方法 キーワード (がん対策基本法、がん検診)	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法と変容ステージに応じた指導のポイントおよび評価について、映像資料や事例を通して学ぶ。 予習(30分)：テキスト(1)p287を読む。 復習(30分)：配布のレジュメと講義内容から、我が国におけるがん対策をまとめる。	渡邊 路子
7	成人保健活動④歯科保健活動 キーワード (歯科保健活動)	歯科保健活動の歴史と課題、市町村で行われている歯科保健活動について学ぶ。 予習(30分)：市町村で行われている歯科保健活動について調べてくる。 復習(30分)：配布のレジュメと講義内容から、我が国におけるがん対策をまとめる。	渡邊 路子
8	高齢者の介護予防① (高齢化率、健康寿命、老人保健法、介護保険法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険制度)	高齢者保健活動に関する健康指標や基盤となる法律・施策を学び、要介護認定率、介護が必要となった原因の推移をとおして、介護予防の施策・制度・事業と保健師の活動の展開について学ぶ。 予習(30分)：自分の出身市町村のホームページの最新の介護保険事業計画から要介護認定率、介護が必要となった原因を調べる。 復習(30分)：テキスト(1)p325～339を読む。	田辺生子

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313070
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、菅原 京子、田辺 生子、山崎 節子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	高齢者の介護予防② キーワード (フレイル、基本チェックリスト、地域支援事業、介護予防事業、認知予防施策、高齢者虐待)	加齢に伴う高齢者の心身の特徴に応じた高齢者保健活動の実際について、映像や実技をととして学び、活動の効果と課題を通して保健師の役割を考える。 予習(30分)：自分の出身市町村で行われている介護予防事業(認知症予防を含む)についてホームページや家族・知人から情報を得て調べる。 復習(30分)：テキスト(1)p340～355を読む。	田辺生子
10	障がい者保健活動① キーワード (ノーマライゼーション、ICF、法律)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、ノーマライゼーションの視点から、障がいを持つ人の健康と生活上の課題について考える。 予習(60分)：テキスト(1)p 479～489を読み、障がいの分類、障がい児者の定義と障がい者数を確認する。 復習(30分)：学びを整理してまとめる。	山崎 節子
11	障がい者保健活動② キーワード (障害福祉サービス、権利擁護、事例)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、地域における障がい児者への支援体制づくりを理解する。 予習(60分)：テキスト(1)p490～495を読み、障がい者を支援する際のポイントを確認する。 復習(30分)：学びを整理してまとめる。	山崎 節子
12	難病保健福祉活動① キーワード (難病、難病対策、QOL)	映像資料もとに難病患者の最善のQOLについて考える。QOLの視点から、難病患者・家族における健康・生活上の課題、患者・家族を支える保健師の役割と活動の展開を学ぶ。難病に関連する施策・制度・事業を学ぶ。 予習(30分)：難病療養者のドラマや漫画を題材に、患者の生活課題を考える。 復習(30分)：テキストp489～498を読み、難病の定義、難病対策を確認する。	平澤 則子
13	難病保健福祉活動② キーワード (難病法、地域支援体制、ICT)	2015年から始まった新たな難病対策について理解し、地域支援体制づくりにおける課題を理解する。映像資料もとにICT活用長岡モデルを学ぶ。 予習(30分)：事前配布資料(「難病ケア」にみる保健師活動の源泉)をよく読み、公衆衛生看護の基本的展開について確認する。 復習(30分)：出身地域で暮らす難病患者と家族の地域支援体制づくりを考える。	平澤 則子
14	精神保健活動① キーワード (精神保健福祉法、リハビリ、ストレングスモデル、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、地域における精神障がい者への支援体制づくりを学ぶ。 予習(30分)：テキスト(1)p459～471を読み、我が国の精神保健福祉の経緯を確認する。 復習(30分)：学びを整理してまとめる。	山崎 節子
15	精神保健活動② キーワード (依存症・ひきこもり・自殺対策、事例)	講義で提示する事例や統計データ、映像資料をもとに、地域精神保健活動の今日的課題と事例を通じた活動の実際を学ぶ。 予習(60分)：テキスト(1)p471～478を読み、我が国の自殺者数・自殺率の動向を調べ、背景要因と精神保健福祉活動の今日的課題を考える。 (復習)(60分)：課題(提出期限：講義日の1週間後の17時まで/提出先：5階山崎のレターボックス)：映画を鑑賞し感じたこと、考えたことを自分の言葉で800字程度にまとめる。	山崎 節子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	災害看護論			授業科目番号	2313140
担当者氏名	春川 一樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。DMAT隊員として災害派遣の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、災害保健医療体制の原則や災害看護の基礎的知識を教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 災害の定義について述べることができる。
2. 災害時の保健医療の概念や特徴を述べることができる。
3. 災害時の看護ニーズに対する看護実践の特徴を説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

日本は災害多発国であり、看護職には災害時の保健医療活動を実践する能力が求められる。災害サイクルを意識した医療・看護への理解を深め、急性期から前兆期まで繋ぎ目のない支援を行うための基盤を築くことを目指す。

《評価の方法》

定期試験 100%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『新体系 看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学（第3版）』（小井土雄一、石井美恵子編 メヂカルフレンド社 2020年）

《参考図書》

『多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力』（小井土雄一、石井美恵子編 医学書院 2017年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（ 定期試験以外の課題は設けない ）

授業形態：□講義形式 □グループワーク

□教育リソースの利用（利用リソース名：リアルに再現！災害時の保健医療と看護 丸善出版）

- ・近年の災害の特徴について調べておきましょう。
- ・新潟県内で発生した災害と災害のリスクについて関心を持ち、どのような備えができるか考えましょう。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じてメールで連絡してください。

科目名	災害看護論	授業科目番号	2313140
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害保健医療 キーワード (災害の定義、CSCATTT、法制度、DMAT、EMIS、広域医療搬送)	ガイダンス 災害の定義、災害看護の定義、災害保健医療体制の原則について学ぶ 学習方法：講義、グループワーク、教育リソースの利用 予習(30分)：(テキストP.1～46を読み、平時の救急医療と災害医療の違いと災害医療の原則について調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとにCSCATTTの概念について知識を整理する)	春川 一樹
2	超急性期・急性期の災害保健医療と看護実践 キーワード (防ぎ得る災害死、災害関連死、トリアージ)	超急性期・急性期の医療ニーズ、病院における災害対応、医療救護所における災害対応、トリアージについて学ぶ 学習方法：講義、グループワーク、教育リソースの利用 予習(30分)：(テキストP.47～94を読み、災害関連死について調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとにトリアージとトリアージタグの取り扱いについて知識を整理する)	春川 一樹
3	亜急性期の災害保健医療と看護実践 キーワード (医療需要、スフィア基準、避難生活、CSCAHHH)	亜急性期の医療ニーズ、避難所における災害対応について学ぶ 学習方法：講義、グループワーク、教育リソースの利用 予習(30分)：(テキストP.95～110を読み、亜急性期の医療ニーズについて調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとにスフィア基準について調べる)	春川 一樹
4	慢性期の災害保健医療と看護実践 キーワード (循環器疾患への影響、生活不活発病、フレイル、避難所の生活と心身への影響)	慢性期の医療ニーズ、在宅における災害対応について学ぶ 学習方法：講義、グループワーク、教育リソースの利用 予習(30分)：(テキストP.111～135を読み、慢性期の医療・福祉ニーズについて調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとに避難所生活による心身への影響について知識を整理する)	春川 一樹
5	静穏期の災害保健医療と看護実践 キーワード (ハザードマップ、業務継続計画、教育・研修、社会福祉施設における防災減災対策)	防災・減災対策、業務継続計画(BCP)について学ぶ 学習方法：講義、グループワーク、教育リソースの利用 予習(30分)：(テキストP.137～152を読み、居住地のハザードマップを調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとに防災・減災対応、看護職の倫理綱領について調べる)	春川 一樹
6	要配慮者への看護 キーワード (女性・妊産婦・こどもへの配慮、男女共同参画、在宅における高齢者の災害対応)	被災者や要配慮者の生命と健康を維持するための体系的な対応の原則を学ぶ 学習方法：講義、グループワーク、教育リソースの利用 予習(30分)：(テキストP.153～181を読み、要配慮者の救護について調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとに女性と男性で異なる災害への影響について知識を整理する)	春川 一樹
7	災害時のメンタルヘルス キーワード (心理的反応、心理的応急処置、サイコロジカルファーストエイド)	被災者のメンタルヘルスについて学ぶ 学習方法：講義 予習(30分)：(テキストP.183～197を読み、災害時の心理的反応について調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとにサイコロジカル・ファーストエイドについて知識を整理する)	春川 一樹
8	災害に関連した特殊な医療・看護実践、災害時特有の疾患 キーワード (外傷看護、クラッシュ症候群、CBRNE、原子力災害)	災害時特有の疾患や放射線・原子力災害について学ぶ 学習方法：講義 予習(30分)：(テキストP.199～225を読み、クラッシュ症候群の病態について調べる) 復習(30分)：(授業で配布した資料、テキストをもとに新潟県の原子力防災対策について調べる)	春川 一樹

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語			授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	企業翻訳・技術、在宅翻訳				
実務経験を 活かした 教育内容	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

「ベーシック英語」で習得した技能を活用し、職業人として、看護や医療の場面に活用できる基礎的コミュニケーション能力を獲得する。今後、研究活動に必須の英文情報の収集に向けての基礎固める科目である。看護や医療関係の英語を音声（文字）で習得するとともに、治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、対象者との基本的なコミュニケーションが行えるようリスニングとスピーキング能力を中心に養成する。また、看護や医療に関する題材を英語で見聞きし、音声（文字）で把握し、不明な点を確認できる能力を養成する。扱う題材から社会の問題に気づき、課題解決を考えまとめる力も養成する。授業では主体的に学ぶ姿勢を求める。ペアやグループでの作業や各自の振り返りの記録を必須とする。また、自分で知識の定着や技能の伸びを確認するための、クイズや練習、活用や応用を試みる発表やスキットの作成や発表を行います。

《授業の到達目標》

- ①治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、基本的な英語によるコミュニケーションができる。
- ②看護や医療に関して書かれた英文を読解できる。
- ③課題解決の提案に向けて、英語で討議ができる。
- ④内容理解や発信のために辞書・翻訳ツール・生成AIを適正に活用できる。

《先修科目》

ベーシック英語Ⅰ&Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

授業参画・英語使用10%(①③④)、多読30%(②③④)、クイズ・テスト35%(①②③)、課題25%(①②③④)実施方法は初回の授業で説明する。
提出物やウェブ上のクイズ等は、グーグルクラスルームで校閲・コメント・評価を行う。

《テキスト》

『Nursing Case Studies（事例で学ぶ看護英語）』（杉田由仁 他著 成美堂 2006年）

《参考図書》

適宜紹介します

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 ☑その他（クラスルーム等で通知）
授業形態：□グループワーク □プレゼンテーション □タブレット端末の利用
次週の準備は毎回通知します。多読や既習事項に基づく練習は必須です。課題には十分に時間をかけてください。授業中にテキストの音声・動画の視聴・テストの回答、辞書・翻訳ツール・生成AIの使用などのために、電子機器を必携とします。授業は協働学習の場です。互いに学び高め合う姿勢を求めます。言語の使用の実践の場でもありますから、英語でのやり取りを優先させましょう。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

常にクラスルームの通知を受信できるように設定しておいてください。授業参画や学習等について支援が必要な場合は相談してください。その他Classroom regulationは初回までに通知します。

《オフィスアワー》

連絡は英語でメールしてください。詳細は初回授業時に説明します。

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語	授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	シラバス 運用能力 現状と目標 (Orientation & Level check)	目的・目標・評価方法・その他クラスの規則を確認する。各自の英語運用能力(CEFR-Jレベル、音読速度、シャドーイング再生率等)並びに学習方法の特性を確認する。学習と記憶のしくみについて考える。達成目標記入。 多読方法の確認・多読力チェック・看護師会話復習テスト1/8 課題1 (パラグラフライティング・Resolution) (4時間) Unit 1 Risk for Injury: How to Maintain Safety 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
2	入浴(Bathing)	多読・看護師会話復習テスト2/8 Unit 2 Self-care Deficit: How to Practice Bathing and Hygiene 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
3	呼吸困難、緩和(Respiratory disorder, relief)	多読・看護師会話復習テスト3/8 Unit 3 Respiratory Disorders: How to Relieve Respiratory Distress 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
4	体液バランスの管理(Fluid, balance)	多読・看護師会話復習テスト4/8 Unit 4 Fluid Volume Deficit: How to Maintain Fluid Balance 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
5	まとめ (Review)	多読・看護師会話復習テスト5/8 まとめ(看護計画の評価を検討する) 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
6	睡眠障害、軽減(Insomnia)	多読・看護師会話復習テスト6/8 Unit 5 Insomnia: How to Promote Rest and Sleep 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
7	慢性、痛み (Cronic, pain)	多読・看護師会話復習テスト7/8 Unit 6 Chronic Pain: How to Minimize or Relieve Pain 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、既習ページの復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
8	摂食障害 (Eating disorder)	多読・看護師会話復習テスト8/8 Unit 7 Healthy Dietary Practice: How to Gain Adequate Weight 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読 (15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読 (30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子

科目名	看護に活かすコミュニケーション英語	授業科目番号	1102100
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	排泄 (Urine)	多読 Unit 8 Urinary Retention: How to Avoid Bladder Distention 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
10	PBL活動 医療課題 (PBL, writing)	医療課題の発見解決 記事・報告を読み・サマリーを話す 課題2(シャドーイング録音) 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
11	整腸 (Constipation, bowel)	多読 Unit 9 Constipation: How to Promote Normal Bowel Function 看護計画・サマリーを完成させる。 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
12	運動、リハビリ やけど 加齢 (Physical exercise, mobility, burn, aging)	Unit 10 Impaired Physical Mobility: How to Help with Crutch Walking Unit 11 Impaired Skin Integrity: How to Manage Burn Care Unit 12 Visual Alterations: How to Adjust to Visual Disorder 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
13	手術前後 記憶 生活習慣病 (Operation, memory, lifestyle related diseases)	Unit 13 Surgical Client: How to Cope with Anxiety Unit 14 Memory Impairment: How to Help Strengthen Memory Unit 15 Lifestyle-related Diseases: How to Encourage Health-seeking Behaviors 課題3(問診用質問) 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
14	ロールプレイ (Assessment, Roleplay)	ロールプレイ練習・発表 自己評価 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)、予習復習・シャドーイングと音読(30分/日、約2.5時間/週)	川崎真理子
15	まとめ 運用能力目標達成度確認 (Achievement, proficiency)	ロールプレイテスト、まとめ、多読成果テスト、運用能力確認、目標達成度確認 授業外学習: 多読(15分/日、約1.5時間/週)	川崎真理子

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)			授業科目番号	2209050
担当者氏名	山田 修、星野 正			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	[造血器] 血液内科学を中心とした臨床に50年関わってきた。 [運動器] 医師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	[造血器] 臨床現場で自ら考え行動する看護師として活躍できるよう、難しい内容を解り易く楽しく実例を交えて講義する。 [運動器] 実務経験から得られた知識、技術を通して、看護に必要な基礎を確立できるように教育する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（山田修/4回）白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
 （星野正/4回）骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。

《授業の到達目標》

〔造血器〕血液の中を流れている白血球、赤血球、血小板は元は一つの造血幹細胞に由来すること、それぞれの血球成分の働きとそれらが異常をきたす機序を分子レベルから学ぶ。治療について従来の抗がん剤治療だけでなく、分子標的薬、造血幹細胞移植、免疫細胞療法、遺伝子治療やそれらの応用であるCAR-T療法などの種類と概要を理解し、看護を実践する際に留意すべき点と結びつけるように学修する。
 〔運動器〕1. 運動器の構成を理解し、運動器疾患の検査、診断、治療を理解し説明できる。 2. 骨粗鬆症とそれに関連する障害について理解し、説明できる。 3. 麻酔法の種類について理解し説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

〔造血器〕免疫学、感染症、生化学、分子生物学 〔運動器〕人体の成長、発達、老化に伴う様々な状態や外傷などが運動器に影響することを理解し、診断、対応できる基礎を確立する。

《評価の方法》

〔造血器〕定期試験50％ レポート50％
 〔運動器〕定期試験100％

《テキスト》

〔造血器〕『系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器』（飯野京子 他著 医学書院 2024年）
 〔運動器〕『系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著 医学書院 2025年）
 『系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論』（池上徹、高橋則子編 医学書院 2023年）

《参考図書》

〔造血器〕『病気がみえる vol.5: 血液』（医療情報科学研究所編 Medic Media 2023年）

《履修上の留意点》

授業形態：□講義形式
 〔造血器〕教科書に沿って行うので必ず予習を行い専門用語に慣れておく。一読して講義に臨めば10倍血液学が面白くなる。復習で不確かな知識を確実にする。友人とのグループ学習は専門用語の習得に役立つ。疑問点があればAIやメールで問い合わせて欲しい。レポートは自分の言葉で論理的に患者の状態や疾患の病態生理を説明できるようにするためのトレーニング。血液学全般を4回で終了させるには一方向性の講義しか時間が取れない。予習復習で学生同士のディスカッションやAIなどICTを利用するように促す。

《備考》

〔運動器：履修上の留意点〕本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

《オフィスアワー》

〔造血器〕小千谷さくら病院 内科 mail:GCB00062@nifty.com
 〔運動器〕教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)	授業科目番号	2209050
担当者氏名	山田 修、星野 正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	血液造血器の看護総論。血液の成分と機能、造血のしくみ、血液疾患に特徴的な症状・身体所見とその病態生理。血液疾患に対する検査。 キーワード (造血のしくみ)	P6～P52 血液疾患の看護にあたっての基本的なところがけを学修する。各種血液細胞の形態と機能。赤血球の機能、白血球の種類と機能。凝固と線溶。骨髄における造血幹細胞の増殖と血球分化の調節と仕組み。血液疾患を疑う症状や徴候。血液疾患診断のために必要な検査の種類とその診断的意義について学修する。 予習(90)分：当日講義分の教科書を通読し、わからない点は参考書やAIを使い、理解に努める 復習(60)分：講義資料を見直し、友人とディスカッションして理解を深める	山田 修
2	血液疾患の治療の種類と原理。従来の化学療法の基本的原理と副作用。分子標的療法、造血幹細胞移植、支持療法の種類。 キーワード (治療)	P52～P76 化学療法および抗がん剤の種類と作用機序。分子標的療法と遺伝子変化。造血幹細胞移植の種類とそれぞれの特徴及び適応。腫瘍免疫の種類と作用機序。血液疾患における支持療法の意義と種類について学修する。 予習(90)分：当日講義分の教科書を通読し、わからない点は参考書やAIを使い、理解に努める 復習(60)分：講義資料を見直し、友人とディスカッションして理解を深める	山田 修
3	疾患の理解：赤血球系の異常に関する疾患。白血球系の異常：白血球数の増減と機能異常、造血器腫瘍の分類：急性白血病と骨髄異形成症候群 キーワード (血液疾患の種類と特徴)	P78～P111 赤血球系の異常として各種貧血の原因と確定診断、鉄代謝と鉄欠乏性貧血、二次性貧血、汎血球減少症の鑑別と治療、溶血性貧血の原因と治療を学修。白血球系の異常として、白血球の機能異常と易感染性の関係、造血器腫瘍の分類とそれぞれの特徴、造血器腫瘍の中で最も種類の多い急性白血病の種類と治療法の違い、前白血病状態と考えられる骨髄異形成症候群の病態と治療方針を学修する。 予習(90)分：当日講義分の教科書を通読し、理解に努める 復習(60)分：講義資料を見直し、友人とディスカッションして理解を深める	山田 修
4	慢性骨髄性白血病の遺伝子異常の特徴と骨髄増殖性腫瘍の関係。慢性リンパ性白血病。悪性リンパ腫。骨髄腫。血小板の異常。凝固因子の異常。 キーワード (血液疾患の種類と特徴)	P112～P144 慢性骨髄性白血病の細胞増殖に関わる遺伝子の理解、慢性骨髄増殖性腫瘍の種類と相互関係、悪性リンパ腫の分類と標準的治療、多発性骨髄腫の特徴、免疫性血小板減少症とピロリ菌感染の問題、血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)と溶血性尿毒症症候群(HUS)の相違、血友病AとBの違い、後天性血友病の本質と治療、播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態と治療を学修。 予習(90)分：当日講義分の教科書を通読し、わからない点は参考書やAIを使い、理解に努める 復習(60)分：講義資料を見直し、友人とディスカッションして理解を深める	山田 修
5	運動器の構成 (運動器の異常、ロコモティブシンドローム)	運動器を構成する器官の病態生理について講義形式で学習する。 予習(30)分：運動器の構造と機能、病態生理についてテキストを読み、十分に理解しておく。 復習(30)分：講義内容をノートにまとめる。	星野 正
6	運動器の診断、検査、治療 (画像診断、保存的治療、手術療法)	運動器疾患の診断、検査、治療法について講義形式で学習する。 予習(30)分：運動器疾患の診断、検査、治療法についてテキストを読み理解しておく。 復習(30)分：講義内容をノートにまとめる。	星野 正
7	骨粗鬆症と関連疾患 (診断、骨脆弱性骨折診断、治療)	骨粗鬆症の概要、関連骨折の診断、治療、現状について講義形式で学習する。 予習(30)分：骨粗鬆症とその関連骨折についてテキストを読み理解しておく。 復習(30)分：講義内容をノートにまとめる。	星野 正
8	麻酔法 (麻酔の目的、麻酔法の種類骨折と治療法)	整形外科領域の麻酔と骨折について講義形式で学習する。 予習(30)分：麻酔法、骨折についてテキストを読み、理解しておく。 復習(30)分：講義内容をノートにまとめる。	星野 正

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ (脳神経・精神)			授業科目番号	2209060
担当者氏名	笠井 英世、渡部 和成			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	[脳神経] 脳神経疾患患者の診療に従事し、問診・診断・薬物療法を中心とした内科的治療に関する経験を有する。 [精神] 精神科医師歴49年。精神科専門医、指導医。精神保健指定医。				
実務経験を 活かした 教育内容	[脳神経]臨床で培った脳神経疾患の症状評価、診断過程、薬物療法の知識を基に、看護に必要な病態理解や治療方針の背景を講義で解説し、実践的理解を促す。 [精神]時代の変化に伴う病名変更、診断方法の変化などを理解させ、実臨床の中での精神医療の状況もビビッドに感じ取れるように講義する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（笠井英世/4回）様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。

（渡部和成/4回）精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

《授業の到達目標》

[脳神経] 脳神経・精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療の概要を理解する。

看護実践に必要な基礎知識を習得し、適切な看護判断ができるようになる。

チーム医療において診断・治療方針について討論できる基礎力を身につける。

[精神] 精神疾患に関する知識を身に付け実際の精神医療で必要な看護実践力の基礎作りができることを目標に講義をする。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

[脳神経] 解剖生理学、病態学、疾病治療論Ⅰ～Ⅳ、成人看護学、精神看護学 [精神] 同科目内の脳神経疾患は関連した重要なものであり、精神疾患としても捉えるべき側面を持つものがあることに気づかせる。

《評価の方法》

[脳神経] 定期試験（看護国家試験形式に準拠した客観テストによる評価） 100%

[精神] 定期試験100%

《テキスト》

[脳神経] 『系統看護学講座 成人看護学[7] 脳・神経』（井手隆文 他著 医学書院 2024年）

[精神] 『系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎』（武井麻子 著 医学書院 2021年）

《参考図書》

[脳神経] 指定しない

[精神] 『わかった！統合失調症のベスト治療』（渡部和成著 星和書店 2018年）

《履修上の留意点》

[脳神経] 授業形態：☑講義形式

網羅される領域に対しての講義時間が圧倒的に不足しており、予習として「講義テキスト」において次回授業の該当項目を一読し、内容を把握しておく事。講義はパワーポイントを用いた授業形式で行われる。

[精神] 課題のフィードバック方法：講義の冒頭と終了時に課題を確認させ、終了後に、重要事項のまとめを学生に配布し再確認させる。 授業形態：講義形式

科学的な眼と人間的な眼でもって講義を聴いて欲しい。

《備考》

特になし

《オフィスアワー》

非常勤講師のため、教務・学生課を通じて連絡すること

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	授業科目番号	2209060
担当者氏名	笠井 英世、渡部 和成		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1. 脳/神経の構造と機能 2. 症状と病態生理	1. 神経系の解剖(中枢神経/末梢神経/自律神経)を理解し、その構造と役割を理解する。2. 神経系が傷害された場合、障害部位に対応する症状の種類や特徴を理解する。また、症状の病態生理を理解してより適切な看護の実践につなげる。 予習(60)分:(テキストの神経系の構造と機能を確認し、主要な用語を把握する。) 復習(120)分:(講義のハンドアウト、テキストを用いて復習する事)	笠井 英世
2	3. 検査/診断と治療/処置 4. 疾患の理解1(脊髄疾患/末梢神経障害)	3. 神経疾患患者の診察に置いて、問診/病歴の聴取、神経診察の目的を学ぶ。画像検査、電気生理学的検査、脳脊髄液検査、生検など検査概要や目的、適応、禁忌を理解する。神経疾患の治療法を内科的治療法/外科的治療法について理解する。4. 障害部位による疾患の分類を学ぶ。ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。(脊髄疾患/末梢神経障害) 予習(60)分:(検査法(画像検査・電気生理学的検査)の概要をテキストで確認する) 復習(120)分:(講義のハンドアウト、テキストを用いて復習する事)	笠井 英世
3	5. 疾患の理解2(脳疾患<脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷など>)	5. 障害部位による疾患の分類を学ぶ。ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。(脳疾患<脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷など>) 予習(60)分:(脳疾患の分類と特徴をテキストで確認し、代表的疾患を把握する) 復習(120)分:(講義のハンドアウト、テキストを用いて復習する事)	笠井 英世
4	6. 疾患の理解3(筋疾患・神経接合部疾患/脱髄性疾患/変性疾患/感染症/中毒/てんかん/認知症)	6. 障害部位による疾患の分類を学ぶ。ついで血管障害、自己免疫、感染、変性などによる疾患の分類と病態を学ぶ。(筋疾患・神経接合部疾患/脱髄性疾患/変性疾患/感染症/中毒/てんかん/認知症) 予習(60)分:(筋疾患・脱髄性疾患の概要をテキストで確認する。) 復習(120)分:(講義のハンドアウト、テキストを用いて復習する事)	笠井 英世
5	精神医療・精神看護心得(精神医療総論)	精神の病と社会、精神医学・精神医療の歴史・変遷等について講義する。 予習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ) 復習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ)	渡部 和成
6	統合失調症及び近縁疾患(知覚と思考の病気)	テーマに掲げた疾患をテキストを参照しつつ講義する。 予習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ) 復習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ)	渡部 和成
7	抑うつ症群、双極症、不安症群、強迫症(気分と不安の病気)	テーマに掲げた疾患をテキストを参照しつつ講義する。 予習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ) 復習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ)	渡部 和成
8	パーソナリティ症群、神経発達症群、摂食症群、物質関連症及び嗜癖症群、神経認知障害群(注意すべき病気)	テーマに掲げた疾患をテキストを参照しつつ講義する。 予習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ) 復習(30)分:(4, 5, 6, 8章の講義内容に関連するページ)	渡部 和成

《専門教育科目 専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復促進》

科目名	疾病治療論Ⅵ（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）			授業科目番号	2209100
担当者氏名	長谷川 功、中野 正明			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	[婦人科]新潟大学医歯学総合病院、秋田赤十字病院、済生会新潟病院等で計42年間産婦人科医療に従事 [免疫]新潟大学医学部保健学科にて、15年以上看護学生に対してリウマチ・膠原病に関する講義を担当				
実務経験を活かした教育内容	[婦人科]新潟大学医学部産婦人科助教、講師を歴任 新潟県医師会、新潟県助産師会、日本母乳の会等で講演 [免疫]上記の実務経験を踏まえて、より理解しやすい講義資料を作成して、学生に提供する。さらに、学生が講義に集中するように、毎回講義の後にミニテストを実施する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

女性生殖器及び免疫・アレルギー・膠原病の成り立ちと症状・検査・診断・治療について学び、看護実践に結び付けるための基礎とする。

（長谷川功/全4回）生殖器の疾患：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫、腫瘍：乳がん、子宮体癌、子宮頸がん、卵巣がん、月経異常：無月経、月経困難症、黄体機能不全、不妊症、更年期障害、閉経後障害（骨粗鬆症・動脈硬化・認知症等）などの女性特有の疾患について学ぶ。（中野正明/全4回）アレルギー反応、アレルギー性鼻炎、全身性エリテマトーデス（SLE）、シェングレン症候群、減感作療法、皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）含む、アナフィラキシーショック、気管支喘息（小児期からの病態と治療）などである。

《授業の到達目標》

[婦人科]1.女性を特徴づけるホルモン(卵胞ホルモン、黄体ホルモン)を中心に、女性の月経周期と妊娠の成立を理解する。 2.思春期から性成熟期、更年期、老年期まで、女性のライフサイクルに沿った疾患を女性ホルモンをキーワードに理解する。 3.不妊症治療は少子化のわが国において重要性を増している。その最新情報を理解する。 4.性感染症から婦人科悪性腫瘍までの各疾患の病態と治療、予防法を理解する。 [免疫]①免疫異常としての自己免疫(膠原病)、アレルギーの疾患概念を理解し、さらに自己免疫疾患と膠原病との関係も説明できる。②膠原病・アレルギー疾患の検査について理解し、説明できる。③各種膠原病の症状、診断、治療法について理解し、説明できる。④各種アレルギー疾患の症状、治療法について理解し、説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

[婦人科] 母性看護学：本講がこれを学ぶ窓口になる
[免疫] 病理病態学にてリウマチ・膠原病の理解に努める

《評価の方法》

[婦人科] 定期試験100% 試験形式は看護国家試験に準ずる
[免疫] 定期試験(70%)、授業後の小テスト(20%)、授業への受講態度他(10%)により、総合的に評価する。

《テキスト》

[婦人科] 『ナースング・グラフィカEX 疾患と看護⑨ 女性生殖器』（苛原 稔、渡邊浩子編：メディカ出版 2026年）他にPPT配布資料あり
[免疫] 特になし。PPTの配布資料がある。

《参考図書》

[婦人科] 『赤ちゃんにやさしいお産』（長谷川 功：新潟日報メディアシップ 2025年）
[免疫] 『系統看護学講座 専門分野 アレルギー 膠原病 感染症』（医学書院）
『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』（Medic Media）

《履修上の留意点》

[婦人科] 授業形態：■講義形式
医療従事者には患者さんとの良好なコミュニケーション力が求められる 講義でも質問・意見等、活発な発信を期待する
[免疫] 課題のフィードバック方法：■その他（次回講義時に解説）
授業形態：■講義形式
配布資料などにより、十分に復習して、授業内容を確実に理解するように努めること。

《備考》

《オフィスアワー》

[婦人科] メールアドレス：arthasegawa@outlook.jp
[免疫] オフィスアワーは授業の前後である。メールアドレスは、manakano@nagachu.jp である。

科目名	疾病治療論Ⅵ（婦人科、免疫・アレルギー・膠原病）	授業科目番号	2209100
担当者氏名	長谷川 功、中野 正明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	女性ホルモンと女性の月経周期 妊娠の成立機序 女性のライフサイクルと疾患	視床下部-下垂体-卵巣-子宮の連携からみた、女性の月経周期 排卵のメカニズム、女性ホルモンの動態と妊娠の成立機序 思春期から更年期、老年期までの女性特有の疾患(ホルモンを中心に)	長谷川 功
2	不妊症(1)不妊症の原因・検査 一般不妊治療	不妊症の原因と検査法について 多嚢胞性卵巣症候群、卵管水腫、男性不妊など不妊症の個々の原因疾患 排卵誘発、人工授精などの一般不妊治療について	長谷川 功
3	不妊症(2) 生殖補助医療 不育症 婦人科と遺伝	体外受精、顕微授精、凍結胚移植からなる生殖補助医療 流産・死産を反復する不育症の原因と治療 着床前検査、出生前検査など、婦人科に関わる遺伝学	長谷川 功
4	一般婦人科疾患 婦人科悪性腫瘍	性感染症、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫捻転など一般婦人科疾患 子宮頸がん、子宮体(内膜)がん、卵巣がん、乳がん等の悪性腫瘍 婦人科悪性腫瘍の診断と治療 子宮がん検診、子宮頸がんワクチンなど	長谷川 功
5	(1) 免疫と疾患、アレルギー 疾患の病態と検査 キーワード (免疫異常と疾患)	免疫異常としてのアレルギー疾患、自己免疫疾患の理解。アレルギー疾患 の分類とその特徴の理解。アレルギー疾患関連の検査についての理解。 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明
6	(2) アレルギー疾患各論、自己 免疫疾患としての膠原病の 疾患概念。 キーワード (気管支喘息)	気管支喘息、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ア ナフィラキシー、蕁麻疹、薬物アレルギーの疾患概念の理解。自己免疫疾 患、結合組織病、リウマチ性疾患の各疾患概念と膠原病の位置づけの理解 。 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明
7	(3) 膠原病各論① キーワード (関節リウマチ)	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発筋炎・皮膚筋炎の 疾患概念と治療 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明
8	(4) 膠原病各論② キーワード (シェーグレン病)	シェーグレン病、抗リン脂質抗体症候群、混合性結合組織病、ベーチェッ ト病、血管炎症候群、成人発症スティル病、リウマチ性多発筋痛症の疾患 概念と治療 復習(60)分：(配布したPPT資料で復習する)	中野 正明

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	保健統計学			授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を生かして、統計学の知識・考え方が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○4-1 看護学を探究する意欲, ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力, ◎5-1 地域・ 国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際に学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う。

《授業の到達目標》

1. 保健医療の現場での問題解決力を養うための基幹統計や各種統計資料の収集方法、データの読み取り・加工・解釈について説明できる。
2. 保健医療情報を収集・取り扱うにあたって必要となる法令・指針、またプライバシーや個人情報等の倫理的事項について説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

疾病治療論や感染免疫学、各看護領域の専門科目と関連する内容であるため、各科目の知識と統合すること。

《評価の方法》

- ①定期試験80%（到達目標1,2）
 - ②グループ課題に対するレポート20%（到達目標1）
- レポートはグループ（統計調査を用いた課題設定と資料収集、データの解釈）と個人（グループへの貢献）それぞれで提出する。

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』第13～18章（日本疫学会監修 南江堂 2024年）
『国民衛生の動向 2025/2026』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2025年）

《参考図書》

『健康を食い物にするメディアたち』（朽木誠一郎著 ディスカヴァー・トゥエンティワン社 2018年）
『世界一わかりやすい「医療政策」の教科書』（津川友介著 医学書院 2020年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：グループ課題に対するプレゼンテーションに対して、課題発表会時に講評を行う
授業形態：講義形式、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション

テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に統計調査のデータに触って理解を深めること、またニュースやネット等でも統計調査を含む記事に積極的に触れ関心を持つことが望まれる。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

質問等についてはメールで問い合わせること。

科目名	保健統計学	授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	保健統計学概論 (医療情報の利活用、健康情報の見極め方)	統計学を学ぶ意義について理解する。統計調査の基本的な方法論、信頼できる健康情報の見極め方を習得する。 予習(30分): 政府統計の総合の窓口(e-stat)のホームページで国が行う統計調査の概要を調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
2	基本的な統計データの読み方 (尺度、基本統計量、相関と回帰、母集団、疫学的因果関係)	統計データの種類や性質を表す基本的な用語を理解する。また、統計データを正しく表現・解釈するための技法を習得する。 予習(30分): テキスト第14章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
3	人口統計① (人口ピラミッド、将来推計人口、国勢調査)	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口静態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 予習(30分): テキスト第16章-Aを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 e-statで調査の実データに触れてみる。	鈴木 翼
4	人口統計② (出生率、死亡率、死因統計、生命表、平均寿命、健康寿命)	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口動態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 予習(30分): テキスト第15章、第16章-Bを読む。国民衛生の動向やe-statのホームページで該当する統計調査について調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 e-statで調査の実データに触れてみる。	鈴木 翼
5	保健医療に関わる基幹統計① (国民生活基礎調査、患者調査)	保健医療に関わる基幹統計(国民生活基礎調査、患者調査)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 予習(30分): テキスト第16章-D,Eを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 e-statで調査の実データに触れてみる。	鈴木 翼
6	保健医療に関わる基幹統計② (医療施設調査、学校保健統計調査、社会生活基本調査)	保健医療に関わる基幹統計(医療施設調査、学校保健統計調査、社会生活基本調査)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 予習(30分): 国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 e-statで調査の実データに触れてみる。	鈴木 翼
7	厚生労働統計 (国民健康・栄養調査、地域保健・健康増進事業報告、全国在宅障害児・者等実態調査、介護保険事業状況報告)	保健医療に関わる基礎的な統計(国民健康・栄養調査等)について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 予習(30分): テキスト第16章-Cを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 e-statで調査の実データに触れてみる。	鈴木 翼
8	疾病・障害の定義と分類/医療経済統計 (国際疾病分類、国際生活機能分類、国民医療費)	疾病・障害を定義・分類する方法について理解する。医療経済に関わる統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 予習(30分): テキスト第16章-Fを読む。国民衛生の動向やe-statで該当する統計調査について調べる。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 e-statで調査の実データに触れてみる。	鈴木 翼

科目名	保健統計学	授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	医療情報に関する法令・指針・原則／活用可能なデータベースの基本 (個人情報保護、研究倫理、セキュリティ、データヘルス計画)	保健医療情報を扱う上で必要となる、個人情報保護、情報公開とセキュリティ、研究倫理等を習得する。 予習(30分)：テキスト第13,17,18章を読む。 復習(90分)：講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
10	保健医療分野での地理情報システム(GIS)の活用 (地理情報システム(GIS)、空間的思考)	保健医療はじめ各分野で急速に利活用が進む地理情報システムについて、その概要や利点を学び、データを空間的に捉える考え方を理解する。 予習(30分)：保健医療分野での地理情報システム利用の実例について調べる。 復習(90分)：講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
11	保健統計各論① (地域保健と統計、災害・救急医療と統計)	地域保健(生活習慣病、高齢者保健、介護)や、災害・救急医療に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 予習(30分)：地域保健や災害・救急医療に関わる統計調査について調べる。 復習(90分)：講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木 翼
12	保健統計各論② (がん統計、感染症と統計、学校保健と統計)	がん、感染症、学校保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 予習(30分)：がん、感染症、学校保健に関わる統計調査について調べる。 復習(90分)：講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木 翼
13	保健統計各論③ (精神保健と統計、母子保健と統計、産業保健と統計)	精神保健、母子保健、産業保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 予習(30分)：精神保健、母子保健、産業保健に関わる統計調査について調べる。 復習(90分)：講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木 翼
14	グループ課題発表会① (医療情報の利活用)	小グループに分かれ、あらかじめ各々が設定した課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 予習(60分)：1～13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。 復習(60分)：他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。	鈴木 翼
15	グループ課題発表会② (医療情報の利活用)	小グループに分かれ、あらかじめ各々が設定した課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 予習(60分)：1～13回までの資料を読み返す。発表内容をまとめる。 復習(60分)：他グループの発表やディスカッション内容を振り返り考えをまとめる。 課題(提出期限：1月31日17時まで/講師メールアドレスで提出) グループ課題に対するデータの解釈や考察と、個人のグループへの貢献をそれぞれレポートにまとめる。	鈴木 翼

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	疫学			授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を生かして、疫学の知識・考え方が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学の概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 根拠に基づく保健看護活動を実践するために、疫学の概念と考え方を習得する。
2. 疾病頻度の指標、曝露の指標、因果関係、交絡など、集団の健康状態を表す指標について説明できる。
3. コホート研究、症例対照研究、介入研究など、疫学調査の種類やその意義・利点と限界について説明できる。
4. 各領域で用いられる疫学の実例を学び、関心を深める。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

疾病治療論や感染免疫学、各看護領域の専門科目と関連する内容であるため、各科目の知識と統合すること。

《評価の方法》

- ①定期試験80%（到達目標1,2,3,4）
 - ②レポート20%（到達目標2,3,4）
- レポートはA4 2～3枚程度。疫学調査法への理解、文献の読み取りと解釈に対し評価する。

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』第1～12,19章（日本疫学会監修 南江堂 2024年）
 （保健統計学と同一のテキストを使用する。）

《参考図書》

『疫学 新型コロナ論文で学ぶ基礎と応用』（坪野吉孝著 勁草書房 2021年）
 『データ栄養学のすすめ』（佐々木敏著 女子栄養大学出版社 2018年） その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：最終講義時に返却
 授業形態：講義形式

集団の健康を扱う疫学の基本的な考え方を習得するために、テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に手を動かして計算を行うなど関心を持って講義に臨むことが望まれる。疫学指標の計算を扱うため、電卓の持参を推奨する。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

質問等についてはメールで問い合わせること。

科目名	疫学	授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	疫学概論 (疫学の3要素、疫学の歴史、曝露と危険因子、因果関係)	授業ガイダンス 疫学の歴史や基本的事項を通じて、疫学を学ぶ意義と考え方、因果関係について理解する。 予習(30分): テキスト第1～2章、第10章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
2	疾病と曝露の指標① (割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比)	疫学で頻用する指標(割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比等)について、計算方法とその意義を理解する。 予習(30分): テキスト第3章-Aを読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
3	疾病と曝露の指標② (相対危険と寄与危険、オッズ比)	疫学で頻用する指標(相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定等)について、計算方法とその意義を理解する。 予習(30分): テキスト第3章-Bを読む。前回の講義スライドを再読する。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
4	疫学調査法① (集団の設定、記述疫学、生態学的研究、横断研究)	疫学研究を行うために必要な対象選択や標本抽出の方法について理解する。疫学調査(記述疫学、生態学的研究、横断研究)の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 予習(30分): テキスト第4～5章、第6章-1を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
5	疫学調査法② (症例対照研究、コホート研究)	疫学調査(症例対照研究、コホート研究)の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 予習(30分): テキスト第6章-2、3を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
6	疫学調査法③ (介入研究、システマティックレビュー)	疫学調査(介入研究、システマティックレビュー)の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 予習(30分): テキスト第7～8章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
7	疫学調査法④ (バイアス、交絡因子)	疫学調査に影響を及ぼすバイアスと交絡因子について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 予習(30分): テキスト第9章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。 課題(提出期限: 12月28日17時まで/講師メールアドレスへメールで提出) 講義で扱った疫学手法を用いた研究論文を検索し、指示された事項をレポートにまとめる。	鈴木 翼
8	スクリーニング (感度、特異度、検査の信頼性)	スクリーニング調査の意義やその実例、スクリーニングで用いられる用語について実例提示を交えて理解を深める。 予習(30分): テキスト第11章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼

科目名	疫学	授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木 翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	疫学調査の実際 (調査法の種類、質問紙の作成)	疫学調査を実際に行う際に考慮しておきたい事項について、実際の疫学調査の質問紙を参照しながら理解を深める。 予習(30分): テキスト第12章を読む。 復習(90分): 講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
10	各論① (生活習慣病の疫学、難病の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 予習(30分): 日本生活習慣病予防協会のホームページ(https://seikatsusyukanbyo.com/)で、生活習慣病に関する統計調査や危険因子について調べる。 復習(90分): 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
11	各論② (がんの疫学、母子保健の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 予習(30分): 国立がん研究センターがん情報サービスのホームページ(https://ganjoho.jp/)で、がんに関する統計調査や危険因子について調べる。 復習(90分): 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
12	各論③ (感染症疫学、栄養疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 予習(30分): テキスト第19章-1、4を読む。 復習(90分): 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
13	各論④ (社会疫学・政策疫学、臨床疫学、災害の疫学)	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 予習(30分): テキスト第19章-5を読む。 復習(90分): 講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
14	計算問題演習	第1～13回までに扱った各種疫学指標について、計算問題演習を通じて理解を深める。 予習(30分): 第1～13回の講義資料等を再読する。 復習(90分): 講義資料を再読し知識を定着させる。	鈴木 翼
15	まとめ	一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に疫学の知識をどのように活用するか考えを深める。 予習(30分): 第1～13回の講義資料等を再読する。 復習(90分): 保健医療現場での疫学の活用について考えをまとめておく。	鈴木 翼

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2311080
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、病院の組織・機能や看護師の役割について実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度, ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助の人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。看護を科学的根拠を持って実践することで看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を習得する。

《授業の到達目標》

1. 患者と援助の人間関係を築くことができる。 2. 患者の状態に応じて適切に情報を収集することができる。 3. 入院生活および健康障害、治療が患者に及ぼす影響について理解できる。 4. 患者の個別性に沿った看護計画を立案できる。 5. 患者の状態に応じて安全・安楽・自立を考えながら日常生活援助を実践できる。 6. 実習を通して学んだことを振り返り自己の課題を明らかにすることができる。 7. 実習を通して責任ある行動・態度を理解することができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

実習内容および実習記録を実習評価表で評価する。(到達目標1～7)
実習中、実習後に評価表を用いて個別面談を行う。

《テキスト》

《参考図書》

看護援助論および基礎看護学で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☑その他（最終日に面談）
授業形態： ☑教育リソースの利用（利用リソース名：臨地での実習）
本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。実習要項を熟読して実習に臨むこと。常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮、倫理面への配慮を十分に行い実習すること。実習共通要項に従った見だしなみ、準備、態度を実習参加の条件とする。

《備考》

1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：病院 3. 実習内容：実習要項参照

《オフィスアワー》

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2311080
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1日目 (学内実習)	学内実習 ＜予習＞(120分)：事前に提示された課題に取り組む。 ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
2	2日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
3	3日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
4	4日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
5	5日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
6	6日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
7	7日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他
8	8日目 (臨地実習)	2日目から8日目まで、患者を1人受持ち看護過程を展開する。(途中、1日学内実習を行う) 情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行う。 ＜予習＞(120分)：患者の理解や、看護援助に必要な課題に取り組む ＜復習＞(120分)：実習での学びを整理する	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2311080
担当者氏名	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
9	9日目 (学内実習)	学内実習 ＜予習＞（120分）：事前に提示された課題に取り組み、実習での学びを振り返る ＜復習＞（120分）：実習での学びを振り返り、自己の課題を明確にする。	大平 富美 樋本まゆみ 大崎美奈子 田口めぐみ 他

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅲ			授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、基本的な看護技術や看護援助過程について実務的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。
成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的に実践的に演習を行うことによって学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 看護過程の基礎的知識、看護理論と看護過程の関係性について述べることができる。
2. 事例をとおして機能障害における看護実践を行うことができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

成人看護学概論，成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ，疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝，腎）・Ⅳ（造血器・運動器）

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標1，2）、レポート20%（到達目標1，2）、演習参加態度20%（到達目標1，2）

《テキスト》

1. 『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編 ノーヴェルヒロカワ 2011年）
2. 『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第4版）』（林直子、佐藤まゆみ編 南江堂 2023年）
3. 『看護診断ハンドブック 第12版』（リンダ J. カルペニート著 医学書院 2023年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却

授業形態：□講義形式 □グループワーク

演習では、各チームで話し合い、それを基にして実施します。チーム内で各人が役割を果たすためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いきましょう。4～15コマ目は、2つのクラスに分かれ、慢性期演習（6コマ）、急性期演習（6コマ）をそれぞれ行います。

《備考》

《オフィスアワー》

広井貴子：毎週水曜日・金曜日12:30～13:30 目黒優子：毎週水曜日・金曜日 12:30～13:30, 16:30～18:00, メールでのご連絡は、hiro-i-t@m.sutoku-u.ac.jp（広井），meguro-y@m.sutoku-u.ac.jp（目黒）

科目名	成人看護援助論III	授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	【合同講義】授業ガイダンス 機能的健康パターンの枠組み キーワード (看護過程)	ゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントガイドの構成 学習方法：講義 (予習) (30分)：(看護過程の意義・目的、看護過程と看護理論の関係) (復習) (30分)：(パターンの枠組みの内容について) ※10回の授業の課題について、説明する。(課題内容提出期限と提出場所)	広井 貴子 目黒 優子
2	【合同講義】看護過程における看護診断 キーワード (看護診断)	・看護過程における看護診断について(看護過程における看護診断の位置づけ、看護診断の3つのタイプの特徴、看護診断を構成する要素) (予習) (30分)：(看護過程の構成要素についてまとめる) (復習) (30分)：(看護診断の3つのタイプの特徴、看護診断を構成する要素をまとめる)	目黒 優子 広井 貴子
3	【合同講義】①看護過程を活用するために必要な基礎的スキル②アセスメント(スクリーニング・アセスメント、フォーカス・アセスメント)	・看護過程の展開・アセスメントの進め方について(情報収集の基本、スクリーニング・アセスメント、フォーカス・アセスメント、仮の看護診断の抽出・検証、看護診断の決定) (予習) (30分)：(スクリーニング・アセスメントとフォーカス・アセスメントの違いについてまとめる) (復習) (30分)：(授業内で挙げた看護診断名の定義・診断指標・関連因子・危険因子を整理する)	目黒 優子 広井 貴子
4	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・2型糖尿病の一般的な〈病態関連図〉グループ間での発表、主観的情報/客観的情報の区別、面接技法について・事例(A氏)：壮年期、男性、2型糖尿病：ゴードンの機能的健康パターンに基いたの情報収集・整理、パターンごとの分析、仮の診断、不足の情報 (予習) (30分)：型糖尿病の病態生理、治療、看護についてまとめる (復習) (30分)：段階を追ったアセスメントの展開とは何かを整理する	目黒 優子 広井 貴子
5	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・2型糖尿病の一般的な〈病態関連図〉グループ間での発表、主観的情報/客観的情報の区別、面接技法について・事例(A氏)：壮年期、男性、2型糖尿病：ゴードンの機能的健康パターンに基いたの情報収集・整理、パターンごとの分析、仮の診断、不足の情報 (予習) (30分)：型糖尿病の病態生理、治療、看護についてまとめる (復習) (30分)：段階を追ったアセスメントの展開とは何かを整理する	目黒 優子 広井 貴子
6	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)情報収取から不足の情報について、ゴードンの機能的健康パターンの全パターン毎に情報を整理する。A氏に〈不足の情報〉について、問診・視診・触診を実施して必要な情報を収集する。結論・仮の診断を検証する。 (予習) (30分)：(ゴードンの機能的健康パターン毎の情報収集の視点) (復習) (30分)：(演習内で全体討議ができなかった残りのパターンについて各自で結論を導き出しておく)	目黒 優子 広井 貴子
7	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)情報収取から不足の情報について、ゴードンの機能的健康パターンの全パターン毎に情報を整理する。A氏に〈不足の情報〉について、問診・視診・触診を実施して必要な情報を収集する。結論・仮の診断を検証する。 (予習) (30分)：(ゴードンの機能的健康パターン毎の情報収集の視点) (復習) (30分)：(演習内で全体討議ができなかった残りのパターンについて各自で結論を導き出しておく)	目黒 優子 広井 貴子
8	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)看護診断の確定、優先順位、看護の方向性、問題リスト、期待される成果について ・事例(A氏)演習のまとめ (予習) (30分)：優先順位を決定する根拠とは (復習) (30分)：看護診断過程について、2型糖尿病患者の看護	目黒 優子 広井 貴子

科目名	成人看護援助論III	授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	【慢性期演習】アクティブラーニング(A氏の看護診断過程)	・事例(A氏)看護診断の確定、優先順位、看護の方向性、問題リスト、期待される成果について ・事例(A氏)演習のまとめ 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):(優先順位を決定する根拠とは) (復習)(30分):(看護診断過程について、2型糖尿病患者の看護)	目黒 優子 広井 貴子
10	【急性期演習】(周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う:看護介入する必要があることについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):(変形性股関節症(疾患、症状、検査、治療、看護など)) 事例の発達段階について、事例の個別性について (復習)(30分):(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子 目黒 優子
11	TBLによる学習:実施・チーム検討 キーワード (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う:看護介入する必要があることについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):(変形性股関節症(疾患、症状、検査、治療、看護など)) 事例の発達段階について、事例の個別性について (復習)(30分):(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子 目黒 優子
12	TBLによる学習:実施・チーム検討 キーワード (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う:看護介入する必要があることについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):(変形性股関節置換術をうけた人の看護について、退院後の生活について) (復習)(30分):(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子 目黒 優子
13	【急性期演習】 キーワード (周手術期の看護援助技術)	チーム検討を行う:看護介入する必要があることについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):(変形性股関節置換術をうけた人の看護について、退院後の生活について) (復習)(30分):(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子 目黒 優子
14	【急性期演習】患者の状態にあわせた自立への援助 キーワード (手術からの回復期の看護)	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する 学習方法:チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):(手術からの回復期の看護) (復習)(30分):(テキスト並びに配布した資料を読み返す)	広井 貴子 目黒 優子
15	【急性期演習】患者の状態にあわせた自立への援助 キーワード (手術からの回復期の看護)	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する 学習方法:チーム基盤型学習(TBL)、レポート(演習の評価と振り返り) (予習)(30分):(手術からの回復期の看護) (復習)(30分):(テキスト並びに配布した資料を読み返す) レポートは、授業終了時に提出する。	広井 貴子 目黒 優子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	科目の各担当教員が看護師としての病院勤務を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	各担当教員が高齢者看護の実務経験を活かした授業を展開し、設定した授業の到達目標に向け各担当教員がオムニバス形式で担当する。高齢者の加齢に伴う症候、高齢者特有の疾患とその看護について知識や技術を学習する科目であり、また医療や介護場面における高齢者やその家族の倫理的課題を考える科目である。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

老年期にある対象の加齢変化とアセスメントの特徴、また加齢変化に伴う生活機能上の課題と高齢者特有の疾患に対する看護に必要な知識・技術について学ぶ。また、高齢者の家族ケアや地域の社会資源を活用した援助について学ぶ。高齢者の倫理的課題についても考察する。

《授業の到達目標》

1. 高齢者の加齢変化とアセスメントの特徴、また加齢変化に伴う生活機能上の課題が説明できる。 2. 高齢者特有の疾患とその看護が説明できる。 3. 高齢者の倫理上の課題について自己の考えが表現できる。 4. 高齢者の治療上の特徴と看護が説明できる。 5. 高齢者の日常生活を支える看護が説明できる。 6. 治療・介護を必要とする高齢者の家族への看護の必要性が表現できる。

《先修科目》

1年次の基礎教育科目、専門教育科目のほか、2年次前期の老年看護学概論である。

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

1年次の専門基礎科目に加え、2年次前期開講科目の老年看護学概論の履修を通して高齢者の理解から高齢者観の醸成につながる。これまでの履修科目、特に老年看護学概論は、この科目で重要な関連科目である。

《評価の方法》

- ①レポート:15%（到達目標1,3,5,6） ②小テスト:15%（到達目標2）
③定期試験:70%（到達目標1,2,3,4,5,6）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2025年）【2年次購入】
2. 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2025年）【2年次購入】

《参考図書》

なし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■教育リソースの利用（ 利用リソース名 ： google classroom ）

- ・日常生活の中で高齢者と接する機会を大切にして、高齢者を支える生活を意識して過ごして下さい。
- ・高齢者に関する情報に関心を持ち日々過ごしてください。

《備考》

先修科目で学習した基礎的な内容を中心に、授業時間内に小テストを5回実施する。また、レポートに関する詳細な形式・提出期限等は初回の授業ガイダンス内で説明する。

《オフィスアワー》

青柳直樹：毎週木曜日11：00～14：00（学外業務、実習期間中で不在の場合は、aoyagi-n@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	老年看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス 生活機能・目標志向型思考の 老年看護ヘルスアセスメン ト キーワード(ヘルスアセスメン ト、生活行動モデル、目標 志向型思考)	授業概要、評価方法 ・生活機能・目標志向型思考の老年看護の考え方 ・ヘルスアセスメント(感覚器) (予習)(120分):テキスト1のPP.86~102、PP.408~410を熟読し、高 齢者のヘルスアセスメント、看護過程について調べる。 (復習)(120分):授業や資料を振り返り、高齢者のヘルスアセスメン ト、看護過程展開方法について整理する。	青柳 直樹
2	呼吸・循環機能障害のある高 齢者の看護 キーワード (肺炎、COPD、高血圧、心不 全)	・呼吸器系、循環器系の老化 ・高齢者に起こりやすい呼吸器系疾患(肺炎・COPD)と看護 ・高齢者に起こりやすい循環器系疾患(高血圧・心不全)と看護 【小テスト 3点】 (予習)(120分):テキスト1のPP.252-257、PP.260-261、PP.267-269、テ キスト2のPP.28-30、PP.124~125、PP.155~177を熟読し、呼吸器系疾患 、循環器系疾患について調べる。(復習)(120分):授業や資料を振り 返り、高齢者の呼吸器系・循環器系の加齢変化、疾患についてと看護につ いて整理する。	青柳 直樹
3	認知症のある高齢者の看護 キーワード (認知症、BPSD、うつ、せん 妄)	・認知症増加の背景 ・認知症の診断と治療 ・認知症の評価と看護 ・BPSD、うつ、せん妄と看護 (予習)(120分):テキスト1のPP282-315、テキスト2の PP22-24,PP125-143, PP282-283を熟読し、認知症について調べる。 (復習)(120分):授業を振り返り、認知症の看護についてまとめる。 【小テスト:3点】	青柳 直樹
4	脳血管障害・パーキンソン病 を支える看護 キーワード (脳梗塞、脳出血、慢性硬膜 下血腫、パーキンソン病)	・高齢者に起こりやすい脳血管疾患(脳梗塞、脳出血) ・神経系疾患(パーキンソン病)と看護 (予習)(120分):テキスト1のPP.113-114、PP250-252,テキスト 2:PP144-153,PP267-268を熟読し、脳血管疾患、パーキンソン病について 調べる。 (復習)(120分):授業を振り返り、脳血管疾患、及びパーキンソン病 の看護について整理する。 【小テスト:3点】	青柳 直樹
5	食生活を支える高齢者の看護 キーワード (歯・口腔器疾患、摂食嚥下 障害、消化器疾患、低栄養、 脱水)	・老化による栄養・食事の変化と栄養障害(低栄養) ・老化による摂食・嚥下障害の看護(脱水、窒息) ・老年期の歯口腔器疾患(う蝕・歯周病) (予習)(120分):歯口腔系・消化器系の解剖生理、及びテキスト1の PP107-108,PP145-159,PP234-237,テキスト2のPP.31-32、PP34-35、 PP.48-49、PP72-75、PP.100-103、PP177-189について熟読し、高齢者の代 謝や消化器機能、食生活、消化器系疾患について調べる。 (復習)(120分):高齢者の食生活を支える看護について整理する。	角山裕美子
6	歩行・移動を支える高齢者の 看護 キーワード (運動器、骨粗鬆症、骨折、 老年症候群、褥瘡)	・運動器系の老化 ・高齢者に起こりやすい運動器疾患(骨粗鬆症、骨 折)と看護 ・老年症候群と看護 ・高齢者に起こりやすい皮膚疾患 (褥瘡)と看護 (予習)(120分):運動器系の解剖生理、及びテキスト1のPP.94-96、 PP114-118,PP122-145,PP.244-249、PP.278-282、テキスト2のPP.37-38、 PP40-43,PP76-82,PP212-229、PP270-275を熟読し、高齢者の運動器系疾患 、皮膚疾患について調べる。(復習)(120分):高齢者の運動器系疾患 、皮膚疾患の看護について整理する。	角山裕美子
7	リハビリテーションを受ける 高齢者の看護 キーワード (リハビリテーション、廃用 症候群、多職種連携)	・リハビリとは ・高齢者のリハビリテーション ・リハビリテーションを受ける高齢者の看護 (予習)(120分):テキスト1のPP338-343、テキスト2のPP258-279につ いて熟読し、高齢者のリハビリテーションについて調べる。 (復習)(120分):授業を振り返り、リハビリテーションを受ける高 齢者の看護について整理する。	青柳 直樹
8	治療を受ける高齢者の看護① キーワード (手術療法、白内障、前立腺 がん、診療、検査、入院)	・高齢者の手術と看護 ・高齢者の検査・診療と看護 ・高齢者の入院時の看護 (予習)(120分):テキスト1のPP320-323、PP.331-337、PP.343-349、 テキスト2のPP103-112、PP.211-214、PP.235-236を熟読し、治療を受ける 高齢者、入院時の看護について調べる。 (復習)(120分):授業を振り返り、治療(手術・診療・検査)を受け る高齢者、入院時の看護について整理する。	角山裕美子

科目名	老年看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312090
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	治療を受ける高齢者の看護② キーワード (薬物療法、薬物有害事象、ポリファーマシー、アドヒアランス)	・高齢者の薬物療法と看護 ・薬物療法の援助 (予習) (120分): テキスト1のPP325-330、テキスト2のPP.246-255を熟読し、高齢者の薬物療法について調べる。 (復習) (120分): 授業を振り返り、薬物療法を受ける高齢者の看護について整理する。 【小テスト: 3点】	多田 健一
10	排泄を支える看護 キーワード (尿失禁、尿路感染症、前立腺疾患、便秘)	・高齢者に起こりやすい排泄障害 ・高齢者の排泄障害と看護 (予習) (120分): 排泄系の解剖生理、及びテキスト1のPP54-63、PP160-171、PP.270-272、テキスト2のP.35、PP.68-71、PP179-181、PP210-211を熟読し、高齢者の排泄障害について調べる。 (復習) (120分): 授業を振り返り、高齢者の排泄障害を支える看護について整理する。 【小テスト: 3点】	青柳 直樹
11	生活リズムを整える看護 キーワード (活動と休息、睡眠障害)	・高齢者に特徴的な生活リズムの変化と看護 ・高齢者と生活リズム、睡眠と覚醒の変化 ・生活リズムのアセスメントと生活リズムを整える看護 (予習) (120分): 自分の生活リズムと高齢者の生活リズムについて考える。テキスト1のPP182-192、テキスト2のPP.61-64を熟読し、高齢者の睡眠の特徴について調べる。 (復習) (120分): 授業を振り返り、高齢者の生活リズムを整える看護について整理する。	青柳 直樹
12	高齢者における地域包括ケア キーワード (介護予防、認知症予防、日常生活支援総合事業、多職種連携)	・地域でくらす高齢者のケア ・地域包括ケアシステムの実践 ・多職種連携と看護 (予習) (120分): テキスト1のPP.38-53、PP374-394について熟読し、高齢者を支える地域包括ケアについて調べる。 (復習) (120分): 授業を振り返り、高齢者の生活を支える地域包括ケアについて整理する。	角山裕美子
13	高齢者の家族看護 キーワード (家族形態、介護家族、多職種連携)	・高齢者の家族とは ・高齢者と家族の関係の変化 ・高齢者・高齢者家族を取り巻く社会資源(多職種連携含む) (予習) (120分): 家族とは何か、高齢者の世帯の家族構成について、テキスト1のPP.29-30、PP386-394を熟読し、調べる。 (復習) (120分): 授業を振り返り、高齢者の家族への支援について整理する。	青柳 直樹
14	終末期高齢者の看護 キーワード (エンド・オブ・ライフケア、意思決定支援、終末期医療、多職種連携、死生観、倫理的課題)	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定支援、家族による代理決定 ・エンド・オブ・ライフケア ・多職種連携による終末期を支える支援 ・高齢者の倫理的課題と看護 (予習) (120分): テキスト1のPP358-370、テキスト2のPP282-287を熟読し、高齢者の終末期、意思決定支援について調べる。 (復習) (120分) 授業を振り返り、高齢者の終末期の看護、意思決定支援について整理する。 【倫理的課題レポート: 5点】	青柳 直樹
15	高齢者疑似体験 高齢者と時代背景 キーワード (高齢者疑似体験、生活史、インタビュー)	・高齢者体験セットを装着した高齢者疑似体験から加齢変化への理解 ・高齢者の時代背景への理解 (予習) テキスト1のPP90-101、PP.122-129 を熟読し、高齢者の生活史のアセスメントの必要性について整理する。また、高齢者の加齢変化に伴う機能について整理する。 (復習) 演習を通して、高齢者の機能や生活史についてまとめる。 【高齢者疑似体験レポート課題: 5点】 【時代背景レポート課題: 5点】	多田 健一

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、永谷 智恵、伊藤 文子、船岡 未恵			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師としての病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を活かして、病気・障がいのある子どもと家族の特徴をふまえ、療養環境や病期、災害など状況に応じた看護と、子ども・家族中心のケアを具体的に学ぶ科目である				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

病気・障がいのある子どもと家族の特徴と看護の役割について学ぶ。入院や外来、在宅等子どもを取り巻く環境や生活の場、災害など状況に応じた看護、病気の経過に応じた看護、子どもの基本的特性をふまえた症状別の看護を学ぶ。具体的な事例を示し、子ども・家族の体験の理解や、子ども・家族を中心としたケアの実践を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 小児の代表的な疾患と治療の概要を理解し、症状別の看護を述べることができる
2. 健康問題が子ども・家族の心身・社会・成長発達に及ぼす影響と必要な看護について述べるができる
3. 入院・外来・在宅・地域・災害時など、子どもと家族を取り巻く多様な療養環境における看護の役割を述べるができる
4. 具体的な事例を通して、子どもと家族の体験を理解し、看護の役割を述べるができる

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

小児看護学概論で学ぶ子どもと家族を取り巻く社会背景、成長・発達、看護倫理を基盤として、疾病治療論で理解した病態・治療をふまえ、病気・障がいのある子どもと家族への具体的な看護援助を実践的に習得することを目指す。

《評価の方法》

事前・事後課題：25%（到達目標1・2・3・4）
レポート課題：15%（到達目標4）
定期試験60%（到達目標1・2・3・4）

《テキスト》

『系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論』（奈良間美穂 他著 医学書院 2025年）
『系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（丸 光恵 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護』（中野綾美編 メディカ出版 2023年）
『新体系 看護学全書 小児看護学②』（小林京子、高橋孝雄編 メチカルフレンド社 2022年）適宜講義内で紹介する

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却 ■次回講義時に返却 ■その他（講義内で方法を提示する）
授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■双方向（ICTの活用）
■教育リソースの利用（利用リソース名：小児看護関連ガイドライン、Google classroom、Slido）

1. 予習・復習に取り組み、講義に対応するテキストを熟読・動画を視聴し理解して臨みましょう
2. 課題内容、提出方法・期限については講義内で説明します。疑問点は講義中・後に確認し明確にしていきましょう

《備考》

学習内容の予習にある[1][2]はテキストの番号を示す

《オフィスアワー》

沼野 博子：毎週火曜 10：00～17：00（それ以外ではnumano-h@m.sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

科目名	小児看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、永谷 智恵、伊藤 文子、船岡 未恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	病気がいをもつ子どもと家族の看護、状況に特徴づけられる看護 キーワード (子どもの病気理解、ストレス反応、インフォームドアセント、入院・外来環境 きょうだい支援)	子どもの病気理解と入院環境。病気・入院が子どもや家族に与える影響と看護の役割。外来における子どもと家族の看護 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(30分) [1]病気・障害が子どもに与える影響(p208～)、入院・外来の環境と看護の役割(p228～)を読み、まとめる 【復習】(30分) 入院中の子どものきょうだいのケアについてまとめる。リアクションペーパーまたはGoogle classroomで提出し、個別にフィードバックする 【課題提出期限】別途講義内で提示する	永谷智恵
2	症状別看護① 発熱・発疹・けいれん キーワード (ウイルス感染症、熱性けいれん、感染隔離、外来でのトリアージ、予防接種)	乳幼児期の主な感染症と子どもの発熱・発疹・けいれん症状に対する急性期対応と、家族へのホームケア支援に関する看護 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】(30分) [2]感染症と看護(p140～)を読み、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、突発性発疹、溶連菌感染症の感染経路、潜伏期間、症状・治療をまとめる 【復習】(30分) 症状別看護の確認問題。Google classroomで解説する 【課題提出期限】復習を講義3日後までに取り組む/Google classroomに提出	沼野博子
3	症状別看護② 嘔吐・下痢・脱水 キーワード (ウイルス性胃腸炎、腸重積症、肥厚性幽門狭窄症、脱水の重症度、経口補水療法)	子どもの嘔吐・下痢・脱水症状に対する急性期対応と、家族へのホームケア支援に関する看護 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】(30分) [2]消化器疾患と看護(p224～)を読み、ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス・ロタウイルス)、腸重積症、肥厚性幽門狭窄症の症状と治療についてまとめる 【復習】(30分) 症状別看護の確認問題。Google classroomで解説する 【課題提出期限】復習を講義3日後までに取り組む/Google classroomに提出	沼野博子
4	症状別看護③ 呼吸困難・チアノーゼ キーワード (呼吸困難徴候、気管支喘息、発作の重症度、RSウイルス、吸入・酸素療法)	呼吸困難・チアノーゼ症状を示す子どもの看護 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(20分) [2]急性細気管支炎(p174)、気管支喘息(p110)の病態、症状、治療についてまとめる 【復習】(10分) 予習と授業の内容から自己が考える看護について講義内に記載して提出し、個別にフィードバックする	船岡未恵
5	子どもの事故・外傷と看護 キーワード (外傷、誤飲・誤嚥、溺水、熱傷、熱中症、救命処置)	子どもの気道遺物、熱傷、溺水、熱中症などの主な事故の要因と重症度。事故発生時の対応・救命処置 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(30分) [1]p16～を読み、子どもの不慮の事故の種類と要因について、発達段階別にまとめる 【復習】(30分) 誤飲時に行われる処置と、その際に誤飲物質によって注意すべき内容をまとめる。リアクションペーパーまたはGoogle classroomで提出し個別にフィードバックする 【課題提出期限】別途講義内で提示する	永谷智恵
6	急性期の子どもと家族の看護 キーワード (川崎病、ファロー四徴症、無酸素発作、子ども家族のストレス、危機理論)	子どもの循環病態を理解し、循環動態の変化に対応した急性期看護、急性期にある子ども・家族の体験を理解し不安軽減や意思決定を支える看護 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】(30分) [2]循環器疾患と看護(p190～)を読み、ファロー四徴症と川崎病の症状と治療についてまとめる 【復習】(30分) 急性期看護の確認問題。Google classroomで解説する 【課題提出期限】復習を講義3日後までに取り組む/Google classroomに提出	沼野博子
7	周術期の子どもと家族の看護 キーワード (子どもの手術の特徴、術前・術後管理、意思決定支援、活動制限、安全確保)	子どもの手術の特徴、子ども・家族の心身の苦痛軽減や早期回復・合併症予防に向けた周術期看護 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】(30分) [2]先天性股関節脱臼・骨折(p420～)、口唇口蓋裂(p225～)、鎖肛(p244～)、アデノイド(p475～)の症状と治療についてまとめる 【復習】(30分) 周術期看護の確認問題。Google classroomで解説する 【課題提出期限】復習を講義3日後までに取り組む/Google classroomに提出	沼野博子
8	慢性期にある子どもと家族の看護 キーワード (セルフケア能力の育成、エンパワメント)	慢性期にある子ども・家族の特徴・慢性状態が及ぼす影響と看護 I型糖尿病 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(30分) [1]p266～270からセルフケア能力の育成、成人期への移行支援をまとめる。[2]p67～80からI型糖尿病の病態、治療、看護をまとめる 【復習】(30分) 授業を振り返り学習した内容を整理し理解する 【課題】慢性期にある子どもと家族の看護についてまとめ授業時間内に提出する。次回フィードバックする	伊藤文子

科目名	小児看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312140
担当者氏名	沼野 博子、永谷 智恵、伊藤 文子、船岡 未恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	成人移行期にある子どもと家族の看護 キーワード (学校生活支援、アドヒアランス、将来への不確かさ、移行期支援)	子ども・家族の成人期を見据えた自立への支援 ネフローゼ症候群 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(30分) アドヒアランス、エンパワーメント、ヘルスリテラシーとは何かをまとめる。[2]p326～327、p343～345から病態、症状と治療、看護をまとめる 【復習】(30分) 授業を振り返り、学習した内容を整理し理解する 【課題】成人移行期にある子どもと家族の看護についてまとめ、授業時間内に提出する。個別にフィードバックする	伊藤文子
10	集学的治療を受ける子どもと家族の看護 キーワード (小児がん、化学療法、症状マネジメント、終末期)	小児がんと化学療法による心身への影響と症状マネジメント、病期に応じた子どもの成長発達を支える包括的支援 【学習方法】講義 意見集約ツールによる全体ディスカッション 【予習】(20分) [2]悪性新生物と看護(p302～)を読み、小児白血病の症状と化学療法の副作用についてまとめる 【復習】(40分) 動画を視聴し、終末期の子どもと家族の看護についてまとめる。Google classroomでフィードバックする 【課題提出期限】復習を講義3日後までに組み込む/Google classroomに提出	沼野博子
11	染色体異常のある子どもと家族の看護 キーワード (先天異常、障がい受容、ディベロップメンタルケア、子ども家族中心ケア、在宅移行支援)	染色体異常の子どもの家族の育児体験から考える障がい受容や在宅移行支援 【学習方法】講義 全体ディスカッション 【予習】(20分) [2]先天異常と看護(p2～)を読み、染色体異常、18トリソミー、21トリソミーを調べ、ご家族への質問事項をまとめる 【復習】(40分) レポート課題をまとめる。個別にフィードバックする 【課題提出期限】指定用紙にまとめ講義3日後までにGoogle classroomに提出(講義をふまえ、あなたが子ども・ご家族への支援として特に大切にしたいこと：800文字程度)	沼野博子 非常勤講師
12	障がいのある子どもと家族の看護 キーワード (重症心身障がい児、生理的特徴とケア、医療的ケア児、地域包括ケア)	重症心身障がい児、医療的なケアを必要とする子どもと家族の看護 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(20分) [1]A.障がいのある子どもとは(p518～523)について理解し、まとめる 【復習】(30分) 予習と講義の内容から自己が考える看護についてレポートにまとめる。個別にフィードバックする 【課題提出期限】レポート課題。別途講義内で提示する	船岡未恵 非常勤講師
13	発達凸凹のある子どもと家族の看護 キーワード (発達障害、特性理解、多職種連携、地域包括ケア)	発達障害の行動特性と症状をふまえた支援、発達障害のある子どもと家族の思いと困難に対する支援 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(30分) [2]p469～470 p479～481を読み、障害特性をまとめ、指示された動画を視聴し障害特性を理解する 【復習】(30分) 授業を振り返り、学習した内容を整理し理解する 【課題】発達凸凹のある子どもと家族の看護についてまとめ、授業時間内に提出する。個別にフィードバックする	伊藤文子
14	虐待を受けている子どもと家族の看護 キーワード (虐待の定義、リスク要因、発生予防、安全で安心できるかわり)	虐待のリスク要因、虐待を受けた子どもに対する看護、家族に対する看護 【学習方法】講義、グループディスカッション 【予習】(30分) [1]p536～552を読み、虐待の定義と各特徴、子どもと親に対するケアをまとめる 【復習】(30分) 授業を振り返り、学習した内容を整理し理解する 【課題】虐待を受けている子どもと家族の看護についてまとめ、授業時間内に提出する。個別にフィードバックする	伊藤文子
15	災害を受けた子どもと家族の看護 (子どもの災害ストレス、ポストトラウマティックケア、レジリエンス)	被災地の環境、災害時の子どもの災害ストレスと看護 【学習方法】災害支援者からのオンライン講義 【予習】(20分) [1]災害時の子どもと家族の看護(p257～)を読み、疑問点を調べ、講師への質問事項をまとめる。講義内で回答する 【復習】(40分) レポート課題をまとめる。個別にフィードバックする 【課題提出期限】指定用紙にまとめ、講義3日後までにGoogle classroomに提出(講義をふまえ、あなたが災害支援として特に大切にしたいこと：800文字程度)	沼野博子 非常勤講師

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、小川 久貴子、佐藤 初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	学生の理解が進むよう看護師および助産師としての臨床経験を基にした具体的なケア場面を提示しながら、母性看護学における基礎的知識および援助方法を実践的に教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 周産期（妊娠期・分娩期・産褥期）にある女性、胎児および新生児の生理的变化を理解できる。
2. 周産期にある女性と夫またはパートナー、家族の心理的・社会的特徴を理解できる。
3. 周産期にある女性および新生児、家族の正常または逸脱に対する看護援助の方法を述べることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

母性看護学概論で学ぶ母性看護の基盤概念を基に、周産期にある女性および新生児、家族の特徴を理解し、正常に経過するための援助やその人・家族らしさを支えるための援助方法の基盤を築くことを目指します。

《評価の方法》

- ①妊娠期および新生児期：提出物10%（到達目標1,2） ②妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期：定期試験90%（到達目標1,2,3） ③不合格時は妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の筆記再試験を実施して判断する。

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院 2026）
2. 『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（新田真弓、喜多里己 監修 インターメディカ 2026）
3. 『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版 2024）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患』メディカ出版 『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理』メディカ出版
『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media 『新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ・Ⅱ』中央法規出版

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■次回講義時に返却 ■その他（ 授業中に解説する ）
授業形態：■講義形式 ■ディスカッション

- ・講義中の活発なディスカッションを望みます。
- ・疑問をそのままにせず、直接聞きにきて解決してください。時間の許す限りお答えします。

《備考》

《オフィスアワー》

森美由紀：毎週水曜日10：30～13：00（実習期間中で不在の場合はmori-m@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	母性看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、小川 久貴子、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	妊娠期の看護① (妊娠の成立、胎児の発育)	授業ガイダンス 妊娠の定義、女性生殖器を踏まえた妊娠の成立過程、妊娠の診断検査、胎児・胎児付属物の発育と特徴を理解する。 予習(30分):教科書P62-76、92-99を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	小川 久貴子
2	妊娠期の看護② (妊婦の身体的・心理的・社会的特性、胎児の発育発達)	妊娠による母体の変化、妊婦・家族の心理社会的特徴、妊娠の経過に伴う胎児の変化を理解する。 予習(30分):教科書P68-99を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む 課題(提出期限:第3回授業開始時/提出先:講義室内に設置するBOX) 妊娠と薬と放射線と環境汚染物質、妊娠期に起こりやすいマイナートラブル	小川 久貴子
3	妊娠期の看護③ (妊婦・胎児、家族のアセスメントと看護)	妊婦と胎児のアセスメント、基礎的情報のアセスメント、妊婦の健康診査、母子健康手帳、日常生活に関するアセスメント、胎児の発育と健康状態の診断を理解する。また、妊娠各期における看護を理解する。 *アセスメントの考え方・ケアの方向性を、一部Short事例展開で学ぶ 予習(30分):教科書P100-183を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	小川 久貴子
4	妊娠期の看護④ (妊娠期の異常と看護)	妊娠期の異常(ハイリスク妊娠、感染症、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病等)および看護を理解する。 予習(30分):教科書P380-422を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	小川 久貴子
5	分娩期の看護① (分娩の区分、分娩の経過、分娩の3要素、分娩の機序)	分娩の区分、分娩の経過および分娩の3要素と分娩の機序について理解する。分娩期を理解するための用語の定義の理解は重要であることを学ぶ。 予習(30分):教科書P184-191を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
6	分娩期の看護② (分娩進行に伴う産婦の身体的・心理的・社会的変化)	分娩進行に伴う産婦の身体的・心理的・社会的変化および分娩が母体・胎児に及ぼす影響を理解する。 予習(30分):教科書P196-211を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
7	分娩期の看護③ (産婦・胎児、家族のアセスメントと看護、分娩期の異常と看護)	産婦と胎児の健康状態のアセスメントおよび産婦と家族の看護(産婦の二一ド、分娩第1期、2期、3期、4期の看護の実際)を理解する。また、分娩期のハイリスクおよび異常(産道の異常、娩出力の異常、胎児・胎児付属物の異常)と看護を理解する。 予習(30分):教科書P211-261、423-488を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
8	産褥期の看護① (産褥期の身体的・心理的・社会的特性)	産褥期の定義、産褥期の身体的変化(退行性変化:全身の変化、生殖器の変化、分娩による損傷、進行性変化:乳房の変化、褥婦と家族の心理・社会的変化)褥婦の身体心理社会的変化を理解する。 予習(30分):教科書P322-333を読んでくること 復習(30分):講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀

科目名	母性看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312180
担当者氏名	森 美由紀、小川 久貴子、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	産褥期の看護② (褥婦のアセスメント)	産褥期におけるアセスメント(退行性変化, 進行性変化, 母親の適応過程, 家族の適応過程, 生活・社会環境)を理解する。 *アセスメントの考え方を、一部Short事例展開で学ぶ 予習(30分): 教科書P334-345を読んでくること 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
10	産褥期の看護③ (褥婦と家族の看護)	退行性変化への看護, 進行性変化への看護, 親子関係を促す看護を理解する。 *ケアの方向性を、一部Short事例展開で学ぶ 予習(30分): 教科書P345-379を読んでくること 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
11	産褥期の看護④ (産褥期の異常と看護)	退行性変化に関連する異常, 進行性変化に関連する異常, 心理・社会的側面に関する異常, 特別な支援を要する褥婦の看護(帝王切開術後の看護)を理解する。 予習(30分): 教科書P514-550を読んでくること 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	森 美由紀
12	新生児期の看護① (新生児の生理)	新生児の定義, 新生児の分類, 新生児の機能(子宮外への適応, 呼吸器系, 循環器系, 体温調節, ビリルビン代謝, 糖代謝, 消化器系, 腎機能, 免疫系) *事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 予習(30分): 教科書P262~275を読んでくる 事前課題あり:(提出期限; 第12回授業開始時/提出先; 講義室内に設置するBOX)A4 1枚程度で提示する項目(胎児循環、胎盤の構造等)を調べる。 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	佐藤 初美
13	新生児期の看護② (新生児のアセスメントと看護)	新生児の健康状態(神経系, 反射, 感覚器, 皮膚, 基礎的情報収集, 出生直後の評価, 子宮外生活への適応)のアセスメント、ハイリスク児の要因/出生直後から生後24時間以内(移行期)の看護・出生直後のケア/出生後~24時間以内のケア *short事例展開を織り交ぜ講義等で学ぶ 予習(30分): 教科書のP272~306を読んでくる 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む。教科書P603の新生児の原始反射の動画を視聴する。	佐藤 初美
14	新生児期の看護③ (新生児のアセスメントと看護)	新生児の生後24時間以降から退院に向けたケア/新生児の胎外生活適応過程、発育を母子相互の視点からアセスメントする/新生児黄疸と治療、新生児の意識レベル, スクリーニング検査 予習(30分): 教科書のP307~320を読んでくる、 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む	佐藤 初美
15	新生児期の看護④ (新生児期の異常と看護)	ハイリスク新生児の特徴, 呼吸不全, 循環不全, 消化器の異常, 代謝の適応不全, 神経学的異常, 分娩との関連, 母体疾患と新生児の異常, 早産児・低出生体重児の特徴, 先天異常がある新生児と看護/short事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 予習(30分): 事前課題・教科書のP489~513を読んでくる 復習(30分): 講義内で分からなかったことを中心に教科書から必要な部分を講義資料に書き込む 課題(提出期限; 講義終了1週間後/提出先; 指定する研究室前に設置する提出BOX) 新生児期に関する状況設定問題10問程度を解く。	佐藤 初美

科目名	精神看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇、成田 みぎわ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として精神科病棟の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、精神医療や地域精神保健福祉についての講義・演習を行い、看護実践力を教育する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を理解し、対象者の精神的な健康の回復・保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種との役割と連携を理解し、看護の役割について考察する。

《授業の到達目標》

1. 精神の健康障害に対するアセスメント方法と対人関係を基盤とした支援技法について説明できる。
2. 代表的な精神疾患の病態と治療、それに応じた看護について説明できる。
3. 精神医療福祉に関する法律の概要と看護者の倫理について説明できる。
4. 精神医療福祉における関係職種の連携と看護の役割について説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は「精神看護学概論」「疾病治療論Ⅴ（精神）」で学んだ内容をもとに学習し、看護の役割や援助内容について学ぶ。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標1・2・3・4）、授業内で実施する3回の小テストの合計20%（到達目標1・2・3・4）、授業態度（授業中の発言やコメントカードの記載内容）10%（到達目標1・2・3・4）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2021年）

《参考図書》

『精神看護学 第3版 学生 - 患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著 医歯薬出版 2024年）
『新版 精神看護学』（遠藤淑美、末安民生 編 中央法規出版 2020年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑その他（各回 各回の講義後のコメントカードにかかれた質問等には、次の講義時に解説する）
授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑教育リソースの利用（利用リソース名：講義内容に関連したDVD）
予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と資料に記載されているテキストの該当ページを読んでおくこと。復習（事後学習）として、授業中に配付するプリントの最後にある問題を必ず解くこと。間違った問題は、プリントやテキストを参考にして必ず確認しておくこと。小テストの結果は、次の講義時に返却し解説します。

《備考》

「精神看護学概論」「疾病治療論Ⅴ（精神）」で学習した知識をもとに、看護の役割や援助内容について学ぶ。
精神看護学実習の履修要件科目である。

《オフィスアワー》

主担当 成田：毎週水曜日 12:30～14:30（実習等で不在の時には、narita-m@m.sutoku-u.ac.jpまで連絡ください）その他の教員は、ポータルサイトに掲示するオフィスアワー一覧を参照してください。

科目名	精神看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	精神障害者の理解 (精神症状、統合失調症、気分障害)	精神疾患に伴う代表的な精神症状を理解する。自分がもつ精神疾患や精神症状に対するイメージについて考えるとともに、精神症状をもつその人にとっての症状の意味を理解する。 (予習) (90分)：精神看護学概論の学習内容について授業資料を読み返しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	板山 稔
2	精神看護におけるアセスメント方法 (オレム・アンダーウッドのセルフケア理論、ストレングスモデル)	セルフケア理論を用いて精神疾患患者の健康障害をアセスメントする方法を学ぶ。対象者のストレングス(強み)に着目したアセスメント方法を理解する。 (予習) (90分)：事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	成田みぎわ
3	精神看護における基本的技法 (参加観察、コミュニケーション、アクティブリスニング、リスクマネジメント)	精神看護における特徴的な観察の方法と観察項目を理解する。症状の安定や回復を促進するコミュニケーションの基本的技法を学ぶとともに、精神科におけるリスクマネジメントの特徴を学ぶ。 (予習) (90分)：事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	板山 稔
4	病の体験を聴く (病の体験、リカバリー、エンパワメント、ストレングス)	社会福祉施設を利用しているゲストスピーカーから病気や生活の体験を聴く。精神疾患をもつことでの生きづらさとともに、ストレングスやリカバリーについて理解し、看護の役割等を考える。 (予習) (60分)：これまでの授業を踏まえ、ゲストスピーカーに質問したいことを考えておく (復習) (60分)：精神障害者の地域生活支援の課題についてまとめる	板山 稔
5	精神看護における治療的人間関係 (治療的人間関係、共同意思決定、プロセスレコード、自己一致)	患者－看護師間の人間関係が生み出す治療的意味を理解する。対人関係の構築における自己活用の意味とそれを育むための自己理解、患者－看護師の治療的援助関係の発展過程、共同意思決定、プロセスレコード等について学ぶ。第1回小テスト。 (予習) (90分)：事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	板山 稔
6	精神医療・保健福祉制度の法律 (精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法)	精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法等の内容を学び、精神医療・保健福祉制度における法律の体系と精神科看護における重要点を理解する。日本の精神科医療施策の問題点・課題について考える。 (予習) (90分)：事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	成田みぎわ
7	地域精神保健福祉と看護 (アウトリーチ、リカバリー、障害者総合支援法、多職種協働、ピアサポート、ケアマネジメント、地域包括ケアシステム)	精神障害者の退院促進および地域生活定着に向けた支援のあり方について、訪問看護、デイケア、多職種協働の実践例、障害者総合支援法による支援の実際などを通して理解する (予習) (90分)：事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	板山 稔
8	精神疾患の治療① (薬物療法、有害事象、電気けいれん療法、精神療法)	精神疾患に対しての身体に働きかける治療(薬物療法、電気けいれん療法など)及び精神や心理、活動に働きかける治療(精神療法)を理解し、必要とされる看護について学ぶ。 (予習) (90分)：事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入しておく (復習) (60分)：配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	板山 稔

科目名	精神看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山 稔、藤田 勇、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	精神疾患の治療② (作業療法、認知行動療法、 社会生活技能訓練)	精神疾患に対しての精神や心理、活動に働きかける治療(認知行動療法、 作業療法など)を理解し、看護のあり方について学ぶ。第2回小テスト。 (予習) (90分): 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入 しておく (復習) (60分): 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	成田みぎわ
10	統合失調症患者の看護① (幻覚妄想、思考障害、精神 運動興奮、無為・自閉)	統合失調症の発症から寛解までの回復過程を理解し、事例を通して精神症 状についてアセスメントする。 (予習) (90分): 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入 しておく (復習) (60分): 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	藤田 勇
11	統合失調症患者の看護② (薬物療法、服薬アドヒアラン ス、心理教育、セルフマネ ジメント)	統合失調症の急性期から慢性期における病態の特徴とその看護を理解し、 社会参加や社会生活の定着に向けた看護支援のあり方について学ぶ。 (予習) (90分): 事前配付した資料の事例について自己の考えを記入し ておく (復習) (60分): 配付資料の事例について、講義後の自己の考えについ てまとめる	藤田 勇
12	気分障害患者の看護 (うつ病、躁病、双極性障害 、薬物療法、認知行動療法)	気分障害の病型と特徴的な病態を理解し、それらに対する看護支援につい て学ぶ。 (予習) (90分): 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入 しておく (復習) (60分): 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	藤田 勇
13	神経症性障害、ストレス関連 性障害、パーソナリティ障害 の患者の看護 (パニック障害、強迫性障害 、PTSD、境界性パーソナリ ティ障害)	神経症性障害(不安障害、パニック障害、強迫性障害)、ストレス関連障 害(ASD、PTSD、適応障害)、パーソナリティ障害の病態の特徴を理解し 、看護支援について学ぶ。 (予習) (90分): 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入 しておく (復習) (60分): 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	成田みぎわ
14	発達障害の患者の看護 (ADHD、自閉スペクトラム症 、限局性学習症)	発達障害(ADHD、自閉スペクトラム症、限局性学習症)の病態の特徴を理 解し、看護支援について学ぶ。 (予習) (90分): 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入 しておく (復習) (60分): 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	成田みぎわ
15	アディクション、依存症の患 者の看護 (アディクション、アルコー ル依存症、摂食障害)	アルコール依存症、摂食障害を中心に、アディクション・依存症の特徴を 理解し、看護支援について学ぶ。第3回小テスト。 (予習) (90分): 事前配付した資料の空欄部分をテキストを用いて記入 しておく (復習) (60分): 配付資料の問題を解き、間違った問題について調べる	成田みぎわ

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2313180
担当者氏名	田辺 生子、山崎 節子、菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護職として、地域での勤務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	在宅における難病療養者等への在宅療養者支援を行政等で行った経験を踏まえ、在宅療養における看護の実 際等について、具体例を交えて教授する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践 力、○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるとともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について学ぶ。訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族や地域の環境などを包括した在宅療養者のケアについて考える。

《授業の到達目標》

1. 訪問看護師の基本的な訪問時のマナーや倫理、用語について説明することができる。
2. 在宅療養をする対象に応じた看護援助の方法と工夫について、在宅療養で代表的な健康障害とそれに伴う生活機能低下の状況と関連させながら説明することができる。
3. 在宅療養者とその家族の特徴を踏まえた看護過程の計画・立案・展開について説明することができる。
4. 生活の場で提供される看護の特徴と訪問看護の役割について紙上事例を通して考えることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

2年前期の地域・在宅看護学概論の系統科目であり、在宅療養者とその家族に関する理解を促進し、地域・在宅における実際の看護援助に関する方法、および在宅療養者とその家族への看護過程の展開を学ぶことを目指す。

《評価の方法》

定期試験70%（到達目標の1.2.3.4）、提出物20%（到達目標の2.3.4）
態度（含むグループワーク）10%（到達目標の1.2.3.4）

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子他著 医学書院 2025年）
『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子他著 医学書院 2026年）

《参考図書》

『基礎からわかる地域・在宅看護論』（池西静江編著 照林社 2021年）
『療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程』（尾崎章子・蒔田寛子編著 医歯薬出版 2023年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却（第4回課題） □その他（事例のアセスメントは次回の講義で全体にコメントを返却し、解説を行う）
授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション

- ・各疾病治療論、各看護学概論、各看護学援助論等の既習科目と関連づけた学習を進めて下さい。
- ・訪問看護の実践者からの講義では、学生の皆さんとの対話を期します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

田辺生子：毎週水曜日10:40～12:40

その他の教員については、ポータルサイトに提示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2313180
担当者氏名	田辺 生子、山崎 節子、菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 暮らしを支える看護技術(1) キーワード：(対話 コミュニケーション 倫理 リスクマネジメント ハラスメント)	セルフケアを支えるコミュニケーションと在宅看護における倫理やハラスメントについて学ぶ。 学習方法：講義 (予習)(60分)：在宅における活動のポイントについて、教科書の該当箇所を読み、ノートに整理する。 (復習)(60分)：講義で学んだことをノートにまとめる。	菅原 京子
2	暮らしを支える看護技術(2) キーワード：(療養環境調整 活動・与薬)	在宅における療養環境整備、活動・休息・与薬に関するアセスメントと援助のポイントを在宅療養で代表的な健康障害とそれに伴う生活機能低下の状況と関連させながら学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション (予習)(60分)：療養環境整備、活動・休息、与薬の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。 (復習)(60分)：講義で学んだことをノートにまとめる。	田辺 生子
3	暮らしを支える看護技術(3) キーワード：(食生活・嚥下排泄)	在宅療養者の食生活・嚥下、排泄に関するアセスメントと援助のポイントを在宅療養で代表的な健康障害とそれに伴う生活機能低下の状況と関連させながら学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション (予習)(60分)：食生活・嚥下、排泄の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。 (復習)(60分)：講義で学んだことをノートにまとめる。	田辺 生子
4	暮らしを支える看護技術(4) キーワード：(清潔・衣生活 苦痛の緩和・安楽確保)	在宅療養者の清潔・衣生活 苦痛の緩和・安楽確保に関するアセスメントと援助のポイントを在宅療養で代表的な健康障害とそれに伴う生活機能低下の状況と関連させながら学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション (予習)(60分)：清潔・衣生活の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。 (復習)(60分)：講義時に提示された課題を提出する。講義で学んだことをノートにまとめる。	田辺 生子
5	暮らしを支える看護技術(5) キーワード：(呼吸・循環 創傷管理)	在宅療養者の呼吸・循環、創傷管理に関するアセスメントと援助のポイントを在宅療養で代表的な健康障害とそれに伴う生活機能低下の状況と関連させながら学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション (予習)(60分)：呼吸と循環のフィジカルアセスメントのポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。 (復習)(60分)：講義で学んだことをノートにまとめる。	田辺 生子
6	暮らしを支える看護技術(6) キーワード：(時期別の看護)	健康な時期、外来受診期、入院時、在宅療養準備期(退院前)、在宅療養移行期、在宅療養安定期、急性増悪期、終末期(グリーフケアを含む)、在宅療養終了期の看護目標、看護計画について学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション (予習)(60分)：時期別の支援のポイントについて1,2年生で学んだことをノートに整理する。 (復習)(60分)：講義で学んだことをノートにまとめる。	田辺 生子
7	在宅療養を支える健康危機・災害対応 キーワード：(災害サイクル)(医療ケア)	在宅療養における健康危機、災害サイクル別に見た在宅療養者支援を学ぶ。医療依存度が高い在宅療養者の健康障害とそれに伴う医療的ケアの災害時の支援を学ぶ。 学習方法：講義、ディスカッション (予習)(60分)：在宅療養の場における災害への備えについて調べる。 (復習)(60分)：講義で学んだことをノートにまとめる。	田辺 生子
8	地域・在宅看護の展開(1) キーワード (地域・在宅、看護過程、方法)	物語の観点をもち、訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ方法について映像資料を交え、学ぶ。 学習方法：講義 (予習)(60分)：在宅での事例を1例以上持参する。 (課題)(60分)：(配布事例のわからない用語を調べ、A4用紙に整理する。書式と分量は不問/提出期限：最終講義日の17時まで/提出先：5階山崎のレターボックス)	山崎 節子

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2313180
担当者氏名	田辺 生子、山崎 節子、菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	地域・在宅看護の実際(1) キーワード (医療的ケア児、母親、家族、地域移行支援、看護過程)	医療的ケア児の退院支援から地域生活への移行と療養生活の継続までの一連の過程を当事者と支援者の語りから学ぶ。 学習方法：講義、GW (予習)(60分)：前回の医療的ケア児の事例を読む。 (復習)(30分)：グループワークのまとめを行う。	山崎 節子 外部講師
10	地域・在宅看護の実際(2) キーワード (医療的ケア児、地域連携、支援ニーズ)	医療的ケア児の退院支援から地域生活への移行と療養生活の継続までの一連の過程を関係者及び当事者の語りから学ぶ。 学習方法：講義、GW (予習)(60分)：初回配布の事例以外で医療的ケア児の事例を読む。 (課題)(60分)：(学んだことや考えたことを600字程度でまとめる/提出期限：講義日の1週間後の17時まで/提出先：5階山崎のレターボックス)	山崎 節子 外部講師
11	地域・在宅看護の展開(2) キーワード (紙上事例、難病[ALS]療養者、経年経過、看護過程)	訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。個人ワーク及びグループワーク通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 学習方法：講義、GW (予習)(60分)：初回配布の事例を読み、わからない用語を調べる。 (復習)(60分)：本日講義を受けた事例について用語を含めて整理する	山崎 節子
12	地域・在宅看護の展開(3) キーワード (紙上事例、難病[パーキンソン病]療養者、経年経過、看護過程)	訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。個人ワーク及びグループワーク通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 学習方法：講義、GW (予習)(60分)：初回配布の事例を読み、わからない用語を調べる。 (復習)(60分)：本日講義を受けた事例について用語を含めて整理する	山崎 節子
13	地域・在宅看護の展開(4) キーワード (紙上事例、認知症療養、統合失調症療養者、経年経過、看護過程)	訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。個人ワーク及びグループワーク通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 学習方法：講義、GW (予習)(60分)：初回配布の事例を読み、わからない用語を調べる。 (復習)(60分)：本日講義を受けた事例について用語を含めて整理する	山崎 節子
14	地域・在宅看護の展開(5) キーワード (紙上事例、(脳卒中療養者、がん終末期療養者、経年経過、看護過程)	訪問看護の導入初期から病状の進行に合わせた看護展開(情報収集、アセスメント、看護目標・計画、評価)を学ぶ。個人ワーク及びグループワーク通じて、複数の観点から多角的に事例について考える。 学習方法：講義、GW (予習)(60分)：初回配布の事例を読み、わからない用語を調べる。 (復習)(60分)：本日講義を受けた事例について用語を含めて整理する	山崎 節子
15	地域・在宅看護の実際(2) キーワード (管理者、看取りケア、家族支援、課題、展望)	・訪問看護ステーション管理経験者から在宅における家族ケアを含めた看取りまでのケアについて学び、本科目全体の学びを総じた意見交換を行う。 学習方法：講義、GW (予習)(30分)：これまでの学習内容を復習し、講師への質問を1つ以上考える。 (課題)(60分)：実際の活動報告から感じたこと、考えたことを400字程度にまとめる。/提出期限：講義日の1週間後の17時まで/提出先：5階山崎のレターボックス)	山崎 節子 菅原 京子 外部講師

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として、地域保健、産業保健勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、健康危機管理、感染症予防、産業保健、学校保健における保健師の役割を教授する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、災害、感染症予防等の健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。
また、学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 行政分野における保健師の看護管理の目的と機能を理解し、保健師に求められる役割を考察できる。
2. 感染症の予防の原則を理解し、感染症の特徴に応じた個人・集団、自治体・国レベルの予防対策を説明できる。
3. 学校保健および産業保健における対象の健康課題と健康課題に応じた支援方法を説明できる。
4. 学校保健および産業保健における関係職種を理解し、多職種連携における看護職の役割を考察できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論Ⅰ、既習の保健師必修科目を基礎として、保健師活動の展開方法について学ぶ科目です。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）（到達目標1.2.3.4）
定期試験 90% （到達目標1.2.3.4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第4版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2025年）
- (2)『国民衛生の動向 2025-2026』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 20254年）

《参考図書》

『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（中谷芳美 他著 医学書院 2024年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐次回講義時に返却

授業形態：☐講義形式 ☐ディスカッション ☐グループワーク ☐プレゼンテーション ☐双方向（ICTの活用）
☐タブレット端末の利用 ☐教育リソースの利用（利用リソース名：関連するDVD他）

様々な活動分野における看護職の役割について考えながら授業を進めていきます。小児看護学・成人看護学、公衆衛生看護学、感染免疫学等の既習の知識を踏まえ積極的にディスカッションしながら授業に参加することを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

健康危機管理、感染症対策等看護師にも重要な講義内容です。

《オフィスアワー》

渡邊路子 月曜日12：30～14：30、その他の教員については、ポータルサイトの「オフィスアワー一覧を参照」

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	公衆衛生看護管理① (事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理)	ガイダンス / 公衆衛生看護管理の目的を理解し、保健師活動にみられる管理機能について学ぶ。 (予習)(30分): テキスト第4部p572～591を読む。 (復習)(30分): 公衆衛生看護管理(事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理)について整理する。	平澤 則子
2	公衆衛生看護管理② (行政分野、看護管理、キャリアラダー、公衆衛生看護倫理)	保健師に求められる能力と管理機能について事例をを通して学び、これからの保健師に求められる看護管理機能について考える。 (予習)(30分): 先回の講義内容を確認する。 (復習)(30分): 講義を踏まえてテキスト第4部p572～591をまとめる。	平澤 則子
3	健康危機管理 (健康危機管理、災害、感染症)	健康危機管理の理念と目的を理解し、健康危機管理における保健師の活動と役割について学ぶ。 (予習)(30分): 災害、感染への備えとして自分自身が行っていることと、その理由が述べられるように準備する。 (復習)(30分): テキスト(1)p499～510を読む。	駒形三和子
4	感染症予防の原則 (感染症成立の3要因、感染症予防の3原則、感染症法、感染症類型、全数把握、定点把握)	感染症保健① 感染症成立の要因と予防の原則および感染力や重篤性から分類した感染症類型の特徴を理解し、感染症保健活動の基盤となる根拠法の制定の背景と予防対策のポイントを学ぶ。 (予習)(15分): テキスト(2)p127～128を読む。 (復習)(20分): テキスト(1)p422～429を読む。	駒形三和子
5	感染症の特徴に応じた予防対策 (結核、HIV/AIDS、新型インフルエンザ、結核発生時の保健活動の実際 等)	感染症保健② 感染症の最近の流行状況を踏まえながら代表的な疾患とその予防対策を学ぶ。 結核発生時の保健活動の実際について外部講師から学ぶ。 (予習)(30分): テキスト(1)p433～452を読む。 (復習)(30分): テキスト(2)p203～217を読む。	駒形三和子
6	感染症拡大防止対策と予防接種 (感染症届出基準、感染症発生動向調査、検疫、予防接種)	感染症保健③ 感染症の蔓延を防ぐための国・自治体レベルの予防対策と予防接種法に基づく予防接種について学ぶ。 (予習)(15分): テキスト(1)p429～433を読む。 (復習)(15分): テキスト(2)p147～153を読む。	駒形三和子
7	感染症集団発生の演習 (感染症集団発生の定義、アウトブレイク、パンデミック、食中毒と感染症)	感染症保健④ 感染症集団発生を引き起こしやすい疾患、原因、予防対策についてグループ演習を通して学ぶ。 (予習)(60分): 演習ワークシート(事前学習)を各自学習し演習に臨む。 (復習)(45分): 演習ワークシート記入。次回講義開始時に提出。	駒形三和子
8	産業保健の目的と労働衛生管理体制 (産業保健の目的(ILO)、歴史、労働基準法、労働安全衛生法、OSHMS、産業保健の行政組織、産業保健の社会資源)	産業保健① 事例を通して、産業保健の目的、歴史、根拠法令と労働衛生管理体制について学ぶ。 (予習)(30分): 会社等に勤務している家族・知人に、健康管理がどのように実施されているか聞いてくる。 (復習)(30分): テキスト第3部p385～404を読む。	渡邊 路子

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313080
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	産業保健師の活動 (労働衛生の5管理、産業医、総括衛生管理者、衛生管理者 衛生委員会、職場巡視)	産業保健② 産業保健師の職務を通して、産業保健活動の展開と求められる役割を学ぶ。 (予習)(30分): テキストp390～p404を読む。 (復習)(60分): 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる	渡邊 路子
10	職業性疾病と特殊健康診断 (職業性疾病と業務上疾病、じん肺、有機溶剤中毒、電離放射線、腰痛、VDT作業等)	産業保健③ 職業性疾病とその対応および、様々な健康診断について学ぶ。 (予習)(30分): テキストp405～413を読む。 (復習)(60分): 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる	渡邊 路子
11	メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、高年齢労働者への支援(4つのケア、ストレスチェック制度、過重労働対策、両立支援、高年齢労働者)	産業保健④ 産業保健の大きな課題であるメンタルヘルス対策と、心身ともに影響の大きい長時間労働対策および、労働安全衛生法の縛りのない中小企業のサポートシステムを学ぶ。 (予習)(30分): テキストp414～426を読む。 (復習)(60分): 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる。	渡邊 路子
12	産業保健の実際 (事業所の特性と健康課題、勤務形態、労働衛生管理の実際、産業保健師のやりがい、心がけていること)	産業保健⑤ 産業保健の実際について外部講師から学ぶ。 (予習)(30分): 産業保健①～④までを復習する (復習)(30分): 第8回～第12回の授業内容を復習する。	渡邊 路子
13	学校保健の対象と関係職員の役割(学校保健安全法、学校教育法、学校給食法、養護教諭、保健主事、学校三師、養護教諭の歴史、職務内容、学校保健計画)	学校保健① 学校保健活動の対象を理解し、対象の特性に応じた学校保健活動を展開するための根拠法令と学校保健関係職員の活動内容を学ぶ。 (予習)(30分): 自分が今まで出会った養護教諭との印象的なエピソードを200文字程度でまとめる。 (復習)(30分): テキスト第3部p359～384を読む。	渡邊 路子
14	養護教諭の活動内容と健康課題に応じた支援活動(保健教育、保健管理、保健室経営、いじめ、不登校、慢性疾患をもつ児童・生徒、医療的処置の必要な児童・生徒)	学校保健② 学校保健活動の中心的役割を担う養護教諭の活動を通して、学校保健活動の展開方法と求められる役割を学ぶ。 (予習)(60分): 学校保健における健康課題について調べてくる。 (復習)(30分): 講義内容を踏まえてテキストの該当箇所をまとめる。	渡邊 路子
15	学校保健の実際 (養護教諭の一日、今日的健康課題とその対応、関係者との連携、養護教諭としてこころがけていること)	学校保健③ 学校保健の実際について外部講師から学ぶ。 (予習)(30分): 学校保健①②の講義の内容を復習する。 (復習)(30分): 第13回～第15回の授業内容を復習する。	渡邊 路子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅰ			授業科目番号	2313210
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として行政および産業での実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

公衆衛生看護の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、対象の特性に応じた支援における保健師の役割、機能を考える。個人・家族を対象とした家庭訪問・健康相談、集団を対象とした健康教育・健康学習の方法と技術および地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。

《授業の到達目標》

1. 個人・家族の健康課題に応じた個別保健指導（家庭訪問・健康相談）の目的と展開方法を説明できる。
2. 集団を対象とした健康教育のねらいを理解し、企画・実施・評価をする際の留意点を説明できる。
3. 家庭訪問・健康相談の演習を通して、保健指導における保健師の役割を考察できる。
4. 地域におけるグループ支援および地域ケアシステム構築の目的と保健師の役割を考察できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論で学んだ公衆衛生看護活動の展開に必要な技術を修得する科目です。

《評価の方法》

授業貢献度 10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）（到達目標1.2.3.4）
 技術演習 40%（到達目標1.3）、定期試験 40%（到達目標1.2.4）、レポート 10%（到達目標4）

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第4版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2025年）
- (2)『国民衛生の動向 2025-2026』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2025年）

《参考図書》

『最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 総論』（宮崎美砂子他著 日本看護協会出版会 2024年）
 適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（ ）講義ごとに随時返却
 授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク（ ）
 家庭訪問・健康相談の演習は準備がとても重要です。授業時間外の時間を有効に活用して担当教員との意見交換を密にして授業に臨んでください。学生同士のグループワークでは、お互いを尊重しグループダイナミクスを最大限に発揮できるよう、協力して課題に向かうことを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目
 地域での保健師の支援方法を学ぶことは、看護師としての視野を広げることに繋がります。

《オフィスアワー》

駒形三和子：毎週火曜日11:40～13:40（実習期間中で不在の場合はkomagata-m@sutoku-u.ac.jpへ）
 その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅰ	授業科目番号	2313210
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	保健指導 (保健師、保健指導)	ガイダンス 保健師が行う保健指導の特徴と保健指導の技術について学ぶ。 (予習) (30分) : 1年次の概論で学んだ保健師助産師看護師法における保健指導について確認する。 (復習) (30分) : テキスト(1)p144～154を読む。保健指導で活用できる理論について整理する。	駒形三和子
2	健康相談・家庭訪問 (個人、家族、保健指導)	健康相談の目的、方法を理解し、健康相談の展開過程の実際を学ぶ。 家庭訪問の目的・対象、援助方法を学ぶ。 (予習) (30分) : テキスト(1)p170～174(健康相談)、p156～161(家庭訪問)を読む。 (復習) (30分) : 健康相談・家庭訪問の対象と支援の特徴についてポイントを整理する。	駒形三和子
3	家庭訪問 (家庭訪問計画、記録)	家庭訪問の展開方法を学ぶ。 (予習) (15分) : テキスト(1)p161～169を読む。 (課題) (45分) : 後半の演習までに事例を読んで家庭訪問計画、健康相談計画を立てる。	駒形三和子
4	健康教育① (健康教育の特徴、場の理論、動機づけ、KAPモデル、保健信念モデル、ヘルスビリーフモデル、ヘルスリテラシー)	保健師の行う健康教育の目的を理解し、健康教育を企画するための理論およびモデルを踏まえた健康教育の展開方法について学ぶ。 (予習) (30分) : テキスト(1)第5章p186～193を読む。 (復習) (30分) : 健康教育の理論について学びを整理する。	渡邊 路子
5	健康教育② (テーマ、対象把握、学習内容、教材案、評価計画、演習準備)	健康教育を企画・実施・評価するための具体的な方法を事例を通して学ぶ。また、対象者の理解を深めるためのシナリオ・媒体を作成する際の留意点について学ぶ。 (予習) (30分) : テキスト(1)p194～202を読む。 (復習) (30分) : 健康教育を企画・実施・評価する際のポイントを整理する。	渡邊 路子
6	グループ支援 (コミュニティグループ、サポートグループ、セルフヘルプグループ、グループダイナミクス、集団凝集性)	グループの理論について概観し、保健師活動に係るグループの種類と特性について学ぶ。グループの発展過程における支援のあり方と役割について学ぶ。 (予習) (30分) : グループワーク等のグループ活動のメリットとデメリットを各々3つ考える。 (復習) (60分) : 配布資料およびテキスト(1)p203～213を読み、学びを整理する。	山崎 節子
7	地区組織活動 (地区組織活動、エンパワメント、発達段階、コンサルテーション)	地区組織活動の展開における保健師の役割について事例や映像資料を活用しながら考える。 (予習) (30分) : テキスト(1)p214～218を読む。 (復習) (90分) : 課題(提出期限: 講義日の1週間後の17時まで/提出先: 5階山崎のレターボックス) : さまざまなグループ形態を体験し、感じたことを600字程度にまとめ、提出する。	山崎 節子
8	社会資源の開発 (社会資源、開発、事業化、施策化)	社会資源の開発の目的、特徴について、学ぶ。保健師が行う事業化、施策化とはどのようなものかを理解する。事例を通じて保健師が行う社会資源の開発の実際について理解する。 (予習) (30分) : 今までの学習の中で、健康上の問題で地域を巻き込んで解決したほうが良いと思われる課題を1つ以上挙げる。 (復習) (30分) : テキスト(1)p289～245を読み、講義内容と合わせ学びをまとめる。	平澤 則子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅰ	授業科目番号	2313210
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	地域ケアシステム (地域ケアシステム, 地域づくり・まちづくり, 地域共生社会)	地域ケアシステム構築において、課題になること、保健師活動として目指すもの、活動の評価について事例を展開しながら学ぶ。 (予習) (30分) : テキスト(1)p289～245を読んでくる。 (課題) (30分) : 地域ケアシステムにおける保健師の役割について800字程度にまとめ提出期限までに指定された提出先に提出する。	平澤 則子
10	家庭訪問演習計画 (こんにちは赤ちゃん訪問、家庭訪問計画、乳幼児の発育・発達)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いた家庭訪問計画を立案し、教員から指導を受け修正する (事前課題) (60分) 「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を読んで家庭訪問計画を立て、指定された日時までに指定された提出先に提出する。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
11	家庭訪問演習① (家庭訪問のプロセス、訪問時のマナー、乳児の体重測定、1日体重増加量)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 (事前課題) (45分) 指定された日時までに、指定された提出先に修正した家庭訪問計画のコピーを提出する。 (当日持参物品) 母子手帳、電卓	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
12	家庭訪問演習② (家庭訪問のプロセス、訪問時のマナー、乳児の体重測定、1日体重増加量、訪問記録)	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 (課題) (60分) 指示された期日までに記録の提出	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
13	健康相談演習計画 (特定健康診査、特定保健指導。ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いた健康教育計画を立案し、教員から指導を受け修正する (事前課題) (60分) 「特定保健指導」の事例を読んで健康相談計画を立て、指定された日時までに指定された提出先に提出する。	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
14	健康相談演習① (特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いて、健康相談計画～健康相談～相談記録のプロセスを体験する。 (事前課題) (60分) 指定された日時までに、修正した健康相談計画のコピーを指定された提出先に提出する。 (当日持参物品) 血圧計、聴診器、健康相談に用いるパンフレット等	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子
15	健康相談演習② (特定保健指導、ヘルスビリーフモデル)	「特定保健指導」の事例を用いて、健康相談計画～健康相談～相談記録のプロセスを体験する。 (課題) 「健康相談演習を通して考えたよりよい保健指導とは」 : 指定された日時までに指定された提出先に提出 ワークシート一式 : 授業終了時に提出	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子

《基礎教育科目 基礎教育科目 思考力養成》

科目名	統計分析法			授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○4-1 看護学を探究する意欲, ◎4-2 看護 を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

統計に必要な数字やデータ間の関係性を明らかにする方法だけでなく、実践的な例題を通じてデータが持つ「意味」を考える機会とします。講義では、「データから読み取れる特徴、集計、整理する方法」「一部のデータから全体を推計する方法」「データ間の関係性を分析する方法」を学び、受講者の興味関心に基づき、医療分野のみならず、趣味や日常生活に統計学が役立つイメージの理解」に結びつけることを目標にします。本科目は情報活用法の授業を受講していることを前提としている。

《授業の到達目標》

知識・技能の観点：基本的な統計用語を説明できる。検定、推定の仕組みを説明できる。統計ソフトを使用して平均、分散の検定ができる。思考・判断・表現の観点：各種のデータに関して、どのような処理をすればよいか考えることができる。

《先修科目》

情報リテラシー、情報活用法

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

なし

《評価の方法》

課題提出により評価する。統計ソフトを使用して平均、分散の検定ができる(40%)。各種のデータに関して、どのような処理をすればよいか考えることができる(40%)。グループ発表への参加(20%)。

《テキスト》

『[新版] 身近な統計』（石崎克也、渡辺美智子 著 放送大学教育振興会 2024年）
『JASPで今すぐはじめる統計解析入門』（清水優菜、山本光 著 講談社 2024年）

《参考図書》

『事例で学ぶExcel統計』（羽山博 著 日経BP 2022年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（締め切り後に解説）
授業形態：■講義形式 ■グループワーク ■プレゼンテーション

Excelを使用して実習を行なうため、必ずPCを持参すること。
課題は必ず自分で作成すること。（他人のものを流用した場合は単位を与えない。）

《備考》

《オフィスアワー》

科目名	統計分析法	授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス	授業の進め方および日常生活における統計等について解説する。さらに統計を使うことの利点、統計の限界などについて説明する。 学習方法：講義 予習(30)分：(高校等で学習した統計について復習しておく) 復習(30)分：(本日の内容を復習する)	船津 誠也
2	変数の相関(変数の性質)	変数の相関についてExcelを使って学修する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第13章を読んでくる) 復習(30)分：(相関について復習する)	船津 誠也
3	正規分布(ガウス分布、平均値、中央値、最頻値)	正規分布についてExcelを使って学修する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第8章を読んでくる) 復習(30)分：(正規分布について復習する)	船津 誠也
4	母集団と標本の関係(母集団、標本抽出)	母集団と標本の関係についてExcelを使って学修する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第9章を読んでくる) 復習(30)分：(母集団と標本の関係について復習する)	船津 誠也
5	標本統計(標本分布)	標本統計についてExcelを使って学修する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第10章を読んでくる) 復習(30)分：(標本統計について復習する)	船津 誠也
6	推定(推定)	調査対象のデータから全体の特徴を推定する方法を解説し、Excelを使って学修する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第10章を読んでくる) 復習(30)分：(推定について復習する)	船津 誠也
7	質的データのばらつきを表やグラフで要約する(質的データ)	質的データの特徴と分布の意味を解説する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第2章を読んでくる) 復習(30)分：(質的データについて復習する)	船津 誠也
8	量的データのばらつきを表やグラフで要約する(量的データ)	量的データのばらつきを記述する方法、情報の読み取り方を解説する。 学習方法：講義、演習 予習(60)分：(身近な統計第3章を読んでくる) 復習(30)分：(量的データについて復習する)	船津 誠也

科目名	統計分析法	授業科目番号	1101030
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	データのばらつきを数値でまとめる(測定誤差)	分布の特徴を数値で表すことの意味、代表値としての平均値、中央値、最頻値の特徴を解説する。 学習方法:講義、演習 予習(60)分:(身近な統計第4章を読んでくる) 復習(30)分:(平均値、中央値、最頻値について復習する)	船津 誠也
10	統計的仮説検定1(帰無仮説、対立仮説)	標本から仮説の真偽を判定するための統計的検定について学修する。 学習方法:講義、演習 予習(60)分:(JASPのテキスト第4章を読んでくる) 復習(30)分:(本日のテキストの復習)	船津 誠也
11	統計的仮説検定2(有意水準)	母平均に関する検定を学修する。 学習方法:講義、演習 予習(60)分:(JASPのテキスト第5章を読んでくる) 復習(30)分:(本日のテキストの復習)	船津 誠也
12	アンケート調査1(調査項目)	調査の目的と質問項目の作成、検討を行なう。グループ分けを行ない、各グループで何について調査を行なうか、を検討する。 学習方法:グループワーク 予習(30)分:(自分が調査してみたい項目について考えておく) 復習(60)分:(今までに学んだ統計方法を復習しておく)	船津 誠也
13	アンケート調査2(調査対象)	各グループにて調査の目的と質問項目の作成、検討を行なう。授業終了後、次回の授業までに各グループでアンケート調査を行なう。 学習方法:グループワーク 予習(30)分:(調査項目について具体的に考えておく) 復習(60)分:(今までに学んだ統計方法を復習しておく)	船津 誠也
14	アンケート調査3(統計的分析)	各グループでアンケート調査の結果をまとめ、調査対象の傾向を統計的に分析し、考察する。 学習方法:グループワーク 予習(60)分:(調査結果をまとめておく) 復習(60)分:(今までに学んだ統計方法を復習しておく)	船津 誠也
15	アンケート調査4(結果プレゼン)	各グループのアンケート調査の結果を発表する。 学習方法:プレゼンテーション 予習(60)分:(プレゼンテーション資料を準備する) 復習(90)分:(得られた結果をレポートにまとめる)	船津 誠也

科目名	医療英語			授業科目番号	1102110
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	企業通訳・翻訳、在宅翻訳				
実務経験を 活かした 教育内容	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

「ベーシック英語」「看護に活かすコミュニケーション英語」で獲得した能力を基盤とし、看護や医療に関連する英語読解力、英語表現力を発展させる。看護や医療に関する英語による情報を（ニュースや学術論文）を聴解・読解し、内容を口頭や文面で発信する力を養う。同時に、英語による看護実践に必要な英語力を向上させる。加えて、国際社会・多様な文化における看護職の役割を認識する。

具体的には次の3点を検討・考察する： ① 健康課題と取組み ② EBP（実証に基づいた実践） ③国際社会における今後の看護職に求められる役割や責任

《授業の到達目標》

- ① 英語による看護実践や研究に必要な英語運用能力(4技能)を身に付けている。
- ② 保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。
- ③ 学術研究報告を読み、概要をまとめることができる。
- ④ 情報を共有できる。

《先修科目》

ベーシック英語I&II、看護に活かすコミュニケーション英語

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

基礎ゼミナール・ゼミ

《評価の方法》

授業内情報共有①20%、課題レポート③・発表④50%、多読多聴他自主学习①30%

実施方法は初回に説明します。

提出物はグーグルクラスルームにて校閲・コメント付記・評価を行います。

《テキスト》

なし

《参考図書》

medscape、medlineplus、medicineNet他適宜紹介

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 ☑その他（その都度通知）

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション

□タブレット端末の利用

データベース等による文献検索や文献の引用方法を理解しておいてください。本授業はCollaborative Learning Communityです。主体的・対話的で深い学びを実現するよう協働することを全員に求めます。担当教員は、学習者の協働学習を支援、質問や疑問に答えます。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《オフィスアワー》

連絡は英語でメールしてください。詳細は初回授業時に説明します。

科目名	医療英語	授業科目番号	1102110
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 文献検索	シラバス確認 (授業の進み方、評価方法、評価基準) グループ・担当分担、自己分析、目標設定 データベースや電子ジャーナル・グーグルスカラーを活用し縦横に文献を検索し、発表①の記事を選ぶ 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
2	医療英語 (Nutrition, fitness)	医療英語(Nutrition, fitness) 記事を読み、内容を共有する Academic Paperの概要、背景や目的を読む ムーブ・表現を確認する 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
3	医療英語 (Human body)	医療英語(Human body system) 記事を読み、内容を共有する 発表1 (記事紹介) Academic Paperの方法と結果を読む ムーブ・表現を確認する レビュー用の論文を選ぶ 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
4	医療英語 (Chronic diseases)	医療英語(Chronic diseases) 記事を読み、内容を共有する Academic Paperの結論と考察を読む ムーブ・表現を確認する 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
5	医療英語 (Streee, sleep, addiction)	医療英語(Mental health, Stress, sleep, addiction) 記事を読み、内容を共有する 発表2 論文レビュー中間発表 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
6	医療英語 (Killer diseases)	医療英語(Killer diseases) 記事を読み、内容を共有する 発表3 記事紹介 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
7	医療英語(nursing, world)	医療英語(Nursing in the world) 記事を読み、内容を共有する 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子
8	課題発表 (Presentation, Discussion)	英語で効果的な発表を行い、意見交換を行う 発表4 論文レビュー 授業外学習：多読多聴・課題 (約2時間/週)	川崎真理子

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	保健医療福祉行政論			授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として保健所での勤務経験32年、県庁での行政経験6年（課長補佐3年、課長3年）				
実務経験を 活かした 教育内容	保健所及び県庁での経験に基づき保健医療福祉行政についての講義を実施				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を実践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。

《授業の到達目標》

1. 保健医療福祉行政の根拠、その基本となる公衆衛生の定義を説明できる。
2. 保健医療福祉行政のしくみと保健師の役割について説明できる。
3. 保健医療福祉計画の経過と評価についてそのプロセスを説明できる。
4. 日本の保健医療福祉行政の現状から課題と対策を考察できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

学習態度10%、授業中の発言、態度をもとに評価する（到達目標の1．2．3．4）
定期試験90% （到達目標の1．2．3）

《テキスト》

『＜標準保健師講座＞保健医療福祉行政論 第6版』（藤内修二他著 医学書院 2025年）
『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 ）
適宜ハンドアウト配布

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（試験終了後）

授業形態：□講義形式

保健医療福祉行政を理解することは、地域における保健師業務のみならず臨床で看護を含めた看護職全体に必要な不可欠であり、広い視野と幅広い分野で活躍出来る看護職として行政の仕組みを理解することは重要である事を認識し履修すること。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

各回の講義終了後の時間

科目名	保健医療福祉行政論	授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	保健医療福祉行政の基本となるもの キーワード(保健医療福祉業の根拠とヘルスプロモーション)	ガイダンス 保健医療福祉行政の根拠、公衆衛生の理念と戦略について理解する。 (予習)(30分):教科書P2~19を読む。健康の意味、ヘルスプロモーションについて考える。 (復習)(30分):保健医療福祉行政の基本としての生存権の保障とヘルスプロモーションについてまとめる	五十嵐直子
2	公衆衛生の基盤形成 キーワード(世界の公衆衛生の曙と日本の近代公衆衛生)	公衆衛生の歴史から保健医療福祉行政の基本的な考え方を学ぶ。 (予習)(30分):教科書p22~34を読む。保健医療福祉行政の世界と日本のあゆみを学ぶ (復習)(30分):歴史の中で保健医療福祉行政がどうかたちづくられてきたかポイントをまとめる	五十嵐直子
3	保健医療福祉行政の動向(平成以降) キーワード(保健所法から地域保健法へ) 各分野における政策の転換と充実	保健所法から地域保健法への改正とその内容。少子化対策の進展。平成以降の保健医療福祉行政について各分野における政策の転換について学ぶ。 (生活習慣病対策、母子保健対策、児童虐待防止対策) (予習)(30分):教科書P35~44を読む。 地域保健法への改正の概要について理解する (復習)(30分):地域保健法の概要と各分野別の政策の概要についてポイントをまとめる	五十嵐直子
4	保健医療福祉行政の動向(平成以降) キーワード(各分野における政策の転換と充実)	平成以降の保健医療福祉行政について各分野における政策の転換について学ぶ。(障害者(児)対策、高齢者保健福祉対策、認知症対策、精神保健対策、自殺対策・依存症対策) (予習)(30分):教科書P45~53を読む。前回に引き続き各分野別の保健医療福祉の動向について理解する (復習)(30分):各分野別の政策の概要についてポイントをまとめる	五十嵐直子
5	保健医療福祉行政の動向(平成以降) キーワード(各分野における政策の転換と充実2(感染症法、難病対策、災害対策))	第4回に続いて各分野における政策の転換について学ぶ。 (歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策) (予習)(30分):教科書P53~60を読む。各分野別の保健医療福祉行政の動向について理解する (復習)(30分):各分野別の政策の概要についてポイントをまとめる	五十嵐直子
6	国・都道府県・市区町村の行政のしくみと役割 行政における保健師の役割と活動 キーワード(行政のしくみと保健行政、保健師活動指針、統括保健師)	保健行政の体系と役割の理解及び、様々な行政部門で働く保健師の業務や体制を理解する。 (予習)(30分):教科書P62~82を読む。行政のしくみについて理解する、さまざま行政で働く保健師の業務について理解する (復習)(30分):保健行政の体系と役割及びその中で働く保健師の役割についてポイントをまとめる	五十嵐直子
7	保健医療福祉の財政 公衆衛生に関する国際的な活動 キーワード(財政と予算のしくみ、国際協力)	国と地方公共団体の財政のしくみについて理解する。 保健医療分野の国際協力のしくみを理解する。 (予習)(30分):教科書P83~96を読む。財政のしくみ、予算と決算、国際保健の意義と役割を理解する (復習)(30分):財政のしくみ、保健医療福祉における財政の意義、国際的な活動の意義についてポイントをまとめる。	五十嵐直子
8	地域保健に関する公的機関関係機関との連携 キーワード(地域保健法と保健所、市町村保健センターの業務と連携のあり方)(地域保健と職域領域の連携)	地域保健行政における公的機関 都道府県と市町村の役割分担と保健師活動、関係機関との連携について学ぶ (予習)(30分):教科書P100~126を読む地域保健法における保健所と市町村の業務と役割分担、関係機関との連携について理解する (復習)(30分):保健所と市町村の業務、関係機関についてばいんとをまとめる	五十嵐直子

科目名	保健医療福祉行政論	授業科目番号	2210020
担当者氏名	五十嵐 直子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	社会保障制度の理念としくみ 医療制度と医療保険のしくみ キーワード(社会保障の法規と行政体系医療制度と医療保険のしくみ、特定健康診査・特定保健指導)	社会保障制度の概念・目的・制度体系について学ぶ。 医療制度と医療保険のしくみについて理解する。 (予習)(30分):教科書P128～143を読む。憲法25条における最低限度の生活を保障する社会保障制度の実際について理解する (復習)(30分):具体的な社会保障制度の概要についてポイントをまとめる	五十嵐直子
10	医療提供体制の管理と整備 キーワード(医療提供体制、医療安全、医療計画、地域医療構想)	医療対策と医療提供体制について学ぶ。 医療安全のための対策について学ぶ。 (予習)(30分):教科書P143～157を読む。医療関連法規と、医療計画について理解する (復習)(30分):医療行政の根幹となる法規及び医療計画の実際についてポイントをまとめる	五十嵐直子
11	介護保険制度 キーワード(介護保険、介護保険サービス、地域包括支援センター 地域支援事業、保健師の役割)	社会保障制度としての介護保険制度について学ぶ。 介護保険制度の概要、介護保険サービスの内容、地域包括ケアシステム等と保健師の役割。 (予習)(30分):教科書P158～172を読む。介護保険制度の概要について理解する (復習)(30分):介護保険制度の意義、流れ、サービス、地域支援事業及び保健師の役割についてポイントをまとめる	五十嵐直子
12	社会保障・社会福祉の制度 キーワード(年金保険、雇用保険、公的扶助、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉)	社会保障・社会福祉の具体的内容について学ぶ。 社会福祉の制度について、生活保護、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉の概要について学ぶ。 (予習)(30分):教科書P173～194を読む。社会保障としての公的年金、労働保険、社会福祉について理解する (復習)(30分):社会保障、社会福祉の具体的内容についてポイントをまとめる。	五十嵐直子
13	地方公共団体の保健医療福祉計画 保健計画の策定プロセス キーワード(基本構想と分野別計画 保健計画策定へのコンセンサスづくり、住民参加)	地方公共団体の保健医療福祉計画の種類とその目的について理解する。地方公共団体における保健計画策定のプロセスについて学ぶ。 (予習)(30分):教科書P196～218を読む。行政における保健福祉医療計画について理解する (復習)(30分):保健医療福祉計画の目的や進め方の実際についてポイントをまとめる。	五十嵐直子
14	保健計画の策定プロセス 保健計画の推進と評価 キーワード(目標値の設定方法、エンパワメント、住民への周知、評価の実際)	保健計画のプロセスについて学ぶと共に保健計画の推進と評価について学ぶ。 (予習)(30分):教科書P218～233を読む。前回に引き続き保健医療福祉計画の進め方について理解する (復習)(30分):保健医療福祉計画の進め方、じゅうみんへの周知等講義のポイントをまとめる。	五十嵐直子
15	演習:保健事業の立案プロセスを学ぶ 保健医療福祉行政論まとめ キーワード(保健事業の実際を考える)	事例から保健事業の実際についてプロセスを学ぶ。 授業全体について振り返り内容をまとめる。 (予習)(30分):教科書P234～254を読む。事例について保健師としてどうするか考えてみる。 (復習)(30分):事例についてもう一度講義内容に沿ってまとめる。	五十嵐直子

《専門教育科目 専門科目 看護の基本》

科目名	看護倫理			授業科目番号	2311060
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師、（救命救急センター・脳神経外科）、看護管理者、医療安全管理者、				
実務経験を 活かした 教育内容	救命救急センター看護師の時に、特に移植に関わる問題や生死にかかわる問題において、倫理的葛藤を抱えてきた。その打開策として、看護倫理を学ぶことが重要であった。そのことも含め事例を基に解説する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

看護倫理の歴史の変遷から倫理的課題と概念を理解し、倫理の原則、倫理規定から看護職者に求められる倫理観について学習する。また、医療・看護の場で直面する倫理的問題やジレンマについて理解を深め、その問題解決のために活用できる法的仕組みや意思決定理論を学習する。また、事例を用いて倫理的な問題・葛藤についてグループワークで検討し、その患者にとって最も適切であると判断・行動できるための理論的根拠を考察し、看護職者として責務が果たせる基礎的能力を身につける。

《授業の到達目標》

1. 看護倫理の基礎について述べることができる。
2. 徳の倫理・原則の倫理・ケアの倫理について理解し、看護倫理の重要な用語について述べるができる。
3. 倫理的問題・ジレンマに対して倫理的意思決定のステップを用いて学習しグループワークにおいて検討できる。

《先修科目》

基礎看護概論、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、その他

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

それぞれの領域の授業と関連づけることができるが、主に、基礎看護学概論、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱをへて領域実習前に重きをおく。

《評価の方法》

定期試験90%（達成目標1.2.3） 小テスト10%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『看護倫理 改訂版第3版』（小西恵美子編 南江堂 2023年）
『看護職の基本的責務 2026年版』（手島恵 監修 日本看護協会出版会 2026年）

《参考図書》

『看護実践の倫理』（サラ T. フライ 他著 日本看護協会出版会 2010年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐ その他（小テストはその時点で回答をおこなう）
授業形態：☐ 講義形式 ☐ ディスカッション ☐ グループワーク

授業中に対応する教科書のページを熟読しておくこと。倫理はそれぞれの価値の違いを知る学問でもあるため、積極的に意見交換ができることを望みます。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週火曜10：00～15：00（実習期間中または演習中で不在の場合には（toyomoto-m@sutoku-u.ac.jp）へ

科目名	看護倫理	授業科目番号	2311060
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護倫理についての基礎知識 キーワード (看護倫理の歴史)	科目のガイダンス(学習目的・到達目標・学習方法・受講上の注意など) 看護倫理の基礎知識と歴史の変遷 (予習) (約30分) 指定教科書第1章を熟読する (復習) (60分) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく	樋本まゆみ
2	看護倫理のアプローチ キーワード (徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理、看護職の倫理綱領)	徳の倫理・原則の倫理・ケアの倫理、看護職の倫理綱領について事例を交えながら説明されたことを理解する。 (予習) (約30分) 指定教科書第2章を熟読する (復習) (60分) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく	樋本まゆみ
3	看護倫理に関係する重要な言葉 キーワード (倫理に関係する重要な言葉)	倫理に関係する重要な言葉(和、コンパッション、共感、道徳的感受性と道徳的レジリエンスなど)について理解する。 (予習) (約30分) 指定教科書第3章を熟読する (復習) (60分) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく	樋本まゆみ
4	看護倫理に関係する重要な言葉 キーワード (倫理に関する重要な言葉)	倫理に関係する重要な言葉を理解する。(対象者を中心とした看護、患者の尊厳、看護アドボカシー、協力と協働、パターナリズムなど) (予習) (約30分) 指定教科書第3章を熟読する (復習) (60分) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく	樋本まゆみ
5	看護職の責任ー倫理的責任と法的責任、 キーワード (看護職の責任)	看護職の責任ー倫理的責任と法的責任について理解する。 (予習) (約30分) 指定教科書P109～P130を熟読する (復習) (60分) 受講後、教員の解説を踏まえ、テキストに沿って内容をまとめておく	樋本まゆみ
6	事例検討 キーワード (事例検討)	倫理的意思決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領について理解する。 (予習) (約30分) 指定教科書第4章を熟読する (復習) (60分) 受講後、グループワークでまとめたステップシートと根拠をまとめる	樋本まゆみ
7	事例検討と意見交換 キーワード (倫理場面の事例検討)	倫理的意思決定のステップと事例検討、原則の倫理や看護職の倫理綱領に基づく検討を行う。授業内にステップシートについてコメントを行う。 (予習) (約30分) ステップシートの作成を行う (復習) (60分) グループワークの振り返りとまとめる	樋本まゆみ
8	キーワード (倫理に関する重要な言葉)	全体のまとめ と 小テスト (予習) (約30分) (復習) (60分)	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312100
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	各担当教員が看護師としての病院勤務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	担当教員が高齢者看護の実務経験を活かした授業を展開する。高齢者の加齢に伴う変化、高齢者特有の疾患とその看護について2年次までに習得した知識や技術をもとに、今後の領域別看護実習で実際に高齢者に看護実践する能力を習得するための演習科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

高齢者のあらゆる健康レベルや多様な療養・生活の場に応じた看護を展開するために、事例を用いて、生活機能に焦点をあてた看護過程の展開を学ぶ。高齢者の特徴である加齢に伴う諸機能の変化、複数の疾患や薬剤による影響、環境変化から日常生活に及ぼす影響を捉え、目標志向型思考により高齢者の望む生活の実現にむけた看護を学ぶ。また、老年看護に必要なコミュニケーション技法および日常生活援助技術を体験型の演習で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 体験型演習を通して、高齢者の心身機能の変化を捉え、必要な看護ケアを説明・実施できる。 2. 高齢者の状態をアセスメントし、生活機能を整える看護を計画できる。 3. 認知症をもつ高齢者のコミュニケーションを模擬状況下で実施できる。 4. 高齢者のリスクマネジメントの視点を理解できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

2年次までの専門教育科目、特に老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ

《評価の方法》

小テスト20%(到達目標1～3)，授業時の課題レポート40%（到達目標1～4），事例展開課題30%（到達目標2），技術確認課題10%（到達目標1）
各課題の提出方法およびフィードバック方法については授業時に説明を行う。

《テキスト》

- 『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子 他著 医学書院 2025年）【2年次購入済】
- 『系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著 医学書院 2025年）【2年次購入済】
- 『ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 第3版』（奥宮暁子 他著 医歯薬出版株式会社 2024年）

《参考図書》

- 『生活機能からみた老年看護過程 第4版』（山田律子他編集 医学書院 2020年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却 ☑その他（授業時に説明）
授業形態：☑講義形式 ☑グループワーク ☑その他（VR教材を使用したシミュレーション演習）

《備考》

本授業では、Google Classroomを活用する。使用できるように準備すること。

《オフィスアワー》

オフィスアワー実施一覧の記載の通り。教員が不在の場合もあるので、事前にメール等でアポイントを取ること。

科目名	老年看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312100
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス (高齢者の特徴を生かした看護過程、生活行動モデルによる看護過程、目標志向型思考)	《授業ガイダンス、講義》 ・高齢者の特徴をいかした看護過程 ・生活行動モデルによる看護過程 ・目標志向型思考 ・演習事例の看護過程の展開方法 (予習) (30分) : 高齢者の特徴をいかした看護過程、看護過程の展開 テキスト3.pp2～20を読む (復習) (30分) : 事例を読み込み、疾患、薬剤、症状に対する看護について調べる	多田 健一
2	認知症高齢者の看護 (コミュニケーション、シミュレーション演習)	《演習》 認知症高齢者の看護 学習方法: 演習 ・VR等の教材を使用して、認知症高齢者とのコミュニケーション方法について演習する 【小テスト①】 (5点) 事前課題の内容について授業冒頭にテストを実施 【事前課題①】 (5点) 認知症高齢者の症状と対象者への看護について 【事後課題①】 (5点) 実践した内容と考察を指定用紙にまとめる (予習) (30分) 事前課題に取り組む (復習) (30分) 事後課題に取り組む	多田 健一 青柳 直樹
3	高齢者のリスクマネジメント (医療安全、救命救急、災害)	《講義および演習》 高齢者のリスクマネジメント 学習方法: 講義、演習 ・高齢者と医療安全 ・高齢者と救命救急 ・高齢者と災害 【事後課題②】 授業中に指示されたこと、またリスクマネジメントについて学んだことを指定用紙に記入して提出する。 (予習) (30分) テキスト1.pp388～406を読む (復習) (30分) 事後課題に取り組む	角山裕美子
4	高齢者の食生活を支える看護技術 (口腔ケア、ポジショニング)	《演習》 高齢者の食生活を支える看護技術 学習方法: 演習 ・高齢者の食生活を支える口腔ケア、ポジショニングの実際をグループ単位で体験型演習で学ぶ。 【小テスト②】 (5点) 事前課題の内容について授業冒頭にテストを実施 【事前課題②】 (5点) 嚥下機能の加齢変化や食事介助方法について 【事後課題③】 (5点) 実践した内容と考察を指定用紙にまとめる (予習) (30分) 事前課題に取り組む (復習) (30分) 事後課題に取り組む、技術練習を行う	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
5	高齢者の食生活を支える看護技術 (口腔ケア、ポジショニング)	同上	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
6	高齢者の排泄を支える看護技術 (陰部洗浄、おむつ交換、排泄介助)	《演習》 高齢者の排泄を支える看護技術 ・高齢者の排泄を支える看護技術であるおむつ交換、陰部洗浄の実際、排泄介助の実際をグループ単位で体験型演習で学ぶ。 【小テスト③】 (5点) 事前課題の内容について授業冒頭にテストを実施 【事前課題③】 (5点) 高齢者の排泄機能の加齢変化や排泄介助の実際 【事後課題④】 (5点) 実践した内容と考察を指定用紙にまとめる (予習) (30分) 事前課題に取り組む (復習) (30分) 事後課題に取り組む、技術練習を行う	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
7	高齢者の排泄を支える看護技術 (陰部洗浄) (おむつ交換)	同上	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
8	看護過程の展開 (事例展開)	《講義及び演習》 看護過程の展開 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の事例展開(アセスメント) ・概要について講義した後、グループワークを行い看護過程を展開する 【小テスト④】 (5点) 事前課題の内容について授業冒頭にテストを実施 【事前課題④】 (5点) 対象者の疾患や看護についてレポートにまとめる (予習) (30分) 事前課題に取り組む (復習) (30分) アセスメントが適切に行えているかルーブリック評価表で確認する	多田 健一

科目名	老年看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312100
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	看護過程の展開 (事例展開)	同上	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
10	看護過程の展開 (事例展開)	≪講義及び演習≫ 看護過程の展開 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の事例展開(アセスメント/関連図) ・概要について講義した後、グループワークを行い看護過程を展開する (予習) (30分) アセスメントを見直す (復習) (30分) 関連図を使用して全体像を適切に整理できているかルーブリック評価表で確認する	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
11	看護過程の展開 (事例展開)	同上	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
12	看護過程の展開 (事例展開)	≪講義及び演習≫ 看護過程の展開 ・介護老人保健施設に入所している高齢者の事例展開(関連図) ・概要について講義した後、グループワークを行い看護過程を展開する (予習) (30分) アセスメント、関連図を見直す (復習) (30分) 看護計画を含めた事例展開全体について見直し、提出の準備をする	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
13	看護過程の展開 (事例展開)	同上	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹
14	人生100年時代に求められる 老年看護 (最新の老年看護)	≪講義≫老人看護専門看護師(GCNS)による講義 ・老年看護エキスパートによる実践事例の紹介 ・老年看護の最新技術 ・次世代に求められる老年看護の役割 (予習) (30分) GCNSの役割について調べておく (復習) (30分) 本日の授業内容の整理	多田 健一
15	多様な生活・療養の場での老 年看護 (介護老人保健施設) (特別養護老人ホーム) (地域密着型サービス) (介護予防)	≪講義≫外部講師による多様な生活・療養の場における老年看護について の講義 ・保健医療福祉施設での老年看護 ・居住施設での老年看護 ・地域に暮らす高齢者の介護予防 (予習) (30分) テキスト1.p365～373を読む (復習) (30分) 本日の授業内容の整理	多田 健一

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312150
担当者氏名	伊藤 文子、沼野 博子、船岡 未恵、永谷 智恵			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を生かして、小児と家族への基本的な観察やかかわり方、フィジカルアセスメントの技術、看護過程の展開について等、実践的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

子どもの権利を擁護し、子どもと家族に安全で安楽なケアを提供するために科学的な根拠や子どもの成長・発達、特性に基づいた看護技術や態度を学修する。具体的には「子どもの観察・測定」「フィジカルアセスメント」「子どもと家族への関わり方」「検査・処置・ケアを受ける子どものプレパレーション」等について実践的に学修する。また、事例を通して健康・発達・生活・家族の状況をアセスメントし、子どもと家族の状況に応じた看護過程の展開を小グループでディスカッションを行いながら主体的に学修する。位置づけ：子どもと家族の概要、子どもの権利、成長・発達、発達課題と特性の理解は小児看護学概論を基礎とする。健康問題のある子どもと家族の看護は小児看護援助論Ⅰを基礎とする。

《授業の到達目標》

1. 子どもの成長発達を理解し、子どもが主体的に検査、処置、ケアに取り組むための看護援助ができる
2. 子どもの最善の利益を目指した看護を実践することができる
3. 子どもの特徴を捉え、病態治療、成長発達、生活、家族の根拠に基づいたアセスメントから看護を導き出すことができる
4. 主体的に学習に取り組み、グループ活動を通して互いに協力し合いながら、積極的に課題を達成することができる

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

子どもと家族の概要、子どもの権利、成長・発達、発達課題と特性の理解は小児看護学概論を基礎とする。健康問題のある子どもと家族の看護は小児看護援助論Ⅰを基礎とする。

《評価の方法》

提出物（事前・事後学習課題、演習記録）（80％）（到達目標1・2・3）
グループワークの参加度、貢献度（20％）（到達目標4）

《テキスト》

1. 『根拠と事故防止からみた小児看護技術 第4版』（浅野みどり編 医学書院 2025年）
2. 『発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 第2版』（荃津智子 編著 医歯薬出版 2021年）

《参考図書》

『写真でわかる小児看護技術 アドバンス』（山元恵子監修 インターメディカ 2022年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■次回講義時に返却 ■その他（看護過程演習の最終提出物は実習オリエンテーション時に返却）
授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション ■双方向（ICTの活用）
■タブレット端末の利用

テキスト、小児看護学概論・小児看護援助論Ⅰのテキストと講義資料を精読し、事前学習課題に取り組む。課題の内容と提出期限・場所は「ワークブック」で提示する。提出された課題は次回演習日に返却する。演習はディスカッションやグループワークを行うため、事前学習課題に取り組む主体的に参加しましょう。

《備考》

《オフィスアワー》

伊藤：毎週月・火曜日10:30～13:00（事前にメールで連絡をしてください）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	小児看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312150
担当者氏名	伊藤 文子、沼野 博子、船岡 未恵、永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	小児看護学援助論Ⅱのオリエンテーション：講義 看護過程・演習の概要と進め方 キーワード(ゴードンの機能的健康パターン)	オリエンテーション 演習についての説明を受け理解する 【学習方法】講義 ・看護技術演習：目的・目標・進め方 ・看護過程演習：目的・目標・進め方、各記録用紙の記載方法、ゴードンの機能的健康パターン ・各演習の課題：共通事項として課題提出は13：00までに授業時間内に示す期限日とし、提出先は5階事務室協指定メールボックス 事前課題60分、事後課題10分	伊藤 文子 沼野 博子 永谷 智恵 船岡 未恵
2	看護技術演習① バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、ベッド柵操作 キーワード(子どもの認知発達、援助関係を形成する技術、シミュレーション、危険防止)	看護技術演習① 事例の子どもに合わせたバイタルサイン測定を適切に行い、バイタルサインが示す数値からアセスメントする 子どもが入院する環境について考える 【学習方法】技術演習 グループワーク シミュレーション 【事前課題】(60分) テキスト1を参考にバイタルサイン測定の手順等(p.172～218)をまとめる 【事後課題】(10分) 技術演習を通して学んだことをまとめる	船岡 未恵 伊藤 文子
3	看護技術演習① バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、ベッド柵操作 キーワード(子どもの認知発達、援助関係を形成する技術、シミュレーション、危険防止)	看護技術演習① 事例の子どもに合わせたバイタルサイン測定を適切に行い、バイタルサインが示す数値からアセスメントする 子どもが入院する環境について考える 【学習方法】技術演習 グループワーク シミュレーション 【事前課題】(60分) テキスト1を参考にバイタルサイン測定の手順等(p.172～218)をまとめる 【事後課題】(10分) 技術演習を通して学んだことをまとめる	船岡 未恵 伊藤 文子
4	看護技術演習② プレパレーション、吸入 キーワード(処置・ケアを受ける子どもの特徴、病気の理解、子どもの主体性・最善の利益、遊びの活用、不安や恐怖を和らげるケア)	看護技術演習② 病気・検査・処置に伴う子どもの心理的混乱の要因をアセスメントし、子ども・家族の対処能力や頑張りを引き出す看護援助の方法を考察し実践的に学ぶ 【学習方法】グループワーク ロールプレイ 【事前課題】(60分) テキスト「プレパレーション」「吸入」と動画を視聴し吸入を嫌がる要因を分析し、プレパレーションを立案する 【事後課題】(10分) 演習を振り返り、子どもの主体性を引き出し、心理的混乱を軽減するための効果的なかわり、自己の課題と今後の改善策をまとめる	沼野 博子 永谷 智恵
5	看護技術演習② プレパレーション、吸入 キーワード(処置・ケアを受ける子どもの特徴、病気の理解、子どもの主体性・最善の利益、遊びの活用、不安や恐怖を和らげるケア)	看護技術演習② 病気・検査・処置に伴う子どもの心理的混乱の要因をアセスメントし、子ども・家族の対処能力や頑張りを引き出す看護援助の方法を考察し実践的に学ぶ 【学習方法】グループワーク ロールプレイ 【事前課題】(60分) テキスト「プレパレーション」「吸入」と動画を視聴し吸入を嫌がる要因を分析し、プレパレーションを立案する 【事後課題】(10分) 演習を振り返り、子どもの主体性を引き出し、心理的混乱を軽減するための効果的なかわり、自己の課題と今後の改善策をまとめる	沼野 博子 永谷 智恵
6	看護技術演習③ 採尿、経管栄養法 キーワード(排尿が自立していない子どもの採尿のタイミング、排泄機能、安全・安楽な子どもと家族へのケア、栄養状態の評価)	看護技術演習③ 排尿が自立していない子どもに採尿バックを貼付する技術を行う。経口摂取が困難、または経口摂取では量が不足している子どもの経鼻経管栄養法の技術を行う 【学習方法】演習 グループワーク 【事前課題】(60分) テキスト1を参考に採尿(p.277～282)と経鼻経管栄養(p.434～440)の手順等をまとめる 【事後課題】(10分) 技術演習を通して学んだことをまとめる	船岡 未恵 伊藤 文子
7	看護技術演習③ 採尿、経管栄養法 キーワード(排尿が自立していない子どもの採尿のタイミング、排泄機能、安全・安楽な子どもと家族へのケア、栄養状態の評価)	看護技術演習③ 排尿が自立していない子どもに採尿バックを貼付する技術を行う。経口摂取が困難、または経口摂取では量が不足している子どもの経鼻経管栄養法の技術を行う 【学習方法】演習 グループワーク 【事前課題】(60分) テキスト1を参考に採尿(p.277～282)と経鼻経管栄養(p.434～440)の手順等をまとめる 【事後課題】(10分) 技術演習を通して学んだことをまとめる	船岡 未恵 伊藤 文子
8	看護技術演習④ 輸液管理、点滴固定 キーワード(小児の輸液管理の特徴、輸液による生活制限を最小にするケア、安全安楽)	看護技術演習④ 輸液療法中の幼児および家族の心理・生活面に配慮し、安全で正確な輸液管理を、シミュレーション演習を通して学ぶ 【学習方法】VR視聴、シミュレーション演習 【事前課題】(60分) テキスト「末梢静脈内持続点滴」「輸液ポンプ・シリンジポンプ」と動画を視聴し、事例の子どもへの輸液管理に必要な観察項目とその根拠、発達段階をふまえた生活への配慮を整理する 【事後課題】(10分) 演習での自己の輸液管理を振り返り、課題と改善策をまとめる	沼野 博子 永谷 智恵

科目名	小児看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312150
担当者氏名	伊藤 文子、沼野 博子、船岡 未恵、永谷 智恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	看護技術演習④ 輸液管理、点滴固定 キーワード(小児の輸液管理の特徴、輸液による生活制限を最小にするケア、安全安楽)	看護技術演習④ 輸液療法中の幼児および家族の心理・生活面に配慮し、安全で正確な輸液管理を、シミュレーション演習を通して学ぶ 【学習方法】VR視聴、シミュレーション演習 【事前課題】(60分) テキスト「末梢静脈内持続点滴」「輸液ポンプ・シリンジポンプ」と動画を視聴し、事例の子どもの輸液管理に必要な観察項目とその根拠、発達段階をふまえた生活への配慮を整理する 【事後課題】(10分) 演習での自己の輸液管理を振り返り、課題と改善策をまとめる	沼野 博子 永谷 智恵
10	看護過程演習① 情報整理、アセスメント キーワード(ゴードンの機能的健康パターンを用いた情報整理、根拠に基づいたデータ解釈・分析、プレゼンテーション)	看護過程演習① 事例の情報を読み込み、ゴードンの機能的健康パターンに沿って情報整理とアセスメントを行い、事例を理解する 【学習方法】講義、グループでのプレゼンテーション、ディスカッション 【事前課題】(60分) 事例の情報を読み、グループで分担した担当項目について教科書指定ページを調べ、調べたことをもとに事例の状況を考察しまとめる 【事後課題】(60分) プレゼンテーションを受けた内容に自己学習を加えて事例を理解し、情報を整理しアセスメントを記載する	伊藤 文子 船岡 未恵
11	看護過程演習① 情報整理、アセスメント キーワード(ゴードンの機能的健康パターンを用いた情報整理、根拠に基づいたデータ解釈・分析、プレゼンテーション)	看護過程演習① 事例の情報を読み込み、ゴードンの機能的健康パターンに沿って情報整理とアセスメントを行い、事例を理解する 【学習方法】講義、グループでのプレゼンテーション、ディスカッション 【事前課題】(60分) 事例の情報を読み、グループで分担した担当項目について教科書指定ページを調べ、調べたことをもとに事例の状況を考察しまとめる 【事後課題】(60分) プレゼンテーションを受けた内容に自己学習を加えて事例を理解し、情報を整理しアセスメントを記載する	伊藤 文子 船岡 未恵
12	看護過程演習② 関連図、問題の明確化 キーワード(成長発達、家族、生活の変化との関連性、対象の強み)	看護過程演習② ゴードンの機能的健康パターン毎に検討したアセスメントから関連図を作成して全体像を把握する。全体像から看護上の問題の明確化を行う 【学習方法】講義 グループでのディスカッション、グループワーク 【事後課題】(60分) 演習をふまえ関連図、問題の明確化を記載する	伊藤 文子 船岡 未恵
13	看護過程演習② 関連図、問題の明確化 キーワード(成長発達、家族、生活の変化との関連性、対象の強み)	看護過程演習② ゴードンの機能的健康パターン毎に検討したアセスメントから関連図を作成して全体像を把握する。全体像から看護上の問題の明確化を行う 【学習方法】講義 グループでのディスカッション、グループワーク 【事後課題】(60分) 演習をふまえ関連図、問題の明確化を記載する	伊藤 文子 船岡 未恵
14	看護過程演習③ アセスメント・看護の方向性発表、全体討議 キーワード(主体的参加)	看護過程演習③ グループで検討したアセスメント・看護の方向性を発表し、全体討議からアセスメントや看護の方向性をより明確化する 【学習方法】プレゼンテーション、ディスカッション 【事後課題】(60分) 記録用紙を追加・修正する	伊藤 文子 船岡 未恵
15	看護過程演習④ 看護計画立案 キーワード(RUMBAの法則、対象の個別性、根拠に基づく具体的援助、安全・安楽なケア)	看護過程演習④ アセスメント・看護の方向性から対象の強みを生かした安全で根拠のある具体的な看護計画を立案する 【学習方法】講義、グループでのディスカッション 【事後課題】(60分) 記録用紙を追加・修正する	伊藤 文子 船岡 未恵

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312190
担当者氏名	森 美由紀、小川 久貴子、佐藤 初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	学生の理解が進むよう看護師および助産師としての臨床経験を基にして、母性看護学における援助方法および援助技術を実践的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度、◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身・生殖器の復古と回復を助けるための看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助を学ぶとともに、新生児の出生直後から胎外生活への移行や退院までのウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に関する看護援助について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 母性看護学領域で看護実践するための基礎である看護過程（情報整理、アセスメント、看護診断、看護計画）を展開することができる。
2. 母性看護学領域で求められるケア技術を演習により習得できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

母性看護学概論・母性看護援助論Ⅰで学ぶ理論と知識を活用して、マタニティサイクルにある対象者への看護を展開することを目指します。

《評価の方法》

①看護過程演習50%：詳細は演習ガイド評価表を参照（到達目標1） ②技術演習50%：事前・事後レポート15%、授業態度35%（到達目標2）

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院）
2. 『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修 インターメディカ）
3. 『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版）

《参考図書》

1. 『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護』（堀内成子編 照林社）
2. 『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修 Medic Media）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（領域主催の実習オリエンテーション時）

授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク

- ・講義中は活発なディスカッションを望みます。
- ・疑問をそのままにせず、直接聞きにきて解決してください。時間の許す限りお答えします。

《備考》

《オフィスアワー》

森美由紀：毎週水曜日10：30～13：00（実習期間中で不在の場合はmori-m@sutoku-u.ac.jpへ）

その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	母性看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312190
担当者氏名	森 美由紀、小川 久貴子、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	母性看護援助論Ⅱガイダンス 看護過程1 (母性看護過程、ウェルネス看護診断、短期目標と長期目標、セルフケア)	授業ガイダンス 母性看護領域における看護過程(ウェルネス看護診断を含む)の考え方を理解する。 予習(30分): 概論や援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習(30分): 事例の看護過程の課題をすすめる 課題(提出期限; 第7回授業開始時/提出先; 各担当教員へ直接提出) 事例の看護過程の展開を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
2	看護過程2 (産褥・新生児への影響要因、退行性変化)	(1)事例の基礎情報から産褥・新生児期に与える影響についてアセスメントする。 (2)(1)を考慮しながら退行性変化(褥婦の全身の復古、生殖器の復古)について情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導く。 予習(30分): 概論や援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習(30分): 事例の看護過程の課題をすすめる	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
3	看護過程3 (進行性変化、母乳育児)	(3) 進行性変化(乳房の変化、母乳育児の状況)について(1)を考慮しながら情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導く。 予習(30分): 概論や援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習(30分): 事例の看護過程の課題をすすめる	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
4	看護過程4 (新生児、胎外生活適応、母児相互作用、親性形成、子育てサポート)	(4) 新生児の健康状態、母(父)児相互作用や親性の形成・子育てサポート体制について(1)を考慮しながら情報収集・アセスメント・アセスメント結論を導く。 予習(30分): 概論や援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習(30分): 事例の看護過程の課題をすすめる	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
5	看護過程5 (アセスメント結論、統合図、ウェルネス看護診断、看護計画の立案)	(5) (2)～(4)のアセスメント結論から統合図を作成し、看護診断を導く。また、統合図から看護診断の優先度を根拠を示しながら導く。看護診断から看護計画(短期目標および達成日、具体策: OP, TP, EP)を立案する。 予習(30分): 概論や援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習(90分): 事例の看護過程の課題をすすめる	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
6	看護過程6 (看護過程のまとめ)	グループ毎に、これまで行ってきた看護過程のまとめを行う。 予習(30分): これまで行った看護過程の展開を復習しておく 復習(90分): 事例の看護過程を完成させる	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
7	技術演習: 技術演習ガイダンス	(1)母性看護援助論Ⅱで修得する技術についての概要ガイダンス (2)グループ毎に、事前に必要な知識・技術(手順・留意点等)の学習をすすめる。 予習(15分): 援助論Ⅰの講義資料やテキストを復習しておく 復習(45分): 配布資料による事前課題をすすめる 課題(提出期限; 第8回授業開始時/提出先; 実習室に設置するBOX) 配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
8	技術演習: 妊娠期1-1 (妊婦健康診査、レオポルド触診、胎児モニタリング、浮腫)	①妊娠期の支援(妊婦健康診査技術支援): レオポルド触診(最良聴取部位の確認)・胎児心拍数聴取(ドップラー法、NSTによる胎児モニタリング含)・浮腫の観察を学ぶ。 予習(45分): 技術演習①の事前課題 復習(15分): 技術演習①の事後課題 課題(提出期限; 第10回授業開始時/提出先; 実習室に設置するBOX) 配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美

科目名	母性看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312190
担当者氏名	森 美由紀、小川 久貴子、佐藤 初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	技術演習：妊娠期1-2 (妊婦健康診査、レオポルド触診、胎児モニタリング、浮腫)	①妊娠期の支援(妊婦健康診査技術支援)：レオポルド触診(最良聴取部位の確認)・胎児心拍数聴取(ドップラー法、NSTによる胎児モニタリング含)・浮腫の観察を学ぶ。 予習(45分)：技術演習①の事前課題 復習(15分)：技術演習①の事後課題 課題(提出期限；第10回授業開始時／提出先；実習室に設置するBOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
10	技術演習：産褥期1-1 (退行性変化、進行性変化、母乳育児支援、ポジショニング、ラッチオン)	②子宮復古への支援：子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなどの実際を学ぶ。 ③母乳育児支援：乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメントの実際を学ぶ。 予習(45分)：技術演習②③の事前課題 復習(15分)：技術演習②③の事後課題 課題(提出期限；第12回授業開始時／提出先；実習室に設置するBOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
11	技術演習：産褥期1-2 (退行性変化、進行性変化、母乳育児支援、ポジショニング、ラッチオン)	②子宮復古への支援：子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなどの実際を学ぶ。 ③母乳育児支援：乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメントの実際を学ぶ。 予習(45分)：技術演習②③の事前課題 復習(15分)：技術演習②③の事後課題 課題(提出期限；第12回授業開始時／提出先；実習室に設置するBOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
12	技術演習：新生児1-1 (新生児の観察、バイタルサイン測定、沐浴の可否、新生児のケア)	④新生児の観察(バイタル・全身観察・黄疸・体重測定)の実際を学ぶ。 沐浴の可否を考慮することができる。 ⑤新生児の支援技術：児の抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法などの実際を学ぶ。 予習(45分)：技術演習④⑤の事前課題 復習(15分)：技術演習④⑤の事後課題 課題(提出期限；第14回授業開始時／提出先；実習室に設置するBOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
13	技術演習：新生児1-2 (新生児の観察、バイタルサイン測定、沐浴の可否、新生児のケア)	④新生児の観察(バイタル・全身観察・黄疸・体重測定)の実際を学ぶ。 沐浴の可否を考慮することができる。 ⑤新生児の支援技術：児の抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法などの実際を学ぶ。 予習(45分)：技術演習④⑤の事前課題 復習(15分)：技術演習④⑤の事後課題 課題(提出期限；第14回授業開始時／提出先；実習室に設置するBOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
14	技術演習：新生児2-1 (新生児の清潔支援、沐浴)	⑥新生児の清潔への支援：沐浴、ドライテクニックの実際を学ぶ。 予習(45分)：技術演習⑥の事前課題 復習(15分)：技術演習⑥の事後課題 課題(提出期限；講義終了1週間後／提出先；5階事務室脇の提出BOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美
15	技術演習：新生児2-2 (新生児の清潔支援、沐浴)	⑥新生児の清潔への支援：沐浴、ドライテクニックの実際を学ぶ。 予習(45分)：技術演習⑥の事前課題・沐浴の動画視聴 復習(15分)：技術演習⑥の事後課題を提出 課題(提出期限；講義終了1週間後／提出先；5階事務室脇の提出BOX)配布する各該当技術演習の資料を完成させ、提出すること。	小川久貴子 森 美由紀 佐藤 初美

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312230
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、精神看護について講義・演習を通し、実践的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

精神看護学概論・精神看護援助論Ⅰで学んだ内容をもとに、精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。

《授業の到達目標》

1. 精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。
2. 精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。
3. 精神に障がいのある方の支援について考察できる。

《先修科目》

「精神看護学概論」「精神看護援助論Ⅰ」

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目は「精神看護学概論」「精神看護援助論Ⅰ」で学んだ内容をもとに学習し、精神看護学実習の履修要件科目である。

《評価の方法》

定期試験50%（到達目標1. 3）、事例展開（個人）30%（到達目標1. 2. 3）、事例展開（グループ）20%（到達目標1. 2. 3）で算出し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

1. 『系統看護学講座 精神看護学① 精神看護の基礎』（武井麻子 他著 医学書院 2024年）
2. 『系統看護学講座 精神看護学② 精神看護の展開』（武井麻子 他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

参考書：『精神科リハビリテーション看護（精神看護エクスペール）』（坂田三允 総編集 中山書店 2009年）
『これからの精神看護学』（森千鶴著 ピラールプレス 2016年）
配布資料：授業に関連したDVD

《履修上の留意点》

授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション
☑教育リソースの利用（利用リソース名：VR教材）

シラバスをふまえ、授業で取り上げるテーマについて、テキストを中心に予習して授業に臨むこと。

配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。

事例展開については、グループ発表後に各担当教員が講評する。最終提出の事例は実習オリエンテーション時に返却する。

《備考》

精神看護学実習履修要件科目

《オフィスアワー》

主担当藤田は、毎週金曜日12：10～14：10（研究室A625）
他の教員はオフィスアワー一覧参照

科目名	精神看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312230
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	統合失調症患者の症状アセスメント うつ病患者の症状アセスメント (統合失調症、うつ病、アセスメント)	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 (予習) (60分) 統合失調症、うつ病およびアセスメントの視点について予習してくる。 (復習) (60分) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田 勇
2	統合失調症患者の疑似体験 (患者・看護師体験)	VRをもとに、どのような対応をするか考える。 (予習) (60分) 統合失調症患者のケアについて予習してくる。 (復習) (60分) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田 勇
3	事例を用いた看護過程の展開 ① 個人作業による情報の整理 (統合失調症、うつ病、情報の整理)	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、看護過程の展開において必要となる対象者の情報を整理する。 実習で用いる記録用紙を使用し、説明(講義)と個人作業による演習を交互に行う。 (予習) (60分) 事例を読み、分からない用語等を調べておく。 (復習) (60分) 記録用紙に沿って、情報の整理を完成させる。	板山 稔
4	事例を用いた看護過程の展開 ② 個人作業によるアセスメント (アセスメント、セルフケアモデル)	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、得られた情報をもとに、個人でアセスメント記録用紙にそって分析・解釈を行う。 (予習) (60分) 精神看護援助論Ⅰの第2回「精神看護におけるアセスメント方法」の資料を読んでおく。 (復習) (90分) 「課題」看護過程の記録用紙にそって記入を進め、期限までに提出する(提出内容と方法については講義内で別途指示する)。	板山 稔
5	精神科臨床に用いられる尺度など (GAF、PANSS、ハミルトンうつ病評価尺度、CP換算値など)	精神科臨床で用いられる代表的な尺度について理解する。また、CP換算値についても理解する。 (予習) (60分) 精神科臨床で用いられる代表的な尺度について各自で調べてくる。 (復習) (60分) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	成田みぎわ
6	プロセスレコードを用いたカンファレンスの体験 (プロセスレコード、カンファレンス、リフレクション)	各自が記載したプロセスレコードを振り返り、自己の感情・思考と言動との不一致に気づき、対象との対人関係で生じている事象や自己の対人関係の特徴などについて理解を深める。 (予習) (60分) 「課題」プロセスレコードを作成し、事前に提出する(提出方法については第1回授業で指示する)。 (復習) (60分) プロセスレコードの振り返りシートを記入する。	板山 稔
7	精神科における治療的技法の体験① 元気回復行動プラン (自分自身の取り扱い説明書)	各自のストレス解消法を基に元気回復行動プランを理解する。 (予習) (60分) 自分自身のストレス解消法をまとめる。 (復習) (60分) 自分自身の元気回復行動プランを作成する。	成田みぎわ
8	事例を用いた看護過程の展開 ③ グループワークによるアセスメント (アセスメント、セルフケアモデル)	統合失調症、うつ病の患者の事例について、個人作業でアセスメントしたそれぞれの結果をもとにグループワーク行う。より多面的にアセスメントし、看護上の課題を検討する。 (予習) (60分) 精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく。 (復習) (60分) グループワークの結果を記録用紙にそってまとめる。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ

科目名	精神看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312230
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	事例を用いた看護過程の展開 ④ グループワークによる看護ケアの立案 (ケアプラン)	統合失調症、うつ病の患者の事例について、グループワークを通して看護ケアプランを作成する。 (予習) (60分) 精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく。 (復習) (60分) グループワークの結果を記録用紙にそってまとめ、期限までに提出する(提出方法については講義内で別途指示する)。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
10	事例を用いた看護過程の展開 ⑤ グループワークによる看護過程の発表・統合失調症事例 (統合失調症、アセスメント、ケアプラン)	うつ病事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、うつ病患者の看護について理解を深める。 (予習) (60分) 発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく。 (復習) (60分) 他のグループの発表内容を参考にし、各自の看護過程の内容を加筆する。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
11	事例を用いた看護過程の展開 ⑥ グループワークによる看護過程の発表・うつ病事例 (うつ病、アセスメント、ケアプラン)	統合失調症事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、統合失調症患者の看護について理解を深める。 (予習) (60分) 発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく。 (復習) (60分) 「課題」他のグループの発表内容を参考にし、各自の看護過程の内容を加筆し、期限までに提出する(提出内容と方法については第3回授業で指示する)	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
12	精神科における治療的技法の体験② 認知行動療法 (柔軟な思考、問題解決能力)	認知行動療法について理解する。 (予習) (60分) 自分なりに認知行動療法を調べてくる。 (復習) (60分) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	成田みぎわ
13	精神科における治療的技法の体験③ SST (社会生活技能訓練)	SSTの目的、方法、看護師の役割を理解する。 (予習) (60分) 援助論Ⅰで学修したSSTについて調べてくる。 (復習) (60分) 学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田 勇
14	精神症状の観察と援助 シミュレーション演習① (入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境)	幻聴のある統合失調症患者の事例に対し、グループに分かれて課題を検討し、対処方法を考える。 (予習) (60分) 入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境について調べてくる。 (復習) (60分) 事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ
15	精神症状の観察と援助 シミュレーション演習② (ブリーフィング、シミュレーション、デブリーフィング)	幻聴のある統合失調症患者の事例に対し、グループに分かれて課題を検討し、対処方法を考える。 (予習) (60分) 入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境について調べてくる。 (復習) (60分) 事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する。 レポート等の課題はなし。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として地域・在宅看護学に関連する実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、訪問看護ステーションでの地域・在宅看護学実習へ向けた看護の展開と看護ケアについての教育を行う。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

在宅療養者と家族の実際の生活に根ざした看護実践のために必要な知識・技術について、講義と演習を通して学ぶ。具体的には、訪問看護に関わる制度や統計データ、地域・在宅看護学の枠組みに沿った看護計画の立案、一般的なケア、専門的なケア、緊急的なケア、社会資源、多職種連携などについてグループワークを通じて多角的な視点から習得する。

《授業の到達目標》

1. 在宅療養者と家族の生活の質を高めるための看護援助を考え、述べることができる。
2. 在宅療養者とその家族の紙上事例に対する看護過程を展開することができる。
3. 在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術を実施することができる。
4. 在宅療養者と家族の生活の質を高めるための社会資源の活用を対象者の状況に応じて考えることができる。

《先修科目》

地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論Ⅰ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

先修科目の知識と本科目の演習を合わせて、地域での看護の基礎となる地域・在宅看護学実習を行うことができることを目指します。

《評価の方法》

提出物 90%（演習に係る学習の記録物70%、看護計画の内容20%）（到達目標の1.2.3.4）
課題（本科目に係る全ての記録物をフラットファイル1冊にまとめる/提出期限：最終講義終了時/提出先：講義室にて回収）
授業（グループワークを含む）への取り組み状況 10%（到達目標の1.2.3.4）

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子他著 医学書院 2024年）
『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

『基礎からわかる地域・在宅看護論』（池西静江編著 照林社 2021年）
『療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程』（尾崎章子・蒔田寛子編著 医歯薬出版 2023年）
『看護判断のための気づきとアセスメント地域・在宅看護』（岸恵美子・大木幸子編 中央法規 2022年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（成績確定後にファイル1式を返却する）
授業形態：■講義形式 ■グループワーク ■プレゼンテーション
■教育リソースの利用（利用リソース名：DVD、You Tube）
・演習要項を読み、事前に提示する課題に真摯に取り組み、講義内容と関連する先修科目の理解と合わせて、演習に臨んでください。
・欠席等に関する留意事項については演習要項を参照してください。

《備考》

初回に演習要項と記録用紙を一括して配布しますのでA4のフラットファイル1冊を持参してください。

《オフィスアワー》

山崎節子：毎週水曜日12：20～14：40（不在の場合はyamazaki-s@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 在宅療養者と家族への看護(1) キーワード (訪問看護、DVD、生活環境、訪問かばん)	【講義】訪問看護師の仕事の実際について映像資料等から学ぶ。 【演習】訪問かばんを用意し、地域・在宅看護学実習室2で在宅療養場面を体験する。 学習方法：講義、演習 予習(30)分：(訪問かばんに入れる用品を調べ、訪問看護師の1日の仕事の流れをイメージする) 復習(30)分：(家庭訪問の基本と療養環境の特徴について整理する)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
2	在宅療養者と家族への看護(2) キーワード (初回訪問、COPD、物品、マナー、ロールプレイ)	【演習】初回訪問時の対応を演習要項の事例(COPD)のロールプレイを通じて学ぶ(訪問時のマナー、訪問計画、訪問時必要物品の準備、情報収集等)。 学習方法：演習、GW 予習(30)分：(演習要項の事例を読む) 復習(30)分：(実施したロールプレイについて振り返る)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
3	在宅療養者と家族への看護(3) キーワード (初回訪問、ロールプレイ、イメージ、評価)	【演習】実施したシナリオロールプレイについて話し合い、グループで評価する。 学習方法：演習、GW 予習(30)分：(演習要項の事例を読む) 復習(30)分：(実施したロールプレイについて振り返る)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
4	在宅療養者と家族への看護(4) キーワード (在宅、訪問看護、看護過程、方法)	【講義】地域・在宅における看護過程を物語の視点と尾崎らの「地域・在宅看護過程におけるアセスメントガイド」を用いて展開する方法について学ぶ(記録用紙の説明を含む)。 学習方法：講義 予習(30)分：(2年次配布事例を読み) 復習(30)分：(講義内容について各自が使いやすいように工夫してまとめる)	山崎 節子
5	在宅療養者と家族への看護(5) キーワード (紙上事例、COPD、看護過程、グループ)	【講義】演習要項の事例(COPD)について映像資料を含めた解説からケアの方向性と留意点を考える。 【演習】グループで事例を読み、看護目標・看護計画を立案する。 学習方法：講義、GW 予習(30)分：(事例を読み、わからない用語について調べる)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
6	在宅療養者と家族への看護(6) キーワード (紙上事例、看護過程、COPD、看護過程、グループ)	【演習】グループで初回訪問時の看護計画等を立案・展開する。 学習方法：GW 予習(30)分：(看護計画の立案について復習し、記録記録用紙・記載方法を確認する) 復習(30)分：(立案した計画を修正する)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
7	在宅における状況に応じた看護技術(1) キーワード (在宅酸素療法、医療機器メーカー看護師)	【講義】在宅酸素療法の機器について医療機器メーカー看護師から学ぶ。 学習方法：講義 予習(30)分：(在宅酸素療法の管理の察ポイントを調べる) 課題(60)分：(医療機器メーカー看護師の講義から学んだことや考えたことを500字程度でまとめる/提出期限：講義日の1週間後の17時まで/提出先：5階山崎のレターボックス)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子 特別講師
8	在宅における状況に応じた看護技術(2) キーワード (法制度、保険制度、社会資源、多職種連携)	【演習】グループで分担して2年次配布事例に係る法律・制度・社会資源についてシートにまとめる。 学習方法：GW 予習(30)分：(在宅療養を支える制度や社会資源について調べる)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子

科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2313190
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	在宅療養者と家族への看護(6) キーワード (2回目訪問、紙上事例、COPD,看護過程)	【演習】グループで2回目訪問(1週間後)の看護計画等を立案・展開する。 学習方法:GW 予習(30)分:(事例を読み、気づいたことを記載し、自分なりの看護計画を考える) 復習(30)分:(立案した計画を修正する)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
10	在宅における状況に応じた看護技術(3) キーワード (在宅、使用物品、工夫、コスト、簡便モデル、体験)	【演習1】グループで在宅での使用物品の工夫について考え、シャワーボトル、スライディンググローブを作成し、試用する。 【演習2】地域・在宅看護実習室2にて簡便モデルを用いて、在宅における簡便動作をシュミレーションする。 学習方法:演習、GW 予習(30)分:(在宅療養で役に立つ物品3つ考え、調べる) 復習(30)分:(演習要項のシートに記載する)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
11	在宅における状況に応じた看護技術(4) キーワード (経時変化、症状増悪、ロールプレイ、イメージ、評価)	【演習】グループで分担し、症状が増悪した2年後と6年後の事例のシナリオを作成し、ロールプレイを行う。 学習方法:演習、GW 予習(30)分:(演習要項の事例を読む) 復習(30)分:(実施した2回のロールプレイのポイントを整理する)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
12	在宅における状況に応じた看護技術(5) 社会資源(2) キーワード (法制度、保険制度、社会資源、多職種連携)	【演習】グループで分担して2年次配布事例に係る法律・制度・社会資源についてシートにまとめ、発表する。 学習方法:GW、プレゼンテーション 予習(30)分:在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
13	在宅における状況に応じた看護技術(6) キーワード (ストーマ、褥瘡、WOCナース)	【講義・演習】在宅での皮膚・排泄ケアの実践について認定看護師から学ぶ。 学習方法:講義、演習 予習(30)分:(ストーマと褥瘡のケアについて調べる) 課題(60)分:(皮膚・排泄ケア認定看護師の講義から学んだことや考えたことを500字程度でまとめる/提出期限:講義日の1週間後の17時まで/提出先:5階山崎のレターボックス)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子 特別講師
14	在宅における状況に応じた看護技術(7) キーワード (在日外国人、健康、異文化ケア、グループ)	【演習】在日外国人の健康課題について、配布資料等と教員を交えたグループワークを通じて考える。 学習方法:演習、GW 予習(30)分:在日外国人の生活や健康状況について調べる。 課題(60)分:(異文化ケアについて自分の考えを500字程度でまとめる/提出期限:講義日の1週間後の17時まで/提出先:5階山崎のレターボックス)	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子
15	地域・在宅における看護まとめ キーワード (訪問看護、現状、課題、未来)	【講義】これまでの学びを全体で共有し、訪問看護のこれからについて考える。 学習方法:講義、GW、プレゼンテーション 予習(30)分:これまでの学びを振り返り、わからない点を3つ挙げる。 復習(60)分:これまでの学習内容について整理する。	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅱ			授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として行政および産業での実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

事例を基にした地域看護診断を通して、地域の特性と地域で生活する人々の健康と生活のニーズをアセスメントし、健康課題を明らかにするプロセスを実践的に学ぶ。健康課題に優先順位をつけ、健康課題を解決するための保健事業計画を地域の社会資源を踏まえ立案し、公衆衛生看護活動における保健師の役割を考える。

《授業の到達目標》

1. 地区踏査の意義を理解し、観察ポイントを意識した地区踏査が実施できる。
2. 既存資料の分析と地区踏査をふまえ健康課題を抽出し、優先順位をつけることができる。
3. 健康課題を解決するための方法を考え、公衆衛生看護活動計画を立案できる。
4. 保健事業計画の策定のポイントを踏まえ、計画策定の留意点と保健師の役割について考察できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

年次前期の「地域診断論」で学んだ内容を深め、4年次の「個人・家族・集団・組織の支援実習」および「公衆衛生看護活動展開論実習論」につなげていく演習科目です。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）（到達目標1, 2, 3）

演習評価 50%、演習記録 20%、レポート 20% （到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

適宜資料配布

《参考図書》

『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐ その他（学年末までに返却）

授業形態：☐ 講義形式 ☐ ディスカッション ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ タブレット端末の利用

本講を選択する場合は、「地域診断論」を必ず受講してください。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

駒形三和子：毎週火曜日11:40～13:40（実習期間中で不在の場合はkomagata-m@sutoku-u.ac.jpへ）

その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅱ	授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域の情報収集①[既存資料] キーワード (資料の読み取り、分類、比較)	ガイダンス/演習地域の紹介。事例についての既存資料から得られたデータをよみとりアセスメントし、足りない情報や明らかにしたいことをまとめる。 予習(30分): 地域診断論での既存資料の収集～分析の流れを確認する 課題(30分): 指定された日時までに収集した資料の整理とアセスメントをした資料を指定した提出先に提出。	駒形三和子
2	地域の情報収集②[地区踏査計画] (地区踏査計画、住民へのインタビュー計画)	グループに分かれ、学生同士で地区踏査計画を立て、出会えた住民へのインタビュー内容とインタビューの際の留意点についてまとめる。 (予習) (20分) 地区視診ガイドラインを確認する (課題) (40分) 指定された日時まで地区踏査計画と住民へのインタビュー内容を指定した提出先に提出	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
3	地域の情報収集③[地区踏査] (地区踏査、地区視診、ウィンドシールドサーベイ、地区踏査の実施、地域の観察ポイント、住民インタビュー)	グループに分かれ大学周辺地域の地区踏査を実施し、出会えた住民にインタビューの許可を得た後にインタビューする。 (予習) (20分) 住民インタビューを想定し、インタビューの練習をしておく	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
4	地域の情報収集④[地区踏査] (地区踏査、地区視診、ウィンドシールドサーベイ、地区踏査の実施、地域の観察ポイント、住民インタビュー)	グループに分かれ大学周辺地域の地区踏査を実施し、出会えた住民にインタビューの許可を得た後にインタビューする。 (復習) (30分) 得られた情報から、地区踏査の意義と計画を立てる際に必要な視点、住民インタビューの際の留意点を振り返る。 (課題) (30分) 個人で大学周辺地域の地区踏査で得られた情報を地区踏査記録にまとめる。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
5	地域の情報分析① (データとアセスメントの整理、分類・統合、マッピング)	個人でデータ収集・アセスメントした資料や地区踏査記録を持ちよりグループで共有する。グループで話し合い、グループとしての資料の整理をしながらアセスメントを深める。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
6	地域の情報分析② (データとアセスメントの整理、分類・統合、マッピング、地域アセスメント)	地域アセスメント記録を活用して、グループで話し合いながら情報を整理し、地域の健康問題や地域の強みを集約し健康課題を明らかにする。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
7	健康課題の抽出 (健康問題、健康課題、顕在的課題、潜在的課題、支援の方向性)	地域アセスメントから考えられる健康課題を列記し、潜在的な課題や支援の方向性をグループで話し合いながら、保健分野で解決可能な健康課題に絞り込む。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
8	優先順位の判断と支援の方向性 (優先順位の考え方、対象理解、支援の方向性)	抽出した健康課題のグループとしての優先順位を話し合い、優先順位の根拠を文章化する。優先順位の高い課題の中から保健師として取り組むべき健康課題とその解決の方向性について考える。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子

科目名	公衆衛生看護支援技術Ⅱ	授業科目番号	2313220
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	保健事業計画策定の実際と策定のポイント (総合計画、保健計画、保健事業計画、計画策定プロセス、事業化、施策化)	外部講師より保健事業計画策定の実際について説明を聞き、保健事業計画作成のプロセスと策定のポイントについて考える。 (予習) (30分) 地域診断論で学んだ地域診断～保健事業計画へのプロセスを振り返る。 (復習) (30分) 外部講師の説明と既習の知識をまとめ、保健事業計画作成のプロセスと策定のポイントについてノートにまとめる。	駒形三和子 外部講師
10	公衆衛生看護活動計画立案のグループ演習① (長期目標、短期目標)	公衆衛生看護活動計画として取り上げた、健康課題の解決に向けた活動についてグループで話し合い、課題が解決された姿をイメージした長期目標と年度内に到達可能な具体的な短期目標を設定する。 (課題) (30分) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
11	公衆衛生看護活動計画立案のグループ演習② (対象選定、保健事業、会場、予算、従事者、活動内容)	目標達成のための活動計画を具体的に6W3H1Fを念頭に作成する。 (課題) (30分) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
12	公衆衛生看護活動計画立案のグループ演習③ (評価計画、企画評価、実施評価、結果評価)	活動計画の評価について、長期目標、短期目標と照らし合わせながら考え企画評価、実施評価、結果評価について評価項目を設定する。 保健事業計画をまとめ、プレゼンテーションの準備をする。 (課題) (30分) 時間内に終了しなかった場合は、次回までにまとめる。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
13	公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーション① (目標と活動計画、評価の整合性)	グループ毎に公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーションを実施し、ディスカッションする。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
14	公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーション② (実施事業の根拠、対象、実施時期、他の事業との関連)	グループ毎に公衆衛生看護活動計画のプレゼンテーションを実施し、ディスカッションする。 (課題) (30分) 今までの授業やプレゼンテーションを振り返り、公衆衛生看護活動における保健師の役割についてまとめておく。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子
15	公衆衛生看護活動計画～保健事業計画へ (地域の特性、強み、活動の限界、保健師の役割)	公衆衛生看護活動計画から保健事業計画を立案する過程を今までの授業を振り返りながら考え、保健事業計画策定のポイントを踏まえ、計画策定の留意点と保健師の役割についてレポートにまとめる準備をする。 (課題) 保健事業計画策定のポイントを踏まえ、計画策定の留意点と保健師の役割についてのレポートおよび演習記録を提出期限までに指定した提出先に提出する(120分) 演習記録は3年次修了までに返却する。	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域診断論			授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として行政および産業での実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした地域看護活動の目的と方法について学習する。地域を看護の対象として認識し、社会との関連で健康課題を理解し、地域で生活する人々の健康と生活のニーズを、多角的にアセスメントする具体的方法を学ぶ。また、人々のニーズをいかした地域看護活動計画について考える。

《授業の到達目標》

1. 地域における地域診断の意義と技法を理解し活用することができる。
2. 地域診断に必要な情報（データ）の種類を知り、データ分析してアセスメントできる。
3. 地域の健康課題の抽出及び健康課題の優先順位の決定方法を説明できる。
4. 地域の健康課題・健康問題に添った地域看護活動の方向性を説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

公衆衛生看護学概論および公衆衛生看護活動論ⅠⅡ、公衆衛生学、保健統計学、疫学等既習の学びを活用して保健師活動の基盤となる地域をアセスメントする基本的な技術を学ぶ科目です。

《評価の方法》

授業貢献度 10% （授業中の発言、態度をもとに評価する。）（到達目標1, 2, 3, 4）
技術演習 40%、定期試験 40%、レポート 10% （到達目標1, 2, 3, 4）

《テキスト》

- (1)『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）
- (2)『国民衛生の動向 2024-2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）
『地域看護診断 第2版』（金川克子・田高悦子 編 東京大学出版会 2011年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（学年末までに返却）

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション □タブレット端末の利用

技術演習は個人ワークとグループワークを織り交ぜて展開する予定です。担当教員との積極的な意見交換で、有意義な講義・演習となることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

駒形三和子：毎週火曜日11:40～13:40（実習期間中で不在の場合はkomagata-m@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	地域診断論	授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	地域診断の意義 (地域診断の目的、地域特性、鳥の目、虫の目、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシードモデル、エスノグラフィ)	ガイダンス 保健師の行う地域診断の目的と特徴および地域診断の技法について、活用できる理論やモデルと関連させながら学ぶ 予習(30)分：(自分の出身地(または居住地)の市町村のホームページを閲覧し、①地域の特徴②強み③改善した方が良いところについて200文字程度でまとめる) 復習(30)分：(テキスト(1)p1～p5を読む)	駒形三和子
2	地域診断の展開過程① (地区視診、地区踏査、既存資料、マッピング、資料の読み取り、分類、比較、分析)	地域診断に必要な情報(データ：地域の特性、環境、地域で活用できる資源等)の種類とその入手方法、地域特性を掴むためのデータ分析・アセスメントの技法を事例をもとにしたミニ演習をとおして理解する 予習(15)分：(テキスト(1)p24～p29を読む) 課題(30)分：(次回までに、ミニ演習の事例の分析から考えられる健康課題を1つあげる)	駒形三和子
3	地域診断の展開過程② (データの記述、推論、要約、看護問題、健康課題、要因、背景、優先順位、地域ケア実践の方向性)	アセスメントした資料の取捨選択・整理・統合、健康課題の抽出、優先順位付けの考え方と資料化のポイントを学ぶ 予習(30)分：(テキスト(1)p6～p18を読む) 復習(20)分：(講義で解いた保健師国家試験問題の振り返り) 【次回ノートPC持参】	駒形三和子
4	地域診断演習①【個人】 (地域特性の把握)	演習ガイダンス 対象地域の情報収集と分析 予習(30)分：(前回までの講義資料の振り返り) 復習(30)分：(収集したデータの読み取りと整理)	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 田辺 生子
5	地域診断演習②【個人】 (データ分析・アセスメント)	データの比較・分析・推論 予習(60)分：(整理したデータの分類、比較データの収集、不明な点を担当教員に確認) 復習(30)分：(分析したデータの整理)	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 田辺 生子
6	地域診断演習③【個人】 (健康課題の抽出)	分析・推論したデータの取捨選択と加工、健康課題の抽出 予習(60)分：(分析したデータを担当教員に提出し、意見交換) 復習(30)分：(資料の整理、抽出した健康課題の要因・背景を考え記述)	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 田辺 生子
7	地域診断演習④【グループ】 (健康課題の優先順位、地域ケアの方向性)	グループ内発表 グループ毎に各自が捉えた地域特性と健康課題の発表を行い、それぞれの共通点、相違点を話し合う。グループとしての地域特性と健康課題をまとめ、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を検討 予習(20)分：(テキスト(1)p17～p23を読む) 復習(30)分：(グループで話し合った内容を整理し、全体発表準備)	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 田辺 生子
8	地域診断演習⑤【グループ】 (健康課題の優先順位、地域ケアの方向性)	全体発表、質疑 グループとしての地域特性と健康課題、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を発表、意見交換 課題(60)分：(課題レポート「保健師活動における地域診断の意義について考えたこと」演習自己評価表と共に提出期限までに指定した提出先に提出 ※レポートは4年次の保健師課程の実習指導につなげるため教員サイドで保管します。	駒形三和子 平澤 則子 菅原 京子 渡邊 路子 田辺 生子

科目名	健康教育論			授業科目番号	2313110
担当者氏名	渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として、健康教育の実務経験を有している。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、対象者が主体的に行動変容し自己管理能力を高めるための健康教育について教授する科目です。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

人々が地域において健康な生活を送るうえで、個人・家族・集団に対して、看護専門職が教育的役割を果たすことが求められていることから、教育指導力の基礎となる知識や方法を習得することを目的とする。対象者が主体的に行動変容し自己管理能力を高めるための健康教育の根拠となる理論やモデルを学ぶとともに、健康教育の対象、場、方法を理解し、対象者の特性に応じた効果的な健康教育の展開方法を修得する。

《授業の到達目標》

1. 公衆衛生看護における健康教育の位置づけについて述べることができる。
2. 健康教育に関連する理論やモデルについて述べることができる。
3. 健康教育の技術について述べることができる。
4. 効果的な健康教育を展開することができる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

2年次後期公衆衛生看護支援技術Ⅰで学んだ知識および公衆衛生看護支援技術Ⅱ、及び地域診断論の知識をもとに健康教育を企画・実施・評価します。

《評価の方法》

演習 60%(到達目標1.2.3.4) ・レポート30%(到達目標1.2.3)
学習態度10 %

《テキスト》

- (1)『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2022年）
- (2)『国民衛生の動向 2024-2025』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2024年）

《参考図書》

『標準保健師講座[2]公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著 医学書院 2023年）
適宜、ハンドアウトを配布する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（レポートは最終回提出のため、確認後、3週間以内に返却する ）
授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション □タブレット端末の利用

グループで健康教育を企画実施評価する過程においては、積極的な参加を期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

渡邊路子 月曜日12：30～14：30(実習期間中で不在の場合は、watanabe-m@sutoku-u.ac.jpへ)その他の教員については、ポータルサイトの「オフィスアワー一覧を参照」

科目名	健康教育論	授業科目番号	2313110
担当者氏名	渡邊 路子、駒形 三和子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス 公衆衛生看護における健康教育と展開方法 キーワード (健康教育・健康課題の抽出・展開過程)	ガイダンス / 公衆衛生看護における健康教育の展開方法についての一連の過程について確認する。 (予習)(60分) テキスト6章および2年次後期公衆衛生看護支援技術Ⅰ配布のレジュメを読む。地域でどのような健康教育が行われているか調べてくる。 (復習)(30分) 地域のニーズ・健康課題から健康教育の展開について再確認する。	渡邊 路子
2	健康教育の展開① キーワード (地域のニーズ・健康課題の抽出・内容の絞り込み)	地域のニーズ・健康課題から健康教育のテーマを設定する。グループワーク (予習)(30分) 公衆衛生看護支援技術Ⅱで抽出した地域のニーズ・健康課題・健康教育のテーマを考えてくる。 (復習)(30分) 抽出された健康課題・テーマについて、再確認する。	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
3	健康教育の展開② キーワード (企画書)	健康教育の企画書の作成。グループワーク (予習)(30分) 地域の健康課題から抽出された健康教育のテーマに沿って企画書(案)を考えてくる。 (復習)(30分) 企画書の内容が、健康教育の対象者・目的に沿っているか再度確認する。	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
4	健康教育の展開③ (指導案・シナリオ)	健康教育の指導案・シナリオを作成する。グループワーク (予習)(30分) 企画書をもとに指導案を考えてくる。 (復習)(30分) 企画書と指導案及びシナリオの整合性を確認する。	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
5	健康教育の展開④ キーワード (媒体作成)	健康教育の指導案作成の技術と実施の過程について理解する。グループワーク (予習)(60分) 媒体の準備。 (復習)(30分) 効果的な媒体であるか再確認する。	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
6	健康教育の展開⑤ キーワード (リハーサル)	健康教育の媒体作成とリハーサルを行い、効果的な健康教育実施に向けて準備する。グループワーク (予習)(60分) シナリオのインプット、媒体の確認。 (復習)(60分) リハーサルを踏まえて、本番に向けて準備する。	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
7	健康教育の実践 キーワード (健康教育)	健康教育を実施する。プレゼンテーション (予習)(30分) 実施に向けて準備する。 (復習)(30分) 実施した健康教育を振り返る。	渡邊 路子 駒形三和子 田辺 生子
8	健康教育の評価・まとめ キーワード (評価指標、PDCAサイクル、地域の健康課題解決)	実施した健康教育を評価する。さらに、授業全体を振り返り、対象者の特定を踏まえた効果的な健康教育とはについて考察し、レポートを作成する。グループワーク他 レポート課題「公衆衛生看護における健康教育の効果的なアプローチ」授業時間内に提出する。 (予習)(30分) 第1回～7回の講義・演習を振り返る。 (復習)(30分) 健康教育に関連する過去の国家試験問題を調べて解いてみる。	渡邊 路子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。DMAT隊員として災害派遣の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、災害保健医療体制の原則や災害看護について教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

過去の災害の経験と教訓を共有し、災害対応における共通の言語と原則、被災者の生命と健康の維持のために必要な知識や応急処置について、演習やグループワークを通じて学ぶ。災害看護論を基盤に実際に県内外で発生した地震・雪害・台風・豪雨・原子力災害について振り返り、看護職および地域住民の視点から災害種別毎の被害想定や防災・減災対策を考える。また、居住地のハザードマップを確認し、災害への備えを検討する。

《授業の到達目標》

1. 大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方（CSCATTT）を述べることができる。
2. START法のトリアージを行うことができる。
3. 災害時の応急処置（三角巾による固定、搬送）を行うことができる。
4. 地域特性を踏まえた地震・雪・台風・豪雨・原子力災害の被害を想定することができ、防災・減災対策を考えることができる。

《先修科目》

災害看護論

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

災害対応に関する共通言語と基本原則を理解し、被災地内における適切な災害対応を実践できるようになるための基盤を身につけるとともに、防災・減災対策の質の向上につながる基礎的能力を養う。

《評価の方法》

定期試験 60% （到達目標1.2.4）
 実技確認 30% （到達目標3）
 グループワーク貢献度 10% （到達目標4）

《テキスト》

『新体系 看護学全書 看護の統合と実践② 災害看護学（第3版）』（小井土雄一、石井美恵子編 メヂカルフレンド社 2020年）
 『看護診断ハンドブック 第12版』（リンダ J. カルペニート 医学書院 2023年）

《参考図書》

『多職種連携で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力』医学書院
 『ファーストエイド すべての看護職のための緊急・応急処置』へるす出版

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（実技確認は、9・10回目の授業中に評価と解説をします。グループワーク貢献度は、グループワークによる発言や参加態度をもとに評価します。）
 授業形態：□講義形式 □グループワーク □プレゼンテーション □演習
 ・ご自身の居住地のハザードマップに関心を持ち、居住地の災害のリスクを知りましょう。
 ・演習やグループワークでは活発なディスカッションをして、皆さんと学びを共有しましょう。
 ・災害看護初期対応の演習では、『看護診断ハンドブック 第12版』を使用します。

《備考》

応急処置の演習では、三角巾を使用しますので各自が準備してください。

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じてメールで連絡してください。

科目名	災害看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害看護初期対応 キーワード (指揮・命令、安全、情報伝達、インシデントコマンドシステム)	大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方(CSCATTT)について学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.1~46を読み、CSCSTTTの概念について調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
2	災害看護初期対応 キーワード (評価、トリアージ、ゾーニング)	大規模災害時のマネジメントにおける基本的な考え方(CSCATTT)について、多数傷病者の受け入れ準備について学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.1~46を読み、CSCSTTTの概念について調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
3	災害看護初期対応 キーワード (一次トリアージ、治療、搬送、看護師の役割)	START法のトリアージ、トリアージエリア別の看護についてについて学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.61~66を読み、START法トリアージについて調べる。看護診断、看護計画について再学習しておく。) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
4	災害看護初期対応 キーワード (赤・黄・緑・黒エリアの傷病者の特徴)	トリアージエリア別の看護について学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (看護診断、看護計画について再学習しておく。) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
5	災害時の避難所設営 キーワード (避難所、CSCAHHH、避難行動要支援者)	地震災害発生直後に、自らの生命を守るための行動を学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.153~181を読み、CSCAHHHの概念について調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
6	災害時の避難所設営 キーワード (一次トリアージ、ヘルスケアトリアージ)	要配慮者対応の共通言語(CSCAHHH)を学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.153~181を読み、CSCAHHHの概念について調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
7	災害時の避難所設営 キーワード (指定避難所、生活環境のアセスメント、避難生活による健康問題)	避難所の生活環境をアセスメントし、避難所で生じやすい健康問題と予防対策について学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.153~181を読み、災害時の要配慮者の支援について調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
8	災害時の避難所設営 キーワード (深部静脈血栓症予防、感染症予防、避難所のレイアウト)	避難所の生活環境を改善する方法を学ぶ 学習方法:講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (テキストP.100~110、P210~213を読み、深部静脈血栓症予防、感染症予防について調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹

科目名	災害看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313150
担当者氏名	春川 一樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	応急処置 (A・Bチーム) キーワード (三角巾、包帯、搬送)	災害時の応急処置(三角巾による固定と搬送方法)について学ぶ 学習方法: 演習 予習(30分): (参考図書などをもとに、三角巾の使用方を調べる) 復習(30分): (演習の内容を振り返り、三角巾の使用方を繰り返し練習する)	春川 一樹
10	応急処置 (A・Bチーム) キーワード (三角巾、包帯、搬送)	災害時の応急処置(三角巾による固定と搬送方法)について学ぶ 学習方法: 演習 予習(30分): (参考図書などをもとに、三角巾の使用方を調べる) 復習(30分): (演習の内容を振り返り、三角巾の使用方を繰り返し練習する)	春川 一樹
11	ガイダンス・地震災害 キーワード (都市部・山間部・過疎地域の環境、社会の特徴、防災減災対策)	地域特性を踏まえた地震災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する 学習方法: 講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (学校や居住地のハザードマップを調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
12	雪害 キーワード (大雪による社会への影響、病院への影響、防災減災対策)	地域特性を踏まえた雪害(大雪)による被害を想定し、防災・減災対策を検討する 学習方法: 講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (学校や居住地のハザードマップを調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
13	台風・豪雨災害 キーワード (内水氾濫・外水氾濫、防災減災対策)	地域特性を踏まえた台風・豪雨災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する 学習方法: 講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (学校や居住地のハザードマップを調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
14	原子力災害 キーワード (放射線・放射性物質・汚染・被ばく・社会への影響、防災減災対策)	地域特性を踏まえた原子力災害による被害を想定し、防災・減災対策を検討する 学習方法: 講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (学校や居住地のハザードマップを調べる) 復習(30分): (講義・演習の内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹
15	被害想定演習 キーワード (ハザードマップ・DMAT・被災地支援)	ハザードマップをもとに、居住地の被害想定と課題を明らかにする 学習方法: 講義、グループワーク、プレゼンテーション 予習(30分): (学校や居住地のハザードマップを調べる) 復習(30分): (講義やグループワークの内容を振り返り、ノートにまとめる)	春川 一樹

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護学研究法			授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院等に16年間勤務。臨床での研究を継続するとともに、院内の研究推進委員会に所属し、研修講師や研究指導に従事した。				
実務経験を 活かした 教育内容	研究における基礎的知識の教示と研究計画書作成における実践的な指導を行う。看護研究における文献検索、文献レビュー、文献クリティークを踏まえて、研究デザインに応じたデータ収集方法や分析手法、倫理的配慮等について指導する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○4-1 看護学を探究する意欲、○4-2 看護を 追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

看護学における研究（看護研究）に必要なとなる基礎的な知識を習得する。看護研究の意義や目的を理解し、研究デザインに応じたデータ収集方法や分析手法、倫理的配慮等について学ぶ。これらの知識をもとに文献検索、文献レビュー、文献クリティークを実際に行い、関心のあるテーマから研究課題を見つけ、研究計画書の作成を体験する。

《授業の到達目標》

1. 看護における研究の意義や目的を説明できる。
2. 研究における一連のプロセス（文献検討、研究課題の明確化、研究デザインの検討、研究方法の具体化、データ収集と分析、結果と考察のまとめ）が説明できる。
3. 研究における倫理的問題と具体的配慮について説明できる。
4. 研究論文のクリティーク方法を理解し、論文のクリティークを行うことができる。
5. 関心のある研究課題について、様式にそって研究計画書を作成することができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

保健統計学（2年後期・必修）や疫学（2年後期・選択）で学んだ知識が、研究疑問や数量データの分析方法の検討では重要になります。また、数量データの分析方法では、本科目と並行して開講される統計分析法の学習内容との関連も深い科目です。

《評価の方法》

研究計画書の課題 70%：授業内で指示されたA4の用紙で2～3枚程度（到達目標1・2・3・4・5）、クリティークの課題20%：授業内で指示されたA4の用紙で2枚（到達目標2・3・4）、授業参加態度10%：授業中の発言、質問をもとに評価（到達目標1・2・3・4・5）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2025年）

《参考図書》

参考図書等は授業内で適宜紹介します

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□その他（研究計画書の課題は後期の看護課題研究のオリエンテーション時にコメントを付して返却します。クリティークの課題は次の講義時に返却し解説します。）

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □タブレット端末の利用

本科目は4年次の看護課題研究（卒業研究）につながる重要な科目であり、特に第8回「研究における倫理的配慮」の出席は必須です。配付資料等は必ずファイルに綴じ、4年次に活用してください。

《備考》

《オフィスアワー》

板山稔：毎週火曜 11：00～12：40 木曜 16：10～17：40 （実習期間等で不在の場合は、itayama-m@sutoku-u.ac.jp に連絡してください）
近藤ふさえ：毎週木曜 10：00～17：00（それ以外ではkondo-f@sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

科目名	看護学研究法	授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護研究とは (看護研究、研究疑問、研究プロセス、研究計画書)	研究の意義・目的、看護研究と看護実践との関連等について理解し、研究のプロセスや研究計画書の基本事項、研究論文の構造について学ぶ。 予習(60分): テキスト第1章を読む 復習(60分): 講義内容を振り返り、自己の研究疑問をリストアップしてみる	板山 稔 近藤ふさえ
2	研究疑問の立て方と研究デザイン (リサーチクエスション、研究デザイン)	リサーチクエスションの立て方や研究デザインの種類を理解する。自己の疑問をリサーチクエスションとして精錬させる方法について学び、研究デザインに照らし合わせて考える。 予習(60分): テキスト第2章を読む 復習(60分): 講義内容を振り返り、リサーチクエスションと研究デザインを検討してみる	板山 稔 近藤ふさえ
3	文献レビューとその方法 (文献検索、文献レビュー、データベース、クリティーク)	文献検索の方法を理解し、実際にデータベースを活用して興味のあるテーマに関連する文献を検索する。 予習(60分): テキスト第3章を読む 復習(60分): 文献検索を継続し、関心があるテーマに関連した文献を読んでみる	板山 稔 近藤ふさえ
4	質的研究デザイン 質的研究の特徴と分析方法 (質的記述的研究、インタビュー、コード、カテゴリー)	質的研究のデザインの特徴を理解し、質的研究における研究参加者の条件や選び方、データの収集方法、データ分析の方法と結果の示し方等について学ぶ。 予習(60分): テキスト第5章の「質的研究デザイン」、第6章の「インタビューデータの収集」第7章「質的データ分析」を読む 提示してある質的研究論文を速読して大まかな内容を把握する 復習(60分): テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める	近藤ふさえ 板山 稔
5	文献研究と事例研究 (文献研究、文献レビュー、事例研究)	文献研究や事例研究の目的・方法・成果を理解し、研究のまとめ方や研究論文としての構成について学ぶ。 予習(60分): テキスト第12章の「文献研究」を読む 提示してある質的研究論文を速読して大まかな内容を把握する 復習(60分): テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める	近藤ふさえ 板山 稔
6	量的研究デザイン① 量的研究の特徴 (量的研究、標本抽出、アンケート、尺度、実験研究)	量的研究のデザインの特徴を理解し、量的研究における標本抽出の方法、アンケートや測定等によるデータの収集方法について学ぶ。 予習(60分): テキスト第5章の「量的研究デザイン」、第6章の「アンケートデータ収集」を読む 復習(60分): テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める	板山 稔 近藤ふさえ
7	量的研究デザイン② 量的研究の分析方法 (帰無仮説、対立仮説、有意水準)	量的研究のデザインに応じた基本的な統計的検定の方法や結果の示し方等について学ぶ。 予習(60分): テキスト第7章の「量的データ分析」を読む 復習(60分): テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める	板山 稔 近藤ふさえ
8	研究における倫理的配慮 (倫理原則、倫理的配慮、インフォームドコンセント、個人情報保護、倫理審査委員会)	研究において遵守すべき倫理原則や擁護すべき権利について理解し、倫理的配慮の具体的な対応方法について学ぶ。 予習(60分): テキスト第4章を読む 課題: 「研究論文における倫理的配慮記載の実際」授業終了時に提出 復習(60分): テキスト及び配付資料の内容を整理し理解を深める	近藤ふさえ 板山 稔

科目名	看護学研究法	授業科目番号	2314070
担当者氏名	板山 稔、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	文献クリティーク① (クリティーク、論文構成)	量的・質的研究のクリティークのポイントを理解し、論文の構成を意識して深く読み込み、様式にそってクリティークを行う。 予習(60分): テキスト第3章の「文献の読み方」、第9章の「付録 文献クリティークの実践」を読む 復習(60分): 様式にそって指定された文献をクリティークする 「課題」指定された文献を読み、所定の様式(A4・2枚)にそってクリティークし、第1回の授業で指示された期限までに提出する。	板山 稔 近藤ふさえ
10	文献クリティーク② (クリティーク、論文構成)	行ったクリティークの結果をグループ内で発表し、ディスカッションを通して文献クリティークを深める。 予習(30分): 自己課題のクリティークの内容をグループ内で説明できるように準備しておく 復習(60分): 自己のクリティーク内容を振り返り、不足していた内容について加筆修正する	板山 稔 近藤ふさえ
11	文献クリティーク③ (クリティーク)	自己のクリティーク内容と照らし合わせながら量的・質的研究のクリティークの解説を聞き、クリティークのスキルを高める。クリティークのポイントを踏まえて、自分の研究課題に関連する文献を読み込む。 予習(60分): 自分の研究課題に関連する論文を探しておく 復習(90分): クリティークのポイントを踏まえて、自分の研究課題に関連する文献を読み込む	板山 稔 近藤ふさえ
12	研究論文の書き方・発表の仕方 (論文構成、抄録、口演発表、示説発表)	論文の構成と内容、書き方の基本事項を理解する。発表形式の相違と特徴を理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を理解する。 予習(60分): テキスト第9章を読む 復習(60分): テキスト及び配付資料の内容を整理する	板山 稔 近藤ふさえ
13	研究計画書の作成① (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	研究計画書の意義、形式(記載項目)と内容、作成上の注意点について理解する。自己の研究疑問に合わせて、配付する用紙にそって研究計画のアウトラインを検討する。 予習(60分): テキスト第8章を読む 復習(90分): 研究計画書の項目にそって研究計画書のアウトラインを検討する	板山 稔 近藤ふさえ
14	研究計画書の作成② (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	これまでの学習内容をもとに、研究計画書作成における疑問点に関して教員の指導や助言を受けながら研究計画書の作成を進める。 予習(60分): 研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする 復習(90分): 研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする	板山 稔 近藤ふさえ
15	研究計画書の作成③ (研究テーマ、研究背景、研究目的、研究方法、倫理的配慮)	これまでの学習内容をもとに、研究計画書作成における疑問点に関して教員の指導や助言を受けながら研究計画書を完成させる。 予習(60分): 研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする 復習(90分): 研究計画書の項目にそって記載を進める 「課題」研究計画書の項目にそって記載を進め、期限までに研究計画書を完成させ、第1回の授業で指示された期限までに提出する。	板山 稔 近藤ふさえ

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	家族看護論			授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	①精神看護師として、家族をシステムとして捉え、患者だけでなく家族全体を視野に入れた看護を提供してきた。②ひきこもり家族支援を16年間実施してきた。また、研究で家族を問い続けてきた。				
実務経験を 活かした 教育内容	家族をシステムとして捉え、患者だけでなく家族成員個々が、何を体験しているのかを掘り下げて考えることを大切にしている。自分の持つ家族像で対象をみるのではなく、対象の実態をありのまま捉え、迷いながら目標に到達できることをねらいとする。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎3-2 多職種と連携・協働する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力			

《授業の概要》

家族をシステムとしてとらえ看護する家族看護の理論を学ぶ。具体的には家族の発達周期、システムとしての家族の理解、アセスメントモデルなどである。また看護過程を学び、臨床から在宅まで、それぞれの場で暮らす家族を地域の中で看護する方法について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 家族の概念や形態、機能について、表現することができる。
2. 家族の健康問題によって発生する家族問題と援助の必要性について、説明できる。
3. 家族看護過程の概要について、述べることができる。
4. 家族アセスメント、援助の方向性を考え、説明できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

- ①レポート課題 40% 課題については講義の中で提示する。A4用紙1600字程度。(到達目標1, 2, 3)
②学習態度 60% 演習の記録内容、プレゼンテーション、授業の参加度で評価する。(到達目標 2,3,4)

《テキスト》

特になし

《参考図書》

『あなたの知らない「家族」』（柳原清子著 医学書院 2001年）
『系統看護学講座 家族看護学』（上別府圭子他著 医学書院 2024年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション

①講義と演習形式で進めます。②提示した事例について、家族看護過程を考え、それをプレゼンテーションしてもらいます。活発なディスカッションを望みます。③レポートは、最後の講義に返却します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

科目名	家族看護論	授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	家族看護とは(1)(家族の多様性、家族看護、特徴、ねらい)	ある家族の事例を読み、レポートを書く。 (予習)(120分)家族がテーマの小説や映画1つを選び、家族について考えたことをノートに記してくる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
2	家族看護とは(2)(事例を読み解く、家族の多様性、ジェノグラム)	(1)の事例の家族メンバーの様々な思いについてディスカッションする。さらに、事例を用いてジェノグラムを書き、発表する。 (予習)(120分)事例について振り返りノートにまとめる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
3	家族の情報整理(家族の概念、家族の健康、家族構造)	家族の健康、家族の構造について学習する。 (予習)(120分)配布資料をノートにまとめる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
4	家族の機能と現代家族の課題(育児機能、セルフケア機能、家族の様相と健康ニーズ)	家族の育児やセルフケア、現代家族の様相と課題について学習する。さらに、現代家族の特徴と自分の家族について、レポートを書く。 (予習)(120分)配布資料をノートにまとめる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
5	看護と家族の接点(危機理論、家族システム理論、地域の資源と多職種協働)	看護対象として家族を知る、さらに看護介入の基礎を理解する。 (予習)(120分)自分の家族を援助対象として捉えたと仮定して、どう説明するか。実際に書いてくる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
6	家族看護について(家族アセスメント、家族の適応状況、家族の対応能力、発達課題)	事例の全体構造を記録用紙に整理し、家族看護過程の構造を学ぶ。 (予習)(120分)配布資料をノートにまとめる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
7	成人の家族看護(1)(事例展開)	ある家族の事例について、問題の明確化まで考える。 (予習)(120分)配布資料をノートにまとめる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
8	成人の家族看護(2)(事例展開)	ある家族の事例について、援助計画の方向性を考える。 (予習)(120分)これまでの学びを整理してくる。 (復習)(60分)授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子

科目名	家族看護論	授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤 まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	小児と家族看護(1)病気や障害のある子ども、社会的、身体的・心理的背景、事例展開)	小児患者の家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) (120分)事例を読みノートにまとめて来る。 (復習) (60分)事例アセスメントの見直しをする。	斎藤まさ子
10	小児と家族看護(2)(事例展開)	事例の援助の方向性について考え、プレゼンテーションする。 (予習) (120分)事例の援助の方向性について整理してくる。 (復習) (60分)学びを整理する。	斎藤まさ子
11	高齢者介護と家族看護(1)(介護負担、介護における幸福感、高齢者虐待)	高齢者介護を行う家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) (120分)事例を読みノートにまとめて来る。 (復習) (60分)事例アセスメントの見直しをする。	斎藤まさ子
12	高齢者介護と家族看護(2)(事例展開)	事例の援助の方向について考え、プレゼンテーションする。 (予習) (120分)事例の援助の方向性について整理してくる。 (復習) (60分)学びを整理する。	斎藤まさ子
13	精神を病む人と家族看護(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	精神障害者と暮らす家族について学習し、事例をアセスメントする。 (予習) (120分)事例を読みノートにまとめて来る。 (復習) (60分)事例アセスメントの見直しをする。	斎藤まさ子
14	精神を病む人と家族看護(2)(事例展開、まとめ)	事例の援助の方向について考え、プレゼンテーションする。 (予習) (120分)事例を読みノートにまとめて来る。 (復習) (60分)学びを整理する。	斎藤まさ子
15	まとめ、レポート作成	家族看護について、振り返る。さらに、レポートを書く。 (予習) (120分)授業全体の資料を見て気付いたことや疑問点を書いてくる。 (復習) (60分)学びを整理する。	斎藤まさ子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312050
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、◎2-4 自己の看護実践を振り返る力			

《授業の概要》

急性期・周手術期にある成人を受け持ち、患者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、集中管理・治療・ケアなどの生命の危機状態にある患者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開していく過程で、患者とその家族の個性を捉え、変化に応じた看護援助のあり方を考え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。

《授業の到達目標》

急激に健康状態が変化した対象および家族を総合的に把握し、治療過程と看護について説明できる 対象の回復過程に沿った看護計画を立案し、早期回復・セルフケア促進に必要な看護援助を実践できる 退院に向け、多職種連携、社会資源の活用や生活を支える支援方法について説明できる 急性期や重症の状態にある対象・家族およびその看護の特徴について説明できる 対象・対象を取り巻く人々の倫理的課題を理解し、看護学生として責任ある行動をとることができる

《先修科目》

基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

成人期の特徴と健康問題、理論・概念の学習は、成人看護概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを基礎とする。

《評価の方法》

実習における看護援助（実習態度、意欲を含む）カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。100%（到達目標1～7）

《テキスト》

なし

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却
授業形態：臨地実習□グループワーク

《備考》

《オフィスアワー》

広井貴子：毎週水曜日、金曜日12:30～13:30 メールでのご連絡は、hiro-i-t@m.sutoku-u.ac.jp
他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	成人看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312050
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	キーワード (急性状態にある人の看護)	1. 実習期間：2週間 2. 実習場所、実習内容、実習時間(予習・復習含む)については、実習要項を参照する。	広井 貴子 目黒 優子 近藤ふさえ
2	キーワード (急性状態にある人の看護)	3. 実習目的 急性期・周手術期にある侵襲的治療を必要とする対象者とその家族の特徴を総合的に理解し、科学的根拠に基づいた回復および適応への援助を行い、退院に向けた多職種連携を学ぶ。さらに看護過程の展開を通して、対象者の発達段階と健康レベルに応じた個別的な看護の実践方法を学び、看護の基本的な知識・技術・態度を学修する。	
3	キーワード (急性状態にある人の看護)	4. 実習内容 急性期・周手術期にある対象者を受け持ち、対象者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、生命の危機状態にある対象者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開し、個別性を捉え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。	
4	キーワード (急性状態にある人の看護)	5. 事前学習：1) 受け持ちが予測される疾患の病態生理、症状、検査、術式、治療と生体の影響、看護。2) 急性期における合併症(呼吸、循環、消化器系、疼痛、神経障害、術後せん妄、感染など) 3) 退院支援への援助 (120分) 看護技術について; 1) バイタルサイン測定(血圧は電子血圧計)とフィジカルアセスメント 2) 臥床患者のベッドメイキング 3) 車いすの移乗・移送 4) 清潔の援助 5) 排泄の援助(陰部洗浄) (120分)	
5		学習方法：臨地実習	

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312060
担当者氏名	目黒 優子、近藤 ふさえ、広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-4 自己の看護実践を振り返る力, ○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

慢性疾患を持つ対象者および家族を理解し、QOLの維持・向上を目指したセルフケア能力や健康問題に適應する能力を支援する看護実践について学修する。

《授業の到達目標》

成人看護学実習Ⅱ（慢性期看護学実習） 実習要項の Ⅱ．実習目標 1～6 参照

《先修科目》

「成人看護学概論」「成人看護援助論Ⅱ」「成人看護援助論Ⅲ」「基礎看護学実習Ⅱ」「病態治療論Ⅰ～Ⅵ」「薬理学」

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

「成人看護学概論」「成人看護援助論Ⅱ」「成人看護援助論Ⅲ」「基礎看護学実習Ⅱ」「病態治療論Ⅰ～Ⅵ」「薬理学」

《評価の方法》

成人看護学実習Ⅱ（慢性期看護学実習） 実習要項 10．評価 1）～4） 参照

《テキスト》

適宜提示します。

《参考図書》

成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲで引用したテキストおよび配布資料

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（すべての実習が終了してから）

実習オリエンテーションで提示された事前学習に取り組んで実習に臨むこと。各自で健康管理に留意し体調を整えて実習に臨むこと。

《備考》

実習要項および実習ガイドブックをファイリングしておくこと

《オフィスアワー》

目黒：mguro-y@m.sutoku-u.ac.jp（水・金曜日；12：10～13：00，16：30～18：00）他の担当者は、ポータルサイトに掲示されているオフィスアワーを確認してください。

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312060
担当者氏名	目黒 優子、近藤 ふさえ、広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	キーワード (慢性期看護, セルフマネジメント, セルフケア, カンファレンス,)	成人看護学実習Ⅱ 実習要項 参照 【実習施設】長岡西病院、小千谷さくら病院、見附市立病院 【予習】実習要項の事前学習項目を確認し、いつでも活用できるようにノートを作成しておく、基礎看護技術については、メディカルオンラインのビデオ動画等を活用して動画を確認しておく。 【知識確認テストの実施】実習初日および最終日に行う。	目黒 優子 近藤ふさえ 広井 貴子

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312110
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	科目の各担当教員が看護師としての病院勤務を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	各担当教員が高齢者看護の実務経験を活かし、授業の到達目標に則し実習指導を行う。施設で生活する高齢者を受け持ち、目標志向型思考の視点で健康課題を抽出し看護過程を展開する科目である。加齢に伴う症候、高齢者特有の疾患とその看護について、学んだ知識や技術を統合して高齢者看護を実践する科目である。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、目標志向型思考の視点で看護過程を展開する。看護過程の展開にあたり援助の人間関係を築き、高齢者の発達課題、生活史や信条、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の維持・増進を考え、高齢者のQOL向上を考えた看護を実践する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《先修科目》

基礎教育科目、専門教育科目のほか、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱである。また、実習の履修要件科目として、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱを修得していることが必要である。

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

2年次履修の老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、3年次履修の老年看護援助論Ⅱを重要な関連科目としている。

《評価の方法》

実習要項の実習評価（ルーブリック評価表）を用いて評価する（100％）（到達目標1～5）

《テキスト》

- ・系統看護学講座 老年看護学（北川公子 他著 医学書院 2025年）
- ・系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論（鳥羽研二 他著 医学書院 2025年）
- ・ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 第3版（奥宮暁子 編著 医歯薬出版株式会社 2024年）
- ・老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱの講義資料

《参考図書》

なし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：

授業形態：臨床現場での実習

- ・日常生活の中で高齢者と接する機会を大切にして、高齢者を支える生活を意識して過ごして下さい。
- ・高齢者に関する情報に関心を持ち日々過ごして下さい。

《備考》

《オフィスアワー》

青柳直樹：毎週木曜日11：00～14：00（学外業務、実習期間中で不在の場合は、aoyagi-n@sutoku-u.ac.jpへ）
その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	老年看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312110
担当者氏名	青柳 直樹、角山 裕美子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	キーワード (介護老人保健施設、目標志向型思考、多職種連携)	1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：介護老人保健施設（桃李園、ぶんすい） 3. 実習内容：実習要項参照	青柳 直樹 角山裕美子 多田 健一
2		4. 事前学習（180分）： (1) 高齢者に多くみられる疾患と看護、高齢者の生活を支える支援、リハビリテーション看護、介護老人保健施設の目的・役割・機能、看護職が果たす役割と多職種連携について、ノートにまとめる。 (2) 既習の日常生活援助技術の技術練習を行う。	
3		(3) その他の事前学習：老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰおよび老年看護援助論Ⅱの講義資料とテキストをもう一度復習しておくこと。加えて、高齢者への援助が必要となる看護技術実践に向けて、看護技術の復習や練習をして実習に臨む。 5. 事後学習（120分）：実習の一連の過程を経て、自己の老年看護観についてレポートとしてまとめる。	

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312120
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	各担当教員が看護師としての病院勤務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	各担当教員が高齢者看護の実務経験を活かし、授業の到達目標に則した指導を行う。地域で生活する高齢者や地域包括ケアについて理解し、高齢者が地域で暮らし続けるためのケアのあり方を学生自身が考察できるように指導していく。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎3-2 多職種と連携・協働する力、◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域で生活する高齢者の健康保持・増進・疾病予防・介護予防や日々の暮らしを様々な側面からサポートする仕組み、保健医療福祉・介護の連携・協働、地域住民の生活を守る包括的・継続的支援について学ぶ。地域密着型サービスのケアを通し、高齢者がくらし慣れた地域で生活していくためのケアのあり方を考察する。地域包括支援センターでは、高齢者のくらしを地域でサポートするための拠点として、「介護予防ケアマネジメント」「包括的・継続的ケアマネジメント」「総合相談」「権利擁護」の実際を通して、個人・地域特性に応じた健康環境づくりや健康保持増進に関連する地域の組織的な暮らしを地域で包括的・継続的に支援することの意義を考察する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《先修科目》

2年次までのすべての専門基礎科目の必修科目および基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ（学生便覧の履修要件参照）

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

2年次までのすべての専門教育科目および老年看護援助論Ⅱ、特に老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ

《評価の方法》

実習要項の実習評価を用いて評価する（100％）（到達目標1～5）

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料、テキスト

《参考図書》

- 『地域特性がみえてくる地域診断 地域包括支援センターの活動充実を目指して』（都筑千景 編著 医歯薬出版 2020年）
- 『地域包括ケアの原点 小山剛の仕事』（辻哲夫 他編著 第一法規 2019年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：実習最終日に評価面接を実施する。

授業形態：学内実習：プレゼンテーションおよびグループワーク 施設実習：施設のスケジュールに従った臨地実習

《備考》

《オフィスアワー》

オフィスアワー実施一覧の記載の通り。教員が不在の場合もあるので、事前にメール等でアポイントを取ること。

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312120
担当者氏名	多田 健一、角山 裕美子、青柳 直樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	以下の施設における実習および学内実習 ・地域包括支援センター ・シルバー人材センター ・こぶし園サポートセンター キーワード (地域包括ケア、介護予防、健康保持増進、チーム医療)	1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：地域包括支援センター（長岡市、見附市）、高齢者総合ケアセンターこぶし園（各サポートセンター）、シルバー人材センター 3. 実習内容：実習要項参照 事前学習：実習要項に記載している内容について、テキスト等を用いてノートにまとめること。（180分）	多田 健一 角山裕美子 青柳 直樹

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習			授業科目番号	2312160
担当者氏名	永谷 智恵、船岡 未恵、伊藤 文子、沼野 博子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師としての病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を生かして、臨床などにおいて患児・家族に必要とされる看護を実践的に教育する。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

保育所、病院、重症児施設での実習を通して子どもとの関わりから成長発達を理解し、さまざまな健康状態に応じた子どもと家族の看護実践から小児看護に必要な知識・技術・態度を修得する。保育所では地域で生活する子どもたちと関わり、健康な子どもの成長発達や子育て支援の実践を学ぶ。病院では健康障がいを持つ子どもを受け持ち、小児看護における看護過程を実施する。重症児施設では障がいのある子どもとその家族に必要な療育支援の実践を学ぶ。

《授業の到達目標》

実習要項にある実習目標を参照

《先修科目》

基礎看護学実習Ⅱ、小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱで学修した知識・技術を基盤にして看護実践する科目である。

《評価の方法》

実習要項にある実習評価で評価(100%)

《テキスト》

購入済み

《参考図書》

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱで使用したテキスト、参考図書、講義資料

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 □その他（ ）

授業形態：□実習

履修条件を確認する

実習要項を参考に実習に関連した既習の知識や技術を復習し、実習に臨む

体調管理を徹底し、積極的な態度で実習に臨む

《備考》

先行科目：小児看護学実習は、既習の小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱを基盤にして展開する。

《オフィスアワー》

永谷：木（12～14時）、その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習	授業科目番号	2312160
担当者氏名	永谷 智恵、船岡 未恵、伊藤 文子、沼野 博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	小児看護学実習 キーワード (看護展開、看護実践 他)	1. 実習期間：2週間・90時間 2. 実習場所：保育所、病院、重症児施設 3. 実習内容：実習要項参照 4. 事前課題：実習要項参照(120分)	船岡 未恵 伊藤 文子 沼野 博子 永谷 智恵

科目名	母性看護学実習			授業科目番号	2312200
担当者氏名	佐藤 初美、小川 久貴子、森 美由紀			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	臨床指導者と協働しながら、助産師としての勤務経験（病棟・外来）を基に妊娠期～分娩・産褥新生児期までの対象理解と必要な援助への助言・実施の支援を通して看護過程の一連のプロセスを教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

周産期にある母性看護の対象者（妊産婦・新生児・胎児を含む）とその家族に対して、既習の知識・技術・対応を統合し、ウェルネス看護の視点で個別性のある看護過程を展開する。

実習は病院の産婦人科病棟、外来（妊婦健診、助産師外来、母乳外来）などで学ぶ。また、女性と家族が次世代を産み育てるために、家庭や地域における継続的な母子支援も体験する。具体的には、産後ケア施設や子育て支援施設での実習など、多様な場で学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 対象への関わりを通して対象の体験と多様な価値観を理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥期および胎児・新生児の経過に関連つけて理解できる。 3. 対象の主体性を尊重したケアを実践できる。 4. 母子や家族を取り巻く環境を理解できる。 5. 必要なサポートシステムを理解できる。 6. 母子ケアを行う際の倫理的課題について考えることができる。 7. 母子保健チームにおける看護者の役割を理解できる。

《先修科目》

基礎看護学実習Ⅱ、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護学援助論Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

実習では、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱの学修内容を基に妊娠期・産褥期・新生児期・分娩期のケアを展開する。

《評価の方法》

到達目標に則ったルーブリック評価表 100%（到達目標1,2,3,4,5,6,7）。

《テキスト》

母性看護援助論Ⅱで使用したテキスト一式

『系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著 医学書院）
『新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子 他著 インターメディカ）
『ウェルネスの視点にもとづく母性 看護過程第4版』（太田操編著 医歯薬出版）

《参考図書》

『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media
『母性看護学Ⅱ（第2版）』有森直子ら 医歯薬出版株式会社

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（実習中に確認し実習中に返却）

授業形態：■ディスカッション■グループワーク■プレゼンテーション■教育リソースの利用（利用リソース名：DVD）

・実習前には、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱで学んだ知識を整理し、実習事前ノートを作成して臨むこと。

・母性看護学実習対象者の特性を考慮して、対象者の安全・安楽、羞恥心やプライバシーに配慮し、人権尊重の理念と個人情報保護を徹底する。そのためにも実習前に技術練習をして臨むこと。

《備考》

《オフィスアワー》

佐藤初美：毎週水曜日11：30～13：00（実習期間中で不在の場合はsatou-h@sutoku-u.ac.jpへ）

その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	母性看護学実習	授業科目番号	2312200
担当者氏名	佐藤 初美、小川 久貴子、森 美由紀		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	母性看護学実習	1. 実習場所 1) 病院 2) 子育て施設・産後ケア施設	佐藤 初美 小川久貴子 森 美由紀
2	(継続的な母子支援)	2. 実習期間：2週間	
3	(周産期・妊産褥婦の看護 ・ウエルネス看護の視点・産褥期変化・胎外生活適応過程)	3. 実習内容 母性看護学実習要項参照	
4		4. 事前学習 提出期限：各実習オリエンテーション開始時 提出先：各担当教員 1) 指定項目に基づき、必要な基礎的知識を調べる 180分 2) 実習に必要な看護技術について復習する 90分	

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習			授業科目番号	2312240
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、精神看護について実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、 ○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

精神看護学実習では、患者－看護師関係を築きながら、精神に障がいをもつ個人を生物的・心理的・社会的に捉え、強みを活かした健康回復への支援を実施する。関係構築の過程を通して対象者の体験を把握する能力と自己洞察の能力を養う。さらに、精神保健福祉における多職種チームの中での看護師の役割について理解し、看護者として対象者が地域で生活を営む上での必要な援助について理解する。病棟実習、社会復帰施設での実習を行う。

《授業の到達目標》

1. 対象者との相互関係の中で精神に障がいを持つ人を多面的な視点でとらえ、説明することができる 2. コミュニケーション技術を用いて、対象者との関係を発展させることができる 3. 対象者を一人の生活者としてとらえ、セルフケア能力を高めるための個別的援助をすることができる 4. 対象者が地域で生活するために、多職種と連携し、社会資源を活用した援助方法を考えることができる 5. 地域で行われている精神保健・医療・福祉活動を知り、看護の役割を述べることができる。

《先修科目》

基礎看護学実習Ⅱ、精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

精神看護学概論および精神看護援助論Ⅰ・Ⅱで修得した知識・技術・態度を基盤として、臨地において対象者と直接関わりながら精神看護の実践能力を養う科目である。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する（100％）（到達目標1・2・3・4・5）。

《テキスト》

学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。

《参考図書》

『精神看護学 学生－患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著 医歯薬出版 2024年）
『パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護』（萱間真美編 照林社 2015年）

《履修上の留意点》

授業形態：☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション

実習に関連した既習学習をしっかりと復習して臨むこと。
体調を整え、積極的に実習に臨むこと。

《備考》

《オフィスアワー》

主担当藤田は、毎週金曜日12：10～14：10（研究室A625）連絡は実習用携帯かメールで
他の教員はオフィスアワー一覧参照

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習	授業科目番号	2312240
担当者氏名	藤田 勇、板山 稔、成田 みぎわ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：田宮病院、デイケア、社会福祉施設 3. 実習内容：実習要項参照 事前学習：精神看護の基本的技法、主な精神疾患の特徴と治療・看護、精神保健福祉法、地域精神保健福祉制度など（120分）。課題提出はなし。	藤田 勇 板山 稔 成田みぎわ

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学実習			授業科目番号	2313200
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子、平澤 則子、渡邊 路子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護職として地域・在宅看護学に係る地域での実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	地域・在宅看護において求められる専門的な知識をもって、臨地実習者と協働しながら、学生の誠実さと柔軟さのある看護の修得をサポートします。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、 ○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

訪問看護ステーションでは、在宅療養者のご自宅を訪問し、療養環境を踏まえた訪問看護過程を展開する。そのために、療養者と家族の思いを実際に聴き、人生の物語の観点から課題を抽出し、看護目標・計画を考えていく。さらに、地域の中の社会資源を知り、その活用の実際と多職種連携について考える。また、複数の多様な訪問看護ステーションでの実習の経験を学内カンファレンスで共有し、地域・在宅看護のあり方について考察する。これらを通じて、地域で生活するさまざまな健康レベルにある人びとへの看護のあり方を理解し、看護実践の基盤とする。

《授業の到達目標》

1. 訪問看護を通して、在宅療養者とその家族の特徴を理解し述べることができる。
2. 在宅療養において、援助課題を評価し、本人と家族の特徴に応じた訪問看護計画を立案・実施・評価することができる。
3. 訪問看護の実習を通して在宅で行う看護技術の特徴とその方法を説明することができる。
4. 在宅療養を支援する社会資源と多職種連携について述べることができる。
5. 在宅ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護の役割について述べることができる。

《先修科目》

地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論Ⅰ、地域・在宅看護援助論Ⅱ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

先修科目の知識と技術を合わせて、地域や在宅での看護展開に向けた誠実で、主体的な実習を行うことを目指します。

《評価の方法》

実習状況・態度 90%（到達目標の1.2.3.4.5）

レポート10%（到達目標の5）

以上の配点で、実習評価表を用いて評価する。ただし、次年度導入予定のルーブリック評価表もトライアルとして併用する。

《テキスト》

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子他著 医学書院 2024年）

『系統看護学講座 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践』（河原加代子他著 医学書院 2024年）

《参考図書》

『療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程』（尾崎章子・蒔田寛子編著 医歯薬出版 2023年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■成績確定後、レポートと実習評価表を除いた記録物1式を返却する。

- ・実習要項をよく読み、先修科目の復習をし、事前学習を行い、実習に臨んでください。
- ・常に療養者と家族の立場を考え、尊厳、人権擁護、守秘義務、安全や倫理面への配慮、時間管理に留意した誠実な行動を期します。

《備考》

履修要件：基礎看護学実習Ⅱ、地域・在宅看護学概論、地域・在宅看護援助論Ⅰ及びⅡを修得していること。

《オフィスアワー》

山崎節子：毎週水曜日12：20～12：40（不在の場合はyamazaki-s@sutoku-u.ac.jpへ）

その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	地域・在宅看護学実習	授業科目番号	2313200
担当者氏名	山崎 節子、菅原 京子、田辺 生子、平澤 則子、渡邊 路子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1. 実習時間：2週間（2単位90時間） 2. 実習場所：訪問看護ステーション 3. 実習内容：事前学習（180分）も含めて、2026年度地域・在宅看護学実習実習要項を参照のこと。	山崎 節子 田辺 生子 菅原 京子 駒形三和子 渡邊 路子 平澤 則子

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	英文講読			授業科目番号	1102120
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	企業通訳・翻訳、在宅翻訳				
実務経験を 活かした 教育内容	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		○4-1 看護学を探究する意欲, ◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力			

《授業の概要》

「ベーシック英語」「看護に活かすコミュニケーション英語」「医療英語」等で獲得した能力を基盤とし、看護や医療の分野に関する英文記事や英語論文の講読を通して、職業人として必要とされる、より高次の英語読解能力を獲得する。「課題研究」のテーマなど関心の高いテーマについて自ら英文記事や英語論文を検索して情報を収集し、英文を正確に読んで内容を理解するとともに、書かれている内容を要約し、わかりやすく発表する能力を養成する。発表の場は、研究報告などの研究会や学術研究発表会などを想定する。報告までの過程において、課題に主体的・計画的に取組み、学習者同士支援し合うなど、深く学び合う（協働学習）姿勢を求めます。なお本シラバスは、時間割や履修人数によって学修成果の最適化のために変更することがあります。不明・不安なことは、グーグルクラスルームの機能を活用して共有するなどして快適に学修しましょう。

《授業の到達目標》

- ①適切な文献検索ができる（Abstractを読める）
- ②科学記事、専門書、論文の構成を理解し、研究倫理に即したサマリーを作成し、報告できる
- ③Academic LanguageとEveryday Languageの違いを理解し、正しく使う努力ができる

《先修科目》

ベーシック英語I&II、看護に活かすコミュニケーション英語

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

基礎ゼミナール、ゼミ

《評価の方法》

記事のサマリー、専門書の章のサマリー、文献解題(50%) 報告(20%) 報告発表会への参画（発表・質疑・コメント）多読など(30%)
提出物はグーグルクラスルームにて校閲・コメント・採点を行う。詳細は初回に説明します。

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜紹介

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☐最終講義時に返却 ☐次回講義時に返却 ☐その他（ ）
授業形態：☐講義形式 ☒ディスカッション ☒グループワーク ☒プレゼンテーション ☐双方向（ICTの活用）
☐タブレット端末の利用 ☐教育リソースの利用（利用リソース名： ）

電子ジャーナルやデータベース、文書作成アプリや校閲アプリが利用できる環境を整備しておいてください。

《備考》

本科目は、3年次前期配置の選択科目「医療英語」を履修していなくても、履修できます。

《オフィスアワー》

連絡は英語でメールしてください。詳細は初回授業時に説明します。

科目名	英文講読	授業科目番号	1102120
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	Know about academic information キーワード (Academic language)	関心のあるテーマについて討議(日英情報量の差を実感する、学術英語を知る) 各自の目標を作成する 研究のしくみ 資料の種類 検索の基本(準学術情報、電子ジャーナル、データベース他) 図書館 準備(60)分:(科学記事、学術論文を探す)	川崎真理子
2	Scientific communication/articles キーワード (Scientific articles, plagiarism)	研究報告の種類、報告の違いを知る 概要報告において意図しない剽窃行為を防ぐ 推敲の重要性 自分のデータベースを作る 予習(90)分:(①Search, read, and summarize ②Pleasure Reading)	川崎真理子
3	Sharing Articles キーワード (Scientific article)	自分の研究テーマまたはその他関心のある記事を読み、サマリーを作成して、紹介する① 質問したり、意見を述べたりする 予習(90)分:(①Search, read, and summarize ②Pleasure Reading))	川崎真理子
4	Research report キーワード (Scientific article)	自分の研究テーマまたはその他関心のある記事を読み、サマリーを作成して、紹介する② 質問したり、意見を述べたりする 予習(90)分:(①Search, read, and summarize ②Pleasure Reading)	川崎真理子
5	Chapter report キーワード (Chapter book)	専門書の一部を読み、サマリーを作成して、紹介する① 質問したり、意見を述べたりする 予習(90)分:(①Search, read, and summarize ②Pleasure Reading)	川崎真理子
6	Chapter report キーワード (Chapter book)	専門書の一部を読み、サマリーを作成して、紹介する② 質問したり、意見を述べたりする 予習(90)分:(①Prepare for presentation ②Pleasure Reading)	川崎真理子
7	Academic paper review キーワード (Presentation, discussion)	予習(90)分:(①Prepare for presentation ②Pleasure Reading)	川崎真理子
8	Academic paper review キーワード (Presentation, discussion)	研究紹介発表 自己評価	川崎真理子

科目名	韓国語			授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である韓国の文化の理解と教養を養う。具体的には、韓国語の学び方の特徴、韓国語がどのような言語であるかをまず学ぶ。そのうえで、ハングル文字と発音にフォーカスして文字と発音が一致することを修得する。また、簡単なあいさつなどの日常会話を学ぶ。韓国文化を理解するために、韓国の歴史、文化などを講義の中で多数紹介していく。韓国語の基本を学ぶとともに、韓国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

- 1. 韓国語の文字の読み、書きができる。
- 2. 入門レベルによる、基礎文法を理解し、簡単なコミュニケーションをとることができる。
- 3. 韓国の社会と文化を理解することができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

本科目に直接関連する科目は設定されていない。

《評価の方法》

定期試験 60%。（到達目標1. 2. 3）、小テスト 20%。（到達目標1. 3）
学習態度 20% 授業中の発言、態度をもとに評価する。（到達目標の1. 2. 3）

《テキスト》

『最新チャレンジ！韓国語 <第2版>』（阪堂千津子、金 順玉 著 白水社 2024年）

《参考図書》

『楽しく学べる韓国語1』（李 美賢、李 貞旻 著 白水社 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却

授業形態：□講義形式

ペア活動が多いため、学生には積極的に授業へ参加することを求める。また、初めて学ぶ言語であるため、テキストに収録されている音声機能を活用し、学習した単語や文章を朗読することも必要である。授業の理解度を確認するため、小テストを2回程度実施する。小テストの結果は、次の講義時に返却し、解説を行う。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	韓国語とハングル (韓国語の特徴とハングルの仕組み)	ガイダンス 韓国語の特徴とハングルの仕組みを学び、理解する。また、韓国語で自己紹介をする。 予習(20分) : p p. 6~7 CDを聞いて読んでくる。 復習(40分) : ハングルの仕組みをノートに整理する。	黄 仁祚
2	1課 基本母音と合成母音① (基本母音、合成母音)	基本母音10個と合成母音11個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(20分) : p p. 8~10 CDを聞いて読んでくる。 復習(40分) : p p. 9~11 表と問題を完成する。 p9 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
3	2課 基本子音① (基本子音)	基本子音14個の中、4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(20分) : p p. 12~13 CDを聞いて読んでくる。 復習(40分) : p 13 基本母音と習った子音を組み合わせて書いて読む。 学習した基本母音の単語をローマ字で書く。	黄 仁祚
4	2課 基本子音② (基本子音)	基本子音14個の中、5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 12~13 CDを聞いて激音を読んでくる。 復習(60分) : p 13 基本母音と習った子音を組み合わせて書いて読む。 学習した基本母音の単語をローマ字で書く。	黄 仁祚
5	2課 基本子音③ (激音)	基本子音14個の中、激音4個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 12~14 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p p. 14~15 CDを聞いて問題を完成する。 p 14 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
6	2課 ほかの子音 (濃音)	他の子音である濃音5個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 16~17 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p p. 16~17 CDを聞いて問題を解く。 p 18 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
7	3課 合成母音② (合成母音)	合成母音11個の中、7個を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p 18 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p 19 表と問題を完成する。 p 19 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
8	4課 パッチム① (パッチム)	パッチム「ng」、「n」、「m」、「l」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 22~23 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : パッチム「ng」「n」「m」「l」の配った資料をノートにまとめること。 p 22 単語をすべて覚える。	黄 仁祚

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄 仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	4課 パッチム② (パッチム)	パッチム「k」、「t」、「p」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 23～25 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : パッチム 「k」「t」「p」の配った資料をノートにまとめること。 p 24 問題を完成する。	黄 仁祚
10	4課 発音上手になるためのコツ (連音化)	発音が上手になるため連音化を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 26～27 読んでくる。 復習(60分) : 授業中で解いた問題をまとめる。	黄 仁祚
11	日本語のハングル表記 (日本語のハングル表記のルール)	日本語のハングル表記のルールを学び、理解した上で、日本の都市名や自分の名前をハングルで書くトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 20～21 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : 授業中で解いた問題をまとめ、読む。	黄 仁祚
12	2つの子音のパッチム (2つの子音のパッチムの読み方)	2つの子音のパッチム11個とその読み方を学び、理解した上で、短文読みトレーニングをする。 予習(30分) : p 28 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : 授業中で配ったプリントを読んでまとめておく。	黄 仁祚
13	5課 私は～です (～は～です(か)、～ではありません)	名詞の肯定文「～は～です」とその否定文「～ではありません」を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 30～33 CDを聞いて読んでくる。 復習(60分) : p p. 32～33 CDを聞いて問題を解く。p p. 32～33 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
14	5課 私は～です (かしこまった「です、ます」体)	動詞のかしこまった「です、ます」体を学び、理解した上で、読みトレーニングをする。 予習(30分) : p p. 34～36 CDを聞いて読んでくること。 復習(60分) : 授業中に配ったプリントを読んで問題を解く。p 36 単語をすべて覚える。	黄 仁祚
15	復習 韓国語の表現について (構文)	授業全体について振り返り、内容をまとめる。 予習(60分) : 既習内容の疑問点をまとめておく。 復習(60分) : 既習内容のCDを聞きながら、発音練習をする。	黄 仁祚

《基礎教育科目 基礎教育科目 表現力養成》

科目名	中国語			授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	十数年間、新潟県内の中国語講師や大学で中国語講座の講師経験がある。				
実務経験を 活かした 教育内容	幅広い年齢層の中国語学習者に接したことで、大学生にとって一番良い教授法の模索ができた。学生を主体にし、自主的な勉強ができるようにする。自己紹介を含む完璧な発音練習を一人ひとりに定着させる。また、学生が基礎を理解した上、短い文を作ってもらうため繰り返し練習をさせる。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である中国の文化の理解と教養を養う。具体的には、中国語がどのような言語であるのかをまず学ぶ。そのうえで、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。中国文化を理解するために、テーマを設定して調べ学習をする。言語の基本を学ぶこととともに、中国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

学生が、中国語はどんな言語かを理解し、その基礎をしっかりと身につけ、各自が自習できる程度に達することができる。学生は中国語のきれいな発音が手に入れ、自己紹介もができるようになって、文法力もアップする。他に、学生が中国の文化及び現状に触れ、日中文化に対して考えるようになり、日本の社会に役立つ人間づくりに努め。中国語を通じて、学生の皆は自信がつけられ、より魅力的な人間を目指せる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

定期試験60％ 提出物20％ 授業態度20％

《テキスト》

『LOVE！上海 初級中国語』（楊凱栄・張麗群著 朝日出版社 2015年）

《参考図書》

特になし

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑次回講義時に返却

授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク

テキスト購入を必須の要件とする。

授業後、教材についているCDを繰り返し聞くこと。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	中国と中国語について 発音1と自己紹介 キーワード (中国語の基礎)	中国について。中国語はどういう言語か 声調、単母音、子音を繰り返し発音し、一人ひとりに気を配り、自分の名前の読み方を覚え、自己紹介をできるように。練習問題も出す、提出が必要。 予習(15)分：(ネットで中国語について調べておく) 復習(20)分：(自分の名前の中国語読みを練習し、教材についているCDの「発音1」を繰り返し聞く)	白 雪晴
2	中国の現状など 発音2とあいさつ キーワード (中国語で自己紹介)	中国の最新ニュース 1回目の勉強内容を復習してから、母音の半分を進む。簡単な挨拶の勉強。練習問題を出して、ピンインや簡体字を書いてもらう。提出が必要。 予習(20)分：(提出物への見直し) 復習(20)分：(自分の名前の中国語読みを練習し、教材についているCDを繰り返し聞く)	白 雪晴
3	中国の旧暦の祝日 発音3 キーワード (発音に慣れる)	中国の旧暦は何か 1回目と2回目の内容を復習し、母音を全部マスターする。子音を学ぶ。練習問題を出して、授業中完成してもらう。 予習(20)分：(提出物を整理する) 復習(20)分：(教材についているCDの「発音2・3」を繰り返し聞く)	白 雪晴
4	中国の新暦の祝日 発音4 中国語発音のルール キーワード (ピンイン入力)	婦人の日、教師の日など ピンインの復習 第三声の変調、「一」「不」の変調、轻声、r化、これで中国語のピンインが完了 練習問題 予習(20)分：(教材についているCDの「発音4」を繰り返し聞く) 復習(20)分：(ピンイン入力の練習)	白 雪晴
5	中国の句の話す 第1課 動詞述語文 キーワード (少し長い文の発音練習)	判断する動詞「～是～」 人称代名詞 動詞の「姓」「叫」、名前の言い方 「吗」疑問文 練習問題 予習(20)分：(提出物をまとめる) 復習(20)分：(教材についているCDの「第1課」を繰り返し聞く)	白 雪晴
6	中国の新語 第2課 助動詞の「想」 キーワード (基本文法)	「の」に相当する「的」 指示代名詞 動詞の「在」 疑問詞疑問文 練習問題 予習(20)分：(ピンイン入力の練習としてネットで中国語について検索) 復習(20)分：(CDの「第2課」を聞く)	白 雪晴
7	中国の若者文化 第3課 形容詞述語文 キーワード (基本的な順番)	動詞の「在」 数の数え方 量詞「二」「両」 練習問題 予習(20)分：(今まで出てきた単語をまとめて復習する) 復習(20)分：(教材についているCDの第3課を繰り返し聞く)	白 雪晴
8	中国の職業事情 第4課 連動文 キーワード (動詞)	動詞の「有」、その否定「没有」 時間量の言い方 練習問題 予習(20)分：(練習問題を見直す) 復習(20)分：(CDの「第4課」を聞く)	白 雪晴

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白 雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	中国の世界遺産 第5課 疑問詞 キーワード (副詞)	中国のお金の単位 「也」と「都」 「～が好きです」の「喜欢」 練習問題 予習(20)分：(提出物を整理する) 復習(20)分：(CDの「第5課」を聞く)	白 雪晴
10	中国映画鑑賞 第6課 「怎么」の2つの使 い方 キーワード (動詞を重ねる)	助動詞「想」 動詞の重ね型 年齢の言い方 練習問題 予習(20)分：(各本文を訳す) 復習(20)分：(CDの「第6課」を聞く)	白 雪晴
11	中国のなぞなぞを使用 第7課 副詞と前置詞 キーワード (前置詞)	「也」と「都」 年月日、曜日の言い方 2つの否定「不」と「没」 「在」の動詞、前置詞の違い 練習問題 予習(20)分：(今まで出た副詞をまとめる) 復習(20)分：(CDの「第7課」を聞く)	白 雪晴
12	中国の早口言葉練習 第8課 反復疑問文 キーワード (動詞に関するルール)	動詞文と助動詞入る文の反復疑問文 実現した「了」「動詞+过」 動詞の重ね型 時刻の言い方 予習(20)分：(今まで出た動詞をまとめる) 復習(20)分：(CDの「第8課」を聞く)	白 雪晴
13	中国の飲食文化 第9課 進行形の3つの形 キーワード (連動文)	選択疑問文の「～还是～」 連動文 副詞の「还」 練習問題 予習(20)分：(今まで出た名詞をまとめ) 復習(20)分：(CDの「第9課」を聞く)	白 雪晴
14	中国の酒文化 第10課 動詞の持続形 キーワード (助動詞)	主題文 方位詞 3つのできる。「会」「能」「可以」 練習問題 予習(20)分：(今まで出た形容詞をまとめ) 復習(20)分：(CDの「第10課」を聞く)	白 雪晴
15	まとめと復習 キーワード (試験対策)	練習問題をする 予習(20)分：(今まで出た前置詞をまとめ) 復習(60)分：(試験前の復習)	白 雪晴

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅡ			授業科目番号	1104020
担当者氏名	藤田 勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務及び大学教員の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、キャリアデザインについて具体的に教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割, ◎4-1 看護学を探究する意欲, ○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

キャリアデザインとは何かを理解し、何を大切に仕事に取り組むのかを考える。また、自己の傾向を知り、自己理解と他者理解にむけてグループディスカッションを行う。さらに、専門職とは何か、プロフェッショナルとして求められる倫理、役割、機能について考える。また、看護師・保健師・助産師に関する情報を収集し、3年間の学びを振り返るとともに看護専門職としての自己の将来像を考える。そして、これらのグループワークで得たものを発表・意見交換する。

《授業の到達目標》

1. 自分の人生におけるキャリアについてまとめることができる。
2. キャリアデザインについて理解し、自分の職業に対する価値観について述べることができる。
3. 専門職者として働き、学び続ける意義について述べるができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

キャリアデザインⅠのまとめである。内容が重複することもある。

《評価の方法》

課題レポート A4用紙1200字程度 30%（到達目標3） 毎回のコメントシートの評価 30%（到達目標1・2）
自分史の作成及び発表（プレゼンテーション含む）40%（到達目標1）

《テキスト》

特になし

《参考図書》

1. 『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修 つちや書店 2022年）
2. 『看護師のためのキャリアナビ』（荒神裕之監修 秀和システム 2021年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑次回講義時に返却

授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション

《備考》

講義でパソコンを使用するので各自準備する。

課題レポートについてはコメントをして返却をする。毎回のコメントシートについては次回の授業で振り返りをする。

《オフィスアワー》

毎週金曜日12：10～14：10（研究室A625）

科目名	キャリアデザインⅡ	授業科目番号	1104020
担当者氏名	藤田 勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション (キャリア理論)	本授業の学習内容、方法について概説する。 (予習) (30分) キャリアデザインⅠで学んだことを振り返る。 キャリアデザインⅡで学びたいことをまとめる。 (復習) (30分) 配布資料に目を通す。	藤田 勇
2	キャリアアンカーとは (キャリアアンカー)	臨床で求められるキャリア形成について理解する。“キャリアアンカーとは何か”について理解し、自己の職業に対する価値について振り返る。 (予習) (30分) 自己の職業観を振り返る。 (復習) (30分) 配布資料に目を通す。	藤田 勇
3	キャリアアップ (専門看護師・認定看護師の仕事紹介、学び続けるために)	看護専門職として学び続けることの意義について学ぶ。 (予習) (30分) 専門看護師・認定看護師について既習の知識の確認をする。 (復習) (30分) 映像を視聴し、感想をまとめる。	藤田 勇
4	専門職として求められる看護師像 (専門職、看護師像)	グループワーク。“求められる看護師像”についてパワーポイントにまとめ発表する。 (予習) (30分) “求められる看護師像”について自分の考えをまとめる。 (復習) (30分) “求められる看護師像”について振り返る。	藤田 勇
5	自己理解、他者理解 (チーム、人間関係、自己理解)	グループワーク。チームの中での人間関係について学び、自己の傾向を知る。 (復習) (30分) 本日の学びを振り返る。	藤田 勇
6	自分史作成Ⅰ (キャリアデザイン、自分史)	演習Ⅰ。パワーポイントで、ライフサイクルにおける自分のキャリアデザインを作成する。	藤田 勇
7	自分史作成Ⅱ (キャリアデザイン、自分史)	演習Ⅱ。自分史を完成させ発表の準備をする。	藤田 勇
8	自分史の発表 (キャリアデザイン、自分史)	演習Ⅲ。自分史の発表をし、他者が作成したキャリアデザインを共有する。 (復習) (60分) 感想をまとめる。	藤田 勇

《専門教育科目 専門科目 生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅲ			授業科目番号	2312070
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-1 地域のネットワークを共有する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を外来看護師への相談内容、外来通院の患者、健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのイベントの企画・運営をしてヘルスプロモーション活動につなげる。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。

《授業の到達目標》

1. 地域特性や社会資源に関する資料・健康指標を活用して、地域の健康問題について説明できる。2. 地域（自分の居住地あるいは長岡市）のフィールドワークを行い保健医療福祉施設マップを作成することができる。3. 地域住民との交流から、健康に対するニーズや健康課題について明らかにすることができる。4. 成人期の健康課題に対するヘルスプロモーション活動を創造することができる。

《先修科目》

基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲ

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

位置づけ：成人期の特徴と健康問題、理論・概念の学習は、成人看護概論、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱを基礎とする。

《評価の方法》

実習における態度、意欲、カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。100%（到達目標1～4）

《テキスト》

なし

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：臨地実習□グループワーク

《備考》

《オフィスアワー》

広井貴子：毎週水曜日、金曜日12:30～13:30 メールでのご連絡は、hiro-i-t@m.sutoku-u.ac.jp
他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

科目名	成人看護学実習Ⅲ	授業科目番号	2312070
担当者氏名	広井 貴子、目黒 優子、近藤 ふさえ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	キーワード (地域における成人期の健康問題の理解・健康課題に対するヘルスプロモーション活動へ繋ぐ)	1. 実習期間：1週間 2. 実習地域：学生が生活している地域 3. 実習時間：9時～16時（余った時間は復習時間とする）	広井 貴子 目黒 優子 近藤ふさえ
2	キーワード (地域における成人期の健康問題の理解・健康課題に対するヘルスプロモーション活動へ繋ぐ)	実習目的：成人期の人々の健康を支える環境を理解する。地域で生活する人々の健康に対する認識に触れ、個人特性及び地域特性に対応した健康づくりについて学修する。	
3	キーワード (地域における成人期の健康問題の理解・健康課題に対するヘルスプロモーション活動へ繋ぐ)	実習内容：成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのヘルスプロモーション活動を学ぶ。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。	
4	キーワード (地域における成人期の健康問題の理解・健康課題に対するヘルスプロモーション活動へ繋ぐ)	事前学習 1) 新潟県下の成人期の健康問題について調べる。(120分) 2) 地域で生活する人の健康増進活動について調べる。(180分)	
5		学習方法：講義、臨地実習、チーム基盤型学習(TBL)	

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習			授業科目番号	2313120
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、菅原 京子、山崎 節子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として、行政、産業等の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を活かして、公衆衛生看護活動における保健師の役割を実践的に教育する科目である。				
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、 ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

保健所および市町村の組織について担当者から説明を受け、保健所・市町村における保健事業・地域看護活動に参加し、公衆衛生看護の目的・目標について理解を深め、地域住民の健康を支援する保健師の役割を学ぶ。また、保健医療福祉チームにおける保健師の役割と連携・協働の重要性を学び、行政看護領域における看護管理の実際と行政保健師の役割を学ぶ。また、産業保健における看護活動の実際を理解し、職業生活を支える労働衛生管理のあり方と看護職の役割について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 実習地域の健康課題を把握し、実習施設（保健所、市町村）で取り組まれている保健事業や地域看護活動との関連について考察し、保健師の役割を理解できる。 2. 産業保健における看護活動の実際を理解し、職業生活を支える看護職の役割を理解し、述べることができる。 3. 学校保健活動の実際を理解し、学齢期の健康課題に応じた養護教諭を役割を理解し、述べることができる。 ※詳細については実習要項参照

《先修科目》

3年次配当の〔生涯発達と看護〕、〔地域社会と看護〕における全ての実習科目を修得していること。
へき地看護論、看護関係法規を除くすべての保健師教育課程の科目を修得していること。

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

公衆衛生看護関連科目を基礎とする。

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度・実習記録）95%、レポート5%によって評価する。（到達目標1.2.3）
評価面接時にフィードバックする。

《テキスト》

- 1) 『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著 医学書院 2022年）
- 2) 『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌枝他 中央法規出版 2020年）

《参考図書》

『国民衛生の動向 2023-2024』（厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 2023年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐ その他（実習中に随時フィードバックする）
授業形態：☐ 講義形式 ☐ ディスカッション ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション
☐ タブレット端末の利用
実習要項を熟読して実習に臨んでください。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

渡邊路子 月曜日12：30～14：30（実習期間中で不在の場合は、watanabe-m@sutoku-u.ac.jpへ）その他の教員については、ポータルサイトの「オフィスアワー一覧を参照」

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習	授業科目番号	2313120
担当者氏名	渡邊 路子、平澤 則子、駒形 三和子、菅原 京子、山崎 節子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	実習オリエンテーション時に提示する実習計画に沿って実習 キーワード (公衆衛生看護、保健師の役割等)	1. 実習時間：3週間(3単位135時間) 2. 実習場所：長岡保健所・長岡市または柏崎保健所・柏崎市 長岡市内の事業所、新潟大学長岡附属小中学校 3. 実習内容:実習要項参照 4. 事前課題:実習要項の通り(120分)	渡邊 路子 平澤 則子 駒形三和子 菅原 京子 山崎 節子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習			授業科目番号	2313130
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として行政および産業での実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○2-4 自己の看護実践を振り返る力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

大学周辺の地区をフィールドとして実習を行う。担当した地区の地域診断を行い、明らかになった健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。

前半実習は、地区踏査、高齢者世帯等への家庭訪問、地域組織の代表者（町内会長、民生委員、健康推進員、食生活改善推進員等）や関係機関（コミュニティセンター、地域包括支援センター等）への聞き取りを実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件との関連から検討し、健康課題解決に向けて公衆衛生看護活動計画を立案する。

後半実習は、1週目の実習内容をふまえ、地区で生活する住民とともに地区の健康課題や解決策を考え、健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。

《授業の到達目標》

1. 地域診断を実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件と関連させ、述べることができる。
2. 健康課題解決に向けて地域の強みを踏まえた公衆衛生看護活動計画を立案することができる。
3. 立案した公衆衛生看護活動計画をもとに、個人、家族、集団、組織を対象とした支援活動を実施することができる。
4. 実習を通して地域で生活する人々とのパートナーシップと協働活動について考察することができる。

《先修科目》

先修要件科目：〔生涯発達と看護〕〔地域社会と看護〕におけるすべての実習科目およびへき地看護論、看護関係法規を除く、保健師教育課程科目

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

保健師活動の基本的な技術を住民との関わりを通して学ぶ科目です。

《評価の方法》

実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録表をもとに、評価表に基づき総合的に評価する。（到達目標1，2，3，4）

《テキスト》

- 1) 『公衆衛生看護学 第3版』（上野昌江、和泉京子 編 中央法規出版 2023年）
- 2) 『地域特性がみえてくる地域診断』（都築千景 編著 医歯薬出版 2020年）
- 3) 『国民衛生の動向 2025-2026』

《参考図書》

- 1) 『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著 医歯薬出版 2018年）
- 2) 『地域看護診断 第2版』（金川克子、田高悦子編 東京大学出版会 2011年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法□その他（学年末までに返却）

授業形態：□グループワーク □プレゼンテーション □タブレット端末の利用 □臨地実習)

実習要項を熟読して実習に臨んでください。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

駒形三和子：毎週火曜日11:40～13:40（実習期間中で不在の場合はkomagata-m@sutoku-u.ac.jpへ）

その他の教員については、ポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習	授業科目番号	2313130
担当者氏名	駒形 三和子、平澤 則子、渡邊 路子、菅原 京子、田辺 生子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	臨地実習 (実習地域の地域診断に基づく公衆衛生看護活動計画、住民代表者との協働、健康課題解決のための支援活動の企画・実施・評価)	1. 実習時間：2週間（2単位90時間） 2. 実習場所：長岡市深才地域 3. 実習内容（実習要項参照） 事前課題：実習要項参照	駒形三和子 平澤 則子 渡邊 路子 菅原 京子 田辺 生子 山崎 節子

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護管理論			授業科目番号	2314010
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護管理者、認定看護管理者、日本看護協会認定看護管理者教育（ファースト・セカンド・サード）教育				
実務経験を 活かした 教育内容	臨床現場で、看護師長、看護副部長の実践経験があり、また、看護管理者に対しても看護管理者教育を実践している。そのため、実践経験を活かし、看護管理の基礎をわかりやすく教えている。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

看護を提供するために必要な組織づくりや看護管理の考え方について学ぶ。「看護管理」のもつ印象は、看護管理者のための職務と捉えられやすい。今日、管理の概念や知識は看護職が専門職業人として当然にもつべき必要な概念として位置づけられる。看護管理の目的・機能について理解し、質の高い看護を提供するためのシステムの基礎を学ぶ。組織、医療制度と法律、人的資源管理、看護の提供システム、看護の質保証、継続教育などについて学習し、組織の一員として、また保健医療チームの一員としての役割と責任について理解する。

《授業の到達目標》

1. 看護管理の基礎が理解でき、述べることができる。
2. 組織、医療制度と法律を含む看護提供システムが理解でき、述べることができる。
3. 保健医療チームの一員としての役割と責任が理解でき述べることができる。

《先修科目》

基礎看護学概論、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、看護倫理学

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

看護学と経営学との中間的な位置づけとして看護管理学があり、看護管理学の探求レベルには組織の中の個人、集団、組織、制度・政策がある。そのため看護学の各教科とも関連する。

《評価の方法》

小テスト8回目に実施する 10%（到達目標の1.2）
定期試験 90%（到達目標の1.2.3）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他編 医学書院 2024年）

《参考図書》

『看護職の基本的責務 2025年版』（手島恵 監修 日本看護協会出版会 2025年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法： ☐ その他（ 小テストはその場で採点をする。 ）
授業形態：☐ 講義形式 ☐ ディスカッション
書籍の予習・復習をするとともに、インターネット等で時事問題などを含む情報を看護管理に引き寄せながら学ぶこと。授業の復習を必ず行うこと。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週火曜日10：00～15：00（実習や演習で不在の場合はtoyomoto-m@sutoku-u.ac.jpへ）

科目名	看護管理論	授業科目番号	2314010
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護におけるマネジメント キーワード (マネジメント)	ガイダンス・看護管理とは何か、看護におけるマネジメントが理解できる。 (看護管理の定義・マネジメントの変遷、考え方) (予習) (30分) 指定教科書第1章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
2	看護ケアのマネジメント キーワード (ケアマネジメント)	1.看護ケアのマネジメントが理解できる。(看護職の機能・患者の権利の尊重・チーム医療・看護業務の実践) (予習) (30分) 指定教科書第2章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
3	看護職としてのセルフマネジメント キーワード (ストレスマネジメント)	1.看護職としてのセルフマネジメントが理解できる。(看護職のキャリア形成・看護職の専門職としての成長・ストレスマネジメント) (予習) (30分) 指定教科書第3章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
4	看護サービスマネジメント キーワード (サービスマネジメント)	1.看護サービスマネジメントについて理解できる。(組織・看護サービス提供システム・人・物の管理など) (予習) (30分) 指定教科書第4章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
5	マネジメントに必要な知識と技術 キーワード (人を動かす)	1.マネジメントに必要な知識と技術について理解できる。(人を動かす理論と組織について) (予習) (30分) 指定教科書第5章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
6	看護を取り巻く諸制度 キーワード (制度・政策)	1.看護職について理解できる。(看護職の法と制度・看護教育・専門看護師など) (予習) (30分) 指定教科書第6章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
7	看護を取り巻く諸制度 キーワード (診療報酬)	1.医療制度、看護制度と制作について理解できる。(医療制度・医療法・診療報酬など) (予習) (30分) 指定教科書第6章を熟読する (復習) (90分) 講義内容を理解できるようにまとめる	樋本まゆみ
8	まとめ	授業全体を振り返り、内容をまとめる。 (予習) (30分) 今までの授業内容を外観し纏める (復習) (90分) 全ての講義内容について、総復習を行う 小テストを含む	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	国際看護論			授業科目番号	2314020
担当者氏名	中村 勝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	国際協力機構が実施したスリランカにおける公衆衛生活動、ベトナムの医療事情に関する長期実態調査、中国河北煤炭医学院での講義経験などがある。				
実務経験を 活かした 教育内容	開発途上国での活動経験を活かし、伝統医療の紹介や感染症と医療現場の対応、先進国の医療事情との差異などについて現場感覚を大切にしながら現在状況とグローバルヘルスの課題について講義する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

グローバル化社会にともなう多様な文化や医療・看護に対する視野を広げ、国際保健医療（グローバルヘルス）や看護の在り方について学ぶ。具体的には、世界の宗教と文化や保健医療の実践について理解し、人々の生活に関連する異文化看護についての基本的な知識を習得する。さらに日本に求められる国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割、そして、医療や看護における諸外国との協力関係について具体例をとおして学ぶ。

異文化看護について、国際保健医療の視点を交えて教授する。また、国内の在留外国人に対応するコミュニケーション方法や看護について具体的に説明する。我が国の国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割や諸外国との協力関係について、国連の政策をもとに教授する。

《授業の到達目標》

1. 国際看護の主要概念やグローバルヘルスの基礎知識を説明できる。
2. 国際協力の仕組みや諸外国との協力をはじめとする国際看護活動を説明できる。
3. 世界の保健医療に関する現状と看護について理解できる。
4. 多様な文化社会的背景をもつ対象者への看護を理解できる。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

学習態度 10% 授業中の発言、態度をもとに評価する。（到達目標1.2.3.4）
レポート課題 90% 課題については講義の中で提示する。（到達目標1.2.3.4）

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[3]災害看護学・国際看護学』（庄野泰乃 他編 医学書院 2024年）
毎回、資料を配付する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：その他（評価後に返却）
授業形態：講義形式

テーマごとに自己学習を行い、基本的知識を得て出席することが望ましい。日常生活の中で国際保健に関わるニュース等に関心を持つようにしてください。

《備考》

《オフィスアワー》

教務・学生課を通じて連絡してください。

科目名	国際看護論	授業科目番号	2314020
担当者氏名	中村 勝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	国際看護学 グローバル化 世界人権宣言 三大感染症 国際救援 国際協力	・ガイダンス ・国際看護学とは何か (予習) (30) 分: テキストp234～249を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、国際看護の意義について調べる。	中村 勝
2	グローバルヘルス 人間の安全保障 持続可能な開発目標	・グローバルヘルスの沿革と課題 (予習) (30) 分: テキストp251～259を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、グローバルヘルスの意義について調べる。	中村 勝
3	国際機関 政府機関 国際救援の調整 開発協力 国際協力機構 (JICA)	・国際機関と国際協力のしくみ (予習) (30) 分: テキストp259～268を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、国際機関と国際協力のしくみについて調べる。	中村 勝
4	文化理解 異文化理解 レイニンガーの看護理論	・異文化と看護 (予習) (30) 分: テキストp270～273を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、文化を考慮した看護の重要性について調べる。	中村 勝
5	国際看護活動の展開過程 コミュニティ・アズ・パート ナーモデル PDCAサイクル プロジェクト・サイクル・マ ネジメント	・国際看護活動の展開 (予習) (30) 分: テキストp277～281を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、国際看護活動の展開方法について調べる。	中村 勝
6	開発途上国 プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション 貧困 社会的弱者	・国際協力と看護 (予習) (30) 分: テキストp283～302を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、国際協力と看護の役割について調べる。	中村 勝
7	国際救援活動 災害医療 災害関連死 災害とこころのケア	国際救援と看護/災害看護学の基本概念 (予習) (30) 分: テキストp303～350を熟読し、ノートにまとめる。 (復習) (30) 分: 授業を振り返り、国際救援と看護の役割について調べる。	中村 勝
8	未定	トピック/まとめ (予習) () 分: テキストを再度熟読し、理解する。 (復習) () 分: 授業を振り返り、グローバルヘルスと看護職の役割について理解する。	中村 勝

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	統合実践演習			授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-3 エビデンスに基づく看護実践力、○2-4 自己の看護実践を振り返る力、○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

本演習では、各専門分野で学修した基礎的な知識および技術の統合を図るとともに、チームメンバーとの協働および看護実践に対する自己の課題を明確化して「統合実践実習」に繋げていくことを目的とする。演習の課題としては、複数受け持ち患者の観察および対応、タイムスケジュール管理、危険予知トレーニング（KYT）などが挙げられる。演習の方法としては、チーム検討をもとに、VRやシミュレーションを活用して実践的に学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 複数患者のケアの優先度を、根拠に基づき安全および時間管理を考慮した行動計画を立案できる。
2. 多重課題場面において、ケアの優先度および安全を考慮して実践できる。
3. 様々な臨床場面の中に潜んでいる危険要因を察知し、その防止対策を立案できる。
4. より良いチームとして協働できるよう、主体的にグループ活動に参加できる。
5. 自己の臨床実践能力の課題について明確化し、記述できる。

《先修科目》

「基礎看護技術演習Ⅰ～Ⅲ」、「チーム医療論」、「疾病治療論Ⅱ・Ⅲ」、2年次までの基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱおよび3年次までの領域別実習すべて

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

基礎分野・専門基礎分野・専門分野で培った知識・技術・態度を臨床実践に統合し、複合課題への判断力と安全なケア提供能力を養う科目である。演習を通して臨床適応力を高め、「統合実践実習」への基盤を形成する。

《評価の方法》

1)最終課題レポート：10% 2)実践・学修課題：80% 【看護技術確認(演習1)：20%，複数患者受け持ち(演習2)：30%，KYT(演習5・6・7)：30%，3) グループ活動役割達成度：10% ※課題未提出、提出遅れは減点対象となる。 最終課題レポートテーマ「演習における学びと統合実践実習に向けた自己の課題と対応について（1600字程度）

《テキスト》

なし

《参考図書》

1. 『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理、看護の統合と実践[2] 医療安全』医学書院
2. 『ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践(1)：看護管理、看護の統合と実践(2)：医療安全』メディカ出版

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■レポートは、最終講義後に返却 その他の課題は、各演習終了ごとに返却する
授業形態：■講義形式 ■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション ■双方向（ICTの活用）

学びを深めるためにはチームワーク・コミュニケーションが重要です。さらに各個人がチームとして協力していくことで、初めて成果が生まれます。そのためには、各個人であらかじめ事前学習をして積極的に取り組むようにしましょう。

《備考》

「統合実習演習要項」を熟読して演習に臨んでください。「統合実習演習ワークブック」の記録用紙は、ポータルサイトからダウンロードが可能です。

《オフィスアワー》

目黒 (meguro-y@m.sutoku-u.ac.jp):毎週水・金曜日、12時10分～13時、16時30分～18時。 他の担当教員については、ポータルサイトに掲載されている「オフィスアワー一覧」を参照してください。

科目名	統合実践演習	授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション(アセスメント)	オリエンテーション 演習1: 事例のアセスメント・看護問題の明確化 (予習)(30分)「アセスメントを行う時のポイント」「フィジカルアセスメント」についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
2	VRによる患者の状態観察(VR演習、グループワーク)	演習2: 各患者の観察の実施(VR演習: A氏、F氏の状態をVRで観察を行う) (予習)(30分)「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
3	VRによる患者の状態観察(VR演習、グループワーク)	演習2: 各患者の観察の実施(VR演習: A氏、F氏の状態をVRで観察を行う) (予習)(30分)「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
4	VRによる患者の状態観察(VR演習、グループワーク)	演習2: 各患者の観察の実施(VR演習: A氏、F氏の状態をVRで観察を行う) (予習)(30分)「2型糖尿病」「誤嚥性肺炎」の病態生理、症状、治療、看護についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
5	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認(受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする) (予習)(30分)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
6	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認(受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする) (予習)(30分)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
7	受け持ち患者を複数受け持った時の対応(シミュレーション演習、複数受け持ち患者、グループワーク)	演習3: 複数患者の状態・環境の確認(受け持ち患者の病室を訪室し、それぞれの患者の状態および環境を確認してアセスメントする) (予習)(30分)「受け持ち患者を複数受け持つ時のポイント」についてまとめる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
8	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4: 複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理(タイムマネジメント管理、患者対応課題)〈全体発表〉〈多重課題のまとめ〉 (予習)(30分)「危険予知(KYT)」について調べる。 (復習)(30分) 事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一

科目名	統合実践演習	授業科目番号	2314050
担当者氏名	目黒 優子、沼野 博子、藤田 勇、佐藤 初美、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4：複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理〈タイムマネジメント管理、患者対応課題〉〈全体発表〉〈多重課題のまとめ〉 (予習)(30分)「危険予知(KYT)」について調べる。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
10	受け持ち患者を複数受け持つ時のタイムスケジュール管理(複数受け持ち患者、グループワーク)、危険予知トレーニング	演習4：複数受け持ち患者のタイムスケジュール管理〈タイムマネジメント管理、患者対応課題〉〈全体発表〉〈多重課題のまとめ〉 (予習)(30分)「危険予知(KYT)」について調べる。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
11	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5：危険予知トレーニング〈VR演習〉 (予習)(30分)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
12	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5：危険予知トレーニング〈VR演習〉 (予習)(30分)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
13	危険予知トレーニング(VR演習、グループワーク)	演習5：危険予知トレーニング〈VR演習〉 (予習)(30分)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
14	危険予知トレーニング(シミュレーション演習、演習まとめ)	演習6：危険予知トレーニング〈シミュレーション演習〉〈危険予知トレーニングの演習まとめ〉 (予習)(30分)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一
15	危険予知トレーニング(シミュレーション演習、演習まとめ)	演習6：危険予知トレーニング〈シミュレーション演習〉〈危険予知トレーニングの演習まとめ〉 (予習)(30分)「ストレッチャー移乗」「経管栄養法」原理・原則についてまとめておく。 (復習)(30分)事後課題をまとめる。 ※最終レポートテーマ：「演習における学びと統合実践実習に向けた自己の課題と対応について」(1600字程度)	目黒優子 沼野博子 藤田 勇 佐藤初美 多田健一

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	統合実践実習			授業科目番号	2314060
担当者氏名	広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務や施設等の実務経験を有する教員が担当する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、看護における統合的な実践能力を教育する。				
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

これまでに学んだ知識・技術を統合し、対象者個々のニーズを的確に判断し、優先順位を考慮した看護実践を行うことで、判断能力・実践能力を身につける。また、看護管理者やリーダーシップ・メンバーシップの役割を学ぶことで、看護におけるマネジメントの基礎的能力を身につける。対象者および家族の健康の回復過程において、様々な役割・機能を担っている医療機関・施設との連携や多職種協働の実際を学ぶことで、その中での看護師の役割を認識する。統合実践実習を通して、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について責任をもつ必要性や今後の課題を明らかにする。

《授業の到達目標》

1. 複数の対象者の状態を把握し、看護援助の優先順位を判断して個別性に合わせた看護援助を実践できる。2. 看護管理者の役割および看護管理について説明できる。3. 多職種が協働して対象者・家族を支援するうえでの看護師の役割について説明できる。4. 看護チームにおけるリーダーシップ、メンバーシップについて説明できる。5. 組織として行われる医療安全の取り組みについて説明できる。6. 専門職業人としての倫理観を高め、自己成長していくための課題を表現できる。

《先修科目》

3年次配当科目の〔生涯発達と看護〕〔地域社会と看護〕におけるすべての実習科目

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

3年次までに修得した実習科目及び講義科目の知識・技術を基礎とする。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行う。最終的には、実習目的・実習の到達目標の達成度について評価表を用いて評価する。100%（到達目標1～6）

《テキスト》

なし

《参考図書》

看護師過程で用いた既習のテキスト他

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□ 実習時、随時フィードバックする）
授業形態：□ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション
□タブレット端末の利用

3年次までに履修した科目の知識、技術、培った実習態度を統合して主体的に実習に臨んでください。

《備考》

《オフィスアワー》

渡邊路子：毎週月曜日12：30～14：30（実習中で不在の場合は、watanabe-m@sutoku-u.ac.jp）.その他の教員についてはポータルサイトに掲示する「オフィスアワー実施一覧」を参照してください。

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	統合実践実習	授業科目番号	2314060
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション時に提示される実習計画に従う。 キーワード (優先順位、リーダーシップ、メンバーシップ、看護管理、他職種連携、他機関連携他)	1. 実習期間：2週間 2. 実習場所：オリエンテーション時に提示する 3. 実習内容：学内オリエンテーション、臨地で実習、学内で実習の振り返り、全体発表会 4. 予習・復習 60分/日 詳細は、実習要項を参照する	各担当教員

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容	指導教員は基礎教育、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、地域・在宅看護学領域における看護実践と教育の実務経験を有し、その経験を活かし研究計画書作成から論文作成・口頭発表までのプロセスの指導にあたる。				
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○4-1 看護学を探究する意欲、○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

1・2年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、3年次の「看護学研究法」などで修得した知識を活かして、領域・指導教員別にグループに分かれ研究計画に基づく研究活動を遂行し、論文作成と研究発表までのプロセスを学ぶ。
研究課題は看護に関連するものとし、各自の研究計画を設定する。ゼミナール形式とし指導教員によるグループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果の発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識と技術を自ら学び続ける素養を身につける。

《授業の到達目標》

1. 看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる。
2. 目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる。
3. 研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる。
4. 研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる。
5. 作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる。

《先修科目》

看護学研究法

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

各領域の看護学や臨地実習を通じて芽生えた興味・関心をもとに、研究計画書に基づいて研究活動を行います。この学びを通して、卒業後も看護学を探求し続ける姿勢を育みます。

《評価の方法》

到達目標1～5について「看護研究課題ルーブリック評価表」を用いて学生自己評価および指導教員評価を行う。

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

3年次「看護学研究法」で用いた『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2024年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☐最終講義時に返却 ☐次回講義時に返却 ☐その他（ ）
授業形態：■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。
指導教員の指導を受けながら、学習が深められるよう主体的に学習活動を行うように努める。

《備考》

《オフィスアワー》

オフィスアワー実施一覧を参照

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1回～15回 領域別ゼミナール形式 キーワード (研究テーマによって異なる)	1回～15回 ・文献検討 ・研究計画書作成 ・倫理チェック ・研究活動 ・論文提出：10月19日(月)～22日(木) 15時まで ・研究成果の口頭発表：11月6日(金) 13時～16時	各担当教員
2		期間：4月～11月 内容：「看護課題研究要項」を参照	

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	リハビリテーション看護			授業科目番号	2315030
担当者氏名	近藤 ふさえ、沼野 博子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	近藤はリハビリテーション病棟における臨地実習指導をとおり、回復期から在宅移行期の患者・家族への看護ケアを経験している。				
実務経験を 活かした 教育内容	臨地実習指導で学生が受け持つ患者（特に脳血管疾患・骨折）への看護実践事例を紹介しながら授業を展開する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力、○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

生活機能に障がいをもった人とその家族が生活の再構築をはかり、その人にとっての最適な生活の営みを目指したリハビリテーション看護の理論と方法論を学修する。

主に運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下機能障害、排泄機能障害を事例をとおり、リハビリテーション看護の役割と機能および倫理的諸問題を考察する。

《授業の到達目標》

1. リハビリテーション看護の概念と変遷を説明できる。
2. リハビリテーション看護における対象理解に関連する主要概念を説明できる。
3. 生活機能障害のある人への援助を説明できる。
4. 他職種チームの連携と協働を説明できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

臨地実習で遭遇した事例を想起しながら、リハビリテーション看護の理解を深める。

《評価の方法》

各授業で提示される授業リフレクション（6回）と課題レポート2題：90%（到達目標1～4）、小テスト1回（到達目標3）10%

評価基準①授業リフレクション：授業でのキーワードに関する自分の考えを述べている。

②課題レポート：各課題における提出規程を満たしている。

③小テスト配点10点

《テキスト》

指定はありません。授業内で資料を配布します。

《参考図書》

『リハビリテーション看護』南江堂 『ナースング・グラフィカ：リハビリテーション看護』メディカ出版

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時 ■次回講義時

授業形態：■講義形式 ■グループワーク

1. 各回の予習と復習（約60分）を行い、授業に参加しましょう。
2. 生活機能（姿勢保持、移動起居、食べる、排泄、認知、視る、聞く、話すなど）に興味をもちましょう。
3. 授業内レポートのフィードバックは次回授業開始前に行う。また最終レポートでは内容によって個別にフィードバックする。

《備考》

《オフィスアワー》

近藤ふさえ：毎週木曜 10：00～17：00（それ以外ではkondo-f@sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

沼野 博子：毎週火曜 10：00～17：00（それ以外ではnumano-h@m.sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	リハビリテーション看護	授業科目番号	2315030
担当者氏名	近藤 ふさえ、沼野 博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	リハビリテーション看護 (リハビリテーション、障がい) 生活の再構築へのアセスメントと援助 (ICF、二次障害、廃用症候群、ADL評価)	授業ガイダンス リハビリテーション・リハビリテーション看護の概念と変遷および看護の専門性 不動・低活動がもたらす弊害とその予防(活動・参加の促進) 学習方法:講義 授業リフレクションレポート～授業終了時に提出。 予習(30分):リハビリテーションの語源と変遷を調べる。 復習(60分):リハビリテーション看護の専門性、役割と機能を整理する。 活動の促進に向けた予防的リハビリテーションを考える。	近藤ふさえ
2	生活機能障害のある人とその家族の理解 (スティグマ、喪失と悲嘆、受容、QOL、セルフケア)	障がい経験の多様性 セルフケア支援のためのセルフケアのとらえ方 学習方法:講義、GW 授業リフレクションレポート～授業終了時に提出。 予習(45分):病者役割、スティグマの意味を調べる。 復習(45分):リハビリテーションにおけるセルフケア支援を考察する。	近藤ふさえ
3	回復過程とリハビリテーション看護 (急性期、回復期、維持期、終末期)	急性期、回復期、維持期、終末期リハビリテーション期の看護 学習方法:講義、GW 授業リフレクションレポート～授業終了時に提出。 予習(30分):健康の回復過程を調べる。 復習(90分):事例における各期の特徴、看護の目的と視点を整理する。	近藤ふさえ
4	障がいのある子どもの「リハビリテーション」 (発達過程における機能障害、成長発達や生活への影響)	障がいをもつ子どものリハビリテーションの特徴と看護 学習方法:講義、事例学習 予習(30分):「医療的ケア児」と「重症心身障がい児」の区分の違いを比較し、それぞれの子供が生活するうえで想定される支援の特徴について考える。 復習(30分):講義をふまえ、障がいのある子どもの生活や成長・発達を支えるために、看護師が果たす役割について整理する。 レポート:当日課題提示。指定用紙配布。提出:5月11日(月)17時までにポータルサイトに提出。	沼野 博子
5	生活機能障害とリハビリテーション (嚥下機能障害、排泄機能障害)	生活機能の中でも「嚥下機能」と「排泄機能」に障がいのある人と家族の看護 学習方法:講義、事例学習 授業リフレクションレポート～授業終了時に提出。 予習(45分):嚥下プロセス、排泄プロセスを再確認する。 復習(45分):資料を読み返し理解を深める。	近藤ふさえ 非常勤講師 順天堂大学 ・准教授
6	生活機能障害とリハビリテーション (運動機能/ 高次脳機能障害)	「運動機能」と「認知機能」に障がいのある成人期の人と家族の看護 学習方法:講義、事例学習 授業リフレクションレポート～授業終了時に提出。 予習(45分):認知、高次脳機能障がいの意味、症状を調べる。 復習(45分):資料を読み返す。 小テスト(10点) 範囲:生活機能障害とリハビリテーション(国家試験出題問題に準ずる) 時間内に解答予定であるが、できない場合は第8回目に行う。	近藤ふさえ
7	他職種連携と協働 (地域包括ケアシステム、多職種連携・協働)	姿勢が生活行動へ及ぼす影響 ケアに活かすポジショニング、移動起居動作介助のポイント リハビリテーションセンターの役割と病棟での看護ケアに期待すること 学習方法:講義 授業リフレクションレポート～授業終了時に提出。 予習(30分):基礎看護学(ボディメカニズム、姿勢) 復習(30分):多職種間連携・協働における看護の役割を考える。	近藤ふさえ 長岡西病院 理学療法士
8	倫理的問題および法律、施策 (アドボカシー、倫理原則)	リハビリテーション看護における倫理的諸問題 障害者の権利に影響する施策の変遷 学習方法:講義、GW 予習(30分):障害者のアドボカシーの意味を調べる。 復習(90分):倫理的諸問題への対応を考察する。 課題:当日テーマを提示する。指定用紙配布。 提出:授業時間割を確認し授業ガイダンス時に提示。5階レポート提出BOX	近藤ふさえ

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	へき地看護論			授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤 則子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として保健所勤務の経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして公衆衛生看護の技術や保健福祉医療行政の事業化・施策化技術を用いて実践的に教育する科目である。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○3-2 多職種と連携・協働する力, ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

へき地の意味と地域特性、その生活と健康の関連を考え、へき地で求められる看護の役割を考える。そのうえで、新潟県について学習を進める。新潟県は山間部や離島があり、医療偏在という課題を抱えている。交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地や離島など、医療の確保が困難である地域における看護活動について、地域の基幹病院の果たす役割も含めて理解する。また、調べ学習をグループで行い、現状から課題を抽出し、看護に求められる役割について考察するとともに、自己の課題についても考察する。

《授業の到達目標》

1. へき地に住む人々の生活を理解し、人々の健康との関連を説明することができる。
2. へき地における看護活動の現状と地域の社会資源の整備状況を捉え、看護の機能・役割を述べることができる。
3. へき地医療、へき地看護活動の特徴と課題を考えることができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

地域包括ケア論と関連づけて地域の特性に応じた看護を考究する科目である。

《評価の方法》

定期試験60%（到達目標2・3）と課題レポート40%（到達目標1・2・3）により目標達成度を最終的に評価する。課題レポートの評価は、発表会時にコメントを付して行う。

《テキスト》

第8次新潟県地域医療計画（概要版）（新潟県ホームページから各自印刷する。）

《参考図書》

『自分たちで生命を守った村』（菊地武雄著 岩波書店 1968年）
『プライマリ・ケア看護学』基礎編（日本プライマリ・ケア連合学会編 南山堂 2016年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション □双方向（ICTの活用）

□教育リソースの利用（利用リソース名：沢内村記念館、政府広報オンライン、佐久総合病院、地域医療振興協会）

新潟県医療構想と新潟県第8次医療計画を読むための時間を確保して、授業が始まるまでに読み進めておくこと。

各回の授業で次回までの課題を提示するが、準備して臨むこと。課題レポートはへき地看護の実践例を調べ他地域での適用可能性を提案する内容でまとめ、発表および全体討議を行う。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《オフィスアワー》

平澤則子：毎週火曜日10：00～15：00（実習期間中で不在の場合はhirasawa-n@sutoku-u.ac.jpへ）

科目名	へき地看護論	授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤 則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ルーラルな視点からみたへき地看護の基本 実践者の体験記録から見える地看護の魅力 キーワード 「へき地」「へき地医療」	新潟県内のへき地に住む人々の、健康と生活の質が向上するための保健・医療・福祉及び関係機関や住民との連携・協働の実態を知る。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (「へき地とは?」「へき地に暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。) 復習(30分) (授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。)	平澤 則子
2	へき地の地域特性 へき地の暮らしの情報収集 キーワード 「へき地の特性」「へき地の暮らし」	調べ学習の発表と討議を通して、へき地の地域特性と生活の関連についての理解を深める。 学習方法：GW プレゼンテーション 講義 視聴 予習(30分) (へき地を1つ選び、その地域の歴史的・文化的・地理的・社会的特徴と人々の生活・健康に与える影響についてまとめる。ワークシート1頁) 復習(30分) (授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。)	平澤 則子
3	岩手県沢内村の医療 国のへき地保健医療対策 新潟県第8次地域医療計画 キーワード 「沢内村」「農村医療」「地域医療計画」	国のへき地保健医療対策の経緯を理解する。岩手県沢内村の保健活動を理解する。新潟県第8次地域医療計画と取組を理解する。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) 文献、インターネット等を参考に沢内村の保健活動について調べる。新潟県第8次医療計画を読む。 復習(30分) 国のへき地医療保健対策と比較しながら新潟県第8次医療計画を読み直し、県版計画の特徴を考える。	平澤 則子
4	へき地における地域医療と看護 キーワード 「オンライン診療」「テレナーシング」「ICT」	へき地出張診療所の看護師が担う地域医療・看護の実態を学ぶ。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) (文献やインターネットでへき地出張診療所、へき地医療拠点病院のオンライン診療、テレナーシングについて調べる。) 復習(20分) (授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。へき地で求められる看護の役割を考える。)	平澤 則子
5	へき地看護に必要な概念 キーワード 「プライマリヘルスケア」「協働連携」「セルフケア」「慢性疾患ケアモデル」	プライマリ・ヘルスケア、セルフケア、慢性疾患ケアモデルの概念を理解する。関係機関や住民との協働連携の実態を理解する。 学習方法：講義 視聴 討議 予習(30分) 上記の概念について調べ、ワークシートに記載する。 復習(30分) 授業の内容を整理し、配布資料を読み直しポイントをまとめる。	平澤 則子
6	県内外のへき地看護の探索 キーワード 「へき地看護」	第2回で取上げたへき地における看護実践をさらに調べ、特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。 学習方法：講義 視聴 タブレット端末の利用 予習(30分) (配布資料を読み、必要な情報とデータの所在、分析方法を考える。) 復習(30分) (へき地看護に関する情報の分析を深める。ワークシート2頁)	平澤 則子
7	課題レポート(国内の先進的事例)の発表 キーワード 「へき地医療」「へき地看護」「へき地看護の専門性」	分析結果を発表し、各地におけるへき地看護の実態について共有する。ディスカッションを通してへき地で働く看護職に求められる専門性と能力について考えるとともに、へき地看護のこれからの課題について考える。 学習方法：プレゼンテーション GW 討議 予習(30分) (プレゼンテーションの準備をする。資料はパワーポイントで作成する。) 復習(20分) (へき地における看護職の専門性と能力について考察を深める。)	平澤 則子
8	へき地における医療・看護の実態 キーワード 「地域医療再編」「魚沼の看護」	魚沼医療圏及び魚沼市における地域医療の実態と看護の役割について考える。へき地看護におけるb ICTの有効活用について考察する。 学習方法：講義 討議 予習(30分) 魚沼2次医療圏の地域保健医療計画、魚沼市の健康指標の推移・地域医療に関する事業計画を読む。 復習(30分) 授業の内容を整理し、ポイントをまとめる。	平澤 則子 特別講師

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間力養成》

科目名	リーダーシップ論			授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師・看護管理者、救命救急士の免許、救命救急センター、医療安全管理者として、リーダーシップをとってきた。				
実務経験を 活かした 教育内容	看護師として、リーダーシップをとることの重要性と対人関係スキルをみがくこと。リーダーシップ理論をつかいながら講義を行う。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力、○3-2 多職種と連携・協働する力、○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

リーダーシップとは、対人関係に現れる影響関係をいう。グループが目標を達成する過程で、互いにどのような影響を受けるのか、リーダーシップとは何か、ラボラトリー方式の体験学習と集団決定法を組み合わせる。グループの中で、自己の態度や行動の傾向を知り、自己のありようを検討する。体験を通して自己理解、他者理解を深め、互いの関係性の中から、リーダーシップの役割や責任について理解する。また、保健医療チームの一員として、看護者のリーダーシップのあり方について考える。

《授業の到達目標》

- 1.組織の中でのリーダーシップとメンバーシップを理解し、述べることができる
- 2.リーダーシップに関する理論を理解し、関連づけることができる
- 3.リーダーシップの体験学習の中から自己理解と他者理解をすることができる

《先修科目》

看護管理論、看護倫理、看護学概論、基礎看護学など

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

どの科目とも関連するが、特に看護管理論をベースとしている。

《評価の方法》

- 1.筆記試験 50%（到達目標1.2.3）
- 2.グループワーク50%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『看護にいかすリーダーシップ』（諏訪茂樹著 医学書院 2021年）

《参考図書》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他編 医学書院 2024年）（看護管理論の必修授業で購入済みである）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却
授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション

事前に指示された教科書のページを読んでおくこと。積極的にディスカッションを行うこと。

《備考》

《オフィスアワー》

水曜 10：40～12：10

科目名	リーダーシップ論	授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス リーダーシップとは キーワード (リーダーシップ)	科目の説明(授業方法、テスト、グループワーク、課題に関すること) リーダーシップとは (予習) (30分) 看護管理 看護の統合と実践1 第5章を熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
2	組織マネジメントとリーダーシップ・メンバーシップ キーワード (メンバーシップ)	組織とは、集団の中のリーダーシップの定義を理解する (予習) (30分) 看護管理 看護の統合と実践1 第5章を熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
3	リーダーシップの歴史の変遷 キーワード (歴史)	リーダーシップの歴史の変遷を理解する (予習) (30分) 指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
4	リーダーシップの理論 キーワード (理論)	さまざまなリーダーシップ理論に関する説明について理解する(交流分析を含む) (予習) (30分) 事前に配布した資料と、指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
5	リーダーシップと理論のワーク キーワード (理論ワーク)	交流分析手法を使用し、自身の傾向と他者の傾向を理解する (予習) (30分) 指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
6	動機づけとリーダーシップ キーワード (動機づけ)	集団、集団過程、集団力学、組織文化、コミュニケーションを理解する (予習) (30分) 看護管理学のリーダーシップとマネジメントを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
7	リーダーシップの体験学習説明 キーワード (体験学習)	リーダーシップ学習の重要性、意識と行動を変化させる体験学習について理解する (予習) (30分) 指定教科書のリーダーシップの体験学習を熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
8	リーダーシップの体験学習(演習・リフレクション)	リーダーシップの体験学習とリフレクション (予習) (30分) 指定教科書のこれまでのリーダーシップの流れを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ

科目名	リーダーシップ論	授業科目番号	1103030
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	リーダーシップの体験学習説明(発達適応モデル)	発達適応モデルの説明 (予習) (30分) 指定教科書の発達適応モデルを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
10	リーダーシップの体験学習(発達適応モデルに基づく演習)	ラウンドモデルの体験学習を行う (予習) (30分) 指定教科書のラウンドモデルのところを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と気づきのノートで学びを整理する	樋本まゆみ
11	リーダーシップの体験学習(発達適応モデルに基づく演習のリフレクション)	ラウンドモデル体験学習リフレクションを行い体験と理論を結びつける (予習) (30分) 前回の演習のまとめの振り返りをしておく (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
12	リーダーシップの体験学習説明(保健医療チームにおけるアサーション)	アサーションが理解できる 保健医療チームの中の看護師 (予習) (30分) アサーションを熟読する (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での学びを整理する	樋本まゆみ
13	リーダーシップの体験学習	保健医療チームの看護師としてのアサーションの体験学習 (予習) (30分) アサーションについてまとめる (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での気づきと学びを整理する	樋本まゆみ
14	リーダーシップの体験学習(リフレクション)	アサーションの体験学習後のリフレクション (予習) (30分) アサーションについての気づきと学びをまとめる (復習) (90分) 事前に学習した内容と授業での気づきと学びを整理する	樋本まゆみ
15	まとめ リーダーシップについて	リーダーシップ・メンバーシップをとおして、自己理解、他者理解をについてまとめ 保健医療チームの一員として看護者の在り方を理解する (予習) (30分) いままでの学習の振り返りを行う (復習) (90分) 今までの振り返り内容と授業での気づきと学びを整理する	樋本まゆみ

《基礎教育科目 基礎教育科目 人間の理解》

科目名	民族と宗教			授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

世界の主要宗教と民族性についての基礎知識を学ぶ。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教を取り上げる。現代社会において、宗教や信仰の問題が持つ意味について民族性と関連させて考えを深める。後半では、日本の民族性と仏教を中心に学ぶ。正月やお盆の生活文化に意味を考えるとともに、本学と同母体である長岡西病院の仏教に基づくホスピスで法曹の講話を聞く機会を設け、現代における仏教の意義、ターミナルケアに対して果たしうる役割についても考察する。

《授業の到達目標》

世界の宗教と民族の多様性を理解し、自文化を捉え直すと共に、人間関係や医療等の文化的背景を考えることによって学習者自身の認識及び生活感覚への理解を深め、医療福祉の社会的／文化的基盤を成す宗教性や民族性への理解を到達目標とする。

《先修科目》

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

終講レポート（50%）、小レポート（30%）、授業参画度（20%）をもって評価する。

《テキスト》

特に指定しないが、毎回レジュメや資料を配布し、テーマごとの参考文献や資料を提示する。

《参考図書》

『福祉人類学』（郷堀ヨゼフ著 国書刊行会 2025年）
『宗教ってなんだろう？』（島蘭進著 平凡社 2017年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑次回講義時に返却

授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション

必要な資料はその都度配布する。又、できるだけ視覚資料（PPT等）を使用する。
多様性を尊重し、他民族・他宗教・他者への差別的発言などに注意していただきたい。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週講義終了後（講師室にて）

科目名	民族と宗教	授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス	本科目の内容、講義の概要及びレポート等について説明を行う。多文化や多様性とは何かについて考えて、他者や異文化との出会いと共生について考える。 予習30分：シラバスを熟読し内容について確認する。 復習30分：講義で取り上げられた課題について整理し復習する。	郷堀ヨゼフ
2	民族とは何か、宗教とは何か、文化とは何か	宗教学及び民族学（文化人類学）の主要な概念とキーワードについて紹介する。民族性・宗教・信仰・スピリチュアリティなどを中心に考える。 予習30分：文化人類学の概要について事前に調べておく。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
3	人生の旅1：誕生	妊娠・出産・誕生にまつわる文化的現象を取り上げて、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。スーダン・メキシコなどを事例を提示し、通過儀礼としての誕生・出産について考え、近現代の出産のあり方（文化）について考える。 予習30分：通過儀礼とは何かについて調べておく。 復習30分：自分の地域の習慣と授業で取り上げた地域との違いについて考えて、整理する。	郷堀ヨゼフ
4	人生の旅2：成長	子どもにまつわる文化や成熟の儀（成長の儀礼）にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族（南アジア）の相違点と共通点について論じる。 予習30分：子どもとはどのような存在なのか、社会的カテゴリーとして調べておく。 復習30分：自らの経験を振り返って成長の儀礼の意義について考えて整理する。	郷堀ヨゼフ
5	人生の旅3：婚姻と家族	男女関係・婚礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族（中央アジア）の相違点と共通点について論じる。 予習30分：ジェンダーと文化の関係性について事前に調べておく。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
6	人生の旅4：死	看取り・死の概念・葬送儀礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。看取りやターミナルケアにおける宗教、特に仏教の役割や意義について考える。 予習30分：死と葬送儀礼の文化の関係性について事前に調べておく。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅5：死後の世界	先祖・異界・死後の世界にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。悲嘆（グリーフケア）における宗教、特に仏教の役割と意義について考える。 予習30分：死後の世界の存在意義について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
8	世界の宗教1：ユダヤ教	ユダヤ教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、タルムードなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、ユダヤ教徒の生活について紹介する。 予習30分：ユダヤ教に関する自らの知識を整理する。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ

科目名	民族と宗教	授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀 ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	世界の宗教2：仏教	仏教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、仏典を紹介しながら、そのエッセンスについて考えると共に上座部仏教と大乘仏教に代表される各地の仏教のあり方をみていく。さらに、仏教徒の生活について紹介する。 予習30分：仏教に関する自らの知識を整理する。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
10	世界の宗教3：キリスト教	キリスト教の教義と教理、そして歴史と宗派についてレビューし、聖書などの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、各地のキリスト教徒の生活について紹介する。 予習30分：キリスト教に関する自らの知識を整理する。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
11	世界の宗教4：イスラム教	イスラム教の教義と教理、そして歴史や宗派についてレビューし、クルアーンなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、イスラム教徒の生活について紹介する。 予習30分：イスラム教に関する自らの知識を整理する。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
12	世界の宗教5	ヒンズー教など世界各地の宗教や土着信仰について紹介し、それぞれの特徴を取り上げながらそのエッセンスについて考える。 予習30分：ヒンズー教に関する自らの知識を整理する。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
13	日本の民族性・日本の宗教性	日本の年中行事などを紹介しながら、これらの根底に流れている宗教・信仰の基盤について考える。日本人の死生観や異界観（他界観）について紹介し、現代人にとっての意義・意味について考える。 予習30分：日本の年中行事に関する自らの経験と知識を整理する。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
14	宗教と看護	長岡西病院のビハラー病棟などの実践を紹介しながら、宗教と医療（看護）との接点や関係性について考える。 予習30分：ターミナルケアと宗教との関連について調べておく。 復習30分：講義で学んだ基礎概念について整理しながら復習する。	郷堀ヨゼフ
15	まとめ	全体の振り返りを行い、宗教・信仰の在り方や意味について考える。医療従事者（看護師）の視点から民族・宗教に関する知識・認識の意味・意義・重要性について整理する。 予習30分：この科目で学んだ内容を振り返って疑問や質問などを整理する。 復習30分：全体の振り返りを行う。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	経済と政策			授業科目番号	1106040
担当者氏名	佐藤 素子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	車載部品メーカーにて、4年間設備の設計・組立調整に従事。あわせて改善活動・品質管理の基礎を学ぶ。現在は燕三条地域企業の技術的サポートを行っている。				
実務経験を 活かした 教育内容	製品にも使われる素材の特徴、製造方法、製造における品質の考え方を学び、グループワークで作業指示の大切さを知り、物の流れの基礎を学べる。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

政治と経済には密接なかわりがあることを理解する。経済は「物の流れ、通貨の流れ、人の流れ、情報の流れ」として現れることを具体的な事例を基に理解する。一方、政治は経済の流れを調整する役割を持っていることを理解する。政治の動きで経済は重要な影響を受ける。それは、日本の政治だけでなく、世界の政治が影響することを事例で学習する。例えば、アメリカ大統領選挙や国防の問題などである。それらを踏まえて、日本における経済政策と労働・社会保障、医療等の社会政策についての基礎を学習する。

《授業の到達目標》

1. 経済を形成する「物の流れ」における、製造方法・生産の仕組みなどを理解する
2. 事例分析を通して、実際に企業がやっている取り組みと製造の品質を保つことの重要性を理解する
3. 新潟県の地域的特性を調査・分析し、日本における経済の基礎を学習する

《先修科目》

無し

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①学習態度、授業中の発言、態度 | 10% (目標1, 2, 3) |
| ②中間テスト | 30% (目標1, 2, 3) |
| ③グループワーク貢献度 | 20% (目標1, 2) |
| ④最終発表 | 40% (目標1, 2, 3) |

《テキスト》

本講義で使用する教材・資料は基本的に当日、教室で配布

《参考図書》

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却

授業形態：□講義形式 □プレゼンテーション □グループワーク（13、14回）

- ・総合点数60点で合格です。最終発表以外における、電子機器の使用を禁じます。
- ・この授業は2コマ連続になります。皆さんの理解が深まるように適宜、皆さんと対話しながら講義を進めます。
- ・企業訪問の時は安全、横転防止のためサンダル・パンプス等の履物は禁止です。また、あいさつ、服装など一般的な社会人としてのマナーを守って臨んでください。これらのことについては、企業訪問前の授業で詳しく説明します。

《備考》

- ・企業訪問の日程が前後する可能性があります。ガイダンスの時に説明します。

《オフィスアワー》

質問がある場合は、メールまたは次回授業の冒頭で問合せること

科目名	経済と政策	授業科目番号	1106040
担当者氏名	佐藤 素子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス(物の流れを軸とした経済を学ぶにあたって) キーワード (物の流れとは)	ガイダンス 経済は、人・物・サービスが循環して成り立つ。まずは大きな流れを理解する。 学習方法：講義 予習(30)分：(好きな企業を1つ調べ、何が良い点かまとめる) 復習()分：()	佐藤 素子
2	素材① キーワード (金属の製錬、種類)	形あるものは素材を加工することで、そのかたちを形成する。まずはどのような素材があるか、どんな特性を持つのか理解する。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(製錬方法や、特性について復習)	佐藤 素子
3	素材② キーワード (金属の製錬、種類)	形あるものは素材を加工することで、そのかたちを形成する。まずはどのような素材があるか、どんな特性を持つのか理解する。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(製錬方法や、特性について復習)	佐藤 素子
4	素材③ キーワード (樹脂とはなにか)	プラスチックは金属よりも多く普及している、プラスチックにもたくさんの種類があり特性も様々であるのでそれらを理解する。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(身の回りのプラスチックが何があるか調べる)	佐藤 素子
5	製造の方法・生産の仕方① キーワード (金属を加工するには①)	製錬した金属にはそれぞれ特性が異なるため、金属にあった製造方法が存在する。製造方法の特徴も確認しながら学ぶ。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(身の回りの金属部品がどんな加工を施してあるか調べる)	佐藤 素子
6	製造の方法・生産の仕方② キーワード (金属を加工するには②)	製錬した金属にはそれぞれ特性が異なるため、金属にあった製造方法が存在する。製造方法の特徴も確認しながら学ぶ。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(身の回りの金属部品がどんな加工を施してあるか調べる)	佐藤 素子
7	品質とはなにか キーワード (品質を保つ、改善)	製造をした、だけでは狙いの物を世に出すことはできない。3つの品質について学びながら、経済に関わる物の流れを理解する。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(物の流れを理解する)	佐藤 素子
8	品質とはなにか キーワード (品質を保つ、改善)	製造をした、だけでは狙いの物を世に出すことはできない。3つの品質について学びながら、経済に関わる物の流れを理解する。 学習方法：講義 予習()分：() 復習(30)分：(物の流れを理解する)	佐藤 素子

科目名	経済と政策	授業科目番号	1106040
担当者氏名	佐藤 素子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	燕三条地域のものづくり キーワード (地域経済)	新潟県に根付いたものづくりは、地域ごとにある。それらを分析し地域的な特性との関連を理解する。 学習方法：講義 予習(30)分：(長岡のものづくり企業を調べる) 復習(30)分：(新潟県のものづくりの傾向を調べる)	佐藤 素子
10	中間テスト、解説 キーワード ()	これまで学んできたものの理解度を計る。 学習方法：講義 予習(120)分：(これまでの内容を振り返る) 復習(30)分：(これまでの内容を振り返る)	佐藤 素子
11	企業の生産管理の現場を 訪問・見学・分析 キーワード ()	企業の現場を実際に訪問・見学し、生産における工夫を分析する 予習(30)分：(訪問先企業について調べる、質問を1つ以上用意) 復習(30)分：(訪問時の内容をまとめておく)	佐藤 素子
12	企業の生産管理の現場を 訪問・見学・分析 キーワード ()	企業の現場を実際に訪問・見学し、生産における工夫を分析する 予習(30)分：(訪問先企業について調べる、質問を1つ以上用意) 復習(30)分：(訪問時の内容をまとめておく)	佐藤 素子
13	標準化に関する グループワーク キーワード (ヒューマンエラー)	同じ品質を保つためには、他の人であっても同じ作業を出来るように指示をする必要がある。間違いをなくしていくために、どのような工夫が必要かグループワークを通じて学んでいく。 学習方法：グループワーク 予習()分：() 復習()分：()	佐藤 素子
14	標準化に関する グループワーク キーワード (標準化)	同じ品質を保つためには、他の人であっても同じ作業を出来るように指示をする必要がある。間違いをなくしていくために、どのような工夫が必要かグループワークを通じて学んでいく。 学習方法：グループワーク 予習()分：() 復習()分：()	佐藤 素子
15	訪問先企業および グループワークを通じた 分析・発表 キーワード ()	訪問先企業に関する分析および今まで学んできたことを結び付けて発表を行う。 予習(120)分：(訪問先企業に関する分析、GWの成果発表) 復習()分：()	佐藤 素子

《基礎教育科目 基礎教育科目 社会の理解》

科目名	国際ボランティア論			授業科目番号	1106050
担当者氏名	川崎 真理子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	企業通訳翻訳、在宅翻訳				
実務経験を 活かした 教育内容	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

英語科目においては、医療看護福祉健康に関わるテーマを使って、言語としての英語のみならず、コンテンツも学んできた。また災害支援の知識も身につけた。ここでは既習の知識と言語能力を活用し、国際社会の平和と安定について、現在の世界の情勢を知り、平和とは何かについて自己の考えを明確にする。また、平和な社会の実現のためにどのような貢献ができるかについて、国際的視野で考える。貢献の一つであるボランティア活動の歴史的背景や理念・方針について先行研究等より知り、各自の考えを共有・討議する。活発かつ持続している国内外のボランティア活動を取り上げ、課題について考え、報告・発表する。

《授業の到達目標》

- ①国際社会の多様性を理解し、適切に行動できる。
- ②平和と安定を実現するための共生・協働の重要性を認識し、実現の努力ができる。
- ③自分の見解を根拠を示してまとめることができる。
- ④国内外のボランティア活動に関心を持ち、自分にできる貢献についての考えを発表できる。

《先修科目》

ベーシック英語、看護に活かすコミュニケーション英語、基礎ゼミナール

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

授業への参画30%（②④）、ミニリサーチペーパー（紹介、意見、提案等）40%（①②③④）、プレゼンテーション20%（①②③④）、その他提出物10%（①②③④）課題はグーグルクラスルーム上で校閲・コメント付記・採点を行う。

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜紹介する

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却 □その他（ ）
 授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション □双方向（ICTの活用）
 □タブレット端末の利用 □教育リソースの利用（利用リソース名： ）

授業は協働学習の場です。主体的に取り組みに加えて、自己との対話（省察など）や他者との対話（意見交換・討議）を求めます。シラバスは最適な学修の促進と支援のために変更することがあります。

《備考》

《オフィスアワー》

連絡は英語でメールしてください。詳細は初回授業時に説明します。

科目名	国際ボランティア論	授業科目番号	1106050
担当者氏名	川崎 真理子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ボランティア活動にいて知る (自己評価、ボランティア、異文化理解)	授業方針と計画ならびに評価方法を確認します。 ボランティア活動について、知っていることや考えていることをシェアしましょう 授業外学習：課題1 ボランティア活動の歴史的背景、理念、意義等を分担して調べてまとめる(約4時間/週)	川崎真理子
2	ボランティア活動と文化 (歴史、文化、宗教)	課題1の発表と討議 授業外学習：課題2 ボランティア意識と文化・宗教の関係について調べてまとめる(約4時間/週)	川崎真理子
3	ボランティア意識と文化、JICA (ボランティア意識、文化、宗教)	課題2の発表と討議 授業外学習：課題3 資料1を読んで、概要をまとめる(約4時間/週)	川崎真理子
4	JICA, MSF等とその活動 (JICA, MSF, 国際支援活動、ミニリサーチ)	課題3の発表と討議 JICA(国際協力機構)の活動を知る その意義と課題を考える 授業外学習：課題4 資料2を読んで、概要をまとめる(約4時間/週)	川崎真理子
5	ボランティア活動の課題、今後ボランティア活動 その1 (批判的検討、問題発見、課題解決)	ミニリサーチペーパーにおける論理の展開を考える その1 互いの立場、論拠を批判的に検討し合うことにより、自己の主張をわかりやすく論述する 授業外学習：ミニリサーチペーパー(約4時間/週)	川崎真理子
6	ボランティア活動の課題、今後ボランティア活動 その2 (批判的検討、問題発見、課題解決)	ミニリサーチペーパーにおける論理の展開を考える その2 互いの立場、論拠を批判的に検討し合うことにより、自己の主張をわかりやすく論述する ミニリサーチペーパー進捗確認 授業外学習：ミニリサーチペーパーを仕上げる(約4時間/週)	川崎真理子
7	アカデミックプレゼンテーション (リサーチペーパー、プレゼンテーション)	ミニリサーチペーパーを提出する プレゼンテーションの組み立て 授業外学習：課題7 ミニリサーチペーパーのプレゼンテーションのスライドと原稿を作成する(約4時間/週)	川崎真理子
8	プレゼンテーション、ピアレビュー、リフレクション (ピアレビュー、リフレクション) ゲストスピーカー(予定)	ミニリサーチペーパーの発表と質疑応答・講評 ゲストスピーカーとのディスカッション	川崎真理子

《専門教育科目 専門基礎科目 健康と社会のシステム》

科目名	看護関係法規			授業科目番号	2210040
担当者氏名	菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	保健師として保健所勤務の実務経験を有する				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かし、看護職の思考過程を踏まえて看護関係法規について教授する。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割, ◎4-1 看護学を探究する意欲, ◎5-1 地域・ 国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

質の高い看護を提供できる専門職として、理解しておかなければならない法について、保健医療福祉と法の関わり方、看護法、医事法・薬務法、保健衛生法、社会保障法・労働法等について学ぶ。知識として学ぶだけではなく、その内容の根拠や看護との関係に着目しながら学習する。それまで学んだ他の科目や日常生活での経験、マスメディアやインターネットからの情報、実習での経験と関連付けて学び、日常生活とかけ離れたものではないことも学習するとともに、社会人となるためのレディネスとしての保健・医療・福祉関連の法の学修を統合させる。

《授業の到達目標》

1. 保健医療福祉と法の関わり方、法律の読み方の基本を説明できる。
2. 看護法、医事法・薬務法、保健衛生法の基本を説明できる。
3. 社会保障法・労働政策の基本を説明できる。
4. 看護職として仕事をする上での看護関連法規の重要性を再認識できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

《評価の方法》

毎回のミニッツペーパーと小テスト 100% (到達目標1,2,3,4)

《テキスト》

『ナースング・グラフィカ 看護をめぐる法と制度 第7版』（平林勝政 他編 メディカ出版 2026年）

《参考図書》

『系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令』（森山幹夫著 医学書院 2026年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却

授業形態：□講義形式

《備考》

保健師教育課程必修科目 本科目は4年次に履修することから、それまでに学修した科目との統合を図ること。

《オフィスアワー》

火曜日の昼休み、質問等はEmailでも可 (sugawara-k@m.sutoku-u.ac.jp)

科目名	看護関係法規	授業科目番号	2210040
担当者氏名	菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	ガイダンス、法律等の読み方の基本、保健医療福祉と法の関わり方① (保健師助産師看護師法、医療スタッフに関する法の枠組み)	当該科目のガイダンスを受ける。保健師助産師看護師法を例として、法律等の読み方の基本を理解する。保健医療福祉と法の関わり方(法的規制のあり方、免許、守秘義務)を学び、関係法規とは何か、なぜ関係法規を学ぶのかを考え、その意義を見出す。 (予習) (30分) 日本国憲法を確認する。 (復習) (30分) 免許の意義と業務独占・名称独占の目的についてノートにまとめる。	菅原 京子
2	保健師助産師看護師法、看護師の人材確保の促進に関する法律 (保健師・助産師・看護師・准看護師、人材確保)	保健師助産師看護師法(保助看法)について、目的・定義・免許・業務・義務・特定行為研修制度等について講義で理解する。また、国家試験について自身の受験をイメージしながら理解する。さらに、看護師の人材確保の促進に関する法律(人確法)の目的や定義を社会状況と照らし合わせながら理解する。 (予習) (30分) 保助看法、人確法の目的や定義を確認する。 (復習) (30分) 授業内容をノートにまとめる。	菅原 京子
3	保健医療福祉と法の関わり方②、医師をはじめとする医療スタッフ等の資格法 (医療スタッフの業務分担と連携に関する法の枠組み、医師法)	日本の医療スタッフの業務分担に関する現行法の構造について理解する。診療の補助業務に関する業務分担と多職種連携における看護師の役割を理解する。 (予習) (30分) 実習等に関わった職種の概要を確認する。 (復習) (60分) 講義内容をノートにまとめる。	菅原 京子
4	医療法、医薬品医療機器等法、麻薬及び向精神薬取締法 (医療提供の理念、病院・診療所・助産所、医療計画、医療安全、医薬品、麻薬)	医療提供について規定している医療法について、医療提供の理念、病院・診療所・助産所、医療計画、医療安全、広告、診療記録を中心に理解する。医薬品等を規定している医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法)及び、麻薬及び向精神薬取締法について理解する。 (予習) (30分) 医療を支えるさまざまな法の名称を調べる。 (復習) (60分) 講義内容をノートにまとめる。	菅原 京子
5	共通保健法と分野別保健法 (地域保健法・健康増進法、精神保健・母子保健・個別の疾病等対策)	地域保健法と健康増進法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。また、分野別の保健法や個別の疾病等対策等について、目的や内容を講義を通して、さらに既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。 (予習) (30分) 地域保健法の目的、保健所と市町村保健センターの役割、健康増進法による国民健康・栄養調査について調べる。 (復習) (60分) 授業内容をノートにまとめる。	菅原 京子
6	分野別保健法、労働政策 (感染症・予防接種・検疫、学校保健、労働政策)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)、予防接種法、検疫法について、また、学校保健や労働政策に関する様々な法律について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。 (予習) (30分) 感染症法の感染症の分類を調べる。 (復習) (60分) 授業内容をノートにまとめる。	菅原 京子
7	社会保障法 (社会保険、医療保険、診療報酬制度、介護保険、生活保護)	社会保険の仕組みについて、既存の学習内容と照らし合わせて理解する。医療と介護の費用保障について、保険者・被保険者・保険料・保険給付の観点から理解する。診療報酬制度について看護師業務と関連づけて理解する。 (予習) (30分) 医療保険制度の体系について調べる。 (復習) (30分) 授業内容をノートにまとめる。	菅原 京子
8	看護と法についてのまとめ (出生と死、医療過誤)	出生と死にまつわる様々な法的課題(母体保護法、死産の届出、代理出産、死体解剖、死因究明、臓器移植、安楽死)について理解する。また、医療過誤と法的責任の類型について理解し、看護師の法的責任のあり方について考える。看護関係法規を理解することが、対象者支援につながることを講義を通して理解する。 (予習) (45分) 7回目までの講義内容の確認をする。 (復習) (30分) 毎回の小テストは国家試験レベルのため、自己の学習が不十分と思われる内容を再学習する。	菅原 京子

《専門教育科目 専門科目 地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313160
担当者氏名	広井 貴子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	防災士、応急手当（BLS）普及員の資格をもち、災害ボランティアの経験や技術を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	実務経験を活かして、医療者として生活する地域における災害対策を教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力、○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力、○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

静穏期における災害看護について、災害看護活動論Ⅰで行ったフィールドワークを基に看護職者として災害時の看護方策を考える。一般市民に対し、平時における減災に向けた防災指導について企画することができる。被災地でのトリアージ、各災害場面におけるチーム医療・看護者としての役割について理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 地域に発生しやすい自然災害を理解し、減災にむけて知識を深め、備えについて説明できる。
2. シミュレーションと被災現場からトリアージ・応急処置・病院受け入れまでの流れを理解し、看護職の役割を述べることができる。
3. 中越地震や東日本大震災、原発被害地などの発災から復興までを学ぶことができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

災害看護論、災害看護活動論Ⅰ。学んだ知識と実習施設がある地域の特性や大学周囲の環境を把握し、医療者として災害にどう向き合うかを4年次の後期で学ぶ。

《評価の方法》

1. グループワーク参加態度、事前課題の準備20%（到達目標1.2.3）
2. レポート：地域への指導案20%（到達目標1）、見学感想20%（到達目標1.2）、まとめのレポート40%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『シミュレーションで学ぶ避難所の立ち上げから管理運営 HAPPY』（山崎達枝監修 荘道社 2016年）

《参考図書》

『事例を通して学ぶ避難所・仮設住宅の看護ケア』（黒田裕子、神崎初美著 日本看護協会出版会 2012年）
『演習で学ぶ災害看護』（小原真理子監修 南山堂 2010年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□次回講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク □プレゼンテーション

演習、現地見学、災害支援の考察などから災害看護に関して多様な学びを深めます。活発なディスカッションを望みます。積極的に参加できるように予習や必要物品の準備を忘れないようにしてください。

《備考》

中越地震被災地見学、長岡震災アーカイブセンターの見学は現地集合、現地解散。交通費・施設見学費は実費になります。

《オフィスアワー》

hiro-i-t@m.sutoku-u.ac.jp

科目名	災害看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313160
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	災害発生時急性期の避難所運営 キーワード (HUG(避難所運営ゲーム)、避難所)	(演習)・(模擬)教室や体育館の平面図に避難所として受け入れ体制を企画する。多数被災者の受け入れ、多職種との関りなど、管理運営を模擬体験する。 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(120分):テキスト1をよく読み込み。意見交換できるよう手法を理解し授業に臨むこと (復習)(60分):次の授業では、各グループで立案した企画を発表することができるよう再確認し備える	広井 貴子
2	災害発生時急性期の避難所運営 キーワード (HUG(避難所運営ゲーム)、避難所)	(演習)(模擬)平面図にどれだけ適切に配置できたのか、工夫した点などを各グループ発表し、全体討議としより学びを深める。 学習方法:講義、チーム基盤型学習(TBL) (予習)(120分):テキスト1をよく読み込み演習につなげられるよう熟読する (復習)(60分):各グループでまとめた企画が、円滑な避難所運営に繋がれたか、被災者に適切な対応につながったのか、よくできた点とできなかった点を振り返る	広井 貴子
3	傷病者への手当 (三角巾・包帯での被覆・骨折時の固定) キーワード (傷病者への応急処置)	(演習)三角巾・包帯を用いた被覆、適切に圧迫されていること、出来上がりが奇麗であること。骨折時の固定ができること。 学習方法:チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):3年生時に配布したプリントを参照し三角巾を用いた被覆法の練習を行う (復習)(30分):演習で学んだこと、スムーズにポイントを抑えて奇麗に被覆できるように練習すること	広井 貴子
4	傷病者への手当 (三角巾・包帯での被覆・骨折時の固定) ・担架による傷病者の搬送 キーワード (傷病者への応急処置)	(演習)前授業の復習、担架による搬送訓練(平坦・階段の搬送) 学習方法:チーム基盤型学習(TBL) (予習)(30分):三角巾・包帯の被覆の練習 (復習)(30分):演習で行った実技、上手くできないところを練習する	広井 貴子
5	段ボール使用した簡易ポータブルトイレの作成 キーワード (災害時用トイレ)	災害発生時、ライフラインが途絶えた場合にトイレの問題は喫緊であり、あるものを工夫して利用することで健康障害を回避できるようにする。 学習方法:チーム基盤型学習(TBL) (演習)段ボールを利用してポータブルトイレの作成 (予習)(30分):作成方法(資料)をよく読み理解し授業に臨むこと、段ボールを準備する	広井 貴子
6	DIG(災害図上訓練)1 キーワード (防災・減災)	想像力を高めて「もしも」に備える! 自然災害をイメージし、防災・減災につながる行動へ 学習方法:チーム基盤型学習(TBL) (グループワーク)長岡市ハザードマップ、等高線、気象概要などから長岡市内の自然災害に関する被災状況を理解し発表する。 (予習)(60分):ハザードマップを入手し事前学習 (復習)(60分):次の授業で指導案が作成できるよう不足部分を準備する	広井 貴子
7	DIG(災害図上訓練)2 キーワード (防災・減災)	(グループワーク)前授業1で行った結果を基に、地域への指導案を作成し、発表しグループ間で意見交換。 学習方法:チーム基盤型学習(TBL) (予習)(60分):指導案作成に向けて準備 (復習)(60分):指導案の不足部分を追加修正 1週間後に提出する	広井 貴子
8	中越地震被災地見学 1 キーワード (災害復興)	中越地震被災地見学 学習方法:体験学習 (予習)(60分)宮本匠氏・稲垣文彦氏などの中越地震後の復興に関する論文を読むこと。 (復習)(30分):本日の見学の内容をまとめる	広井 貴子

科目名	災害看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313160
担当者氏名	広井 貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	中越地震被災地見学 2 キーワード (災害復興)	中越地震被災地見学 中越地震の被災地を見学し、復興について考える。 学習方法：体験学習 (予習) (60分)：中越地震に関する書物を読み知識を得て被災地を訪問する (復習) (60分)：感想文を1600字程度にまとめ、講義終了後1週間以内に5階事務局前のレターボックスに提出する	広井 貴子
10	長岡震災アーカイブセンター見学1 キーワード (災害復興)	中越地震による被害や地震からの復興に関して学びを深める。 震災アーカイブスを見学し、説明を聞くことで震災への備え、被災人対応等について学ぶ。 学習方法：体験学習 (予習) (120分)：中越地震について調べる (復習) (60分)：本日の学びをまとめる	広井 貴子
11	長岡震災アーカイブセンター見学2 キーワード (災害復興)	中越地震による被害や地震からの復興に関して学びを深める。 震災アーカイブスを見学し、説明を聞くことで震災への備え、被災人対応等について学ぶ。 学習方法：体験学習 (予習) (120分)：中越地震について調べる (復習) (60分)：本日の学びをまとめる	広井 貴子
12	能登半島地震における支援と復興について考える キーワード (被災者支援)	能登半島地震における被災者支援について、報道資料から課題と支援について考え、災害対応に関する理解を深める。グループワークで支援内容をまとめる。 学習方法：チーム基盤型学習 (TBL) (予習) (120分)：能登半島地震に関して被災者の報道資料を収集し、確認する (復習) (60分)：本日の学びをまとめる	広井 貴子
13	能登半島地震における支援と復興について考える キーワード (被災者支援)	能登半島地震における被災者支援について、報道資料から課題と支援について考え、災害対応に関する理解を深める。グループワークで支援内容をまとめる。 学習方法：チーム基盤型学習 (TBL) (予習) (120分)：能登半島地震に関して被災者の報道資料を収集し、確認する (復習) (60分)：本日の学びをまとめる	広井 貴子
14	東日本大震災被災地の被害状況と復興について キーワード (復興の実際の状況)	被災地の被害と復興状況を文献、映像等の情報から調べてまとめる。 学習方法：チーム基盤型学習 (TBL) (予習) (120分)：関連する文献、情報を調べる (復習) (60分)：学びをまとめる	広井 貴子
15	まとめ キーワード (災害に関する看護職の役割)	授業から学んだことをグループワークする。 学習方法：チーム基盤型学習 (TBL) 学びを2000字程度にレポートする。タイトルは問わないが、自身が考える災害に関する看護職の役割に関して内容に加える。講義終了後1週間以内に5階事務局前のレターボックスに提出する。提出したレポートはコメントを入れ、後日返却します。	広井 貴子

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護情報論			授業科目番号	2314030
担当者氏名	船津 誠也			実務経験のある 教員等による授業科目	
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容					
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎3-1 地域のネットワークを共有する力				

《授業の概要》

看護におけるさまざまな「データ・情報・知識」について、蓄積・検索・分析・活用という観点から学習し、看護情報学の基礎を身につける。個人情報の保護に関する法律やガイドラインに基づく適切な情報の取り扱いなど、情報倫理や情報管理の意義について学ぶ。学術情報の検索と活用、医療情報システム、健康教育や患者教育における情報の活用方法、健康情報とメディア等、幅広く理解を深める。また、看護・医療における情報活用の意義及び看護活動における記録や報告等の情報の伝達の仕方、個人情報の取扱い、病院の情報システムにおける情報管理、地域保健医療ネットワークについて理解する。

《授業の到達目標》

1. 看護におけるデータ・情報の特徴について説明できる。
2. コンピュータリテラシーと情報リテラシーおよび情報倫理と法について説明できる。
3. 看護の現場でコンピュータを使用した情報がどのように活用され管理されているのか説明できる。

《先修科目》

情報リテラシー、情報活用法

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

なし

《評価の方法》

定期試験 90%（到達目標1. 2. 3） 授業への参加度 10%（到達目標1. 2. 3）授業での積極的発言を期待する。

《テキスト》

『エッセンシャル看護情報学 2026年版』（太田勝正、前田樹海 編著 医歯薬出版 2026年）

《参考図書》

『系統看護学講座 別巻 看護情報学 第3版』（中山和弘著 医学書院 2026年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■その他（随時指示する ）
授業形態：■講義形式

テキストを事前に読んで、授業に臨むこと。

《備考》

《オフィスアワー》

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護情報論	授業科目番号	2314030
担当者氏名	船津 誠也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション (看護情報学)	本授業の学習内容と学び方、評価について概説する。看護情報を何のために学ぶのかについて説明し、看護情報学教育の歴史と現状について理解する。 学習方法：講義 (予習) (60分) テキストp1～11を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
2	看護情報とは (看護データ・情報の特徴、情報の活用と記録)	看護におけるデータ・情報の特徴や情報の活用の概要について理解する。 学習方法：講義 (予習) (60分) テキストp12～21を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
3	コンピュータリテラシー (情報の定量化、コンピュータの基本構成、インターネット)	コンピュータに関する基礎的知識やインターネットに仕組みについて理解する。 学習方法：講義 (予習) (60分) テキストp22～41を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
4	情報リテラシー (情報リテラシー、情報セキュリティ、情報発信)	情報リテラシーや情報セキュリティについて理解する。 学習方法：講義 (予習) (60分) テキストp42～56を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
5	情報倫理と法1 (情報倫理、プライバシーと守秘義務)	情報倫理およびプライバシーと守秘義務について理解する。 学習方法：講義 (予習) (60分) テキストp57～75を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
6	情報倫理と法2 (個人情報保護法)	個人情報保護法に関する法律について理解する。 学習方法：講義 (予習) (60分) テキストp76～100を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
7	医療情報システムの実際 (病院情報システム・電子カルテシステム)	診療・看護で扱う医療情報システムの特徴と実際について理解する(電子カルテ含む)。 学習方法：講義 (予習) (60分) p101～1114を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也
8	看護用語の標準化 (看護用語、標準化)	これまでの学びの中から、看護情報の取り扱いに関する留意事項をまとめる。 学習方法：講義 (予習) (60分) p115～132を読む。 (復習) (60分) 配布資料に目を通す。	船津 誠也

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	医療安全論			授業科目番号	2314040
担当者氏名	樋本 まゆみ			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	病院での医療安全管理者の経験を持つ。				
実務経験を 活かした 教育内容	病院での医療安全管理者の経験を含めて、理論と実践を統合し、実践的な教育を行う。				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

医療安全における基礎的知識を理解するとともに、医療の現場の取り組みの実際と医療安全対策における看護職者の責任と役割について学ぶ。リスク発生の原因とヒューマンエラーの関連について理解し、現場で発生するインシデント、アクシデントのリスク管理について学ぶ。授業は参加型とし、医療事故の実態調査と分析、与薬や輸液、転倒転落のシミュレーション・リフレクションを行い、グループによる事例分析などの演習を組み入れる。

《授業の到達目標》

1. 学生が、医療安全の基礎的知識が理解できる。
2. 学生が、医療安全対策と看護職者の責任が理解できる。
3. 学生が、事例を通して、インシデント・アクシデントのリスク管理が理解できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

看護管理学

《評価の方法》

学習態度 10% 授業中の発言、態度をもとに評価（到達目標1.2）

筆記試験 90%（到達目標1.2.3）

《テキスト》

『医療安全 多職種でつくる患者安全をめざして 改訂第2版』（山内豊明・荒井有美 著 南江堂 2024年）

《参考図書》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[2] 医療安全』（川村治子著 医学書院 2023年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：□最終講義時に返却 □次回講義時に返却

授業形態：□講義形式 □ディスカッション □グループワーク

グループ討議においては、主体的に参加するとともに、他者の意見を傾聴し、チームで学ぶことの意義を実感する。

《備考》

《オフィスアワー》

毎週火曜日 10：00～15：00 （実習などで不在の場合はtoyomoto-m@sutoku-u.ac.jpへ

科目名	医療安全論	授業科目番号	2314040
担当者氏名	樋本 まゆみ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	医療安全を学ぶ意義を理解する(医療安全とは)	ガイダンス 医療安全を学ぶ意義を理解する。 (予習) 指定教科書序論と教科書全体を概観する(30分) (復習) 教科書を用いて、講義内容をまとめる(90分)	樋本まゆみ
2	医療安全の基礎を学ぶ(医療安全、医療事故と過失)	医療安全の基礎と事故防止の考え方を理解する。 (予習) 指定教科書第1章を熟読する(30分) (復習) 教科書を用いて、授業で解説された点をまとめる(90分)	樋本まゆみ
3	看護職に必要な医療安全(診療の補助、療養上の世話における医療の安全)	診療の補助で起こる事故と事故防止、療養上で起こる事故と事故防止、共通しておこる患者間違いを理解する。 (予習) 指定教科書第2章を熟読する(30分) (復習) 教科書を用いて、授業で解説された点をまとめる(90分)	樋本まゆみ
4	組織的な安全管理の取り組み(組織、インシデントレポート)	組織的な安全管理の取り組みと労働安全上の事故防止について理解する。 (予習) 指定教科書第3章第7.8章を熟読する(30分) (復習) 授業で解説された点をまとめる(90分)	樋本まゆみ
5	医療安全とコミュニケーション(コミュニケーションエラー)	チーム医療におけるコミュニケーションの重要性について理解する。 (予習) 指定教科書第5章を熟読する(30分) (復習) 授業で解説された点をまとめる(90分)	樋本まゆみ
6	事例から学ぶ医療安全(RCA分析の講義)	RCA・なぜなぜ分析について資料およびインターネットなどで学習する。 (予習) 配布資料やインターネット等で自己学習を行う(30分) (復習) グループワークを通して、分析方法と理解したことを記載する(90分)	樋本まゆみ
7	事例から学ぶ医療安全(RCA分析・演習)	前回講義内容を十分理解しながら、分析の考え方がわかるようにする。 (予習) 配布する資料を読み把握する(30分) (復習) グループワークを通して、分析方法と理解したことを記載する(90分)	樋本まゆみ
8	まとめ・リフレクション	今までの授業での振り返りを行う。 (予習) それぞれの授業の振り返りを行う(30分) (復習) 医療安全管理において、どのようなことが重要かを授業を含めて解説されたことをもう一度、総まとめておくこと(90分)	樋本まゆみ

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護実践力演習			授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する				
実務経験を活かした教育内容	実務経験を活かして、基本的な診療の補助看護術や看護技術について実務的に教育する科目である。				
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護実践力を向上させるために、自己の課題に沿って看護技術の練習を行う。第1回目に看護基礎技術の到達度チェックを行い、自己の課題を明らかにする。また、卒業時看護技術到達項目の中で共通する課題を明らかにし、到達度が低い項目に着目した演習計画を立てて実践的にグループ演習を行う。同時に、受け持ち患者を想定した状況設定を行い、看護の手順や対象者の尊厳を考えた実施計画と実践を練習する。対象者への説明や指導の場面では、ロールプレイなどを取り入れてより現実的な演習とする。最終的には、グループ間で相互評価を行い、学生自身の気づきと相互評価力を育成する。

《授業の到達目標》

1. 新卒看護師に求められる看護実践能力について述べることができる。
2. 看護基礎技術の到達度について自己の課題を明らかにすることができる。
3. 自己の看護実践能力の評価結果にそった看護実践を行うことができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

位置づけ：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、地域・在宅看護学の領域実習すべてを基礎とし、卒業年度において学生自身の看護技術到達度をもとに卒業後の専門職としての自己の課題を明らかにする

《評価の方法》

予習課題や復習内容への取り組み（20％）（到達目標1～3）、レポート（看護技術到達度の考察）（20％）（到達目標1～3）、実践課題への取り組み（60％）（到達目標1～3）

《テキスト》

なし

《参考図書》

『看護技術プラクティス』（竹尾恵子監修 学研メディカル秀潤社 2019年） 『患者さんが安心できる検査説明ガイドブック』（東京慈恵会医科大学附属病院グリーンカウンター 編 医学書院 2014年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却
授業形態：■講義形式 ■グループワーク

レポートの提出期限や提出場所については授業内で説明します。
自己の看護実践能力や到達度を知り、その向上促進方法を自分自身で把握していくことが大切です。
グループワークは、課題について各自資料を作成し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。

《備考》

1～3年次に記載した技術経験録を第1回目に持参してください。

《オフィスアワー》

広井貴子：毎週水曜日と金曜日 12:30～13:30 実習で不在の場合は、hiro-i-t@sutoku-u.ac.jp
大崎美奈子：毎週水曜日 12:00～14:00

科目名	看護実践力演習	授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	看護実践能力と臨床看護実践能力 キーワード (臨床判断能力、倫理的判断能力、リスク・マネジメント)	新卒看護師に求められる臨床看護実践能力 ・新人看護研修の概要(厚生労働省) ・看護実践能力とは (予習) (30分): (技術経験録の記載見直し) (復習) (30分): (個々の看護技術到達度表(3年次まで)の記載を再確認し、演習項目として希望する内容を考える)	広井貴子 大崎美奈子
2	看護技術到達度の振り返り キーワード (看護技術項目、到達度、情報リテラシー)	看護技術経験度 看護技術、情報リテラシー、小テストと自己採点 (予習) (45分): (看護専門用語集を読み返す) (復習) (30分): (分野別専門用語を計画的に復習する)	広井貴子 大崎美奈子
3	患者・家族とのコミュニケーション キーワード (患者・家族指導、検査・処置の説明)	患者・家族とのコミュニケーション場面の振り返り (予習) (90分): (患者・家族指導場면을振り返って(個別レポート)) (復習) (30分): (新たな指導場面について資料をまとめる)	広井貴子 大崎美奈子
4	演習候補技術 キーワード (技術項目の達成度、演習計画、アルゴリズム)	演習内容について 演習候補技術の選定とアルゴリズム作成(個別) (予習) (45分): (選定した演習項目についての資料を読み込む) (復習) (30分): (状況に合わせたアルゴリズム・手順のポイントを修正する)	広井貴子 大崎美奈子
5	個別演習 キーワード (演習の組み立て)	演習候補技術の選定とアルゴリズムにそった個別演習 (予習) (60分): (不足した知識を調べ、修正したアルゴリズムを準備する) (復習) (45分): (不足した知識を調べる)	広井貴子 大崎美奈子
6	個別演習 キーワード (situation based training、パートナー、クリティーク)	状況設定のある看護ケア場面の設定 situation based training 説明を受けた後、自分で設定する (予習) (60分): (看護技術項目と看護ケアの流れを作成する) (復習) (30分): (個別演習および指導の結果をまとめる)	広井貴子 大崎美奈子
7	グループ演習 キーワード (資料作成)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習① 演習パートナーの選定 (予習) (60分): (パートナーへの看護ケア計画(演じる内容)の説明資料作成) (復習) (60分): (資料の精選)	広井貴子 大崎美奈子
8	グループ演習 キーワード (資料作成)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習② 演習グループ内でクリティーク (予習) (60分): (修正した説明資料の準備) (復習) (45分): (資料の精選と修正)	広井貴子 大崎美奈子

科目名	看護実践力演習	授業科目番号	2314090
担当者氏名	広井 貴子、大崎 美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	グループ演習 キーワード (資料作成)	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習③ (予習) (60分) : (修正した説明資料の準備) (復習) (45分) : (資料の精選と修正)	広井貴子 大崎美奈子
10	グループ演習成果の中間評価 キーワード (実演に向けて再確認)	看護ケア計画案を時間の流れにそって実演 (指導後に修正) (予習) (45分) 実際の場面として時間配分を設定する (復習) (30分) 時間配分や内容の再確認	広井貴子 大崎美奈子
11	修正後の練習 キーワード (演習内容の推敲)	看護ケア状況設定の最終修正 グループでケア看護ケア計画と技術をクリティーク (予習) (30分) : (実際の場面として時間配分を設定する) (復習) (30分) : (クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認)	広井貴子 大崎美奈子
12	修正後の練習 キーワード (演習内容の推敲)	看護ケア計画の状況設定案の流れの修正と練習 (予習) (30分) : (実際の場面として時間配分を設定する) (復習) (30分) : (クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認)	広井貴子 大崎美奈子
13	発表準備1 キーワード (発表のポイント、演じ方、 場面設定)	看護ケア場面のロールプレイ(看護師役)の発表練習をグループで行う (予習) (30分) : (同僚へのクリティークの基本を復習する) (復習) (30分) : (個別に練習を重ねる)	広井貴子 大崎美奈子
14	発表準備2 キーワード (発表のポイント、演じ方、 場面設定)	看護ケア場面のロールプレイ(看護師役)の発表練習 (予習) (30分) : (看護ケア場面の進行表を改訂する)	広井貴子 大崎美奈子
15	状況設定のある看護ケア 発表 キーワード (発表時間、クリティーク、 評価)	看護ケア計画のロールプレイ(看護師役)の発表と評価 (予習) (60分) : (練習結果を制限時間内にまとめる) (復習) (45分) : (タイムラインを含めた発表原稿を清書し、提出する)	広井貴子 大崎美奈子

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	菅原 京子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容					
実務経験を 活かした 教育内容	指導教員は基礎教育、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、地域・在宅看護学領域における看護実践と教育の実務経験を有し、その経験を活かし研究計画書作成から論文作成・口頭発表までのプロセスの指導にあたる。				
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力、○4-1 看護学を探究する意欲、○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

1・2年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、3年次の「看護学研究法」などで修得した知識を活かして、領域・指導教員別にグループに分かれ研究計画に基づく研究活動を遂行し、論文作成と研究発表までのプロセスを学ぶ。
研究課題は看護に関連するものとし、各自の研究計画を設定する。ゼミナール形式とし指導教員によるグループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果の発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識と技術を自ら学び続ける素養を身につける。

《授業の到達目標》

1. 看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる。
2. 目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる。
3. 研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる。
4. 研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる。
5. 作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる。

《先修科目》

看護学研究法

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

各領域の看護学や臨地実習を通じて芽生えた興味・関心をもとに、研究計画書に基づいて研究活動を行います。この学びを通して、卒業後も看護学を探求し続ける姿勢を育みます。

《評価の方法》

到達目標1～5について「看護研究課題ルーブリック評価表」を用いて学生自己評価および指導教員評価を行う。

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

3年次「看護学研究法」で用いた『系統看護学講座 看護研究』（坂下玲子 他著 医学書院 2024年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☐最終講義時に返却 ☐次回講義時に返却 ☐その他（ ）
授業形態：■ディスカッション ■グループワーク ■プレゼンテーション

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。
指導教員の指導を受けながら、学習が深められるよう主体的に学習活動を行うように努める。

《備考》

《オフィスアワー》

オフィスアワー実施一覧を参照

《専門教育科目 専門科目 看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	菅原 京子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	1回～15回 領域別ゼミナール形式 キーワード (研究テーマによって異なる)	1回～15回 ・文献検討 ・研究計画書作成 ・倫理チェック ・研究活動 ・論文提出：10月19日(月)～22日(木) 15時まで ・研究成果の口頭発表：11月6日(金) 13時～16時	各担当教員
2		期間：4月～11月 内容：「看護課題研究要項」を参照	

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	緩和・ターミナルケア看護論			授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として実務経験、教育経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	成人期、小児での緩和・ターミナルケア実践およびACPの研究経験を授業で紹介する。また、特別講師は在宅での看取り、小児の看取りを実践している内容を紹介する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力, ○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ◎1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

緩和・ターミナルケアを取り巻く医療・看護の現状を把握する。一人ひとりの自己決定を尊重するとともに、倫理的視点から考えることを学習する。

発達段階（小児・AYA世代・成人・老年期）にある人の死の捉え方、心理や家族の抱える課題、介入方法およびビハラー病棟での看護の実践についてオムニバス形式で授業を行う。

《授業の到達目標》

1. 緩和ケア及びターミナル期ケアの歴史について説明できる。2. 各発達段階（小児・AYA世代・成人・老年期）における患者・家族への緩和ケア・ターミナルケアの現状と課題を説明できる。3. 講義や演習をととして人の生と死について考え述べる事ができる。4. 緩和ケアをおこなう医療チームにおける看護師の役割について考え述べる事ができる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

臨地実習では体験することが少なかった緩和・ターミナル期にある対象者とその家族の看護の理解を深め、キャリア形成の礎とする。

《評価の方法》

各授業で提示される課題レポート100%（到達目標1～4）

《テキスト》

『緩和ケア』（恒藤暁、田村恵子 編 医学書院 2020年）

《参考図書》

1. 『終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア』メチカルフレンド社 2. 『緩和・ターミナル看護論』ヌーヴェルヒロカワ
3. 『ナースング・グラフィカ 成人看護学(6)：緩和ケア』メディカ出版 4. DVD「がん専門看護師 田村恵子の仕事」
その他、授業内で紹介します。

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：■最終講義時に返却 ■次回講義時に返却

授業形態：■講義形式 ■グループワーク

1. 事前に提示する予習内容に真摯に取り組みグループワークで活用していく。
2. レポートの提出期限や提出場所については授業内で説明する。
3. レポートのフィードバックは原則として授業の始まりに行う。

《備考》

《オフィスアワー》

近藤ふさえ：毎週木曜 10：00～17：00（それ以外ではkondo-f@sutoku-u.ac.jpに連絡してください）

広井貴子・沼野博子・多田健一：オフィスアワー実施一覧を参照

科目名	緩和・ターミナルケア看護論	授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	イントロダクション 「自分の人生」という物語の生から最終章をどう迎えるか *第1・2回は連続で実施する	授業ガイダンス(学習内容及び方法、評価) 学習方法: 映画「Life 天国で君に会えたら」視聴後にGW・レポート 提出: 指定用紙、授業終了時 視点: ①生命をおびやかす疾患の診断を受けた時の患者とその家族のこころの動き ②人生の最終段階に近づいている時の患者とその家族のこころの動き 予習(15分): シラバスを読み到達目標・学習内容を確認する。 復習(30分): 第3回と関連させ緩和ケア・ターミナルケアの意味を整理する。	近藤ふさえ
2	イントロダクション 「自分の人生」という物語の生から最終章をどう迎えるか	授業ガイダンス(学習内容及び方法、評価) 映画「Life 天国で君に会えたら」視聴後にグループワーク・レポート 提出: 指定用紙、授業終了時 視点: ①生命をおびやかす疾患の診断を受けた時の患者とその家族のこころの動き ②人生の最終段階に近づいている時の患者とその家族のこころの動き *第3回授業の予習(課題・および指定用紙配布)	近藤ふさえ
3	緩和ケア・ターミナルケアの歴史の変遷と現状 (緩和ケア・ターミナルケア)	緩和ケア・ターミナルケアの歴史の変遷と現状 学習方法: チーム基盤型学習(事前課題内容をグループ内で説明する) 予習/課題(60分): 主要用語の定義と歴史の変遷を調べまとめる。 →授業終了時に提出する。 復習(20分): グループワークをとおして調べ不足であった事項を整理する。	近藤ふさえ
4	死を避けられない患者・家族への援助 ① (患者の心理、家族の心理、チームアプローチ) *第4・5回は連続で実施する	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 予習(60分): テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。 復習(30分): 配布資料から学習のまとめをする。	広井貴子
5	死を避けられない患者・家族への援助 ② (患者の心理、家族の心理、チームアプローチ)	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 (予習)(60分) テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。 (復習)(30分) 配布資料から学習のまとめをする。	広井貴子
6	むずかしい場面でのコミュニケーション (緩和ケア、コミュニケーション) *第6・7回は連続で実施する	緩和ケアにおけるコミュニケーションや家族ケアについて学ぶ。 (予習)(45分) テキストp38～55を読む。 (復習)(45分) 配布資料から学習のまとめをする。	広井貴子
7	むずかしい場面でのコミュニケーション (緩和ケア、コミュニケーション)	【演習】バッドニュース、患者が思いを訴えたとき、家族との関わりなど行う。 グループワーク、レポート (予習)(45分) バッドニュースへの対応について調べる。 (復習)(45分) 演習や実習での体験と知識とを統合させてバッドニュースへの対応考えをまとめる。 レポートの内容について授業で説明する。レポートは、授業終了時に提出し、次回講義前に返却する。	広井貴子
8	我が国におけるACPおよびDNARの現状と課題 (意思決定支援、ACP、DNAR)	意思決定支援、ACPとDNARの概念および歴史的背景、現状と課題を学ぶ。 学習方法: 講義およびグループワーク。グループワークでは、自己の死生観を考察できるようなミニゲームを行い、結果についてディスカッションする。ディスカッションを通して考察したことをレポートする。指定用紙を使用して、授業終了時に提出する。(到達目標3,4) 予習(45分): テキストp63～77を読み、ACPとDNARの概念をまとめる。 復習(45分): テキスト、授業配布資料からACPの現状と課題を整理する。	多田健一

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	緩和・ターミナルケア看護論	授業科目番号	2315040
担当者氏名	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	認知症高齢者とACP (認知症、意思決定支援、ACP)	認知症高齢者の意思決定支援、およびACPについて学ぶ。 学習方法：講義 課題提出：第8回、第9回の授業内容を踏まえて、意思決定支援について学んだことや、今後の自身の看護実践について考えたことをレポートする。授業後1週間程度を目安に、教務システムを経由して提出。(到達目標1,3,4) 予習(45分)：認知症の症状とそれに対する看護について復習する。 復習(45分)：テキスト、授業配布資料からACP、意思決定支援の現状と課題を整理し、レポートを作成する。	多田健一
10	小児・AYA世代の死のとりえ方 患者および家族への緩和・ターミナルケアの現状と課題 キーワード (子どもの死の理解、小児緩和ケア)	子どもの死のとりえ方や終末期にある子ども・家族の身体的・心理社会的状態をふまえ、終末期における子どもと家族の看護を学ぶ 学習方法：講義と全体ディスカッション 予習(30分)：小児看護援助論Ⅰの「終末期にある子ども・家族の看護」の授業資料と教科書を見直し、大人の死の受け止め方と何が違うか、症状緩和が子どもの安心感や行動にどう影響するか、“生活の質”にどう関係するか、と看護の役割を整理する 復習(30分)：第11回目と関連し、子どものエンドオブライフに関する考えを整理しまとめる	沼野博子
11	小児・AYA世代の患者および家族への緩和・ターミナルケアの現状と課題 キーワード (こどもホスピス、子どものエンドオブライフケア)	子どものエンドオブライフケアにおける課題とこどもホスピスでの支援の実際を学ぶ 学習方法：オンライン講義と全体ディスカッション 予習(30分)：こどもホスピスの機能と役割について調べる 復習(30分)：子どものエンドオブライフケアに関する考えを整理しまとめる 【課題提出期限】レポート課題。指定用紙に講義3日後までにまとめる/ポータルサイトに提出(講義をふまえ、あなたが子どものエンドオブライフケアとして特に大切にしたいこと：800文字程度)	沼野博子 (特別講師)
12	終末期における退院支援と在宅看取り	終末期における退院支援・退院調整のプロセス及び自宅で最後を迎える患者・家族へのケアを学ぶ。 学習方法：講義、授業内レポート～課題は授業内で提示する。授業終了時提出。 予習(60分)：テキストp116～129を読む。 復習(20分)：配布資料から学習のまとめをする。	近藤ふさえ (特別講師)
13	緩和ケアにおける身体症状における治療と看護 臨死期のケア (看取り、セデーション)	がん終末期、非がん(慢性疾患の終末期)における全身状態の変化およびセデーションの概念を学ぶ。 学習方法：講義 予習(20分) テキストp224～253を読む。 復習/課題レポート(70分) セデーションおよびセデーションを受ける患者・家族への看護を考える。 課題は授業内において提示。提出日時は授業ガイダンス時に提示。	近藤ふさえ (特別講師)
14	長岡西病院_ビハラー病棟における看護の実際と課題	ビハラー病棟における事例をとおして、緩和・ターミナル期にある人の生活支援、臨死期のケア、遺族へのケアの実際を理解する。 学習方法：講義、授業内レポート～課題は授業内で提示する。授業終了時提出。 予習(30分)：テキストp2～17および第1・2回授業資料を復習する。 復習(30分)：講義をとおして終末期看護について考察する。	近藤ふさえ 長岡西病院 ビハラー病棟 看護師
15	緩和ケアに携わる看護師へのケア～看護師自身の心の揺らぎ～ (バーンアウト、ストレスマネジメント)	緩和ケアに携わる看護師のストレスマネジメントについて学ぶ。 学習方法：講義、グループワーク (予習) (30分) テキストp256～264を読む。 (復習) (60分) 配布資料から学習のまとめをする。 最終レポート：課題は授業内において提示。提出日時は授業ガイダンス時、提示	近藤ふさえ

《専門教育科目 専門科目 特論》

科目名	認知症ケア論			授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
実務経験内容	看護師として病院勤務の実務経験を有する。				
実務経験を 活かした 教育内容	各担当者の実務経験を活かして、認知症ケアにおける看護実践の視点や判断過程を学生が理解できるように 教示する。				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力, ○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力, ○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

認知症の病態と関連要因の理解と、認知症とともに生きる人の体験を通して、認知症の人のその人らしさを支える視点および家族ケアの視点から看護展開できる基礎的能力を養う。具体的には、認知症ケアにおける倫理的課題を取り上げ、権利擁護における看護の役割を学ぶ。また、認知症の人の生活環境の整え方やリスクマネジメント、ケア技法について学習する。

《授業の到達目標》

1. 認知症の症状を呈する疾患のうち四大認知症の種類と疫学を説明できる。 2. 認知症の検査と診断と治療が分かる。 3. 認知症の中核症状と行動・心理症状が説明できる。 4. 認知症と共に生きる人の心情が表現できる。 5. 認知症の人の倫理的課題・尊厳について意見交換できる。 6. 認知症の人とその家族を支えるサポートシステムが述べられる。 7. 認知症の人の生活環境からリスクマネジメントが考えられる。 8. 認知症の人とのコミュニケーション方法の原則を修得できる。

《先修科目》

なし

《重要な関連科目と科目の位置づけ》

老年看護学に関する科目（講義、実習）

《評価の方法》

課題・レポート50%（到達目標：1,4,5,6,8）

定期試験50%（到達目標：1,2,3,6,7,8）

《テキスト》

なし

《参考図書》

『認知症の人びとの看護』第4版（中島紀恵子 責任編集 医歯薬出版 2024年）

《履修上の留意点》

課題のフィードバック方法：☑最終講義時に返却

授業形態：☑講義形式 ☑ディスカッション ☑グループワーク ☑プレゼンテーション

認知症の治療や看護は日進月歩です。実習等での認知症看護を振り返りながら、テキストや参考書を活用し、自己の考えを述べられるようにしましょう。レポート・課題の詳細については授業で説明します。

《備考》

本授業では、google classroomを活用します。大学メールアドレス（m.sutoku）からログインできるように準備してください。

《オフィスアワー》

オフィスアワー実施一覧の記載のとおりです。実習指導等で不在の場合があります。事前に、メール等でアポイントメントの取得をお願いします。

科目名	認知症ケア論	授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
1	授業ガイダンス 認知症VRの体験	ガイダンス、科目概要 ・認知症を持つ人の疑似体験(認知症VR) (予習)(60分) 実習で経験した認知症看護について、レポートする。 (復習)(60分) 課題に取り組む。【課題 10点】提出期限; 次回講義前日までにgoogleclassroomに提出	角山裕美子
2	認知症の疫学、施策 認知症の人とのコミュニケーション (認知症の疫学、施策、コミュニケーション)	・認知症の社会的背景 ・認知症の人のコミュニケーションの特徴 ・コミュニケーション能力のアセスメント ・アルツハイマー型認知症のコミュニケーションの特徴 (予習)(60分) 既習のコミュニケーション技法をノートにまとめる。 (復習)(60分) 認知症の人のコミュニケーション技法についてまとめる。	角山裕美子
3	四大認知症 (認知症とは) (四大認知症の病態・治療) 若年性認知症	・アルツハイマー型認知症の特徴と治療 ・レビー小体型認知症の特徴と治療 ・脳血管性認知症の特徴と治療 ・認知症の薬物療法・非薬物療法 (予習)(60分) 4大認知症の病態・症状について調べ、ノートにまとめる。 (復習)(60分) 4大認知症の看護についてまとめる。	袖山 悦子
4	認知症の人の生活環境・治療環境 (認知症、治療環境、リロケーションダメージ、リスクマネジメント)	認知症の人の生活・療養環境・治療環境とリスクマネジメント ・認知症の人にとっての環境アセスメントの視点 認知症の人の療養環境 ・治療を受ける認知症の人の看護(事例を通して) (予習)(60分) 既習の知識から、認知症の人に影響する環境要因をノートにまとめる。 (復習)(60分) 認知症の人と環境の関係性についてまとめる。	角山裕美子
5	認知症ケアの倫理的課題 (認知症ケア時の倫理的問題) (アドボカシー)	認知症ケアの倫理的問題 ・認知症ケア時に生じる倫理的問題 ・認知症当事者の声(DVD) ・認知症の人の意思決定支援 (予習)(60分) 認知症ケア時に起こりやすい倫理的問題を考え、ノートにまとめる。 (復習)(60分) 倫理的問題の解決に向けて自己の考えをまとめる。	袖山 悦子
6	認知症の人の終末期と看護 (認知症者の終末期)	認知症の人の終末期看護 ・認知症の人の終末期とは ・認知症者のQOL ・認知症の人の意思の尊重と介護家族の支援 (予習)(60分) 既習の高齢者の終末期看護について、ノートにまとめる。 (復習)(60分) 授業を振り返り、認知症の終末期ケアについて自己の考えをまとめる。	青柳 直樹
7	認知症のケア技法 (ユマニチュード) (パーソンセンタードケア)	認知症のケア技法 ・ユマニチュード ・パーソンセンタードケア (予習)(60分) ユマニチュード、パーソンセンタードケアについて調べ、ノートにまとめる。 (復習)(60分) 授業を振り返り、ユマニチュードの技法について自己の活用方法を考えノートにまとめる。	青柳 直樹
8	認知症の人の権利擁護、家族への支援方法のまとめと新たな社会資源の開発 (認知症、権利擁護、社会保障制度)	社会資源の活用と課題 ・介護保険制度 ・成年後見制度、日常生活自立支援事業 ・高齢者虐待防止法 (予習)(60分) 認知症の人の権利擁護に関する制度・関連法規について調べ、ノートにまとめる。 (復習)(60分) 認知症の人を支える新たな社会資源についての考えまとめる。	青柳 直樹

科目名	認知症ケア論	授業科目番号	2315050
担当者氏名	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況(予習・復習)	担当教員
9	認知症の心情・介護家族の理解① (病名告知の受け止め) (今の自分・未来の自分) (認知症に対する社会の目)	・認知症の人の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 ・上記についての手記を読み、発表資料を作成する。 (予習) (60分) 認知症の人の手記を1冊読み、感想をまとめる。 (復習) (60分) グループディスカッションと事前学習を統合させ発表資料を見直す。	多田 健一
10	認知症の心情・介護家族の理解② (病名告知の受け止め) (今の自分・未来の自分) (認知症に対する社会の目)	・認知症の人の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 ・上記についてまとめた資料を発表し、学びを共有する。 (予習) (60分) 発表に向けた資料を見直し、発表準備を行う。 (復習) (60分) 各グループの発表から認知症の人とその家族の心情の理解につなげまとめる。【レポート 10点】提出期限；次回講義前日までにgoogleclassroomに提出	多田 健一
11	認知症の人への支援制度 (認知症介護者の講演)	認知症の人への支援制度について認知症家族による実体験の講演から学ぶ / ・認知症の人を支える家族の介護負担 ・認知症の人の介護で得られたこと ・介護における社会資源の活用方法 (予習) (60分) 介護保険等認知症施策について調べノートにまとめる。 (復習) (60分) 家族会の講演内容と事前学習を統合させまとめる。 【レポート 10点】提出期限；次回講義前日までにgoogleclassroomに提出	角山裕美子
12	フィールドワーク (急性期病院における認知症ケアサポートチームの実際)	≪急性期病院におけるDSTのフィールドワーク≫ ・急性期病院における認知症ケアサポートチーム (DST) 活動の実際を通して、認知症ケアの課題と多職種連携を学ぶ。 (予習) (60分) DSTの役割、認知症患者が急性期の治療場面で直面しやすい困難や課題 (復習) フィールドワークの目的・目標を踏まえ、実際の活動から学んだことをレポートとしてまとめる。	角山裕美子
13	フィールドワーク (急性期病院における認知症ケアサポートチームの実際)	≪急性期病院におけるDSTのフィールドワーク≫ ・急性期病院における認知症ケアサポートチーム (DST) 活動の実際を通して、認知症ケアの課題と多職種連携を学ぶ。 (予習) (60分) DSTの役割、認知症患者が急性期の治療場面で直面しやすい困難や課題 (復習) フィールドワークの目的・目標を踏まえ、実際の活動から学んだことをレポートとしてまとめる。	角山裕美子
14	フィールドワーク (急性期病院における認知症ケアサポートチームの実際)	≪急性期病院におけるDSTのフィールドワーク≫ ・急性期病院における認知症ケアサポートチーム (DST) 活動の実際を通して、認知症ケアの課題と多職種連携を学ぶ。 (予習) (60分) DSTの役割、認知症患者が急性期の治療場面で直面しやすい困難や課題 (復習) フィールドワークのレポートを基に、発表資料を作成する。 【レポート 20点】提出期限；最終講義前日までにgoogleclassroomに提出	角山裕美子
15	フィールドワークのまとめ (急性期病院における認知症ケアサポートチームの実際)	≪急性期病院におけるDSTのフィールドワークのまとめ≫ ・急性期病院における認知症ケアサポートチーム (DST) 活動の実際を通して学んだことを発表し、学びを共有する。 (予習) (60分) フィールドワークのレポートをもとに、発表資料の準備を進める。 (復習) それぞれの発表を受け、自身の認知症看護観をまとめる。	角山裕美子